

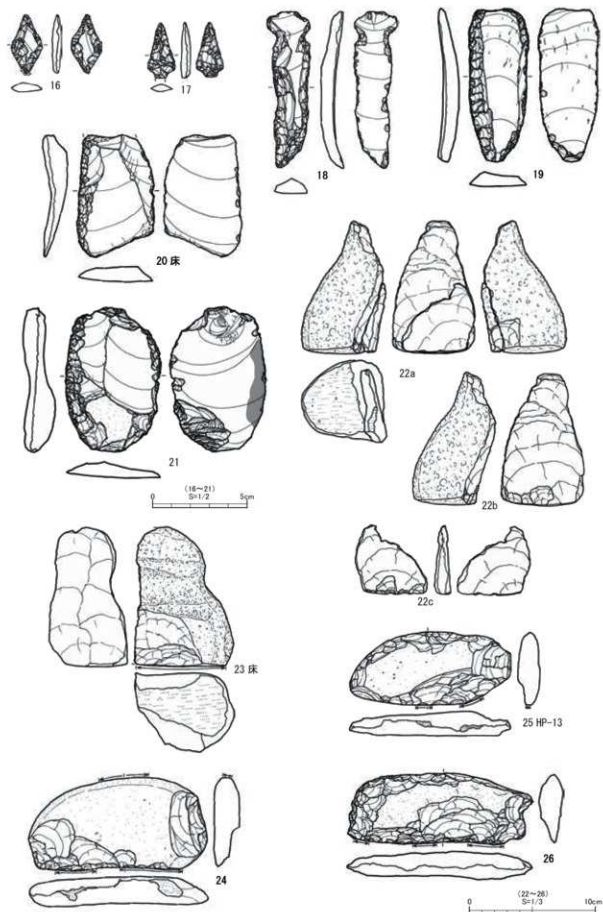
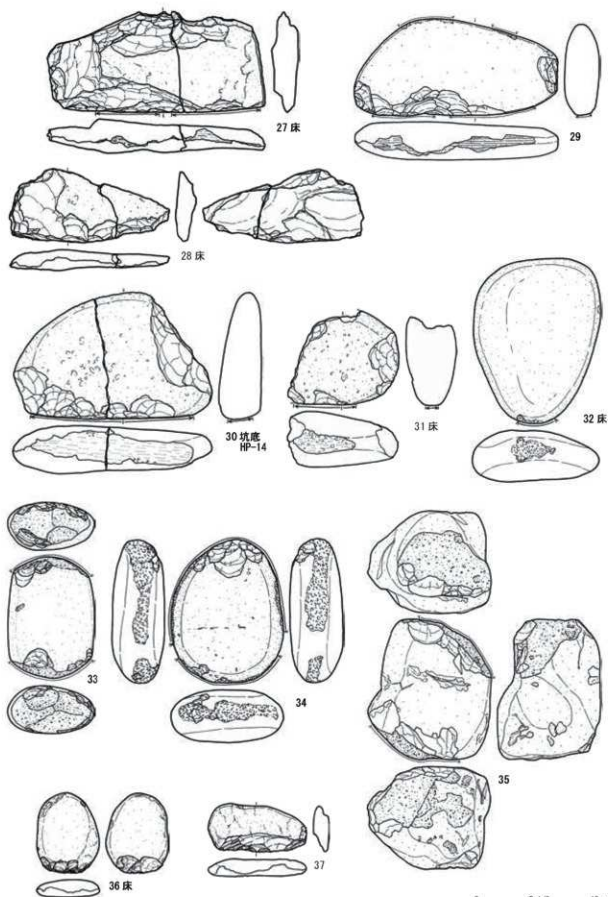
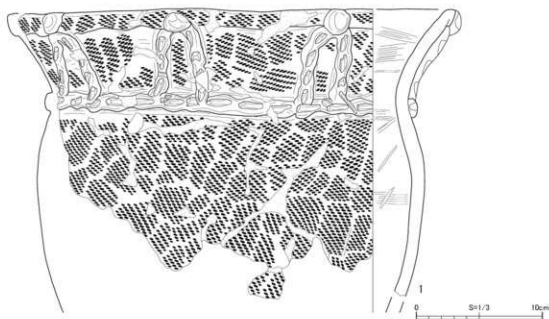


図 VI-171 竪穴住居跡 (170) H-30(6)



図VI-172 竪穴住居跡 (171) H-30(7)



図VI-175 竪穴住居跡 (174) H-32 (2)

竪穴住居跡 32 (H-32) (図VI-174・175、表VI-2、図版 106)

確認・調査：調査区中央北側の標高 27.4m 付近の斜面部上部に位置する。Ⅲ層掘り下げ中に調査区壁際で調査区外に続く半円形の暗褐色土の広がりを確認した。調査範囲の輪郭に直交するように土層観察用のベルトを設定し、二分割して調査を行った。覆土下部からは炭化物物集中 (HCC-1)、床面下位からは住居より古い P-76 が検出された。本住居は全体のほぼ半分に相当すると推定される。

土層：覆土はⅢ層にⅤ層が混じる均質な土である。

床面・壁：床面はやや皿状で、壁は斜めに立ち上がる。平面形は円～隅丸方形と推定される。

付属遺構：攪乱が多く、検出されなかった。

遺物出土状況：出土遺物の総数は 116 点で、土器等が 57 点、石器等が 59 点である。土器等はⅡ群 b 類 16 点、Ⅲ群 b 類 41 点、石器等は剥片 36 点、原石 1 点、礫 22 点が出土した。

覆土下部から大安在 B 式のまとまった破片が出土した。床面から遺物は出土しなかった。

時期：覆土下部検出の HCC-1 出土の炭化物からは $4,190 \pm 30\text{yrBP}$ (K04-D35) の年代測定値が得られている。出土遺物・年代測定値から縄文時代中期後半榎林式～大安在 B 式期と考えられる。

掲載出土遺物：(図VI-175-1、図版 214)

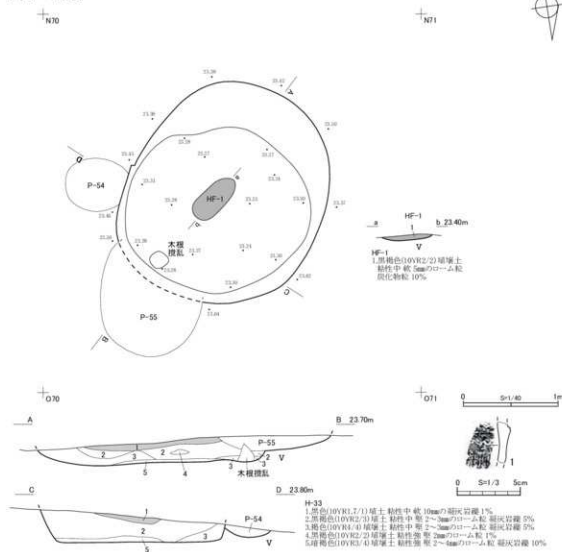
土器：1 はⅢ群 b 類。大安在 B 式。胴が膨らみ頸部がくびれて口縁部は外反する。折り返し口縁により肥厚し、頸部に横 1 条の隆帯、口縁部の推定 8 か所に逆 U 字状の横方向の刺突を伴う貼付があり、口縁部肥厚帯との交点には指頭圧痕のある円形の貼付がある。地文は LR 縦回転縄文である。胎土には 5～7mm のチャート・泥岩の砂礫を含む。(鈴木)

竪穴住居跡 33 (H-33) (図VI-176、表VI-2、図版 107)

確認・調査：C 地区東部の標高 23.5m 付近の低位部に位置する。Ⅱ層を除去後、Ⅴ層上面で黒色土の不整形の広がりを確認した。遺構の重複を想定し、土層観察用のベルトを設定して、調査を開始した。断面を確認したところ、暗褐色土を最下層とする床面と壁面を確認し、竪穴住居と判断した。また、P-54・55 と重複しており、P-54 より新しく、P-55 より古い。

土層：覆土は床面に薄く暗褐色土 (覆土 5)、壁際に褐色土 (覆土 3) が堆積している。それらの上位

H-33 平面・断面



図VI-176 竪穴住居跡 (175) H-33

には厚い黒褐色土(覆土2)、黒色土(覆土1)と続き、部分的に黒褐色土(覆土4)がみられた。

床面・壁：床面はほぼ平坦で、北東部が木根の影響によりやや波打っている。壁は全体的に若干開き気味だが南西部のみ緩やかに立ち上がる。

付属遺構：付属遺構はHF-1のみである。HF-1は地床炉で住居中央の床面から検出した。住居の長軸方向と同様に北東―南西方向に細長く広がっている。

遺物出土状況：出土遺物の総数は63点で、土器等が10点、石器等が53点である。土器等はⅡ群b類9点、Ⅲ群b類1点が、石器等はRフレイク1点、剥片12点、礫40点が出土した。

時期：HF-1の炭化物は4,360 ± 30yrBP (K04-D36)の年代値が得られている。この年代値と周辺の出土遺物から縄文時代中期前半の可能性がある。(直江)

掲載出土遺物：(図VI-176-1、図版214)

土器：1はⅡ群b類。円筒下層d2式。肩の下位には結束第2種回転文があり、口縁部には縄線、胴部には単軸絡条体1類が施文される。(鈴木)

竪穴住居跡 34 (H-34) (図VI-177、表VI-2、図版 108)

確認・調査: C 地区東部の標高 25m 付近の緩斜面に位置する。II 層を除去後、V 層上面で黒色～暗褐色土の不整形の広がりを確認した。遺構の重複を想定し、土層観察用のベルトを設定して、調査を開始した。断面を確認したところ、暗褐色土を最下層とする床面と壁面を確認し、竪穴住居と判断した。また、P-59 に切られた重複関係を確認した。

土層: 覆土は壁面を中心に暗褐色土 (覆土 5)、褐色土 (覆土 4)、黒褐色土 (覆土 3) が堆積している。それらの上位には厚い暗褐色土 (覆土 2) があり、中央に黒色土 (覆土 1) がみられた。

床面・壁: 床面はほぼ平坦で、壁は若干開き気味に立ち上がる。

付属遺構: 付属遺構は HF-1 のみである。HF-1 は住居南部の床面から検出した。不整な楕円形を呈し、黒褐色土に焼土粒や炭化物粒を多く含むのが特徴で、焼土形成後に攪拌を受けたような状況である。

遺物出土状況: 出土遺物の総数は 92 点で、土器等が 43 点、石器等が 49 点である。土器等は II 群 b 類 2 点、III 群 a 類 2 点、III 群 b 類 35 点、IV 群 a 類 4 点、石器等は剥片 21 点、原石 1 点、礫 27 点が出土した。

時期: 床面から出土した炭化物は、 $4,160 \pm 20\text{yrBP}$ (K04-D37) の年代値が得られている。この年代値と出土遺物から縄文時代中期後半榎林式期と考えられる。

(直江)

掲載出土遺物: (図VI-177-1・2、図版 214)

土器: 1・2 は III 群 b 類。1 は沈線、2 にはランダムな刺突が施される。

(鈴木)

竪穴住居跡 37 (H-37) (図VI-178・179、表VI-2、図版 109・110)

確認・調査: 調査区中央の標高 23.9m 付近の低位部に位置する。III 層掘り下げ後、V 層上面で黒色土の広がりを確認し、その中心に直交するように土層観察用のベルトを設定し、四分割して調査を行った。確認面付近の III 上層中から焼土 (HF-1) が検出された。

土層: 大きく上下に分けられ、上部は III 上層である黒色土 (2 層)、下部は屋根土の崩落土である黒褐色土 (3 層) である。

床面・壁: 床面は平坦で、壁はやや斜めに立ち上がる。平面形は隅丸方形と推定される。

付属遺構: 直径 10～15 cm の柱穴状のビット 5 基 (HP-1・2・4～6)、直径 50 cm、深さ 30 cm のビット 1 基 (HP-3) がある。前者は配列等不明である。後者は内側に焼土 (HF-2) が隣接し、埋め塞が設置されていた可能性がある。

遺物出土状況: 出土遺物の総数は 249 点で、土器等が 73 点、石器等が 176 点である。土器等は II 群 b 類 6 点、III 群 b 類 65 点、時期不明 2 点、石器等は石鏃 2 点、石槍 1 点、スクレイパー 3 点、石錐 1 点、R フレイク 3 点、U フレイク 1 点、剥片 64 点、すり石 1 点、礫 100 点が出土し、床面近くからは黒曜石製石鏃が 2 点出土した。

土壌のフローテーション選別の結果、HF-2 からオニグルミ核 1 点が検出された。

時期: 床面検出 HF-2 出土の燃焼材とみられる炭化物からは、 $4,140 \pm 20\text{yrBP}$ (K04-D40) の年代測定値が得られている。出土遺物・年代測定値から縄文時代中期後半榎林式期と考えられる。

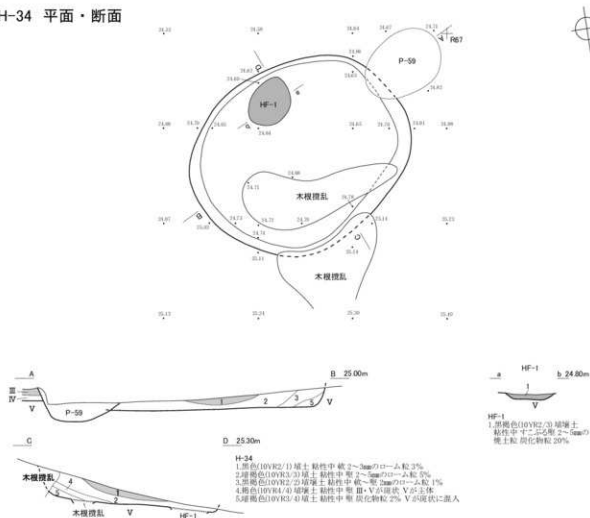
掲載出土遺物: (図VI-179-1～11、図版 214)

土器: 1～7 は III 群 b 類。1・2 は沈線と刺突が交互に、3・4 は沈線、5 は縄線が施文される。6 は LR 縄文に単軸絡条体 1 類が上書きされる。7 は小型深鉢。底部が厚く、内底面は丸い。縦の調整痕が顕著である。

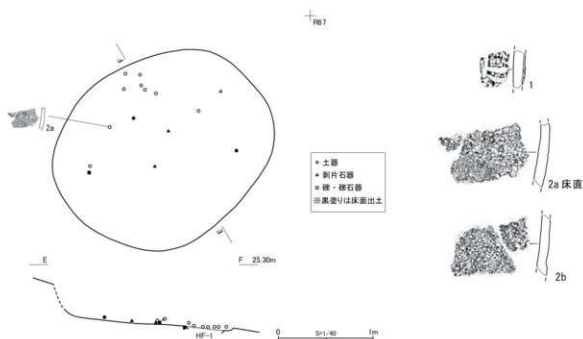
石器: 8・9 は石鏃 II b 類。どちらも幅広で茎部の挟りが強く、尖頭部の先が鋭く尖る。黒曜石製で、産地分析では「赤井川」産と判定された (K04-X8・9)。10 はスクレイパー I a 類。11 は小型の石錐。

(鈴木)

H-34 平面・断面

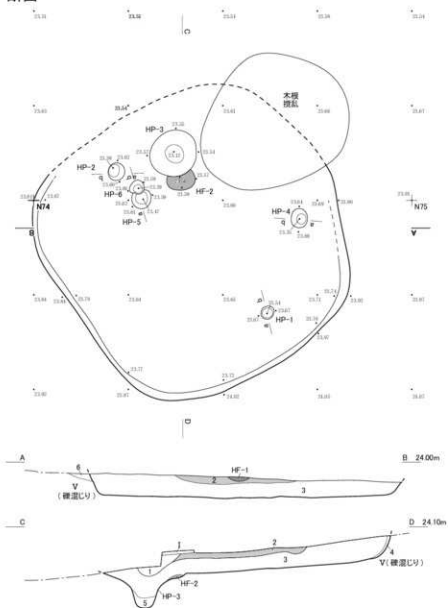


遺物分布【床面直上・床面】



図VI-177 竪穴住居跡 (176) H-34

H-37 平面・断面



H-37

- 1.黒褐色(10YR2/2)埴壇土 粘性中軟～硬 Ⅲ・Ⅴ層中の総3%含む
- 2.黒色(10YR2/1)埴壇土 粘性中軟～硬 Ⅲ上層・Ⅳ・Ⅴ向一帯に小礫土部あり
- 3.黒褐色(10YR3/2)埴壇土 粘性中軟～硬 Ⅲ・Ⅴ1cm大の炭化材含む
- 4.褐色(10YR4/4)埴壇土 粘性中軟～硬 Ⅲ・Ⅴ
- 5.黒褐色(10YR2/2)埴壇土 粘性中軟 Ⅲ・Ⅴ
- 6.暗褐色(10YR3/3)埴壇土 粘性中軟～硬 縦溝じり面層

HP-1 暗赤褐色(2.5YR3/4)埴壇土 粘性中軟～硬 焼土・みみり炭達していゝ

HP-2 赤褐色(8YR4/6)埴壇土 粘性やや強 Ⅲ・Ⅴ層が赤化した土 焼土



- HP-1
1.黒褐色(10YR2/2)埴壇土
粘性中軟～硬 Ⅲ・Ⅴ



- HP-2
1.黒褐色(10YR2/2)埴壇土
粘性中軟～硬 Ⅲ・Ⅴ



- HP-4
1.黒褐色(10YR2/2)埴壇土
粘性中軟～硬 Ⅲ・Ⅴ

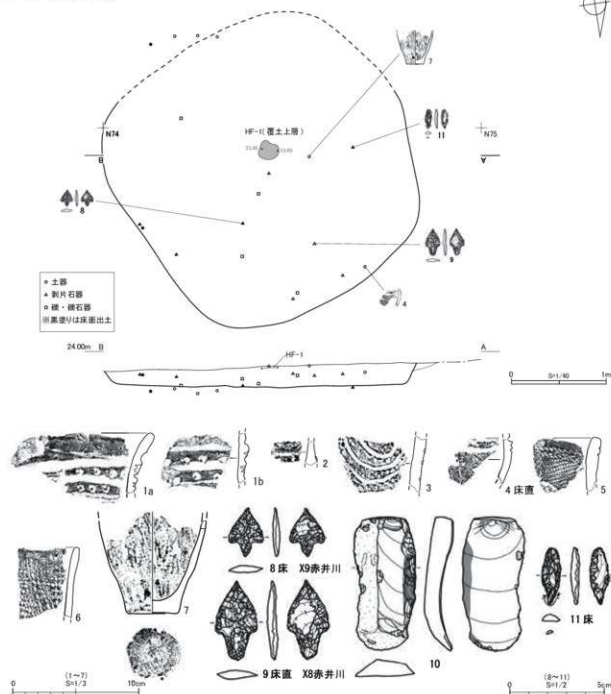


- HP-5
1.黒褐色(10YR2/2)埴壇土 粘性中
軟～硬 Ⅲ・Ⅴ
- HP-6
1.暗褐色(10YR3/3)埴壇土 粘性中
軟～硬 Ⅲ・Ⅴ層中の総3%含む

0 5 10 20m

図VI-178 竪穴住居跡 (177) H-37 (1)

H-37 遺物分布



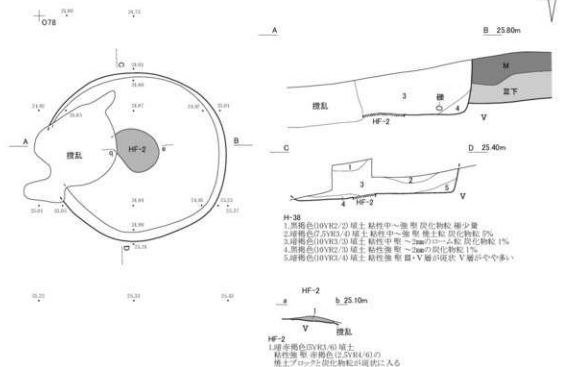
図VI-179 竪穴住居跡(178) H-37(2)

竪穴住居跡 38 (H-38) (図VI-180・181、表VI-2、図版111)

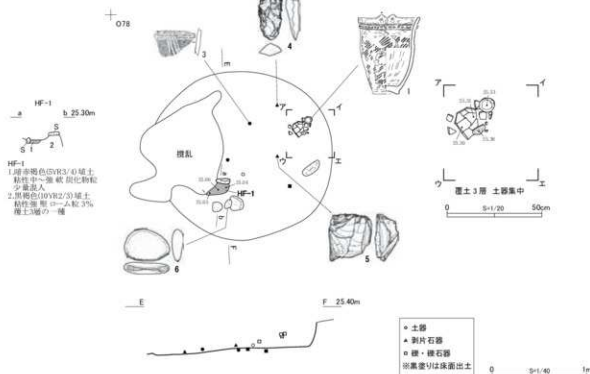
確認・調査: C地区中央の標高25m付近の緩斜面に位置する。II層を除去後、M層中に暗褐色土の不鮮明な広がりを確認した。東西方向に土層観察用のベルトを設定して周囲を掘り下げ、円形の広がり が明確となったV層上面で土層観察用のベルトを増設して竪穴内の調査を開始した。断面を確認した ところ、黒褐色土を最下層とする床面と壁面を確認し、竪穴住居と判断した。M層を切って構築され ている。

土層: 覆土は壁際の一部に暗褐色土(覆土5)の三角堆積、壁際から床面中央にかけて黒褐色土(覆土4)

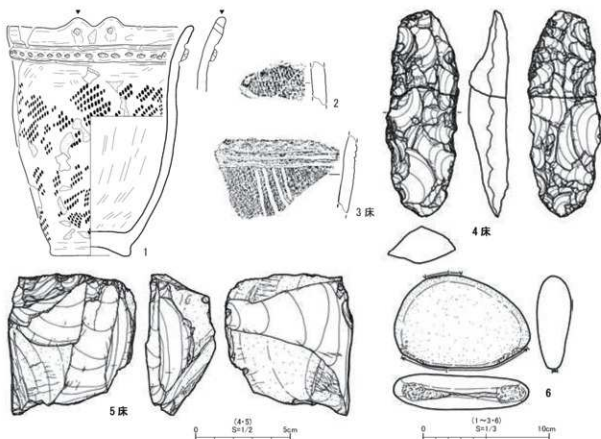
H-38 平面・断面



HF-1・遺物分布



図VI-180 竪穴住居跡 (179) H-38(1)



図VI-181 竪穴住居跡 (180) H-38 (2)

が薄く堆積し、その上位に厚く暗褐色土（覆土3）がみられた。さらに上位には部分的に暗褐色土（覆土2）、黒褐色土（覆土1）が堆積している。

床面・壁：床面はほぼ平坦だが南側が若干低い。壁はほぼ垂直に立ち上がる。

付属遺構：付属遺構はHF-1・2である。HF-2は住居中央の床面から検出した。不整な楕円形を呈する地床炉である。HF-1は住居北部の覆土3層中部から検出した地床炉である。周囲に大型の礫がみられることから、本来石組み炉であった可能性がある。

遺物出土状況：出土遺物の総数は239点で、土器等が49点、石器等が190点である。土器等はⅡ群b類21点、Ⅲ群b類27点、時期不明1点が、石器等は両面調整石器2点、スクレイパー1点、剥片55点、石核1点、すり石1点、礫130点が出土した。

時期：床面にあるHF-2の炭化物は $4,170 \pm 20\text{yrBP}$ (K04-D41)の年代値が得られている。この年代値と床面出土遺物、M層より新しい状況から住居の帰属時期は縄文時代中期後半榎林式期と考えられる。また、埋没過程で形成されたHF-1を中心とする遺物のまともは周辺の同層序の遺物から住居同様縄文時代中期後半のものと思われる。（直江）

掲載出土遺物：（図VI-181-1～6、図版214）

土器：2はⅡ群b類。円筒下層d2式で、多軸絡条体の回転文が施される。

1・3はⅢ群b類。1は小型の深鉢。口縁部には2個1組の貫通孔のある小突起があり、くびれた頸部の上位には刺突のある隆帯が横環する。隆帯の上下は沈線で縁取られる。地文は胴上部にはLR縄文が横回転により斜行し、胴下部には斜回転により条が横になる。底部は上げ底である。3は榎林式相当。RLR斜行縄文地に数本単位の沈線が描かれる。

石器：4 は両面調整石器。正面のこぶを除去できずに折損する。5 は石核Ⅵ類。節理面で覆われる原石が利用される。6 はすり石Ⅱ類。敲打痕が 3 か所見られる。(鈴木)

(2) 土坑

土坑 1 (P-1) (図Ⅵ-182、表Ⅵ-2、図版 112)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、Ⅳ層で F-2 を切る円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に褐色土（覆土 4）が厚く堆積し、その上位にⅢ層が斑に混じる褐色の崩落土（覆土 3）、F-2 が起源とみられる焼土粒を多く含む赤褐色土（覆土 2）がある。最上位にはⅢ層に由来する黒褐色土（覆土 1）が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は緩やかに湾曲し、壁は一部に崩落がみられるが、オーバーハングするフラスコ状土坑である。遺物はⅣ群 a 類土器 1 点、剥片 3 点、礫 123 点が出土した。

時期：F-2 より新しい重複関係、周辺の遺物、遺構の形状から縄文時代後期前葉の可能性がある。

(直江)

土坑 2 (P-2) (図Ⅵ-182・201、表Ⅵ-2、図版 112)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、Ⅴ層上面で円形の暗褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は暗褐色土（覆土 1）のみで埋め戻しとみられる。炭化物は覆土 1 に少量混じる。坑底はほぼ平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 4 点、Ⅲ群 b 類土器 38 点、時期不明土器 1 点、土偶 1 点、スクレイパー 5 点、R フレイク 1 点、剥片 24 点、扁平打製石器 1 点、すり石 1 点、原石 3 点、加工痕のある礫 1 点、礫 131 点が出土した。

時期：周辺の遺物と遺構の形状から縄文時代中期後半の可能性がある。

(直江)

掲載出土遺物：(図Ⅵ-201-1 ～ 5、図版 215)

土器：1 はⅡ群 b 類。円筒下層 d2 式。横位の貝殻条痕文が下地に施される。2 はⅢ群 b 類。波状口縁部。5 は小型土偶。右上半身が残存し、鼻と剥落しているが胸のふくらみが表現される。左右の胸には貫通孔がある。板状であるが、右手はやや前に湾曲し、動きが感じられる。格子状の沈線が施文され、縄文時代後期前葉の可能性がある。

石器：3 はスクレイパーⅣ類。4 はすり石Ⅱ類。

(鈴木)

土坑 3 (P-3) (図Ⅵ-182、表Ⅵ-2、図版 112)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、Ⅴ層上面で F-2 の周囲に円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に褐色土（覆土 2）が厚くみられ、上位に黒褐色土（覆土 1）が堆積する。自然堆積とみられる。さらに覆土 1 の上部では F-2 が形成されている。炭化物は覆土 1 にわずかに含まれる。坑底は平坦で、壁はやや開き気味に立ち上がる。遺物は剥片 6 点、礫 2 点が出土した。

時期：不明である。

(直江)

土坑 4 (P-4) (図Ⅵ-182)

調査・特徴：調査区中央部の南西側、標高 26.5m 付近に位置する。K ラインメインセクションの土層観察で確認した。覆土・坑底などの調査は行なっていない。遺物は出土していない。

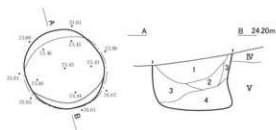
時期：不明である。

(坂本)

土坑 5 (P-5) (図Ⅵ-182・201、表Ⅵ-2、図版 112・113)

調査・特徴：調査区中央西寄りの標高 25.5m 付近の斜面部中腹に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、Ⅴ層上面で楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。長軸方向に半載して調査を行った。覆土は下位から暗褐色土（4 層）、褐色土（3 層）、暗褐色土（2 層）がほぼ水平に堆積し、最上部の窪みにⅢ層相当の黒

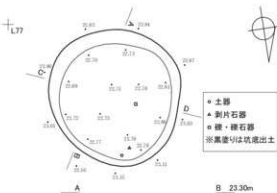
P-1



P-1

- 1.黒褐色(0YR2/3)埴土・粘性中～強 型 2～3mmのローム粒 2%
- 2.赤褐色(5YR4/6)埴土・粘性中～強 型 8mm程度の粘土粒 20% P-2底面
- 3.褐色(7.5YR4/4)埴土・粘性中～強 型 堆山礫 粘土粒 1% 層増が現状に少量混入
- 4.褐色(7.5YR4/6)埴土・粘性中～強 型

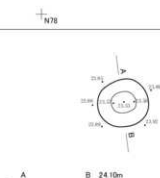
P-2



P-2

- 1.黒褐色(0YR2/3)埴土・粘性強 型 2～3mmのローム粒 炭化物粒 10mmの磁瓦片 3%

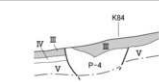
P-3



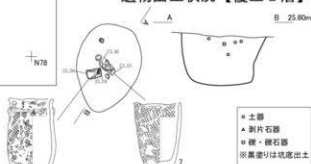
P-3

- 1.黒褐色(0YR2/3)埴土・粘性強 型 炭化物粒 1%
- 2.褐色(0YR4/4)埴土・粘性強 中～型 15mmの磁瓦片 3%

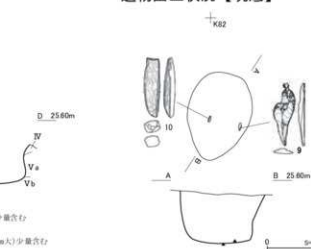
P-4



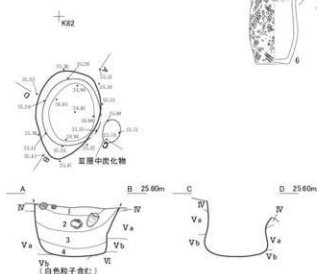
遺物出土状況【覆土2層】



遺物出土状況【坑底】



P-5



P-5

- 1.赤褐色(0YR2/3)埴土・粘性中 中～強 磁瓦片 1cm大の炭化物少量含む
- 2.赤褐色(0YR2/3)埴土・粘性中 中～強 磁瓦片・土器・磁瓦片
- 3.褐色(0YR4/4)埴土・粘性中 中～強 磁瓦片・土器・磁瓦片
- 4.赤褐色(0YR2/3)埴土・粘性中 中～強 磁瓦片・土器・磁瓦片

図VI-182 土坑 (1) P-1～5

褐色土（1層）がレンズ状に堆積する。平面形は楕円形、坑底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。土坑の西側にはⅢ層中から炭化物のまとまりが検出された。遺物はⅡ群b類土器199点、つまみ付きナイフ1点、石斧1点、礫1点が出土した。坑底にはつまみ付きナイフと小型のみ状の石斧、覆土の上部には円筒下層b1～b2式の小型土器が2個体出土し、遺物の出土状況・土層の堆積状況・土坑の大きさから墓とみられ、坑底には石器が、坑口には小型土器が副葬されたと考えられる。

時期：出土土器から縄文時代前期後半円筒下層b1～b2式期と考えられる。

掲載出土遺物：（図VI-201-6～10、図版215）

土器：6～8はⅡ群b類。6・7は円筒下層b1～b2式。小型深鉢で、6は隆帯があり、RL斜行縄文が、7はRLR斜行縄文が施文される。8は直前段反撫LLR縄文。

石器：9はつまみ付きナイフ。つまみ部とその周辺のみ加工が施される。10は石斧。右側面には擦り切り痕があり、通常サイズの石斧を縦に分割して整形したような形状である。（鈴木）

土坑6（P-6）（図VI-183・201、表VI-2、図版113・136・146）

調査・特徴：調査区中央の標高25.0m付近の斜面部中腹に位置する。Ⅲ上層掘り下げ後、M層上面で石組炉とその周辺の黒褐色土の広がりを出した。石組炉を通る長軸にトレンチを設定し、断面にて土坑の坑底と壁、その覆土上部の石組炉を確認し、土坑をP-6、石組炉をF-5としてF-5→P-6の順に調査を進めた。F-5の調査後、既存のトレンチと直交する方向にベルトを十字に残し、四分割して掘り下げた。

覆土は下部に暗褐色土（7層）、中部にM層（5・6層）、上部にⅢ上層（1・3・4層）が堆積し、本土坑下部に7層堆積後、M層が流入し、上部の窪みにⅢ上層が形成されたと考えられる。炭化物はF-5内部と3層下部に検出された。坑底は平坦で中央に窪みがあり、壁は丸みをもって立ち上がる。平面形は隅丸長方形である。遺物はⅡ群b類土器7点、Ⅲ群b類土器94点、両面調整石器1点、剥片155点、石核1点、たたき石2点、原石1点、礫20点が出土した。南側のM層上面ではⅢ群b類個体土器が横倒しに潰れた状態で出土した。

時期：土層・出土遺物の関係より縄文時代中期後半榎林式期→M層→P-6の順に古く、M層を縄文時代前期後半円筒下層d1式期とすればそれ以前となり、縄文時代前期後半円筒下層b1～d1式期と考えられる。

掲載出土遺物：（図VI-201-11・12、図版215）

土器：11はⅢ群b類、榎林式相当。厚手の底部から軽く内湾しながら斜めに立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。底部は台状で、内底面は丸い。口縁部には3か所の低い山形突起があり、太いLR斜行縄文が上方4分の3に施文され、底部付近は縦方向の調整痕が顕著に残る。器壁は厚く、重量感がある。上面観は潰れた楕円形である。12はⅡ群b類、円筒下層b1～b2式。外面の地下と内面に貝殻条痕が残る。（鈴木）

土坑7（P-7）（図VI-183、図版113）

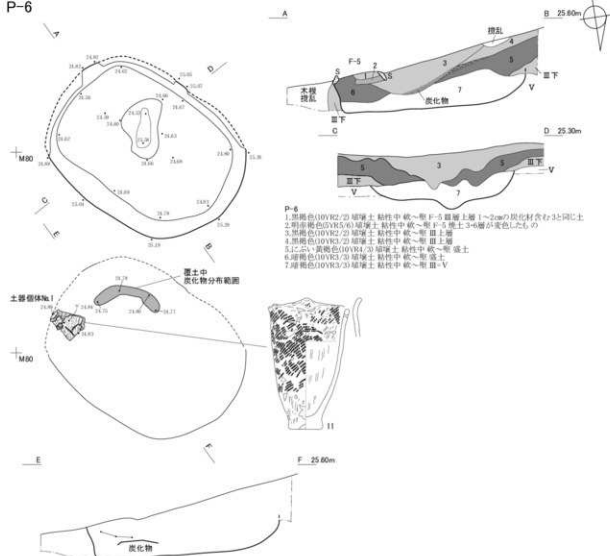
調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面でH-5の北東側の壁面に黒褐色土の広がりを確認した。H-5に切られており、平面形は円形が推定される。H-5の壁面を削って土層を記載し、調査を行った。覆土は黒褐色土（覆土1）のみで埋め戻しとみられる。炭化物が多く含まれる。坑底は平坦で、壁はやや開き気味に立ち上がる。遺物は出土していない。

時期：H-5より古い重複関係と周辺の遺物から縄文時代前期後半と考えられる。（直江）

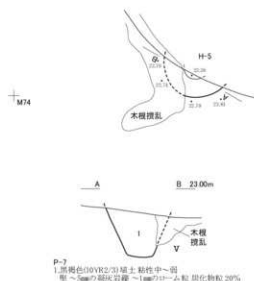
土坑8（P-8）（図VI-183、表VI-2、図版114）

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で攪乱により約半分が消失した黒褐色土の広がりを確認した。

P-6



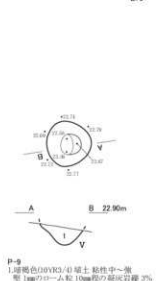
P-7



P-8



P-9



図VI-183 土坑 (2) P-6～9

半載して調査を行った。覆土は黒褐色土（覆土 1）のみである。断面は半紡錘状。遺物はⅡ群 b 類土器 1 点、Ⅲ群 b 類土器 1 点、礫 3 点が出土した。

時期：不明である。

（直江）

土坑 9（P-9）（図Ⅵ-183、表Ⅵ-2、図版 114）

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、Ⅴ層上面で円形の暗褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は暗褐色土（覆土 1）のみである。坑底は緩やかに湾曲し、壁は開き気味に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 1 点が出土した。

時期：不明である。

（直江）

土坑 10（P-10）（図Ⅵ-184・202、表Ⅵ-2、図版 114）

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-1 の覆土掘削作業で、H-1 壁を壊して形成された円形の黒色土の落ち込みを確認した。任意のライン（A-B）を半載して調査を行い、平らな坑底面を持つ土坑と確認した。遺構はⅢ層を掘り込んで構築されている。覆土は上部 1・2 層が黒・暗褐色の自然堆積、下部 2～7 が黄褐色ローム（Ⅴ層）を主体もしくは多く含む人為堆積層と理解した。ただし後者は壁の自然崩落土を含む可能性がある。中位の 5 層中にはレンズ状に炭化物の層が認められたほか、焼土ブロックも検出された。坑底は平坦、壁はやや急角度に斜めに立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 24 点、時期不明土器 1 点、剥片 78 点、礫 2 点、三角形石製品 1 点が出土し、坑底直上土の 7 層と上層の覆土 1～4 層からの出土である。

時期：切り合い関係は H-1 壁を壊して構築されている。時期は縄文時代前期後半以降と考えられる。

（坂本）

掲載出土遺物：（図Ⅵ-202-13・14、図版 215）

土器：13 はⅡ群 b 類、円筒下層 b1～b2 式。単軸絡条体 1 類が施文された底部片。

石器：14 は三角形石製品。加工は比較的粗い。

（鈴木）

土坑 11（P-11）（図Ⅵ-184・202、表Ⅵ-2、図版 114・115）

調査・特徴：調査区西側の標高 26.5m 付近の高位部に位置する。H-2 内部のⅢ上層掘り下げ後、H-2 覆土 8 層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認した。H-2 廃絶後、窪地に形成された土坑と考え、調査を行った。覆土は黒褐色土のみである。坑底は平坦、壁はほぼ垂直に立ち上がる。平面形は不整形である。遺物はⅡ群 b 類土器 2 点、両面調整石器 1 点、剥片 6 点、北海道式石冠 1 点、すり石 1 点、礫 27 点が出土した。

時期：H-2 より新しく、縄文時代前期後半円筒下層 d1 式期の可能性がある。

掲載出土遺物：（図Ⅵ-202-15～17、図版 215）

石器：15 は両面調整石器。16 は北海道式石冠。全面敲打で加工され、左側面の裾部を欠損する。機能部である下面は裏面側に大きく傾く。17 はすり石 1 類。正下面部が剥落し、特に左側は下面平坦面を消失する。

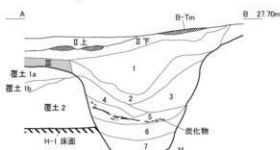
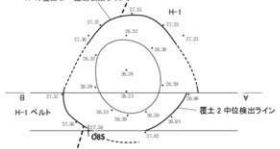
（鈴木）

土坑 12（P-12）（図Ⅵ-184・202、表Ⅵ-2、図版 115）

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-1 南東側の周堤盛土（RM 層）を掘削作業時に、Ⅲ層が円形に落ち込む範囲を検出したため、遺構を想定して半載掘削を行った。結果 RM 層、H-9 覆土・床面を掘り込んで造られた土坑であることを確認した。覆土は 1～3 が流入土、4 層が人為堆積の可能性がある。形状は径 1.0m の円形で、坑底は平坦、壁は垂直に近い立ち上がりである。遺物は覆土・坑底からⅡ群 b 類土器 109 点、つまみ付きナイフ 1 点、スクレイパー 1 点、剥片 126 点、石核 1 点、北海道式石冠 1 点、たたき石 1 点、礫 12 点が出土し、土器は坑底からも出土した。

P-10

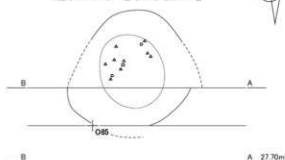
H-1, 覆土2～覆土検出ライン



P-10

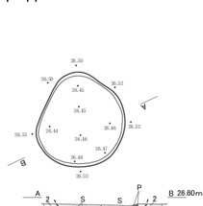
1. 黒色(10YR1.7/1) 埴土 粘性強 やや軟
2. 黒褐色(10YR3.3) 埴土 粘性強 堅い土、4の層状の層
3. ロームブロック、ローム粒が散在的に褐色土と混じりあう 自然流土
4. 褐色(10YR4.6) 埴土 粘性強 堅い
5. 土に黄褐色(10YR4.3) 埴土 粘性強 すこぶる層
6. 褐色(10YR4.6) 埴土 粘性強 やや軟
7. 土に黄褐色(10YR4.3) 埴土 粘性強 やや軟

遺物分布【坑底直上】



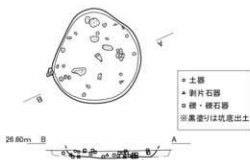
- 土器
- ▲ 剥片石器
- 礎・礎石
- ※ 黒塗りは坑底出土

P-11

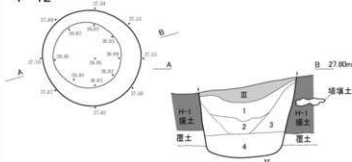


P-11

1. 黒褐色(10YR2.2) 埴土 粘性中 軟～堅
2. 黒褐色(10YR2.2) 埴土 粘性中 軟～堅



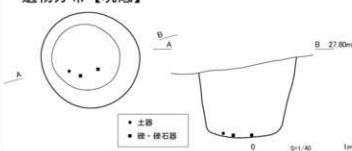
P-12



P-12

1. 黒褐色(10YR2.2) 埴土 粘性中～強 堅い
2. 黒褐色(10YR3.3) 埴土 粘性強 やや軟
3. 褐色(10YR4.6) 埴土 粘性強 やや軟
4. 褐色(10YR4.6) 埴土 粘性強 やや軟

遺物分布【坑底】



- 土器
- ▲ 剥片石器
- 礎・礎石

図VI-184 土坑(3) P-10～12

時期：出土遺物と切り合い関係が H-1 より新しいことから、縄文時代前期後半以降と考えられる。

(坂本)

掲載出土遺物：(図 VI-202-18 ~ 20、図版 215)

土器：18 は II 群 b 類、円筒下層 b1 ~ c 類。異段合燃 (LR・R の R 燃り) 縄文が施文される。

石器：19 はたたき石 I c 類。楕円礫の長軸両端のほか、側面にも敲打痕がある。20 は全面敲打整形の北海道式石冠。左右の裾部を下面からの敲打で欠損し、特に右側面は持ち手部分まで達する。下面のすり面は正面側に大きく傾く。

(鈴木)

土坑 13 (P-13) (図 VI-185・202、表 VI-2、図版 115)

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-1 南西隅付近の周堤盛土 (RM 層) を掘削作業時に、III 層とみられる黒色土が、円形に落ち込む範囲を検出したため、遺構を想定して半截掘削を行った。結果 RM 層、H-1 覆土・壁・床面を掘り込んで造られた土坑であることを確認した。覆土は流入土とみられる黒褐・暗褐色土 (1・8 層)、壁の崩落土を主体とする褐色・にぶい黄褐色土 (2 ~ 7 層) の自然堆積層で占められる。形状はフラスコ状で坑底はやや湾曲している。遺物は覆土から II 群 b 類土器 66 点、時期不明土器 2 点、石鏃 1 点、スクレイパー 1 点、R フレイク 3 点、剥片 66 点が出土しており、土器は坑底直上土からも出土している。

時期：出土遺物と切り合い関係が H-1 より新しいことから、縄文時代前期後半以降と考えられる。

(坂本)

掲載出土遺物：(図 VI-202-21・22、図版 216)

土器：21・22 は II 群 b 類、円筒下層 b1 ~ c 式。21 は不整綾絡文の口縁部破片、22 は単軸絡条体 I 類の底部片。

(鈴木)

土坑 14 (P-14) (図 VI-185・203、表 VI-2、図版 115・116)

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-1 の覆土掘削作業の際に、褐色からにぶい黄褐色土が、円形に落ち込む範囲を検出したため、遺構を想定して半截掘削を行った。結果、H-1 覆土・床を掘り込んで造られた土坑と判断した。P-14 は H-9 覆土・床も壊している。形状は寸胴状で坑底は平坦、壁は垂直に近く急角度に立ち上がる。構築面は H-1 の III 層堆積前の覆土上面・上部、および周堤盛土上位の土とみられる。覆土は黄褐色ローム主体で 1 ~ 6 層は人為的な埋め戻しの土と考えられる。遺物は覆土から II 群 b 類土器 40 点、III 群 a 類土器 30 点、III 群 b 類土器 83 点、石槍 1 点、スクレイパー 1 点、剥片 92 点、石核 1 点、砥石 1 点、加工痕のある礫 1 点、礫 24 点が出土している。覆土上部の 1 層からは III 群 b 類の個体土器、礫などがまとまって出土した。

時期：切り合い関係が H-1 よりも新しいこと、及び覆土上部の遺物出土状況から、縄文時代中期後半と考えられる。

(坂本)

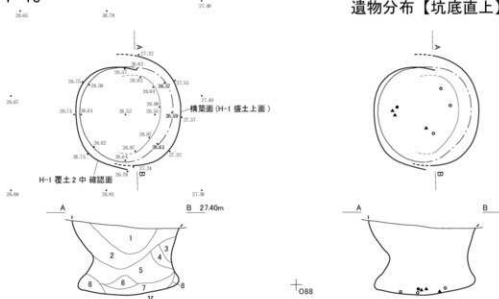
掲載出土遺物：(図 VI-203-23 ~ 31、図版 216)

土器：23・24 は II 群 b 類。23・24 は円筒下層 c 式、23 は 2 本 1 組の縄線が縦横斜めに施文される。24 は自縄自巻縄文 L。25 ~ 27 は III 群 a 類。25 は山形突起のある口縁部。25・26 は RL 斜行縄文と口唇部外側に縄の側面圧痕が施される。27 は RL 斜行縄文が施文される。

28 ~ 30 は III 群 b 類。28 は底部から斜めにほぼ直線的に立ち上がる平縁の深鉢。口唇は四角、底角は張り出し内底面の断面は丸い。LR 縄文が口縁付近では横、胴部では縦回転で施文される。29 は斜めに直線的に立ち上がる波状口縁の深鉢。横回転の LR 斜行縄文が器面全体に施され、口唇部にも見られる。30 は椀林式相当。口頸部がくびれて口縁部が外反する深鉢で、大きい波状と小突起があり、3 か所の波頂部と間の小突起があったものとみられる。地文は粗い自縄自巻縄文である。

P-13

遺物分布【坑底直上】【坑底】



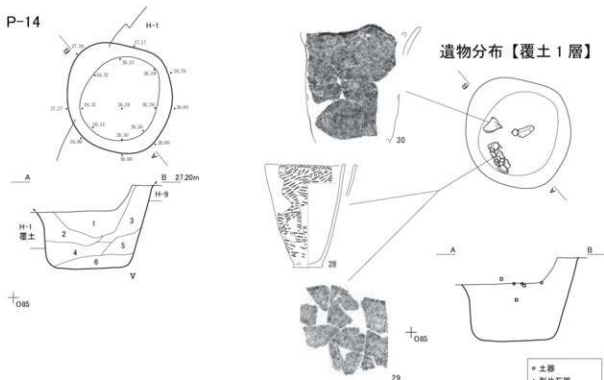
P-13

- 1.黒褐色(OYR3/2)埴土 粘性中すこぶる堅 ローム粒微量 遺層相当の自然流入土
2.にぶい黄褐色(OYR4/3)埴土 粘性強すこぶる堅 褐色土主体にローム粒、
ロームブロックが盛りあう
3.にぶい黄褐色(OYR4/3)埴土 粘性強 型に類似 ややロームが強い
4.褐色(OYR4/6)埴土 粘性強 型～やや軟 ローム主体 埴土の崩落土か
5.黄褐色(OYR3/4)埴土 粘性強 型～すこぶる堅 褐色土主体に
ロームブロック径0.5～1cm程度が25～30%
6.褐色(OYR4/6)埴土 粘性強 型～すこぶる堅 ローム主体土 崩落土か
7.褐色(OYR4/4)埴土 粘性強 型～やや軟 ロームブロック主体に褐色土が混じる
8.黄褐色(OYR3/4)埴土 粘性非常に強 型～やや軟 部分的に軟
褐色土主体に径1cmのロームブロック程度に混じる 三角堆積とみられる流入土か

- 土器
 - ▲ 剥片石器
 - 礎・礎石
- ※黒塗りのは坑底出土

P-14

遺物分布【覆土1層】



P-14

- 1.褐色(OYR4/6)埴土 粘性強 型 ローム主体 炭化物2%混在
2.にぶい黄褐色(OYR4/3)埴土 粘性強 やや軟～軟 ロームブロック粒と褐色土が混じりあう
3.褐色(OYR4/4)埴土 粘性強 型～やや軟 ローム主体
4.黄褐色(OYR3/4)埴土 粘性強 やや軟 ローム粒と褐色土が混じりあう 褐色土が強い
5.にぶい黄褐色(OYR4/3)埴土 粘性強 型～やや軟 ローム主体 岩片が若干混じる
6.褐色(OYR4/4)埴土 粘性強 型～やや軟 褐色土中に径1～3cmのロームブロック 25%と多
量混在のローム主体の土で構成される 5位には黒腐(黄褐色土)の落ち込みを確認して2位の
横断面はH-1覆土2上面～覆土とみられる

- 土器
 - ▲ 剥片石器
 - 礎・礎石
- ※黒塗りのは坑底出土

0 0.40 1m

図VI-185 土坑 (4) P-13・14

石器:31 は石槍。3 点が接合し、P-14 出土は下部破片である。長さ 18 cm で、表面にこぶ・段差がなく、薄手で整っている。下部破片の折損、再加工後、遺棄される。(鈴木)

土坑 17 (P-17) (図 VI-186・204、表 VI-2、図版 116)

調査・特徴: 調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-1 の覆土掘削から床面検出作業の過程で、円形を呈する褐色土の遺構輪郭を検出したため、半截掘削を行った。結果、H-1 掘り上げ土 (RM 層)・覆土・壁・床を掘り込んで造られた土坑を確認した。形状は寸胴状で坑底は平坦、壁は垂直に近く立ち上がる。床面には壁に沿って幅 5 cm・深さ 2 ~ 10 cm ほどの周溝が断続的に廻る。覆土は 7 が埋め戻し、2 ~ 5 が壁崩落土や埋め戻しとみられ、特に 5・7 層には炭化物粒が多く認められた。また 1 層は黄褐色ローム主体で分厚く開口部を埋めており、他遺構から投げ込まれた掘り上げ土で埋め戻したことが考えられる。なお、P-17 覆土は P-18 に切られるが、坑底は P-17 が P-18 より低く構築されていたため残存していた。また P-19 との切り合い関係は土層断面では観察できなかったが、平面観察では P-17 が新しくみられた。遺物は覆土および坑底直上土から II 群 b 類土器 170 点、時期不明土器 3 点、石鏃 1 点、スクレイパー 3 点、R フレイク 1 点、剥片 330 点、石核 4 点、礫 11 点が出土した。また土壌のプロローテーション選別の結果、坑底からオニグルミ核 1 点が検出された。

時期: 切り合い関係は H-1 より新しく P-18 より古い。坑底出土の炭化物から $4,110 \pm 20\text{yrBP}$ (K04-D48) の年代測定値が得られている。この結果から縄文時代中期後半と考えられる。(坂本)

掲載出土遺物: (図 VI-204-32 ~ 36、図版 216・217)

土器:32 ~ 35 は II 群 b 類。32 は円筒下層 b1 ~ b2 式。口縁部を欠失するが、50 cm を超える大型品で、2 本の沈線で区画された口縁部には不整綾格文、胴部には縦の直前段反転 RRL ? と結節回転文が施文される。33・34 は円筒下層 b1 ~ c 式。33 は異段合撻 (LR・R の R 撻り) 縄文、34 は単軸絡条体 I 類が施文される。35 は円筒下層 d1 式。多軸絡条体の個体を幅 3.6 cm に切断した土製品である。左右とも両面に深さ 1 mm 程の溝を切り、折り取ったものである。切断面は部分的に丸みを帯びる。

石器: 36 は石核 I a 類。裏面に砂の凝集した外皮が残る。(鈴木)

土坑 18 (P-18) (図 VI-186・204、表 VI-2、図版 116)

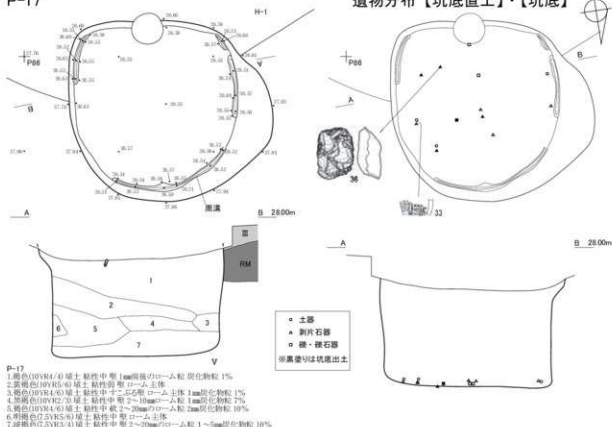
調査・特徴: 調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。P-17 の調査・記録の過程で、P-17 の壁に土坑 (P-18) の断面を確認した。形状はフラスコ状で、坑底は若干くぼむように湾曲する。C-D ラインではオーバーハングする壁が良好に残存していた。覆土は黄褐色ローム主体もしくは多く混じる土が主体で、下位から 10 層は流入土、8 層は埋め戻しの可能性、2 ~ 9 層は崩落土と流入土、1 層は掘り上げ土の投げ込みと考えられる。遺物は覆土から II 群 b 類土器 113 点、土製円盤 1 点、石鏃 1 点、両面調整石器 1 点、楔形石器 1 点、R フレイク 1 点、剥片 227 点、石核 1 点、扁平打製石器 1 点が出土した。

時期: 切り合い関係は P-17 より古く、前期後半の RM 層より新しい。P-17 が放射性炭素の年代測定から縄文時代中期後半と判断されていることから、本遺構の時期は縄文時代前期後半 ~ 中期後半と考えられる。(坂本)

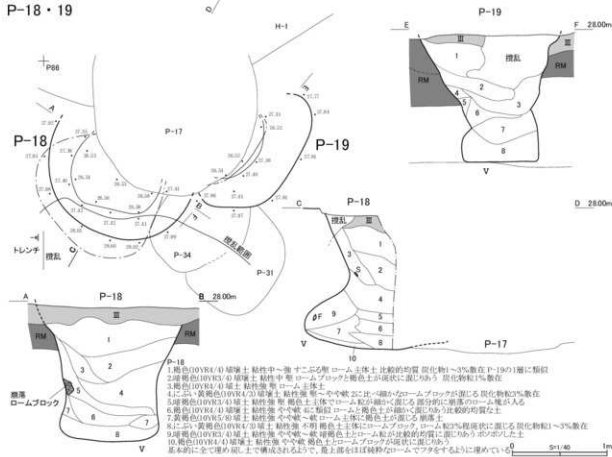
掲載出土遺物: (図 VI-204-37 ~ 43、図版 217)

土器:37 ~ 40 は II 群 b 類。37 は円筒下層 b1 式。指頭圧痕のある隆帯の上下に不整綾格文が施される。38 は円筒下層 b2 式。上部に横位の貝殻条痕、下部に縦位の単軸絡条体 I 類が施文される。39 は円筒下層 b1 ~ c 式、単軸絡条体 I 類のある底部片。40 は円筒下層 d1 式。40a は底部破片素材の土製円盤、裏面の内底面側はミガキによる光沢があり、中央には両面から穿たれた孔がある。40b は 40a と接合しないが、同一個体の底部片で、土製円盤が底部を分割した素材を利用したと考えられる。

P-17



P-18・19



図VI-186 土坑(5) P-17~19

石器：41 は石鉄 I a 類。先端部を欠損している。42 は楔形石器。白色の特徴的な石材である。43 は扁平打製石器 VI 類。下面は被熱による赤化が見られる。
(鈴木)

土坑 19 (P-19) (図 VI-186・205、表 VI-2、図版 117)

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。P-17 の調査・記録の過程で、P-17 壁面に土坑 (P-19) の断面を認めた。坑口部を確認するため RM 層を面的に精査したところ、楕円形に落ち込む III 層を確認し、土坑輪郭と判断した。P-17 の調査がほぼ完了していたため、両者の切り合い関係を土層断面で明確に判断することはできなかったが、平面観察から P-17 が新しいとみられる。また P-34 との切り合い関係は、P-19 が新しい。形状はフラスコ状で底面はほぼ平坦であった。中部から坑口部の壁は大きく開くが壁の崩落も留意される。覆土は、坑底直上の 8 層が埋め戻しの可能性があるが、1～7 層については壁の崩落土や流入土が主体と考えられる。遺物は覆土・坑底から II 群 b 類土器 18 点、両面調整石器 1 点、剥片 64 点、礫 11 点が出土した。

時期：切り合い関係は P-17 より古く、P-34 より新しい。また H-1 の掘り上げ土である RM 層を掘り込んで構築されている。P-17 は放射性炭素の年代測定から縄文時代中期後半と判断されている。このため本遺構の時期は縄文時代前期後半以降から中期後半以前と考えられる。
(坂本)

掲載出土遺物：(図 VI-205-44～46、図版 217)

土器：44・45 は II 群 b 類。44 は円筒下層 d1 式の擦切土製品で、2 点が切断面で接合する。多軸絡条体が施文され、内面はミガキにより光沢がある。幅 4.5 cm ほどで両面の溝切り後、切断される。45 は円筒下層 d2 式。口縁部に縄線、肩部に結束第 2 種回転文、胴部に多軸絡条体が施文される。ミガキが顕著である。

石器：46 は両面調整石器。正面右下部から下面にかけて素材腹面が残り、厚手の剥片素材である。

(鈴木)

土坑 20 (P-20) (図 VI-187・205、表 VI-2、図版 117)

調査・特徴：調査区西側の標高 27.5m 付近の高位部に位置し、P-21 に隣接する。H-15 を壊しており、それより新しい。III 層掘り下げ後、V 層上面で円形の黒色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土は下位から黒褐色土 (2 層)、自然堆積層の黒色土 (1 層) である。坑底は皿状で、壁は丸みをもって立ち上がる。平面形は楕円形である。遺物は II 群 b 類土器 3 点、R フレイク 1 点、剥片 4 点、礫 3 点が出土した。

時期：H-15 より新しく、縄文時代前期後半以降である。

掲載出土遺物：(図 VI-205-47、図版 217)

石器：47 はたたき石 I d 類。敲打面は凹凸がなく、平坦である。

(鈴木)

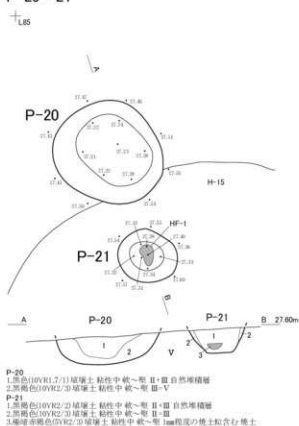
土坑 21 (P-21) (図 VI-187、表 VI-2、図版 117)

調査・特徴：調査区西側の標高 27.6m 付近の高位部に位置し、P-20 に隣接する。H-15 の覆土を掘り込み、それより新しい。RM 層掘り下げ後、H-15 覆土上面で円形の黒褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土は自然堆積土に近い黒褐色土 (1 層) がほとんどでその下部には焼土 (Hf-1) が検出された。坑底は平坦で、壁は斜めに立ち上がる。平面形は円形である。遺物は剥片 2 点、礫 3 点が出土した。

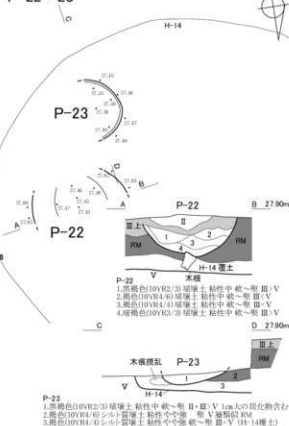
時期：H-15 より新しく、縄文時代前期後半以降である。

(鈴木)

P-20・21



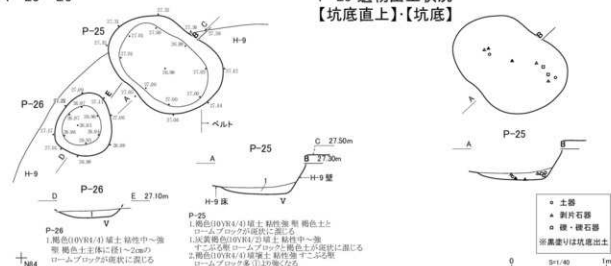
P-22・23



P-24



P-25・26



図VI-187 土坑 (6) P-20～26

土坑 22 (P-22) (図VI-187、表VI-2、図版 117)

調査・特徴: 調査区西側の標高 27.8m 付近の高位部に位置し、P-23 に隣接する。H-14 覆土掘り下げ中、土層観察用ベルト断面で褐色～暗褐色土の堆積を確認し、残存するベルト部のみ掘り下げて調査を行った。形態は碗状である。遺物はⅡ群 b 類土器 2 点、剥片 7 点、礫 14 点が出土した。

時期: H-2RM 層を掘り込み、H-2 より新しく、縄文時代前期後半円筒下層 d1 式以降である。 (鈴木)

土坑 23 (P-23) (図VI-187、表VI-2、図版 117・118)

調査・特徴: 調査区西側の標高 27.5m 付近の高位部に位置し、P-22 に隣接する。H-14 覆土掘り下げ中、土層観察用ベルト断面で黒褐色土の堆積を確認し、残存するベルト部のみ掘り下げて調査を行った。坑底は皿状で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土に炭化物を含む。遺物は剥片 1 点、礫 1 点が出土した。

時期: H-2RM 層を掘り込んでいと推定され、H-2 より新しく、縄文時代前期後半円筒下層 d1 式以降である。 (鈴木)

土坑 24 (P-24) (図VI-187、表VI-2、図版 118)

調査・特徴: 調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-1 北東側の周堤盛土 (RM 層) を除去しⅢ下層上面を検出する作業で、Ⅲ下層中に褐色から暗褐色土が円形に落ち込む範囲を検出した。半截して堆積状況と坑底を確認し、土坑と判断した。径 0.65m と小型で、底面は不整でやや湾曲する。覆土は褐色・暗褐色土で黄褐色ロームが混じる。遺物はⅡ群 b 類土器 3 点、剥片 21 点、礫 1 点が出土した。

時期: 時期は RM 層下位でⅢ下層上面を切って構築されているため、縄文時代前期後半と考えられる。 (坂本)

土坑 25 (P-25) (図VI-187・205、表VI-2、図版 118)

調査・特徴: 調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-9 の覆土掘削作業で、H-9 セクションライン C-D に土坑断面を確認した。土層観察から H-9 覆土と床を掘り込んで構築されたと判断できたが、RM 層との関係は不明である。平面は不整楕円形で、底面は概ね平坦に認められた。覆土はロームブロックが混じる褐色土で埋め戻しの可能性がある。遺物は覆土と坑底直上土からⅡ群 b 類土器 8 点、覆土・坑底直上土・坑底からスクレイパー 1 点、剥片 23 点、石核 1 点、礫 10 点が出土した。

時期: 切り合い関係が H-9 より新しいこと、及び出土遺物から、縄文時代前期後半以降と考えられる。 (坂本)

掲載出土遺物: (図VI-205・48・49、図版 217)

土器: 48 はⅡ群 b 類。円筒下層 b2 式で、縄線と単軸絡条体 1 類が施文される。

石器: 49 はスクレイパーⅡ類。主に加工のある左側縁に光沢面が広がる。 (鈴木)

土坑 26 (P-26) (図VI-187、表VI-2、図版 118)

調査・特徴: 調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-9 の調査で床面に土坑輪郭を確認した。H-9 覆土との切り合い関係を土層断面で確認することはできなかった。平面は不整な円形で平坦な底面を持つ。覆土はロームブロックが混じる褐色土で埋め戻しの可能性がある。遺物は覆土からⅡ群 b 類土器 1 点、剥片 1 点、礫 2 点が出土した。

時期: 不明だが縄文時代前期後半以降の可能性はある。 (坂本)

土坑 27 (P-27) (図VI-188・205・206、表VI-2、図版 118・119)

調査・特徴: 調査区西側の標高 27.7m 付近の高位部に位置する。Ⅲ上層掘り下げ後、RM 層上面で黒色土の広がりを確認し、土層観察用のベルトを残して掘り下げた。西側の周縁には RM 層やⅢ下層が崩れた 4・6 層が落ち込み、中央・東側には暗褐色～黒褐色土が堆積し、最上部の中央には自然堆積

土である黒色土（Ⅰ層）が堆積する。本来フラスコ状で、肩の部分（RM層・Ⅲ下層）が崩落した可能性がある。東側の坑底付近には焼土（PF-1）が検出された。坑底は円形で平坦、壁は北・東側はオーバーハングしている。平面形は円形である。遺物はⅡ群b類土器1,012点、時期不明土器5点、石礫1点、石槍1点、両面調整石器2点、つまみ付きナイフ3点、スクレイパー4点、Rフレイク3点、剥片626点、石核2点、扁平打製石器1点、すり石1点、礫251点が出土した。崩れたRM層（4層）・Ⅲ下層（6層）には本来廃棄域にあった多くの遺物が含まれていた。

土壌のフローテーション選別の結果、PF-1からクリ子葉3点が検出された。

時期：RM層の上から掘り込んでいること、覆土中検出PF-1出土の炭化材から4,760±30yrBP（K04-D49）の年代測定値が得られていることから縄文時代前期後半円筒下層d1式期と考えられる。

掲載出土遺物：（図VI-205-50～図VI-206-67、図版217・218）

土器：50～63はⅡ群b類。50は円筒下層b1～b2式。上下沈線で強調された指頭圧痕のある隆帯が口縁部区画帯で、単軸絡条体1類が口縁部には横位に、胴部には縦位に施文される。底部は上げ底で、底角は張り出す。51は円筒下層b1式。口縁部区画帯である刺突のある隆帯の上下に不整絡文、胴部にLR斜行縄文が施文される。内面は貝殻条痕が残る。52は円筒下層b1～b2式。縦の単軸絡条体1類回転文の上に隆帯が貼り付けられる。53は円筒下層b2式。口縁部には縄線が5条横環し、胴部には単軸絡条体1類が縦位に施文される。54は円筒下層c式。横位・鋸歯状の縄線がある。55～57は円筒下層b1～b2式。55は一部LR斜行縄文が確認できる。56・57は異段合摺（LR・RのR撚り）縄文が施文される。58～60は円筒下層c式。58は底部からやや膨らみをもって斜めに立ち上がり、口縁部が外反する。4か所の波状口縁で、2列の斜めの短沈線列で区画された口縁部には、結束第1種羽状縄文が口縁部と中段に巡り、その間に複数の縄線が配置される。地文は自縄自巻縄文である。59a・bは2本1組の組紐状縄線が見られ、59cは直前段反燃RRLが斜めに回転施文される。60はLとRが交互に巻かれた単軸絡条体1類回転文。内面はよく磨かれる。61は円筒下層b1～c式。単軸絡条体1類が施文される。62・63は円筒下層d1～d2式。多軸絡条体が施文され、内面はミガキにより光沢がある。

石器：64は石槍。中央で折損している。65・66はつまみ付きナイフ。65は左右対称の整った両面調整体につまみ部が作出される。66は両面調整の折損品。稜は潰れ、傷も多い。黒曜石製で、産地分析の結果、「赤井川？」産と判定されている（K04-X10）。67はスクレイパーⅡ類。反りのある素材である。（鈴木）

土坑28（P-28）（図VI-188・206、表VI-2、図版119）

調査・特徴：調査区西側の標高27m付近の高位部に位置する。P85区に堆積していたH-1掘り上げ土とみられるRM層を除去した下位で検出した。土層断面の観察でH-16覆土を切って構築された状況を確認した。平面形は円形で平坦な坑底面を有す。壁は垂直に立ち上がり、北～北東壁では若干オーバーハングする。覆土は1・3層が黄褐色ローム（V層）を多く含み、2・3層では炭化物粒も認められた。遺物は覆土～坑底直上土でⅡ群b類土器48点、剥片115点、覆土から石礫2点、Rフレイク2点、礫5点が出土した。

時期：切り合い関係がH-16より新しいこと、および出土遺物から、縄文時代前期後半以降と考えられる。（坂本）

掲載出土遺物：（図VI-206-68、図版218）

土器：68はⅡ群b類。円筒下層b1～b2式で、単軸絡条体1類が横位に施文される。（鈴木）

土坑 29 (P-29) (図VI-188・206、表VI-2、図版 119)

調査・特徴：調査区西側の標高 27.4m 付近の高位部に位置する。西側 (Q88 区) で RM 層掘り下げ後、Ⅲ下層上面で褐色土の広がりを確認し、半截して調査を行った。覆土は最下層に暗褐色土 (6 層)、その上に RM 層に類似した褐色土 (5 層) が厚く落ち込み、暗褐色～褐色土 (2～4 層) が堆積し、最上部に自然堆積層の黒褐色土 (1 層) が堆積する。坑底はほぼ平坦で、南北の壁はオーバークラフする。平面形は楕円形である。P-27 と同様、フラスコ状ビットの肩の RM 層が崩落した可能性がある。遺物はⅡ群 b 類土器 79 点、両面調整石器 2 点、スクレイパー 2 点、R フレイク 2 点、剥片 89 点、石鋸 1 点、加工痕のある礫 1 点、礫 40 点が出土した。

時期：RM 層を掘り込んでいることから H-1・3 より新しく、遺構の形態・出土遺物から縄文時代前期後半以降と考えられる。

掲載出土遺物：(図VI-206・69～71、図版 218)

土器：69・70 はⅡ群 b 類。69 は円筒下層 b1～b2 式。不整綾格文が見られる。70 は円筒下層 b2 式。隆帯で区画された口縁部に横走る単軸絡条体 1 類と縦の縄線が施文される。

石器：71 はスクレイパーⅡ類。腹面の加工により打面部が除去される。(鈴木)

土坑 30 (P-30) (図VI-188、表VI-2、図版 119)

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。P-18 調査の際、壁面に土坑 (P-30) 断面を検出したため、P-18 調査終了後 A-B ラインで半截掘削して、掘り込み形状と土層堆積状況を確認した。遺構のほとんどを P-18 や攪乱で破壊されており、平面形や規模は不明である。覆土はにぶい黄褐色土の 1 層のみである。遺物は時期不明土器 1 点、剥片 3 点が出土した。

時期：切り合い関係が P-18 より古いことから、縄文時代中期後半以前と考えられる。(坂本)

土坑 31 (P-31) (図VI-189・207、表VI-2、図版 119・120)

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。P86 区Ⅳ～Ⅴ層の検出作業で円形を呈する黒褐色土の落ち込みを確認した。平面で南東側の P-34 と切り合い関係を持つことが認められたため、A-B 方向のトレンチを設定し、土層断面によって両者の新旧関係を確認した。また半截掘削により土坑であることを確認した。RM 層との切り合いについては直接土層断面で確認していないが、後述のようにⅣ群 a 類土器が出土しているため RM 層を切って構築されたものとみられる。覆土は 1 層のみで、ロームブロックを主体とする褐色土であった。土坑断面は底がやや湾曲した椀状で、壁は急角度に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類 13 点、Ⅳ群 a 類 2 点、両面調整石器 1 点、R フレイク 1 点、剥片 83 点、礫 3 点が出土した。

時期：出土土器から縄文時代後期前葉の可能性がある。(坂本)

掲載出土遺物：(図VI-207・72・73、図版 218)

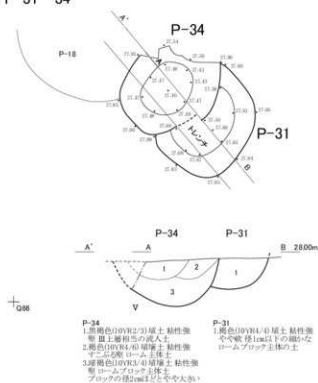
土器：72 はⅣ群 a 類。RL 縄文が口縁部では横、胴部では縦に回転施文され、口唇直下には縄線が 1 条押捺される。胴部には縄線の痕跡が縦に残る。

石器：73 は両面調整石器。右側縁に厚みが残る。(鈴木)

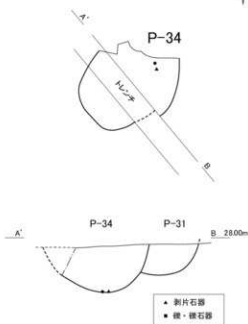
土坑 32 (P-32) (図VI-189、表VI-2、図版 120)

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-16 の検出作業時に、H-16 南壁と覆土を切って構築された土坑平面 (P-32) を検出した。半截掘削で土層断面を確認・記録した後、全体を掘り下げて坑底面を確認した。覆土はロームブロックを主体とする褐色土で構成されていた。RM 層との切り合い関係は不明である。坑底は平坦で壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 16 点、時期不明土器 1 点、つまみ付きナイフ 1 点、剥片 30 点、礫 2 点が出土した。

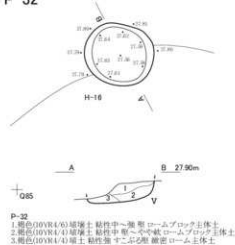
P-31・34



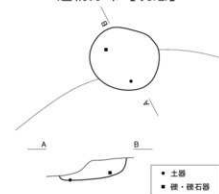
遺物分布【坑底】



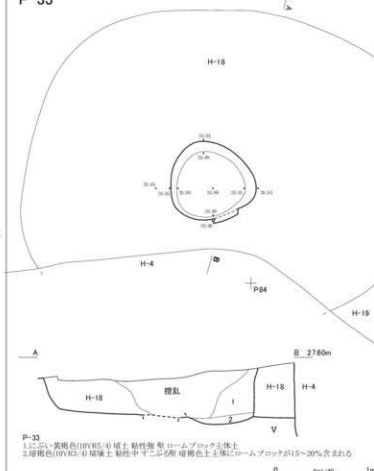
P-32



遺物分布【坑底】



P-33



図VI-189 土坑 (8) P-31～34

時期：切り合い関係がH-16より新しいことと、出土遺物から、縄文時代前期後半以降と考えられる。

(坂本)

土坑 33 (P-33) (図VI-189、表VI-2、図版 120)

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-18 の検出作業時に、H-18 の中央部に覆土を切って構築された土坑平面 (P-33) を検出した。H-18 に設定した土層観察用ベルト A-B ラインで覆土の堆積状況と、RM 層と H-18 との切り合い関係を確認したが、P-33 の南東側 (セクションライン A 側) は攪乱により 1.5m 前後の範囲が破壊されていた。覆土は坑底直上土 (2 層) と坑口付近までの厚い堆積 (1 層) に分けられ、埋め戻し土と考えられる。また P-33 は RM 層とみられる H-18 の 1 層を切って構築している (図VI-120)。土坑の断面形状は寸胴で坑底はやや湾曲気味だが壁は垂直に立ち上がる。遺物は覆土と坑底からⅡ群 b 類土器 9 点、剥片 2 点が出土した。

時期：切り合い関係が H-18 および RM 層より新しいため、縄文時代前期後半以降と考えられる。

(坂本)

土坑 34 (P-34) (図VI-189・207、表VI-2、図版 119・120)

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。P86 区Ⅳ～Ⅴ層の検出作業で楕円形を呈する黒褐色土の落ち込みを確認した。平面で北西側の P-31 との切り合い関係が認められたため、A-B 方向のトレンチを設定し、土層断面によって両者の新旧関係を確認した。また半載掘削により土坑であることを確認した。RM 層との切り合いについては直接土層断面で確認していないが、本遺構より古い P-31 からⅣ群 a 類土器が出土しているため RM 層を切って構築されたと考えられる。覆土は黄褐色ローム主体の 2・3 層上位にⅢ層相当の 1 層が堆積していた。土坑断面は桶状で坑底が湾曲し、壁は急角度に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 15 点、時期不明土器 14 点、石鏃 1 点、剥片 49 点、礫 2 点が出土した。

時期：縄文時代後期前葉と考えられる P-31 より新しい切り合い関係と、覆土上部のⅢ層の堆積から、縄文時代後期前葉以降から 10 世紀以前と考えられる。

(坂本)

掲載出土遺物：(図VI-207-74、図版 218)

石器：74 は石鏃Ⅲ c 類。

(鈴木)

土坑 35 (P-35) (図VI-190、表VI-2、図版 120)

調査・特徴：南西側が平成 27 年度、北東側が平成 28 年度の調査区となる。平成 27 年度はⅢ下層を除去後、Ⅴ層上面で半円形の黒色土の広がりを確認した。調査区境界の壁面で土層を記載し、調査を行った。覆土は黒色土 (覆土 1) が大半を占めるが、中程に暗褐色土 (覆土 2) が混入している。埋め戻しの可能性がある。平成 28 年度は前年の記録を元にⅢ下層上面で広がりを確認し、調査を行った。坑底はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 2 点、剥片 6 点、礫 8 点が出土した。

時期：周辺の遺物から縄文時代前期後半と考えられる。

(皆川・直江)

土坑 36 (P-36) (図VI-190、表VI-2、図版 120)

調査・特徴：調査区西側の標高 27.3m 付近の高位部に位置する。K ラインセクションの H-2 覆土中で検出し、南側のみ調査を行った。南側は一部調査区外に伸びている。覆土は最下層を除き自然堆積層である。坑底は丸く、壁は緩やかに斜めに立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 1 点、剥片 14 点、すり石 1 点、礫 2 点が出土した。

時期：H-2 より新しく、縄文時代前期後半円筒下層 d1 式期以降である。

(鈴木)

土坑 37 (P-37) (図VI-190・207、表VI-2、図版 120)

調査・特徴 調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-19 覆土の掘削作業時に両遺構が接する地点に構築された土坑 (P-37) を確認した。土層の断面観察により P-37 が H-18 覆土を掘り込む状況を認めたが、H-19 との切り合い関係は確認できなかった。また P-37 の坑底は H-19 床面より下位に構築されていた。覆土はロームブロックと暗褐色・黒褐色の土が斑状に混じった流入土とみられる 2・3 層の上位に、RM 層に類似した 1 層が堆積していた。平面形状は楕円形、坑底は平坦、壁は東側が急角度、西側がやや緩やかに立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 16 点、スクレイパー 1 点、石錐 1 点、R フレイク 2 点、剥片 165 点、扁平打製石器 1 点、すり石 1 点、砥石 2 点、礫 12 点が出土した。
時期：切り合い関係が H-18 より新しいこと、RM 層に類似する層が覆土上部に認められることから、縄文時代前期後半と考えられる。(坂本)

掲載出土遺物：(図VI-207-75 ～ 77、図版 219)

土器：75 はⅡ群 b 類。円筒下層 b2 式。胴部中段の沈線による区画の中に不整綾格文が施文される。
石器：76 は扁平打製石器Ⅳ類。薄くはがれた扁平な素材である。77 は砥石。表裏に複数の幅広、一部浅い溝状のすり面や線状痕が残る。折れ面が多く、折損後の利用や素材の分割が行われた可能性がある。(鈴木)

土坑 38 (P-38) (図VI-190、表VI-2、図版 121)

調査・特徴 調査区西側の標高 27.4m 付近の高位部に位置する。RM 層掘り下げ後、Ⅲ下層上面で円形の黄褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土はⅤ層に類似した黄褐色土 (1・3 層) が主体で、間に暗褐色土 (2 層) が挟まる。1 層は RM 層と推定される。坑底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物は剥片 4 点が出土した。
時期：RM 層が堆積することから周堤の構築以前で、縄文時代前期後半円筒下層 b1 ～ d1 式期と考えられる。(鈴木)

土坑 39 (P-39) (図VI-190、表VI-2、図版 121)

調査・特徴 Ⅲ層を除去後、Ⅴ層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認した。トレンチ調査を行い坑底面と壁面を確認後、調査を行った。覆土は黒褐色土 (覆土 1) のみで埋め戻しと考えられる。坑底は平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物は剥片 4 点、礫 3 点が出土した。
時期：不明である。(皆川・直江)

土坑 40 (P-40) (図VI-190、表VI-2、図版 121)

調査・特徴 調査区西側の標高 27.3m 付近の高位部に位置する。Ⅲ下層掘り下げ後、Ⅴ層上面で H-1 壁際に黒褐～暗褐色土の半円形の広がりを確認した。H-1 の壁で土層断面を記録して調査を行った。覆土は暗褐・黒褐色土が斜めに堆積し、坑底は皿状、壁は斜めに立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 1 点、剥片 1 点、礫 4 点が出土した。
時期：覆土の状況などから H-1 より新しく、縄文時代前期後半円筒下層 d1 式期以降である。(鈴木)

土坑 41 (P-41) (図VI-190・207、表VI-2、図版 121)

調査・特徴 調査区中央部のやや北西側の標高 26.5m 付近の斜面部に位置する。H-20 の床面検出時に 2 基の土坑輪郭を確認した (P-41・42)。H-20 土層断面 A-B (図VI-124) の観察では、P-41・42 上位に H-20 覆土が堆積しており、切り合い関係は H-20 より古いと考えられる。但し、規模から単独の土坑と判断したが、H-20 の付属施設 (柱穴など) の可能性もある。覆土は坑底直上に炭化物を多く含む粘性が非常に強い 6 層がみられ、その上位は崩落土とみられるロームブロックを主体とする 1 ～ 5 層が堆積する。平面は円形、坑底は平坦で壁は急角度に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 12 点、

Ⅲ群 a 類土器 9 点、R フレイク 3 点、剥片 20 点、石のみ 1 点、たたき石 1 点、礫 10 点が出土した。

時期：坑底直上土出土の炭化材から $4,510 \pm 20\text{yrBP}$ (K04-D50) の年代測定値が得られている。この結果と出土遺物から縄文時代中期前半円筒上層 a2 式期と考えられる。また、H-20 の付属施設の可能性があり、H-20 が縄文時代中期前半円筒上層 a2 式期と判断されたことと整合する。 (坂本)

掲載出土遺物：(図 VI-207-78・79、図版 219)

石器：78 は石のみ。扁平な川原石の細い末端部に刃部が作出される。79 はたたき石 I a2 類。

(鈴木)

土坑 42 (P-42) (図 VI-190、表 VI-2、図版 122)

調査・特徴：調査区中央部のやや北西側の標高 26.5m 付近の斜面部に位置する。H-20 の床面検出時に 2 基の土坑輪郭を確認した (P-41・42)。H-20 土層断面 A-B (図 IV-124) の観察では、P-41・42 上位に H-20 覆土が堆積しており、切り合い関係は H-20 より古いと考えられる。規模から単独の土坑と判断したが、H-20 の付属施設 (柱穴など) の可能性もある。覆土は褐色土の 1 層のみである。平面は円形で浅鉢状である。遺物はⅡ群 b 類土器 2 点、剥片 4 点、礫 2 点が出土した。

時期：切り合い関係が H-20 よりも古いことから縄文時代中期前半以前と考えられる。 (坂本)

土坑 43 (P-43) (図 VI-191・207・208、表 VI-2、図版 143)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、Ⅳ～Ⅴ層上面で半円形の暗褐色土の広がりを確認した。南西側約半分は調査区外に続いている。調査区境界の壁面で土層を記載し、調査を行った。坑底に褐色土 (覆土 2) が厚くみられ、壁際に黒褐色土 (覆土 3)、それらの上位に黒褐色土 (覆土 1) が部分的に堆積する。自然堆積とみられる。坑底はほぼ平坦で、壁は垂直気味に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 8 点、Ⅳ群 a 類土器 11 点、剥片 4 点、石核 1 点、擦切残片 1 点、礫 25 点が出土した。

時期：出土遺物から縄文時代後期前葉の可能性もある。 (皆川・直江)

掲載出土遺物：(図 VI-207-80～図 VI-208-82、図版 219)

土器：80 はⅡ群 b 類。円筒下層 b2 式で、沈線の口縁部区画と不整綾絡文が見られる。81 はⅣ群 a 類。LR 縄文が縦回転で施文される。

石器：82 は擦切残片。厚さ 4 cm ほどの原石の縁辺に相当する。表裏からの擦り切りにより分割されるがその位置がずれている。分割時に上部も同時に割れている。 (鈴木)

土坑 44 (P-44) (図 VI-191・208、表 VI-2、図版 122)

調査・特徴：調査区西側北縁の標高 27.5m 付近の高位部に位置する。Ⅲ下層掘り下げ中、円形の褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土は下部に暗褐色土 (3 層)、上部に褐色土 (1・2 層) が堆積している。坑底はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がり、一部オーバーハングが見られる。遺物はⅡ群 b 類土器 35 点、つまみ付きナイフ 1 点、スクレイパー 1 点、剥片 26 点、礫 25 点が出土した。

時期：覆土に RM 層が含まれないことから縄文時代前期後半以降と考えられる。

掲載出土遺物：(図 VI-208-83～86、図版 219)

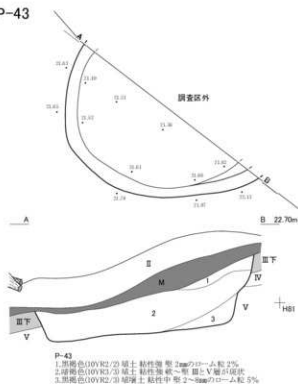
土器：83～85 はⅡ群 b 類。83・85 は円筒下層 b1～b2 式、83 は指頭圧痕のある隆帯が見られる。84 は円筒下層 b2 式。口縁部区画帯である隆帯は上下に半裁竹管状工具で引かれた沈線によって強調され、胴部には多軸絡条体の回転文が見られる。

石器：86 はスクレイパーⅣ類。右側縁は鋸歯状である。 (鈴木)

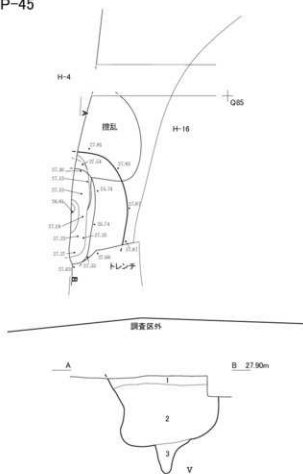
土坑 45 (P-45) (図 VI-191、表 VI-2、図版 122)

調査・特徴：調査区西側の標高 27.4m 付近の高位部に位置する。H-4 の調査で壁面に土坑の断面を認めたため、土層断面を記録し、掘り上げてフラスコ状の土坑形状を確認した。H-4 との切り合い関係

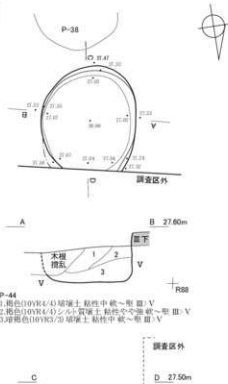
P-43



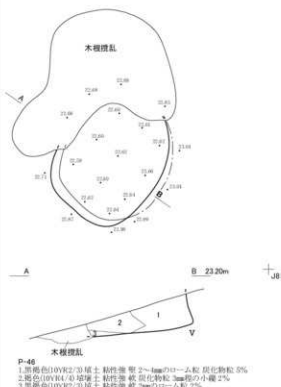
P-45



P-44



P-46



図VI-191 土坑 (10) P-43 ~ 46

は不明であるが、H-1 に周辺に構築されたフラスコ状土坑に規模や構築状況が類似する。坑底はやや傾斜し、中央に深さ 30 cm ほどの小ビットが認められる。覆土は黄褐色土が坑底から厚く堆積しており埋め戻しの可能性が考えられ、その上位にⅢ層相当の暗褐色土が堆積する。遺物は R フレイク 1 点、剥片 2 点が出土した。

時期：不明であるが、H-1 周辺で確認されたフラスコ状土坑 P-18・19 に類似することから、縄文時代前期後半～中期後半の可能性が考えられる。(坂本)

土坑 46 (P-46) (図 VI-191、表 VI-2、図版 122・123)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V 層上面で楕円形の黒褐色～褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に黒褐色土(覆土 3)が薄くみられ、上位に褐色土(覆土 2)と黒褐色土(覆土 1)が厚く堆積する。自然堆積とみられるが、周囲の木根攪乱の影響により、土層の堆積が不安定となっている。坑底は平坦で、壁は一部がオーバーハングする。フラスコ状土坑であった可能性がある。遺物はⅡ群 b 類土器 1 点、剥片 8 点、礫 26 点が出土した。

時期：不明である。(皆川・直江)

土坑 47 (P-47) (図 VI-192)

調査・特徴：調査区西側北縁の標高 27.4m 付近の高位部に位置する。H-3 北壁断面で、H-3 覆土中に黒褐色～褐色土の落ち込みを確認し、断面図のみ記録を取った。覆土は、下部は褐色土(4 層)が厚く、上部は暗褐色土(3 層)、Ⅲ上層(2 層)、Ⅱ下層(1 層)がレンズ状に堆積する。坑底はほぼ平坦で H-3 床面をわずかに掘り込み、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物は出土していない。

時期：H-3 より新しく、縄文時代前期後半円筒下層 d1 式期以降である。(鈴木)

土坑 48 (P-48) (図 VI-192・208、表 VI-2、図版 123)

調査・特徴：調査区東側の標高 23.8m 付近の斜面部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V 層上面で円形の黒色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土はⅡ～Ⅲ層に相当する黒色土のみである。坑底はやや斜めに傾き、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物はⅣ群 a 類土器 1 点、剥片 3 点、加工痕のある礫 1 点、礫 11 点が出土した。

時期：出土遺物・周辺の遺構などから縄文時代後期前葉の可能性がある。

掲載出土遺物：(図 VI-208-87・88、図版 219)

土器：87 の時期は判然としないが、砂が多くⅣ群 a 類とした。尖底状のミニチュア土器。

石器：88 は加工痕のある礫。対向する位置に敲打痕がある。(鈴木)

土坑 49 (P-49) (図 VI-192、表 VI-2、図版 123)

調査・特徴：調査区東側の標高 23.7m 付近の斜面部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V 層上面で円形の黒褐色土の広がりとその中央に斜めに刺さる盤状の頁岩原石を検出し、半載して調査を行った。覆土は下部に暗褐色土(2 層)、黒褐色土(3 層)、上部にⅡ～Ⅲ層に相当する黒褐色土(1 層)が堆積する。坑底はやや斜めで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 1 点、剥片 3 点、原石 1 点が出土した。

時期：不明である。(鈴木)

土坑 50 (P-50) (図 VI-192・208、表 VI-2、図版 123)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V 層上面で楕円形の黒褐色土の広がりと礫を中心とした遺物の集中を確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底ににがい黄褐色土(覆土 2)、上位に黒褐色土(覆土 1)が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は平坦だが斜面に沿って傾斜している。壁は開き気味に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 7 点、剥片 4 点、礫 117 点が出土した。

時期：出土遺物から縄文時代前期後半の可能性がある。(直江)

掲載出土遺物：(図VI-208-89、図版 219)

土器：89 の時期は判然としなが II 群 b 類とした。外側の表面は剥落し、内面はRLR 縄文が縦に回転施文される。砂が多く含まれ、重量感がある。(鈴木)

土坑 51 (P-51) (図VI-193、表VI-2、図版 123・124)

調査・特徴：III層を除去後、V層上面で不整形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に褐色土(覆土2)、上位に黒褐色土(覆土1)が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は湾曲し、壁は開き気味に立ち上がる。遺物はIV群 a 類土器 4 点、礫 1 点が出土した。

時期：不明である。(直江)

土坑 52 (P-52) (図VI-193、表VI-2、図版 124・136)

調査・特徴：III層を除去後、V層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に黒褐色土(覆土2)が厚く堆積し、壁際に薄く暗褐色土(覆土3)がみられる。上位に黒褐色土(覆土1)が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は平坦で、壁はオーバーハングするフラスコ状土坑である。遺物はII群 b 類土器 5 点、剥片 1 点、扁平打製石器 1 点、礫 2 点が出土した。

時期：不明である。(鈴木)

土坑 53 (P-53) (図VI-193、図版 124)

調査・特徴：調査区東側の標高 25.7m 付近の斜面部に位置する。III層掘り下げ後、V層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土はIII層に相当する黒褐色土のみである。坑底はやや傾斜し、壁は斜めに立ち上がる。遺物は出土していない。

時期：不明である。(鈴木)

土坑 54 (P-54) (図VI-193・208、表VI-2、図版 107・124)

調査・特徴：III層を除去後、V層上面でH-33に切られた楕円形のぶい黄褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土はにぶい黄褐色土(覆土1)のみで埋め戻しと考えられる。坑底は緩やかに湾曲し、壁は開き気味に立ち上がる。遺物はIII群 a 類土器 24 点、III群 b 類土器 2 点、IV群 a 類土器 1 点、礫 54 点が出土し、特に覆土上面からIII群 a 類土器がまとまって出土した。

時期：H-33 より古い重複関係と出土遺物から縄文時代中期前半と考えられる。(直江)

掲載出土遺物：(図VI-208-90・91、図版 219)

土器：90・91 はIII群 a 類で、サイベ沢Ⅶ式。90 は口縁部破片で粘土紐の貼付と口唇部外側の縄の側面圧痕が見られる。91 は結節の回転文が 3 段確認できる。(鈴木)

土坑 55 (P-55) (図VI-193、表VI-2、図版 107)

調査・特徴：III層を除去後、V層上面でH-33を切る楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は黒褐色土(覆土1)のみで埋め戻しと考えられる。坑底は緩やかに湾曲し、壁は開き気味に立ち上がる。遺物はII群 b 類土器 1 点、剥片 4 点、礫 1 点が出土した。

時期：H-33 より新しい重複関係から縄文時代中期前半以降と考えられる。(直江)

土坑 56 (P-56) (図VI-193、表VI-2、図版 124・125)

調査・特徴：III層を除去後、V層上面で円形の黒褐色～暗褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は 3 層に分かれ、坑底には黒褐色土(覆土2・3)が厚くみられ、上位に暗褐色土(覆土1)が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は湾曲し、壁は開き気味に立ち上がる。遺物は礫 15 点が出土した。

時期：不明である。(直江)

土坑 57 (P-57) (図VI-193、表VI-2、図版 125)

調査・特徴: III層を除去後、V層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は黒褐色土(覆土1)のみで埋め戻しとみられる。坑底は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。遺物はII群b類土器1点、剥片1点、礫36点が出土した。

時期: 不明である。

(直江)

土坑 58 (P-58) (図VI-194・208、表VI-2、図版 125)

調査・特徴: III層を除去後、V層上面でF-19の下位に不整な楕円形の黒～黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は壁際の崩落土(覆土6)を挟んで坑底に黒褐色土(覆土7)が厚くみられ、上位に黒褐色土を中心とした覆土2～5が堆積する。最上位の覆土1は暗赤褐色土で、F-19の影響で赤色化した可能性がある。自然堆積とみられる。坑底は緩やかに湾曲し、壁はオーバーハングするフラスコ状土坑である。遺物はII群b類土器1点、IV群a類土器22点、両面調整石器1点、剥片2点、礫58点が出土し、特に覆土中位からIV群a類土器片がまとまって、坑底からは礫が6点出土した。

時期: F-19より古い重複関係と出土遺物から縄文時代後期前葉と考えられる。

(直江)

掲載出土遺物: (図VI-208-92、図版 220)

土器: 92はIV群a類。B地区H-35覆土出土資料と接合する。円筒形に近い器形で、口縁部が折り返しにより肥厚し、LR縄文が粘土の堅い状態で浅く施文される。

(鈴木)

土坑 59 (P-59) (図VI-194、表VI-2、図版 125)

調査・特徴: III層を除去後、V層上面でH-34を切る楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は黒褐色土を分層(覆土1・2)した。埋め戻しとみられる。坑底は平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物は礫1点が出土した。

時期: H-34より新しい重複関係から縄文時代中期後半以降と考えられる。

(直江)

土坑 60 (P-60) (図VI-194、表VI-2、図版 125)

調査・特徴: III層を除去後、V層上面で楕円形の暗褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に褐色土(覆土4)が薄く広がり、上位に黒褐色土(覆土3)、暗褐色土(覆土1)が厚くみられる。覆土2はにぶい黄褐色土で壁際にわずかに堆積する。自然堆積とみられる。坑底は緩やかに湾曲し、壁はわずかに開き気味に立ち上がる。遺物は礫28点が出土した。

時期: 不明である。

(直江)

土坑 61 (P-61) (図VI-194、表VI-2、図版 126)

調査・特徴: III層を除去後、V層上面で楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に褐色土(覆土3)が薄く広がり、上位に暗褐色土(覆土2)、黒褐色土(覆土1)が厚く堆積する。自然堆積とみられる。坑底はほぼ平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物は剥片1点、礫1点が出土した。

時期: 不明である。

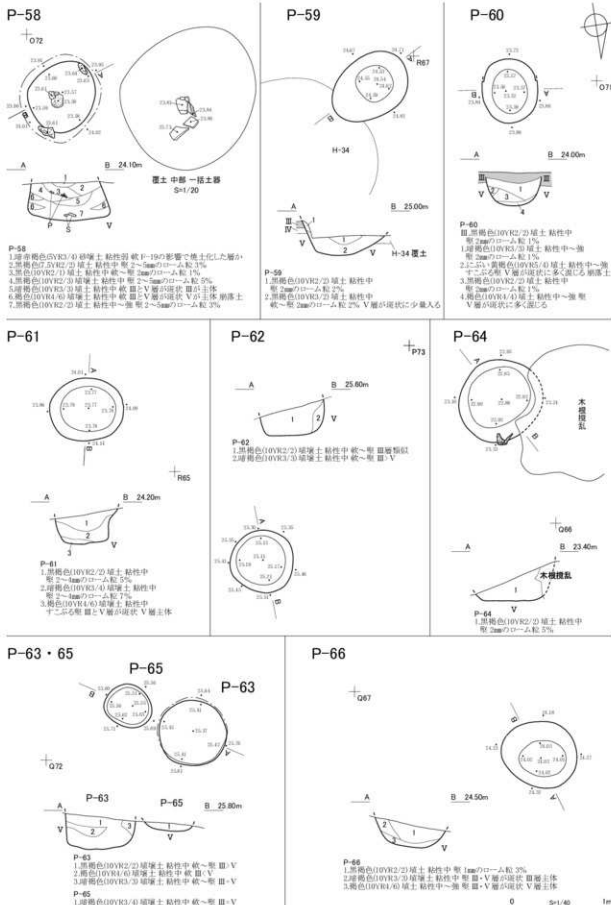
(直江)

土坑 62 (P-62) (図VI-194、表VI-2、図版 126)

調査・特徴: 調査区東側の標高25.4m付近の斜面部に位置する。III層掘り下げ後、V層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土はIII層に類似した黒褐色土が主体である。坑底は平坦で、壁はやや丸みを帯びて垂直に立ち上がる。遺物は剥片7点が出土した。

時期: 不明である。

(鈴木)



図VI-194 土坑 (13) P-58 ~ 66

土坑 63 (P-63) (図VI-194、図版 126)

調査・特徴: 調査区東側の標高 25.7m 付近の斜面部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認し、半截して調査を行った。覆土は黒褐色土(1層)が主体で褐色土(2層)が挟在する。坑底はほぼ平坦で、壁は垂直に立ち上がる。遺物は出土していない。

時期: 不明である。

(鈴木)

土坑 64 (P-64) (図VI-194、表VI-2、図版 126)

調査・特徴: Ⅲ層を除去後、V層上面で楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。半截して調査を行った。覆土は黒褐色土(覆土1)のみで埋め戻しとみられる。坑底は平坦で、壁はやや開き気味に立ち上がる。遺物は剥片2点が出土した。

時期: 不明である。

(直江)

土坑 65 (P-65) (図VI-194、図版 126・127)

調査・特徴: 調査区東側の標高 25.6m 付近の斜面部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で円形の暗褐色土の広がりを確認し、半截して調査を行った。覆土は暗褐色土のみである。坑底は皿状で、壁は斜めに立ち上がる。遺物は出土していない。

時期: 不明である。

(鈴木)

土坑 66 (P-66) (図VI-194、表VI-2、図版 127)

調査・特徴: Ⅲ層を除去後、V層上面で不整な楕円形の黒褐色～暗褐色土の広がりを確認した。半截して調査を行った。覆土は坑底に褐色土(覆土3)が薄く広がり、上位には壁際の方に暗褐色土(覆土2)がみられ、全体に黒褐色土(覆土1)が厚く堆積する。自然堆積とみられる。坑底はほぼ平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物は剥片2点が出土した。

時期: 不明である。

(直江)

土坑 67 (P-67) (図VI-195・209、表VI-2、図版 127)

調査・特徴: Ⅲ層を除去後、V層上面で楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。北側の落ち込み(P-68)との切り合いを想定し、十字ベルトとトレンチにより土層を確認し、調査を行った。覆土は坑底に暗褐色土(覆土4)が薄く広がり、上位に3枚の黒褐色土(覆土1～3)が堆積する。自然堆積とみられる。P-68との切り合い関係は攪乱により不明である。坑底はほぼ平坦で、壁はやや開き気味に立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器11点、Ⅲ群a類土器6点、剥片19点、石核2点、たたき石1点、加工痕のある礫1点、礫21点が出土した。

時期: 出土遺物から縄文時代中期前半の可能性がある。

(直江)

掲載出土遺物: (図VI-209-93、図版 220)

土器: 93はⅡ群b類。円筒下層b1～b2式。不整綾絡文が横位に巡り、胴部中段に相当する。(鈴木)

土坑 68 (P-68) (図VI-195・209、表VI-2、図版 127)

調査・特徴: Ⅲ層を除去後、V層上面で不整な楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。南側の落ち込み(P-67)との切り合いを想定し、十字ベルトとトレンチにより土層を確認し、調査を行った。覆土は坑底に暗褐色土(覆土7)が薄く広がり、上位に2枚の黒褐色土(覆土5・6)が堆積する。自然堆積とみられる。また、土層観察によりP-68を切るP-72の存在が判明した。P-67との切り合い関係は不明である。坑底はほぼ平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器2点、Ⅲ群a類土器3点、Ⅲ群b類土器1点、石鏃1点、両面調整石器1点、Rフレイク2点、剥片27点、礫8点が出土した。

時期: P-72より古い重複関係と出土遺物から縄文時代中期後半以前と考えられる。

(直江)

掲載出土遺物：(図VI-209-94、図版220)

土器：94はⅢ群a類。結節の回転文と沈線が確認できる。(鈴木)

土坑69(P-69)(図VI-195、図版128)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、Ⅴ層上面で確認したH-34の床面を調査中に楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は黒褐色土(覆土1)のみで埋め戻しとみられる。坑底はほぼ平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物は出土していない。

時期：H-34より古い重複関係から縄文時代中期後半以前と考えられる。(直江)

土坑70(P-70)(図VI-195・209、表VI-2、図版128)

調査・特徴：調査区中央北側の標高27m付近の斜面部上部に位置する。当初、H-27として掘り下げたが、東側の壁が広がり、坑底が下がり、Rラインの断面にもH-27の覆土を切る土層が確認されたため、異なる土坑と判断し、P-70として調査を行った。覆土は下部にⅤ層に類似したしまりの弱い黄褐色土が厚く堆積し、上部はH-27に隣接する西側にはその覆土が流れ込み(4～8層)、その上には黄褐色土(2層)、褐色土(1層)が堆積している。坑底・壁ともに分りにくく、しまりで区分した結果、坑底はほぼ平坦、壁はやや斜めに立ち上がった。遺物はⅡ群b類土器9点、石礫1点、スクレイパー1点、Rフレイク1点、剥片7点、礫17点が出土した。

時期：H-27より新しく、出土遺物から縄文時代前期後半以降と考えられる。

掲載出土遺物：(図VI-209-95・96、図版220)

石器：95は石礫I b類。尖鋭な先端部を欠損する。96はスクレイパーIV類。大型剥片素材である。

(鈴木)

土坑71(P-71)(図VI-196、表VI-2、図版128)

調査・特徴：調査区東側の標高26.9m付近の斜面部上部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、Ⅴ層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土は坑底周縁に暗褐色土(2層)、上部に黒褐色土(1層)が堆積し、確認面の中央には風化した砂岩礫が出土した。坑底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物は礫3点が出土した。

時期：不明である。(鈴木)

土坑72(P-72)(図VI-195・209、表VI-2、図版127～129)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、Ⅴ層上面で確認したP-68の土層を調査中にP-68を切る黒褐色土の落ち込みを確認し、調査を行った。覆土は黒褐色土(覆土8)のみで埋め戻しとみられる。坑底は平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物はⅢ群b類土器4点、剥片8点が出土した。

時期：P-68より新しい重複関係と出土遺物から縄文時代中期後半の可能性がある。(直江)

掲載出土遺物：(図VI-209-97、図版220)

土器：97はⅢ群b類。くびれて外反する波状の口縁部。口唇には縄線が頸部には沈線が施文され、外傾接合である。(鈴木)

土坑73(P-73)(図VI-196・209、表VI-2、図版129)

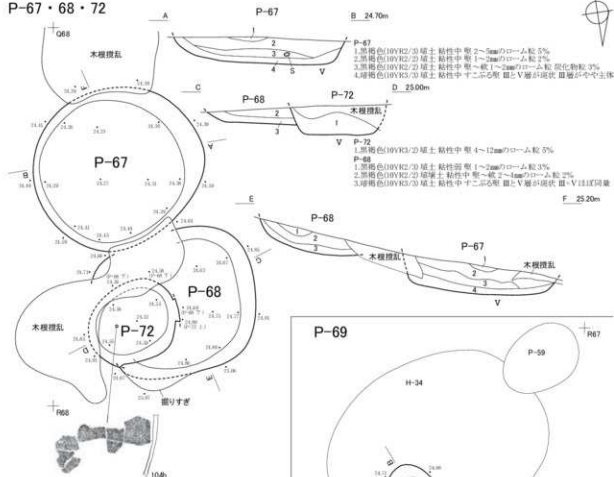
調査・特徴：Ⅲ層を除去後、Ⅴ層上面で楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は黒褐色土(覆土1)のみで埋め戻しとみられる。坑底はほぼ平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器118点、剥片3点、礫9点が出土した。

時期：出土遺物から縄文時代前期後半円筒下層d2式期と考えられる。(直江)

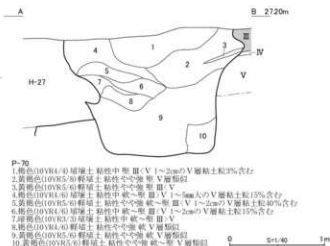
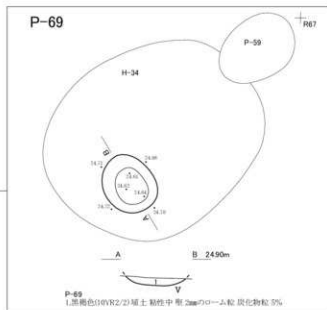
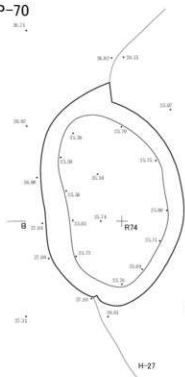
掲載出土遺物：(図VI-209-98、図版220)

土器：98はⅡ群b類。円筒下層d2式。口縁部はくびれて外反する。外面は風化が激しく、文様は判

P-67・68・72



P-70



図VI-195 土坑 (14) P-67 ~ 70・72

然としなが、口縁部の上下は縄線で区画され、その中に斜めの縄線が充填される。内面はミガキにより光沢がある。

(鈴木)

土坑 74 (P-74) (図VI-196・209・210、表VI-2、図版 129・130・132)

調査・特徴：調査区東側の標高 26.3m 付近の斜面部上部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、Ⅴ層上面で楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。その長・短軸方向に土層観察用の十字ベルトを設定し、四分分割して調査を行った。覆土は黒色土主体の上部と黄褐色土主体の下部に分かれる。1・2層は流れ込みまたは自然堆積とみられるが、その下位は黄褐色土・黒褐色土の順に埋め戻され、黄褐色土は東・北側に厚く堆積する。7層には炭化物が多量に含まれ、土器の破片や礫なども東西の壁際から出土した。坑底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がり、上部で少しくびれる。遺物はⅡ群b類土器12点、Ⅲ群b類土器246点、剥片234点、石核5点、たたき石1点、原石2点、礫57点が出土した。

時期：P-85より新しい。覆土7層出土の炭化物から4,200±20yrBP (K04-D51)の年代測定値が得られている。この年代値と出土遺物から縄文時代中期後半榎林式期と考えられる。

掲載出土遺物：(図VI-209-99～図VI-210-109、図版 220・221)

土器：99～107はⅢ群b類。99は底部からわずかに膨らみを持ちながら斜めに立ち上がる。口縁部は若干肥厚し、4か所に縦の貼付が付く。貼付の上部は小突起状で、口唇部には押引き文が施される。地文はLR斜行縄文で、上部は回転方向がややランダムである。100は波状の口縁部で、口唇に沿って、また波頂部から垂下して沈線が描かれる。101は胴部片で、RLR斜行縄文地に横位の押引き文と沈線文が見られる。外傾接合。102・103は口唇部に刺突があり、103には小突起がある。104は頸部がくびれて口縁部が外反する。口縁部には小突起が付き、口唇部には縄線が押捺される。LR縄文は単位が小さく、回転方向が少しずつ変化し、表面には縄文の単位で細かな凹凸がある。105・106は低い波状の口縁部で単軸絡条体1類が縦に施文される。107は角の張り出した底部から斜めに直線的に立ち上がる。地文は不明瞭であるがLR縄文を縦に回転させている。

石器：108は剥片。ざらついた平坦な原礫面を持つ黒曜石製で、産地分析では「赤井川」産と判定された (K04-X11)。109はたたき石Ⅰa2類。

(鈴木)

土坑 75 (P-75) (図VI-196、表VI-2、図版 130)

調査・特徴：調査区東側の標高 25.1m 付近の斜面部上部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、Ⅴ層上面で円形の黒褐色～暗褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土は暗褐色土 (2層) 主体で、上部中央にⅢ層に類似した黒褐色土 (1層) が堆積する。坑底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器1点、礫2点が出土した。

時期：出土遺物から縄文時代前期後半の可能性がある。

(鈴木)

土坑 76 (P-76) (図VI-197、図版 130)

調査・特徴：調査区東側の標高 27.0m 付近の斜面部上部に位置する。H-32調査時に床面で暗褐色土の広がりを確認した。H-32の調査後に半載して調査を行った。覆土は暗褐色土のみで、坑底は皿状で、壁は斜めに立ち上がる。遺物は出土していない。

時期：H-32より古く、縄文中期後半以前と考えられる。

(鈴木)

土坑 77 (P-77) (図VI-197、表VI-2、図版 130)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、Ⅴ層上面で円形の黒褐色～暗褐色土の広がりを確認した。半載したところ重複する遺構と判明し、中央の黒褐色土の落ち込みをP-77、それに切られる周囲の暗褐色土の落ち込みをP-83とした。覆土は坑底に暗褐色土 (覆土3) が厚く堆積し、壁際には黄褐色土 (覆土4)、黒褐色土 (覆土5)、暗褐色土 (覆土6・7) の崩落土と流れ込みの互層がみられる。さらに上位には

图VI-196 土坑(15) P-71·73 ~ 75·85

暗褐色土（覆土2）、黒褐色土（覆土1）がレンズ状に堆積する。自然堆積とみられる。坑底は平坦で、壁はオーバーハングするフラスコ状土坑である。遺物はⅡ群b類土器4点、Ⅲ群b類土器1点、時期不明土器3点、石鏝1点、スクレイパー1点、剥片91点、石核2点、礫48点が出土した。

時期：不明である。

（直江）

土坑 78 (P-78) (図VI-197、表VI-2、図版131)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で楕円形の黒褐色～褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に褐色土（覆土2）が薄く広がり、上位に黒褐色土（覆土1）が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物は剥片1点、加工痕のある礫1点、礫7点が出土した。

時期：不明である。

（直江）

土坑 79 (P-79) (図VI-197・211、表VI-2、図版131)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に暗褐色土（覆土2）が薄く広がり、上位に黒褐色土（覆土1）が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器30点、Uフレイク1点、剥片58点、石核1点、すり石1点、たたき石1点、礫46点が出土した。

時期：出土遺物から縄文時代前期後半の可能性ある。

（直江）

掲載出土遺物：（図VI-211-110・111、図版221）

土器：110はⅡ群b類。円筒下層b1～b2式。口縁部区画帯の隆帯と口縁部の不整絨絨文が見られる。

石器：111は石核Ⅱa類。20cmを超える大型原石素材である。上面を打面として主に側面3面で剥離が行われ、上面視は三角形である。

（鈴木）

土坑 80 (P-80) (図VI-197、図版131)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で不整な楕円形の暗褐色～褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に褐色土（覆土2）が厚くみられ、上位の一部に暗褐色土（覆土1）が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物は出土していない。

時期：不明である。

（直江）

土坑 81 (P-81) (図VI-197、表VI-2、図版132)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で楕円形の黒褐色～黄褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底と壁際の一部に黄褐色土（覆土4）、上位に褐色土（覆土2・3）、黒褐色土（覆土1）が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は平坦で、壁は北側のみ垂直に立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器3点、剥片2点、礫1点が出土した。

時期：出土遺物から縄文時代前期後半の可能性ある。

（直江）

土坑 82 (P-82) (図VI-198、表VI-2、図版132)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は黒褐色土（覆土1）のみで埋め戻しとみられる。坑底は平坦で、壁はオーバーハングするフラスコ状土坑である。遺物はⅡ群b類土器1点、Ⅲ群b類土器1点、Ⅳ群a類土器1点、剥片5点、礫14点が出土した。

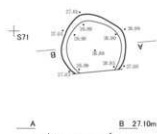
時期：不明である。

（直江）

土坑 83 (P-83) (図VI-198・211、表VI-2、図版130・132)

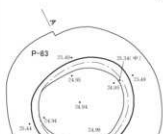
調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で円形の黒褐色～暗褐色土の広がりを確認した。半載したところ重複する遺構と判明し、中央の黒褐色土の落ち込みをP-77、それに切られる周囲の暗褐色土の落

P-76



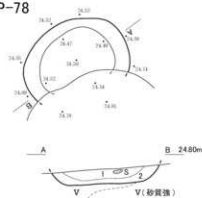
P-76
1.黒褐色(10YR3/3)埴土・粘性中～軟～型
2.黒褐色(10YR3/3)埴土・粘性中～型 2～3mmのローム粒 10%
3.黒褐色(10YR3/4)埴土・粘性中～型 2～5mmのローム粒 炭化物粒 5%
4.黄褐色(10YR5/6)砂埴土・粘性中 型 面とV層が底状 V層が主体
5.黒褐色(10YR2/3)埴土・粘性中～面 2～10mmのローム粒 15%
6.黒褐色(10YR3/4)埴土・粘性中～軟 型とV層が底状 型層が主体
7.黒褐色(10YR3/4)埴土・粘性強 軟

P-77



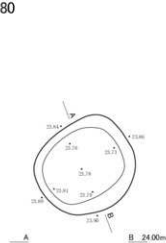
P-77
1.黒褐色(10YR2/3)埴土・粘性中～型 2～3mmのローム粒 10%
2.黒褐色(10YR3/3)埴土・粘性中～型 2～10mmのローム粒 10%
3.黒褐色(10YR3/4)埴土・粘性中～型 2～5mmのローム粒 炭化物粒 5%
4.黄褐色(10YR5/6)砂埴土・粘性中 型 面とV層が底状 V層が主体
5.黒褐色(10YR2/3)埴土・粘性中～面 2～10mmのローム粒 15%
6.黒褐色(10YR3/4)埴土・粘性中～軟 型とV層が底状 型層が主体
7.黒褐色(10YR3/4)埴土・粘性強 軟

P-78



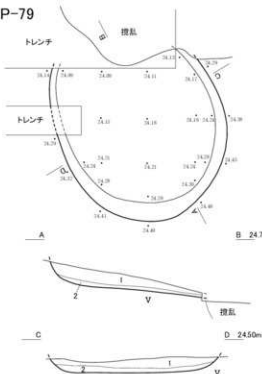
P-78
1.黒褐色(10YR2/3)埴土・粘性中～軟型
2.褐色(10YR4/4)埴土・粘性中 型 面とV層が底状 V層が主体

P-80



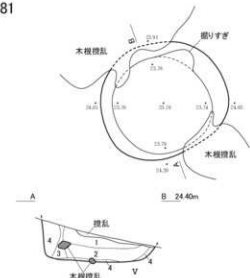
P-80
1.黒褐色(10YR3/3)埴土・粘性中 型 面とV層が底状 型層が主体
2.褐色(10YR4/4)埴土・粘性中 型 面とV層が底状 V層が主体

P-79



P-79
1.黒褐色(10YR2/3)埴土・粘性中～型 型 1～2mmのローム粒 5mmの炭化物粒 7%
2.黒褐色(10YR3/4)埴土・粘性中 型 面とV層が底状 V層が主体

P-81



P-81
1.黒褐色(10YR2/3)埴土・粘性中 型 2mmのローム粒 炭化物粒 7%
2.褐色(10YR4/4)埴土・粘性中～型 型 4mmのローム粒 2% 炭化物粒 少量
3.褐色(10YR4/4)埴土・粘性中 型
4.黄褐色(10YR5/6)埴土・粘性中～軟型

図VI-197 土坑 (16) P-76～81

ち込みをP-83とした。覆土は暗褐色土（覆土1）のみで埋め戻しとみられる。坑底は平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物はⅢ群b類土器1点、剥片3点、礫5点が出土した。

時期：不明である。（直江）

掲載出土遺物：（図VI-211-112、図版221）

土器：112はⅢ群b類。頸部の屈曲部で、複数の縄線が巡る。（鈴木）

土坑84（P-84）（図VI-198、表VI-2、図版132）

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は礫を多く含む黒褐色土（覆土1）のみで埋め戻しとみられる。坑底は平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器3点、つまみ付きナイフ1点、剥片24点、礫8点が出土した。

時期：出土遺物から縄文時代前期後半の可能性ある。（直江）

土坑85（P-85）（図VI-196、表VI-2、図版132・133）

調査・特徴：調査区東側の標高26.4m付近の斜面部上部に位置する。P-74調査時にその北東部で検出された。覆土は黒褐色土のみである。坑底は皿状で、壁は部分的にオーバーハングしている。遺物はⅢ群a類土器2点が出土した。

時期：H-74に切られ、縄文中期後半榎林式期以前である。（鈴木）

土坑86（P-86）（図VI-198、表VI-2、図版133）

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で楕円形の黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に褐色土（覆土2）が薄く広がり、上位に黒褐色土（覆土1）が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は平坦で、壁は開き気味に立ち上がる。遺物は時期不明土器2点、剥片1点、礫23点が出土した。

時期：不明である。（直江）

土坑87（P-87）（図VI-198、表VI-2、図版133）

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で楕円形の黒色～黒褐色土の広がりを確認した。半載して調査を行った。覆土は坑底に暗褐色土（覆土3）が薄く広がり、上位に黒褐色土（覆土2）が厚くみられ、黒色土（覆土1）が最上部中央にレンズ状に堆積する。自然堆積とみられる。坑底は平坦で、壁はやや開き気味に立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器3点、時期不明土器2点、石槍1点、剥片8点、礫44点が出土した。

時期：不明である。（直江）

土坑88（P-88）（図VI-198、表VI-2、図版133）

調査・特徴：調査区東側の標高26.3m付近の斜面部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で円形の暗褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土は全体的に暗褐色土で、坑底付近に炭化物が含まれる。坑底は水平で、北側が浅くくぼみ、その端に小ビット（PP-1）がある。壁は内湾して立ち上がる。遺物はⅢ群b類土器1点、時期不明土器4点、剥片5点、礫5点が出土した。

時期：不明である。（鈴木）

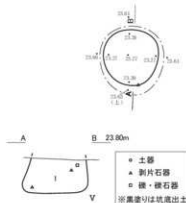
土坑89（P-89）（図VI-198・211、表VI-2、図版134）

調査・特徴：調査区東側の標高26.9m付近の斜面部上部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で円形の暗褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土は暗褐色土のみで、坑底は平坦、壁は垂直に立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器4点、Rフレイク1点、剥片6点が出土し、床面より4・5cm高い位置で礫が5点検出された。

時期：出土遺物から縄文時代前期後半の可能性ある。

P-82

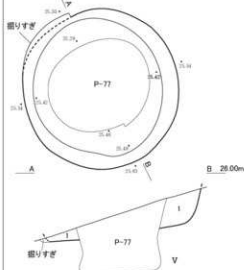
↑ N72



P-82
1.黒褐色(7.5YR2/2)埴土 粘性中 堅 3~10mm細瓦片混 7%

P-83

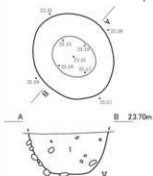
↑ 071



P-83
1.黒褐色(10YR3/4)埴土 粘性中 堅 2~3mmワローム混 10%

P-84

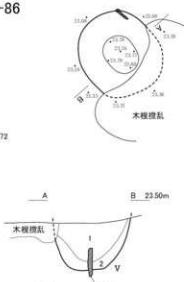
↑ 089



P-84
1.黒褐色(10YR2/2)埴土 粘性中~弱 堅 5~200mm細瓦片混 15%

P-86

↑ N72



P-86
1.黒褐色(10YR2/2)埴土 粘性中 堅 3~10mmワローム混 2%
2.黒褐色(10YR4/4)埴土 粘性強 堅 堅とV層が混状 V層が主体
堅とV層が混状 V層が主体

P-87

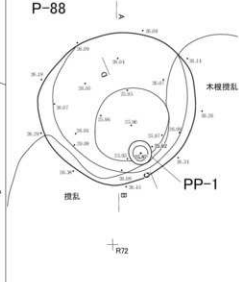
↑ R98



P-87
1.黒色(10YR2/1)埴土 粘性中 堅
2.黒褐色(10YR2/2)埴土 粘性中~強 堅 2mmワローム混 2%
3.黒褐色(10YR3/4)埴土 粘性強 堅 堅とV層が混状 V層がやや多い

P-88

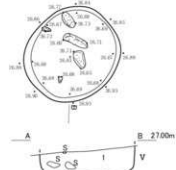
↑ R72



P-88
1.黒褐色(10YR3/3)埴土 粘性中 堅 堅とV層が混状 V層が主体
2.黒褐色(10YR3/3)埴土 粘性中 堅 堅とV層が混状 V層が主体
3.黒褐色(10YR3/4)埴土 粘性中 堅 堅とV層が混状 V層が主体

P-89

↑ R74



P-89
1.黒褐色(10YR3/4)埴土 粘性中 堅 堅とV層が混状 V層が主体 3cm大のV層粘土混 3%含む

図 VI-198 土坑 (17) P-82 ~ 84-86 ~ 89

0 5m/40 1m

掲載出土遺物：(図VI-211-113、図版 221)

土器：113 はⅡ群b類。円筒下層b1～c式の胴部片。単軸絡条体5類が見られる。(鈴木)

土坑 91 (P-91) (図VI-199、表VI-2、図版 134)

調査・特徴：調査区中央北側の標高 26.3m 付近の斜面部上部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で円形の暗褐色土の広がりを確認し、土層観察用のベルトを残して調査を行った。北西側はP-70に切られ、北東側はP-92を切っている。覆土は暗褐色土(1層)が主体で、坑底付近に黄褐色土(4層)、褐色土(5層)が堆積する。その下位にはV層類似のしまりの弱い土があるが、壁が不明瞭であるため遺構と判断しなかった。坑底は皿状で、壁は斜めに立ち上がる。遺物は剥片4点、礫1点が出土した。時期：P-70より古く、P-92より新しく、縄文時代前期後半の可能性はある。(鈴木)

土坑 92 (P-92) (図VI-199、表VI-2、図版 134)

調査・特徴：調査区中央北側の標高 26.8m 付近の斜面部上部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で円形の暗褐色土の広がりを確認し、半截して調査を行った。西側はP-70に、南西側はP-91に切られる。覆土は暗褐色土のみである。坑底は丸く、壁は斜めに立ち上がる。遺物は剥片1点、礫3点が出土した。

時期：P-70・91より古く、縄文時代前期後半の可能性はある。(鈴木)

土坑 93 (P-93) (図VI-199、表VI-2、図版 134)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で楕円形の黒色土の広がりを確認した。半截して調査を行った。覆土は坑底ににぶい黄褐色土(覆土2)が薄く広がり、上位に黒色土(覆土1)が堆積する。自然堆積とみられる。坑底はやや湾曲し、壁はやや開き気味に立ち上がる。遺物は剥片1点、礫7点が出土した。

時期：不明である。(直江)

土坑 94 (P-94) (図VI-199・211、表VI-2、図版 135)

調査・特徴：Ⅲ層を除去後、V層上面で円形の黒褐色～褐色土の広がりを確認した。半截して調査を行った。覆土は坑底に褐色土(覆土2)、上位に黒褐色土(覆土1)が堆積する。自然堆積とみられる。坑底は平坦だが斜面に沿って傾斜している。壁は開き気味に立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器3点、スクレイパー1点、剥片6点、すり石1点、礫8点が出土した。

時期：出土遺物から縄文時代前期後半の可能性はある。(直江)

掲載出土遺物：(図VI-211-114・115、図版 221)

土器：114 はⅡ群b類。円筒下層d2式。くびれて外反する口縁部。肩に結束第2種回転文があり、口縁部には斜めの縄線が充填される。内面はミガキが顕著である。

石器：115 はすり石I b類。折損後、折れ面下部も敲打等によって平坦に変化している。(鈴木)

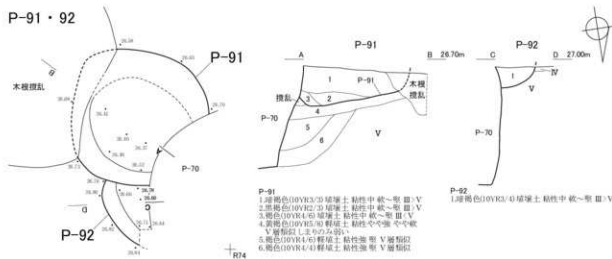
土坑 95 (P-95) (図VI-199、表VI-2、図版 135)

調査・特徴：調査区東側の標高 26.9m 付近の斜面部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で円形の褐色土の広がりを確認し、半截して調査を行った。覆土は下部にⅢ層に類似した黒褐色土(3層)、中部にⅢ層とV層の混土(2層)、上部にV層に類似した褐色土(1層)が堆積する。3層は自然堆積、1層は他の遺構の掘り上げ土の可能性はある。坑底は平坦で、壁はややオーバーハングして立ち上がる。遺物はⅡ群b類土器3点、時期不明土器1点、剥片9点、礫8点が出土した。坑底近くの3層の上面中央には泥岩製の礫が出土している。

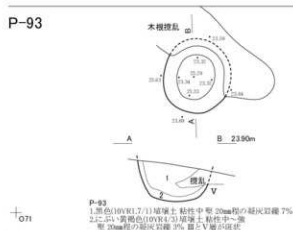
時期：出土遺物から縄文時代前期後半の可能性はある。(鈴木)

土坑 96 (P-96) (図VI-199、表VI-2、図版 135)

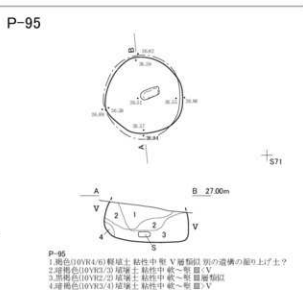
P-91・92



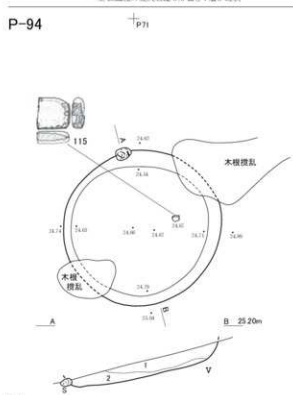
P-93



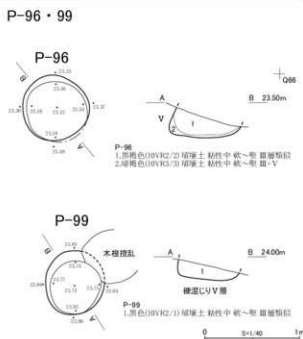
P-95



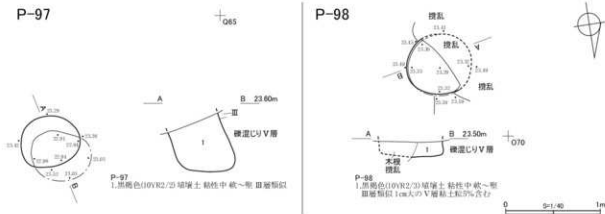
P-94



P-96・99



図VI-199 土坑 (18) P-91～96・99



図VI-200 土坑 (19) P-97-98

調査・特徴：調査区東側の標高 23.4m 付近の斜面部下部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土はⅢ層に類似する黒褐色土（1層）主体で、坑底付近に暗褐色土（2層）が薄く堆積する。坑底は平坦で、壁は一部オーバーハングしている。遺物は礫 1 点が出土した。

時期：不明である。

（鈴木）

土坑 97 (P-97)（図VI-200、図版 135）

調査・特徴：調査区東側の標高 23.4m 付近の斜面部下部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で円形の黒褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土はⅢ層に類似した黒褐色土のみである。坑底は平坦で、壁は斜めに立ち上がる。遺物は出土していない。

時期：不明である。

（鈴木）

土坑 98 (P-98)（図VI-200、表VI-2、図版 136）

調査・特徴：調査区東側の標高 23.5m 付近の斜面部下部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で攪乱に壊された円形の黒褐色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土はⅢ層に類似する黒褐色土のみである。坑底は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。遺物は剥片 3 点が出土した。

時期：不明である。

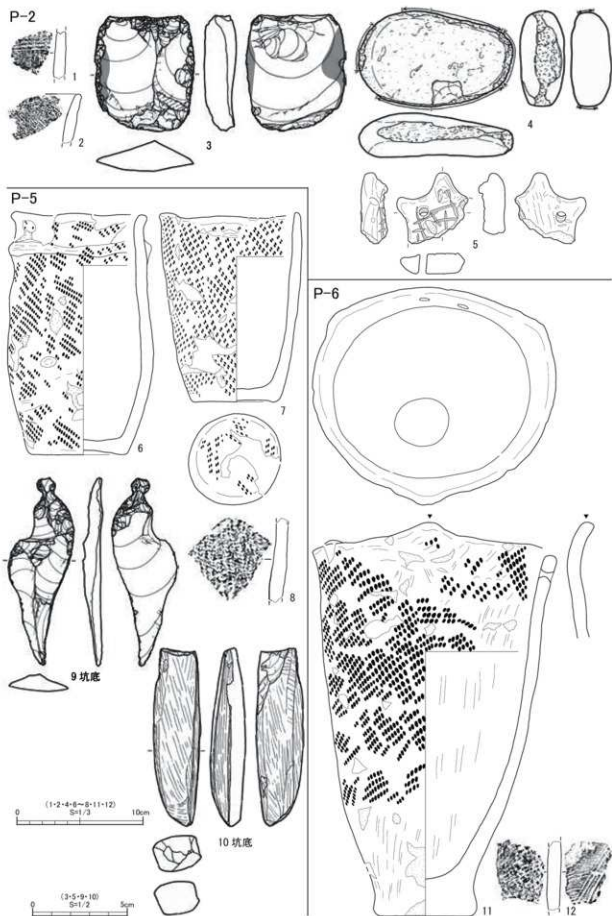
（鈴木）

土坑 99 (P-99)（図VI-199、表VI-2、図版 136）

調査・特徴：調査区東側の標高 23.9m 付近の斜面部下部に位置する。Ⅲ層掘り下げ後、V層上面で円形の黒色土の広がりを確認し、半載して調査を行った。覆土はⅢ層に類似した黒色土のみである。坑底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物は礫 3 点が出土した。

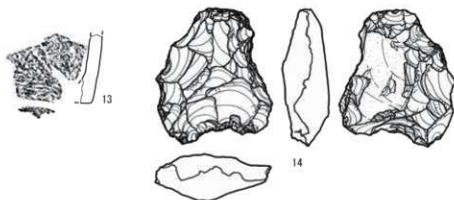
時期：不明である。

（鈴木）

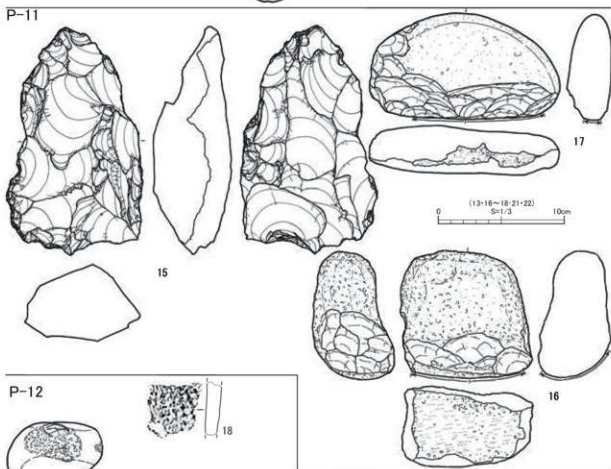


図VI-201 土坑の遺物 (1) P-2 ~ 6

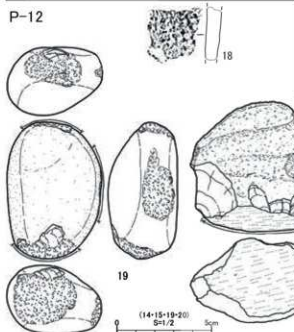
P-10



P-11

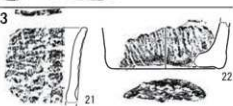


P-12

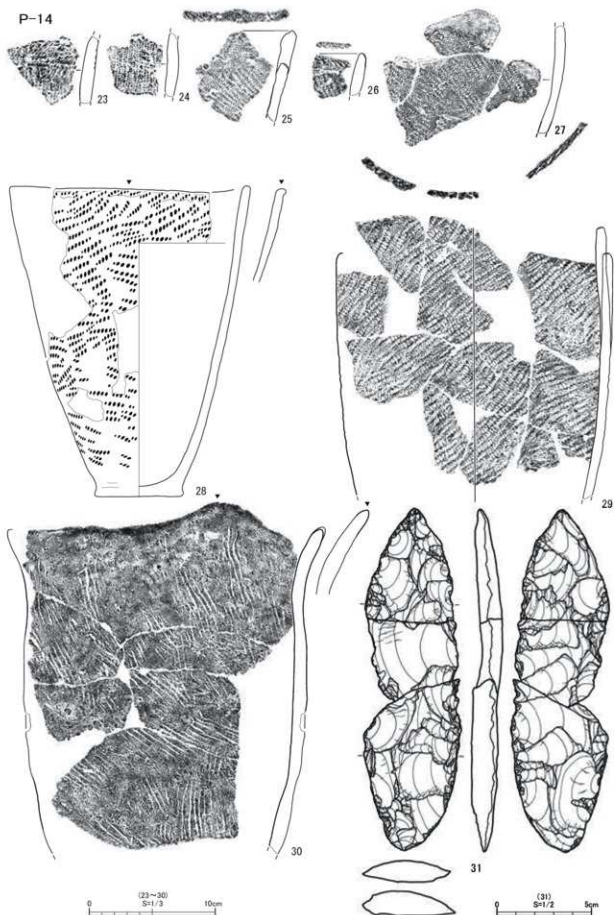


20

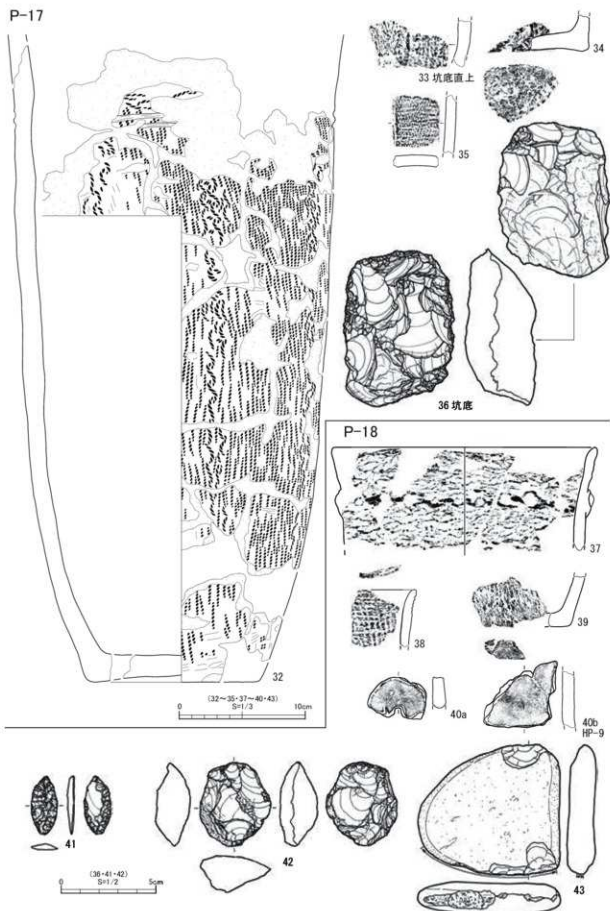
P-13



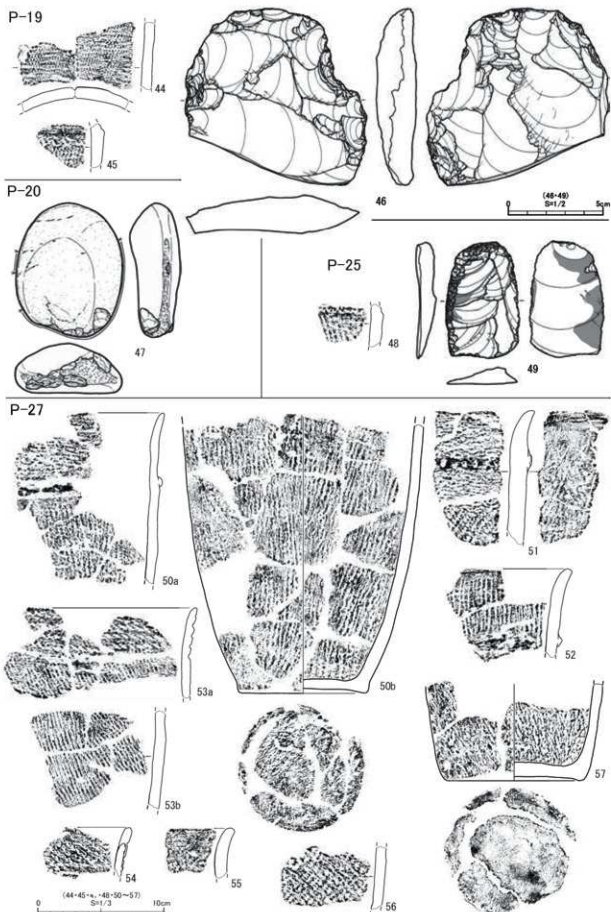
図VI-202 土坑の遺物 (2) P-10 ~ 13



図VI-203 土坑の遺物 (3) P-14

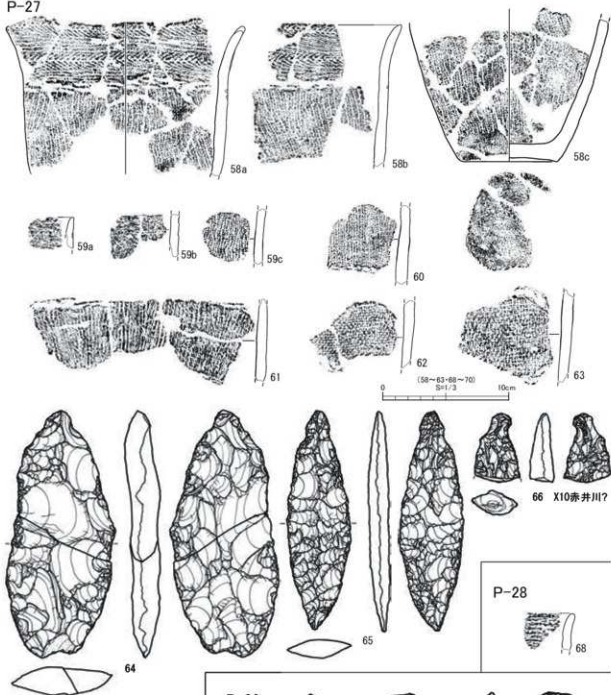


図VI-204 土坑の遺物(4) P-17・18



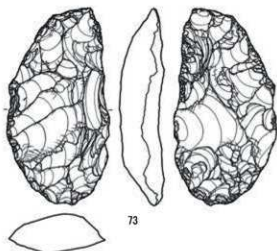
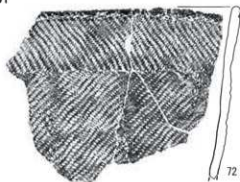
図VI-205 土坑の遺物 (5) P-19 ~ 27

P-27



図VI-206 土坑の遺物 (6) P-27 ~ 29

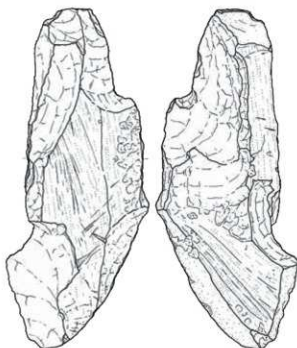
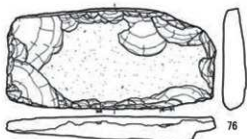
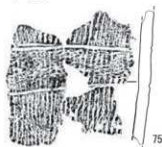
P-31



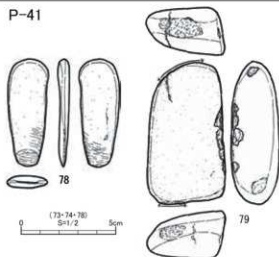
P-34



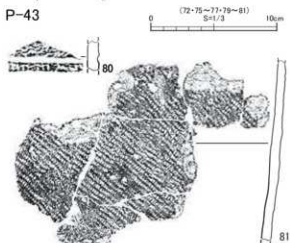
P-37



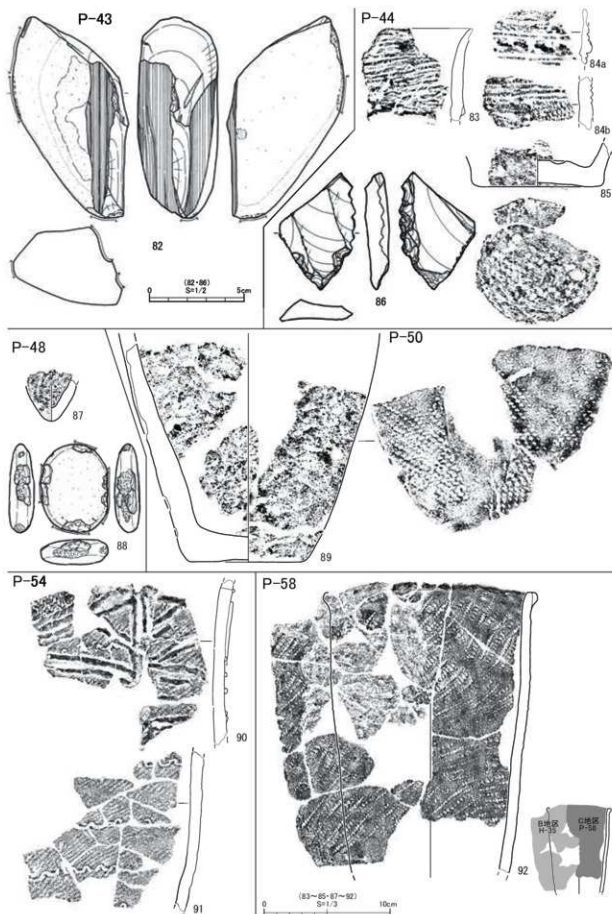
P-41



P-43



図VI-207 土坑の遺物 (7) P-31 ~ 43



図VI-208 土坑の遺物 (8) P-43 ~ 58

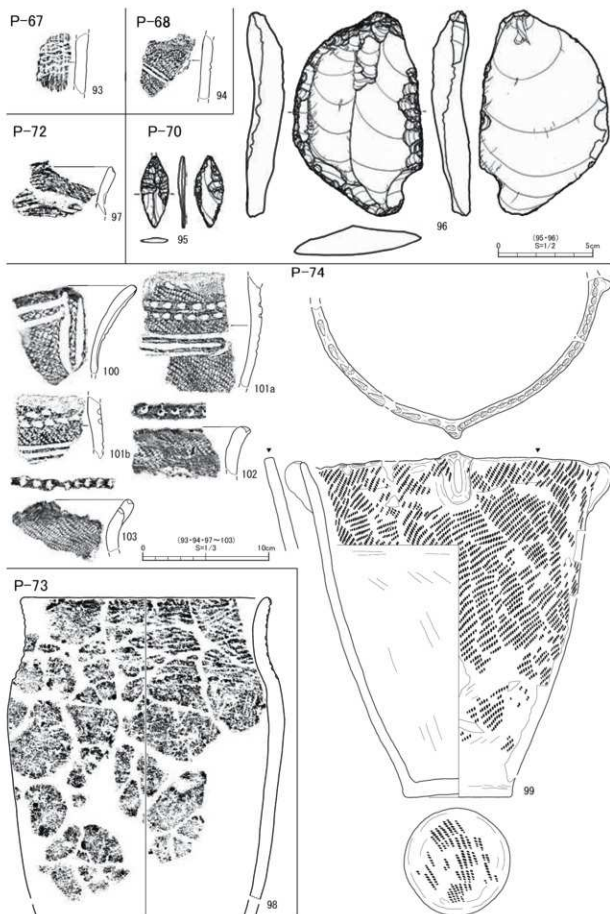
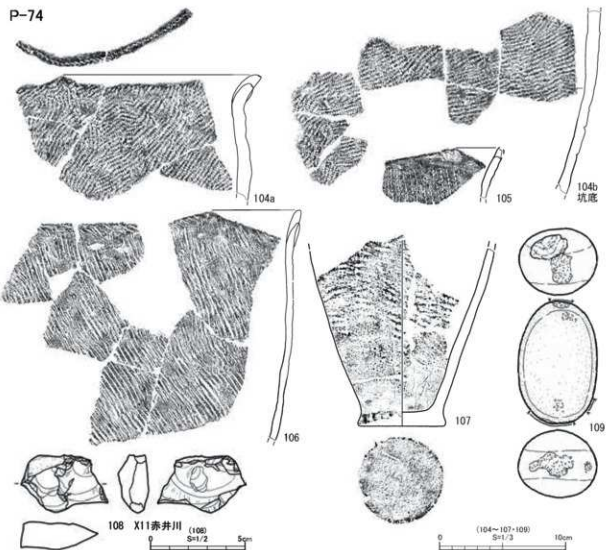
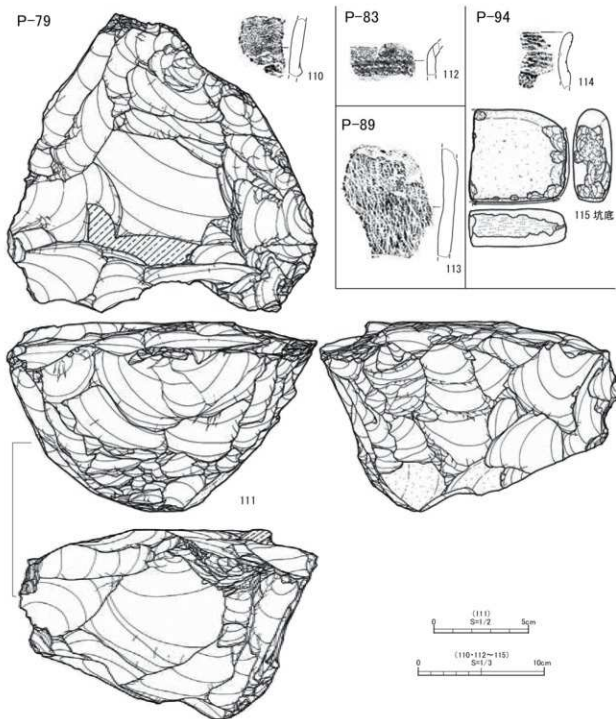


図 VI-209 土坑の遺物 (9) P-67 ~ 74 (1)



図VI-210 土坑の遺物 (10) P-74 (2)



図VI-211 土坑の遺物 (11) P-79 ~ 94

(3) 焼土

焼土 1 (F-1) (図VI-212、図版 136)

調査・特徴：K76 区のⅢ層を調査中に暗赤褐色土の広がりを検出した。平面形は不整な楕円形、断面は半紡錘形。炭化物粒を少量含む。

時期：不明である。

(直江)

焼土 2 (F-2) (図VI-212)

調査・特徴：M77 区のⅤ層上面で焼成の弱い暗褐色土の広がりを検出した。P-1 に切られ、P-3 の上

面で形成されている。平面形は細長いひょうたん形で、断面は中央がくぼむ皿形。炭化物粒を少量含む。

時期：不明である。

(直江)

焼土 3 (F-3) (図VI-212)

調査・特徴：J76 区の緩斜面の縁部分でⅢ層を調査中に暗赤褐色土の広がりを見出した。平面形はそら豆形で、断面は半紡錘形。しまりが弱く、炭化物粒を少量含む。

時期：不明である。

(直江)

焼土 4 (F-4) (図VI-212、表VI-2)

調査・特徴：調査区北西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-3 と H-4 の掘り上げ土の切り合い関係を確認するため、調査区境界に沿って両遺構に跨るトレンチ調査を実施した際、RM 層中に焼土 (F-4) を見出した。焼土範囲は調査区外北東方向に広がるため、全体規模などは不明である。焼土層の断面観察では、ロームと焼土のブロックが斑状に混ざり合う様子が認められたため、盛土が形成される過程で焼土が廃棄されたものと理解した。遺物は R フレイク 1 点、剥片 2 点、礫 1 点が出土した。時期：縄文前期後半の大型堅穴の掘り上げ土中に検出されたことから、縄文時代前期後半円筒下層 d1 式期と考えられる。

(坂本)

焼土 5 (F-5) (図VI-212、表VI-2、図版 136・137)

調査・特徴：調査区中央の標高 25.0m 付近の斜面部に位置する。Ⅲ下層掘り下げ後、黒色土の広がりとその南東部に石組炉を見出した。炉石と判断できるのは 15～26 cm の 6 点 (安山岩 5 点、チャート 1 点) で、形状はやや細長く、断面は不定形であるが、1 点は扁平である。概ね円形に配置され、扁平な 1 点と被熱痕の不明なチャートを除くと炉の内側が被熱により赤く変化している。焼土 (2 層) の上面は炉石のほぼ中央に相当し、内部はその高さまで掘り込まれていたと考えられる。扁平な 1 点は炉の外側の表面全体が被熱しており、何度か据え直されたようである。下部には P-6 があり、その覆土には M 層が堆積し、その上に黒色土が堆積する。F-5 はその黒色土の中位に相当していることから P-6 の窪みに形成されたものと考えられる。土壌のフローテーション選別を行い、オニグルミ核 2 点が見出された。遺物はⅡ群 b 類土器 1 点、Ⅳ群 a 類土器 1 点、剥片 12 点、石核 1 点、礫 11 点が出土した。時期：出土炭化物からは $3,820 \pm 20\text{yrBP}$ (K04-D44) の年代測定値が得られている。出土遺物・遺構の特徴・年代測定値から縄文時代後期前葉と考えられる。

(鈴木)

焼土 7 (F-7) (図VI-212、表VI-2、図版 137)

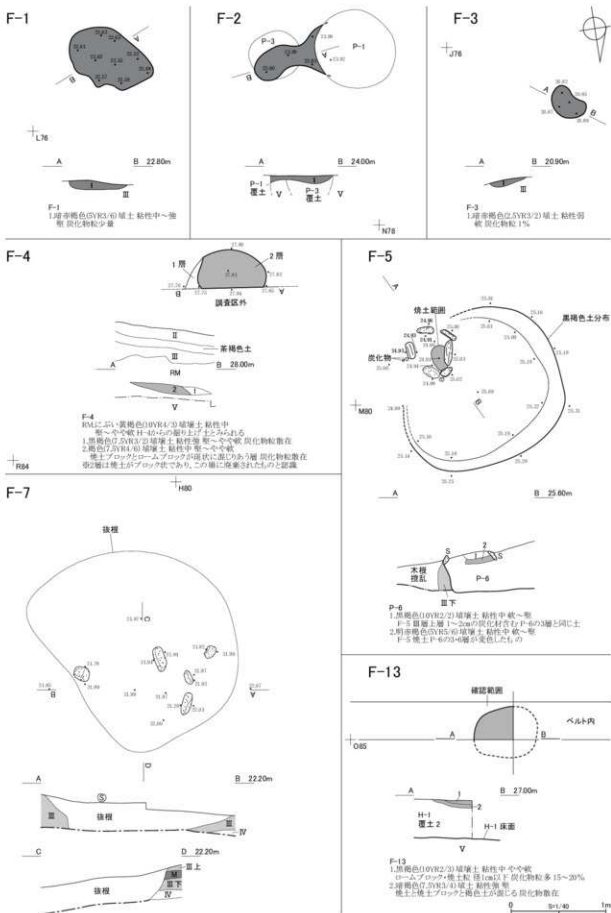
調査・特徴：調査区中央南側の標高 22.0m 付近の低位部に位置する。Ⅲ層掘り下げ中に被熱礫が散在して出土したため、その中央を交差する十字ベルトを設定し、トレンチ調査を行った。掘損によって焼土は確認できなかったが、被熱礫が石組炉の特徴を持っていたため焼土として扱った。礫は 5 点あり、3 点には被熱による赤化が認められる。標高が異なる頁岩製原石 1 点を除き安山岩製で、形状や赤化の特徴が F-5 の構成礫と類似することからこの地点に石組炉があったと推定できる。本焼土の下位には H-23 があり、炉石の標高は床面より 20 cm ほど高い位置に相当する。F-5 同様、住居廃絶後の窪みを利用して石組炉が作られたと考えられる。遺物は原石 1 点、礫 4 点が出土した。

時期：出土遺物・遺構の特徴・年代測定値から縄文時代後期前葉と考えられる。

(鈴木)

焼土 13 (F-13) (図VI-212)

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。H-1 の A-B ライントレンチ調査で、A-B ライン反対面の土層断面に焼土 (F-13) を確認した。焼土は H-1 覆土の 6 層上部～上面に発達しており、H-1 埋没過程で形成された焼土と考えられる。F-13 の堆積は上部に炭化物を多く含む黒褐色土の 1 層と、下部に焼土と焼土ブロックが混じる 2 層が観察された。F-13 確認前に H-1 覆土の掘削



図VI-212 焼土 (1) F-1～5・7・13

が進行していたため、F-13 平面の確認は一部に留まったが、規模は推定で0.6～0.7m程度とみられる。

時期：H-1の屋根土崩落土とみられる6層上面に形成され、上位には流入土とみられるH-1の3層が堆積するため、H-1 廃絶から間もない時期と考えられる。そのため縄文時代前期後半の可能性が高い。

(坂本)

焼土 14 (F-14) (図VI-213、図版 137)

調査・特徴：調査区中央部からやや西側の標高 26m 付近の斜面部に位置する。N81 区包含層調査で、M層～IV層上面の掘削作業で焼土 (F-14) を検出した。焼土の東側は攪乱のため消失しており、焼土範囲の確認は一部に留まった。平面を確認・記録後、A-B ラインを半載し、土層断面を記録した。断面観察では焼土はM層下位のIV層上面に発達している。

時期：不明だが、M層よりも古い。近接してM層より下位に検出された縄文時代中期前半のH-20が位置しており、同時期の可能性が考えられる。

(坂本)

焼土 15 (F-15) (図VI-213、表VI-2)

調査・特徴：調査区西側の標高 27.8m 付近の高位部、H-16 の縁辺に位置する。RM 層掘り下げ後、Ⅲ下層上面で検出した。範囲は小さく、平面形は不整楕円形、断面は皿状である。遺物は剥片 16 点が出土した。

時期：出土層位と周辺の遺構・遺物から縄文時代前期後半円筒下層 b1～d1 式期と考えられる。(鈴木)

焼土 16 (F-16) (図VI-213)

調査・特徴：調査区西側の標高 27.4m 付近の高位部、H-15 の北側に位置する。RM 層掘り下げ後、V層上面で検出した。範囲は小さく、平面形は不整楕円形、断面は皿状である。

時期：出土層位と周辺の遺構・遺物から縄文時代前期後半円筒下層 b1～d1 式期と考えられる。(鈴木)

焼土 17 (F-17) (図VI-213、図版 137)

調査・特徴：M79 区のⅢ層を調査中に暗赤褐色土の広がりを見出した。平面形は円形で、断面は半紡錘形。炭化物粒を少量含み、Ⅲ層が斑状に混入する。

時期：不明である。

(皆川・直江)

焼土 18 (F-18) (図VI-213、図版 137)

調査・特徴：調査区東側の標高 24.8m 付近の斜面部に位置する。Ⅲ層掘り下げ中に検出した。平面形は長楕円形で、断面はやや厚く傾斜に沿って形成される。炭化物は周辺に散在している。

時期：不明である。

(鈴木)

焼土 19 (F-19) (図VI-213、表VI-2)

調査・特徴：072 区のⅢ層を調査中に焼成の強い赤褐色～極暗赤褐色土の広がりを見出した。北側の一部は攪乱により消失している。平面形は不整形で、断面は半紡錘形。被熱の強弱により2層に分離した。遺物はⅡ群b類土器2点、礫141点が出土した。

時期：P-58 の上部にあることから縄文時代後期前葉以降と考えられる。

(直江)

焼土 20 (F-20) (図VI-213、表VI-2)

調査・特徴：0・P70 区のⅢ層を調査中に焼成の強い赤褐色～極暗褐色土の広がりを見出した。両者とも攪乱により一部が消失している。平面形は楕円形、断面は半紡錘形。いずれも炭化物粒を多く含む。遺物は時期不明土器1点、R フレイク1点、剥片4点、礫3点が出土した。

時期：不明である。

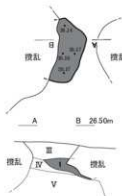
(直江)

焼土 23 (F-23) (図VI-213)

調査・特徴：調査区中央北側の標高 26.6m 付近の斜面部上部に位置し、H-27、P-70・91 に近接する。

F-14

↑ N81



F-14
1. 赤褐色(VYK3/4) 埴土 粘性強
型 2mmの炭化物粒 2%

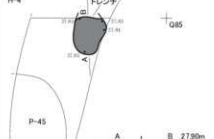
F-15

H-4

トレンチ

H-16

↑ Q85



F-15
1. 赤褐色(VYK4/4) シルト質埴土
粘性中 載~厚 埴土配ブロック状に入る

F-17

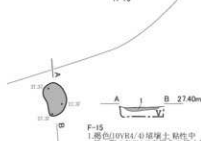


F-17
1. 赤褐色(VYK3/4) 埴土 粘性中 型
厚層が底状に少量混入
2. 1mmの炭化物粒 1%

F-16

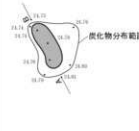
↑ M86

H-15



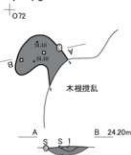
F-16
1. 褐色(VYK4/4) 埴土 粘性中
載~厚 2.5VYK4/6赤褐色の埴土混入

F-18



F-18
1. 褐色(VYK4/4) 埴土 粘性中 型あまり発達しない埴土

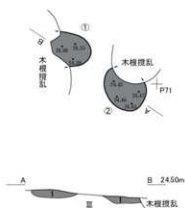
F-19



F-19
1. 赤褐色(VYK2/3) 埴土 粘性中 型
炭化物粒 1%
2. 赤褐色(VYK4/6) 埴土 粘性中 型

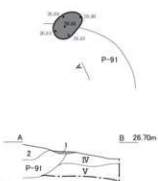
- 土器
- △ 割片石器
- 礎・礎石
- ※ 黒塗りには黒土出土

F-20



F-20
1. 赤褐色(VYK4/8~5VYK2/3) 埴土
粘性中~弱 上部は赤褐色 炭化物粒 7%

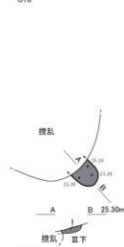
F-23



F-23
1. 黒褐色(VYK2/3) 埴土 粘性中
載~厚 1mmの埴土和5.5mm赤褐色30%含む
5~10mm大の炭化物粒含む
2. H-27層9.上げ土?

F-24

↑ O78



F-24
1. 赤褐色(VYK1/3) 埴土 粘性強
型~載 田下層が少量底状に混入

0 5m 1m

図VI-213 埴土 (2) F-14 ~ 20・23・24

Ⅲ層掘り下げ中に検出した。範囲は小さく、平面形は楕円形、断面は皿状で薄い。

時期：P-91の上位にあり、縄文時代前期後半以降と考えられる。

(鈴木)

焼土 24 (F-24) (図VI-213、表VI-2)

調査・特徴：078区のⅢ下層を調査中に赤褐色土の広がりを検出した。南東側の一部は攪乱により消失している。平面形は推定で楕円形、断面は半紡錘形。Ⅲ下層が斑状に混入する。遺物はⅢ群b類土器1点、礫1点が出土した。

時期：出土層位と周辺の遺物から縄文時代中期後半と考えられる。

(直江)

(4) 土器集中

土器集中 1 (PC-1) (図VI-214・217、表VI-2、図版137)

調査・特徴：調査区北東側の標高27.5m付近の斜面部上部、H-28・32間に位置する。Ⅲ層掘り下げ中に60cm程の範囲から細かく破砕した状態で検出された。遺物はⅡ群b類土器267点が出土した。

時期：縄文時代前期後半円筒下層b2式期である。

掲載出土遺物：(図VI-217-1～3、図版221)

土器：1～3はⅡ群b類の円筒下層b2式。1は口縁部に単軸絡条6類、胴部に多軸絡条6類、2は単軸絡条5類が、3は口縁部に単軸絡条5類、胴部に自縄自巻縄文Lが施文される。

(鈴木)

(5) 剥片集中

剥片集中 2 (FC-2) (図VI-214、表VI-2、図版137)

調査・特徴：調査区中央部のやや南西側、標高26.5m付近の斜面部に位置する。L83区包含層調査でⅢ層中に頁岩を主体とする剥片集中(FC-2)を1mほどの範囲で検出した。検出地点はM層が分布しない範囲であった。遺物は剥片278点が出土した。

時期：不明である。

(坂本)

剥片集中 3 (FC-3) (図VI-214・217、表VI-2、図版138)

調査・特徴：調査区中央部、標高24.5m付近の斜面部に位置する。N79区のM層除去後、Ⅲ下層掘削時に頁岩を主体とする剥片集中(FC-3)を検出した。集中範囲は大きく4つの単位が認められ、その中央部のやや北側から台石が出土した。各集中の内部には図VI-214に示したように、微細～小剥片の集中域もみられた。また、FC-3の北西側には同一の検出面で、炭化物のまとまった分布範囲も確認された。これら全体の範囲は3mほどに及ぶ。遺物はⅡ群b類土器25点のほか、石鏃1点、石槍2点、両面調整石器1点、つまみ付きナイフ1点、スクレイパー1点、Rフレイク2点、扁平打製石器2点、たたき石1点、台石1点、原石1点、礫12点など定形石器が多い。このうちつまみ付きナイフは背面側両側縁全縁が連続的な加工で覆われ、縄文時代前期に特徴的な形態と捉えられる(図VI-217-8)。また剥片2,686点と石核3点も出土している。

時期：M層下位のⅢ下層から検出されたこと、出土遺物から、縄文時代前期後半と考えられる。

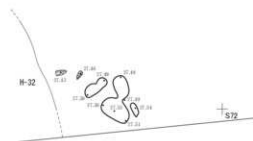
(坂本)

掲載出土遺物：(図VI-217-4～12、図版221・222)

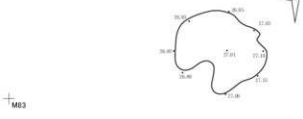
土器：4・5はⅡ群b類。4は円筒下層b1式。口縁部は屈曲して外反し、口縁部区画文である刺突のある隆帯の上下に綾絡文が横環する。5は円筒下層b1～c式。単軸絡条1類の回転文。

石器：6・7は石槍。6は全面粗い剥離で覆われ、厚手である。7は左側縁折損後、再加工されるが、粗い加工段階で遺棄される。8はつまみ付きナイフ。正面は押圧剥離によって加工され、つまみ部は

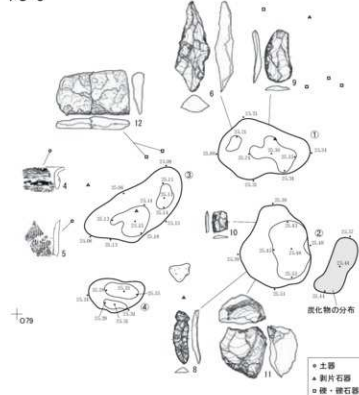
PC-1



FC-2



FC-3



FC-4



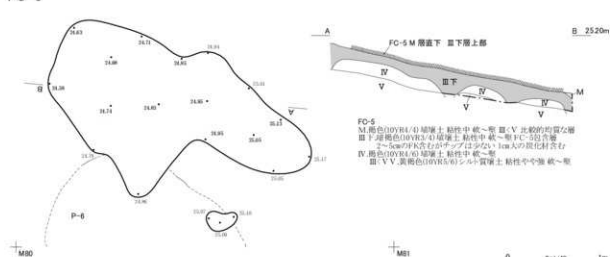
FC-6



FC-7



FC-5



図VI-214 土器集中 PC-1、剥片集中 (1) FC-2～7

素材先端側に作出される。9はスクレイパーⅡ類。10はRフレイク。幅広の剥片素材で両側縁の両面に加工が施される。11は石核Ⅰa類。裏面全体に、平滑でやや稜の潰れた原礫面が残る。12は扁平打製石器V類。中央で折損し、刃部は折れ面で食い違っている。(鈴木)

剥片集中4(FC-4)(図VI-214、表VI-2、図版138)

調査・特徴:調査区中央部のやや北西側、標高25.5m付近の斜面部に位置する。N80区のM層掘削時に剥片集中(FC-4)を検出した。先行するトレンチ調査によって一部がすでに取り上げられていたが、全体の範囲は0.5mほどとみられる。遺物はⅡ群b類土器2点、両面調整石器3点、Rフレイク1点、石核1点、礫1点が出土している。特に剥片は3,482点と多い。

時期:M層中に検出されたことから、縄文時代前期後半と考えられる。

(坂本)

剥片集中5(FC-5)(図VI-214・217、表VI-2、図版138)

調査・特徴:調査区中央の標高25m付近の斜面部に位置する。P-6・F-5の南側で比較的広い範囲にやや散漫に分布する。M層掘り下げ後、Ⅲ下層上面で検出した。遺物はスクレイパー1点、剥片1,212点、石核1点、礫3点が出土した。5cm以下の薄手の剥片・細片が主体で、両面調整体または両面調整体状の薄手の石核から剥離されたと推定される。

時期:M層下位から出土していることから縄文時代前期後半と考えられる。

掲載出土遺物:(図VI-217-13、図版222)

石器:13は石核Ⅰb類。裏面にはあばた状の原礫面が残る。

(鈴木)

剥片集中6(FC-6)(図VI-214・218・219、表VI-2)

調査・特徴:調査区西側の標高27.2m付近の高位部、斜面際の廃棄域に位置する。H-3RM層掘り下げ中にその下部で検出した。遺物集中部は土ごと取り上げ、1mmメッシュの篩で水洗選別を行った。遺物はⅡ群b類土器99点、石礫1点、両面調整石器8点、Rフレイク1点、Uフレイク1点、剥片12,308点、石核33点、石鋸1点、礫36点、炭化物、炭化種子が出土した。石核が多いのが特徴で、小型の原石・分割礫・剥片素材がある。剥片は5cm以下の薄いものが多く、石核も小さい。石核の分割や素材剥片剥離、両面調整体製作に関するものと考えられる。両面調整石器にはD地区のW86区出土資料と接合したものがあり、FC-6資料は折損後再加工が施されている。

時期:廃棄域のRM層下部出土であることから縄文時代前期後半円筒下層b1～c式期と考えられる。

掲載出土遺物:(図VI-218-14～図VI-219-22、図版222～224)

石器:14aは両面調整石器と剥片の接合資料。正面下部の剥離(14b・c)後、本体14dは節理面で折損し、上部破片は折れ面部分が再加工される。15～18は石核。15はⅠc類、16はⅠb類、17はⅠa類、18はV類。これらは次に述べる接合資料に含まれる。

19～22は接合資料、すべて節理面で覆われた角礫素材。19は母岩なし・接合276、大きさは $9.3 \times 6.9 \times 5.5$ cm。正・裏面で打面調整を伴う上下方向の剥離が行われる。20は母岩なし・接合279、大きさは $10.2 \times 8.0 \times 4.9$ cm。正面は上面からの剥離(工程1)が主体で、裏面は左右側面からの剥離(工程2・3)が主体である。21は母岩なし・接合277、大きさは $7.2 \times 8.9 \times 4.2$ cm。正面の上下方向の剥離(工程1・4)が主体である。22は母岩なし・接合287、大きさは $6.8 \times 7.3 \times 5.2$ cm。工程1を含め多方向の剥離が行われる。

図版223-32～図版224-39は写真のみ掲載の接合資料。すべて節理面で覆われた角礫素材。10～15cm程の原石を利用して角の部分で剥離が行われ、短軸方向の剥離が多い。34はやや薄手の両面調整体になるが、その他は剥片剥離が主体である。

FC-6出土の接合資料は同じような節理面と大きさの原石が多く利用されるが、節理面同士で接合

するものは 34（母岩なし・接合 274）のみであることから、大型の原石が分割されたものではなく、同一の露頭から崩落した原石が採取されたものだろう。また、同一集中であることから比較的短期間に形成されたものと考えられる。（鈴木）

剥片集中 7 (FC-7) (図 VI-214、表 VI-2)

調査・特徴：調査区西側の標高 27.6m 付近の高位部、H-14 の覆土上部に位置する。RM 層掘り下げ中にその中部で検出した。遺物集中部は土ごと取り上げ、1mm メッシュの篩で水洗選別を行った。遺物は両面調整石器 1 点、剥片 1,087 点が出土した。2cm 以下の細片が主体で、両面調整体などの加工によるものと考えられる。

時期：RM 層中からの出土であることから縄文時代前期後半円筒下層 d1 式期と考えられる。（鈴木）

剥片集中 8 (FC-8) (図 VI-215、表 VI-2)

調査・特徴：調査区西側の標高 27.8m 付近の高位部に位置する。H-1・13・15 の間にあり、RM 層掘り下げ時に RM 層中から検出された。遺物集中部は土ごと取り上げ、1mm メッシュの篩で水洗選別を行った。遺物はⅡ群 b 類土器 35 点、両面調整石器 4 点、スクレイパー 1 点、剥片 4,955 点、炭化材、炭化種子が出土した。5cm 以下の剥片が主体で、素材剥片剥離や両面調整体製作が行われたと考えられる。

時期：RM 層中からの出土であることから縄文時代前期後半円筒下層 b1～d1 式期と考えられる。（鈴木）

剥片集中 9 (FC-9) (図 VI-215・220～222、表 VI-2)

調査・特徴：調査区西側の標高 27m 付近の高位部に位置する。M85 区で H-1 掘り上げ土である RM 層の掘削過程で検出した。先行して H-9 の覆土掘削を進めていたため一部がすでに取り上げられていたが、FC-9 は H-9 よりも形成時期は新しい。遺物はⅡ群 b 類土器 17 点、両面調整石器 2 点、R フレイク 1 点があり、剥片は微細～小剥片を主体に 9,527 点が出土している。

時期：出土層位から、縄文時代前期後半円筒下層 b1～d1 式期と考えられる。（坂本）

掲載出土遺物：（図 VI-220-23 ～図 VI-222 上段、図版 224・225）

石器：23・24 は両面調整石器。23 は 25 の、24 は 26 の接合資料に含まれる。25 は母岩 29・接合 330、大きさは 15.6 × 11.1 × 4.3 cm。滑沢な原礫面とやや角の丸くなった角礫素材である。右側縁を上から下へ正面・裏面交互に剥離を進め（工程 2～9）、稜線が作出される。左側面も同様に両面調整を目指したのと考えられるが、上部のみ稜状で、下部は側面を除去できずに廃棄されたと考えられる。多くが FC-9 とその周辺に分布するが、4 点（工程に相関しない）は他の剥片集中である FC-8 から出土している。26 は母岩 31 で、同一母岩の接合 338・339・340 を復元している。大きさは 19.8 × 16.4 × 8.8 cm。滑沢な原石面のかまぼこ状の原石素材である。断面半円形の正面側で、上下・左右からの剥離により厚さを減少させる（工程 1～3・6～11）。中央に横断する節理面があり、途中でその節理面から上下に剥離が施される（工程 4・5）。その後、両面加工により断面凸レンズ状に薄く変化する（工程 12～14）。先端部は欠損するが（24）、本体は出土していない。母岩 29 同様、FC-9 主体であるが、一部は工程に関係なく FC-8 からの出土が見られる。（鈴木）

剥片集中 10 (FC-10) (図 VI-215、表 VI-2)

調査・特徴：調査区西側の標高 27.3m 付近の高位部に位置する。H-13 西側に隣接し、RM 層掘り下げ後、Ⅲ下層上部で検出された。遺物集中部は土ごと取り上げ、1mm メッシュの篩で水洗選別を行った。遺物はⅡ群 b 類土器 2 点、剥片 2,067 点が出土した。5cm 以下の薄い剥片・細片がほとんどである。

時期：Ⅲ下層上部出土であること、廃棄域に分布することから縄文時代前期後半円筒下層 b1～c 式期と考えられる。(鈴木)

剥片集中 11 (FC-11) (図Ⅵ-215・222、表Ⅵ-2)

調査・特徴：調査区西側の標高 28.1m 付近の高位部に位置する。廃棄域の北東部にあり、Ⅲ下層上面から 10～15 cm 上位の RM 層中で検出された。遺物はⅡ群 b 類土器 30 点、両面調整石器 2 点、剥片 3,899 点、石のみ 1 点、炭化物が出土した。5 cm 以下の薄い剥片・細片がほとんどである。

時期：RM 層出土であること、廃棄域に分布することから縄文時代前期後半円筒下層 b1～d1 式期と考えられる。

掲載出土遺物：(図Ⅵ-222-27、図版 225)

石器：27 は石のみ。製品に近い形状の素材が選択され、側縁と両端部のみ研磨される。(鈴木)

剥片集中 12 (FC-12) (図Ⅵ-215、表Ⅵ-2)

調査・特徴：P66 区のⅢ層下部を調査中にフレイクを中心とするまとまりを検出した。中央に最も遺物の集中度が高い 5 か所の小範囲がみられる。遺物はⅡ群 b 類土器 4 点、Ⅲ群 b 類土器 1 点、両面調整石器 1 点、R フレイク 1 点、剥片 697 点、礫 3 点が出土した。

時期：不明である。(直江)

剥片集中 13 (FC-13) (図Ⅵ-215、表Ⅵ-2)

調査・特徴：R70 区のⅢ層下部を調査中にフレイクを中心とする東西に細長いまとまりを検出した。中央が最も遺物の集中度が高い。遺物は剥片が 166 点出土した。

時期：不明である。(直江)

剥片集中 14 (FC-14) (図Ⅵ-216、表Ⅵ-2、図版 138)

調査・特徴：調査区北東側の標高 27.0m 付近の斜面部上部に位置する。Ⅲ層中から検出された。遺物集中部は土ごと取り上げ、1 mm メッシュの篩で水洗選別を行った。遺物はⅡ群 b 類土器 15 点、時期不明土器 33 点、剥片 4,448 点、扁平打製石器 1 点、礫 3 点が出土した。5 cm 以下の薄い剥片・細片がほとんどである。

時期：不明である。(鈴木)

剥片集中 15 (FC-15) (図Ⅵ-216・222、表Ⅵ-2)

調査・特徴：Q65 区のⅢ層を調査中にフレイクを中心とする南北に細長いまとまりを検出した。遺物はⅢ群 b 類土器 1 点、両面調整石器 1 点、剥片 118 点が出土した。

時期：不明である。(直江)

掲載出土遺物：(図Ⅵ-222-28、図版 225)

土器：28 はⅢ群 b 類。先が角張る波頂部で、LR 縄文が口唇と外面（縦回転）に施文される。(鈴木)

剥片集中 16 (FC-16) (図Ⅵ-216、表Ⅵ-2、図版 138)

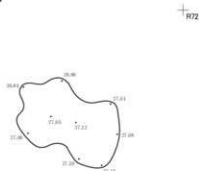
調査・特徴：調査区中央北側の標高 26.3m 付近の斜面部に位置する。Ⅲ下層上面で FC-17・18 と検出され、集中部単位でそれぞれ番号を付けて取り上げた。遺物は両面調整石器 1 点、剥片 134 点、石核 1 点、原石 1 点、礫 3 点が出土した。5 cm 以下の薄い剥片・細片が主体である。

時期：Ⅲ下層出土であることから縄文時代中期後半以前と考えられる。(鈴木)

剥片集中 17 (FC-17) (図Ⅵ-216・222、表Ⅵ-2、図版 138)

調査・特徴：調査区中央北側の標高 26.2m 付近の斜面部に位置する。Ⅲ下層上面で FC-16・18 と検出され、集中部単位でそれぞれ番号を付けて取り上げた。遺物は石槍 1 点、両面調整石器 7 点、剥片 532 点、石核 1 点、礫 6 点が出土した。両面調整石器は 3 点が折れ面接合した個体がある。5～10 cm の剥片

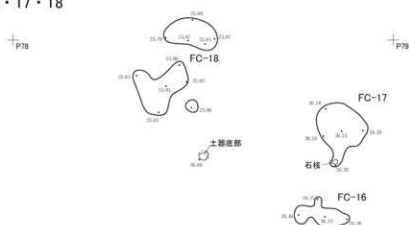
FC-14



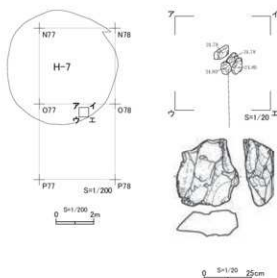
FC-15



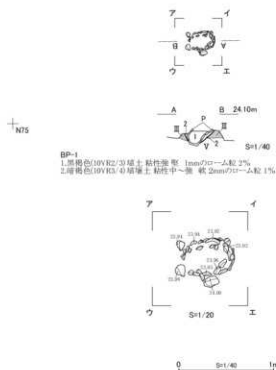
FC-16・17・18



SC-3



BP-1



図VI-216 剥片集中 (3) FC-14～18、礎集中 SC-3、埋設土器 BP-1

を一定量含み、両面調整石器も多いことから、原石に近い形状で搬入され、剥離・加工された工程の剥片であると考えられる。

時期：Ⅲ下層出土であることから縄文時代中期後半以前と考えられる。

掲載出土遺物：(図Ⅵ-222-29、図版 225)

石器：29 は石核Ⅱ a 類。裏面に原礫面が大きく残る。(鈴木)

剥片集中 18 (FC-18) (図Ⅵ-216、表Ⅵ-2、図版 138)

調査・特徴：調査区中央北側の標高 25.9m 付近の斜面部に位置する。Ⅲ下層上面で FC-16・17 と検出され、集中部単位でそれぞれ番号を付けて取り上げた。遺物集中部は土ごと取り上げ、1mmメッシュの篩で水洗選別を行った。遺物はⅢ群 a 類土器 2 点、両面調整石器 1 点、R フレイク 1 点、剥片 4,408 点、礫 5 点が出土した。5cm 以下の薄い剥片・細片が主体である。

時期：Ⅲ下層出土であることから縄文時代中期後半以前と考えられる。(鈴木)

(6) 礫集中

礫集中 3 (SC-3) (図Ⅵ-216・222、表Ⅵ-2、図版 138)

調査・特徴：077 区のⅢ上層を調査中に黒曜石の礫のまとまりを検出した。集中域の礫は 30cm の範囲に集中している。7～12cm 大の黒曜石製の角礫 5 点で構成されている。

時期：層位と周辺の遺物から縄文時代中期後半以降と考えられる。(直江)

掲載出土遺物：(図Ⅵ-222-30、図版 225)

石器：30 は球顆が列状に内在する角礫状の黒曜石原石である。同集中の他の 4 点もほぼ同様な形状で、隠匿されたと考えられる。(鈴木)

(7) 埋設土器

埋設土器 1 (BP-1) (図Ⅵ-216・222、表Ⅵ-2、図版 138)

調査・特徴：N75 区のⅢ層を調査中に楕円形に分布する同一個体の土器片を確認した。半載して調査を行った。土層断面から正位に配置された土器とその周囲の坑底面・壁面を検出し、埋設土器と認定した。覆土は土器の内側に黒褐色土(覆土 1)、外側に暗褐色土(覆土 2)が堆積しており、埋め戻しと考えられる。坑底面は平坦で、土器の底面とほぼ一致する。壁面は土器の大きさより一回り大きな径で開き気味に立ち上がる。遺物はⅡ群 b 類土器 210 点が出土した。

時期：埋設された土器から縄文時代前期後半円筒下層 b1～c 式期とみられる。(直江)

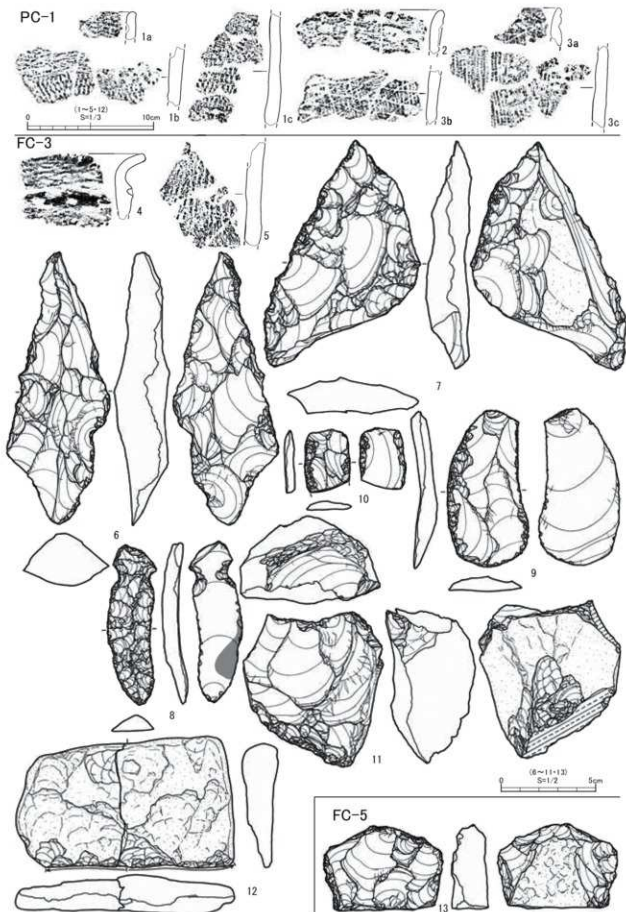
掲載出土遺物：(図Ⅵ-222-31、図版 225)

土器：31 はⅡ群 b 類。円筒下層 b1～c 式。風化により地文原体は不明。外面に部分的に白色粘土が付着する。31a～c は本来、一体のものであるが、風化により砕けて接合できなかった。(鈴木)

(8) 盛土

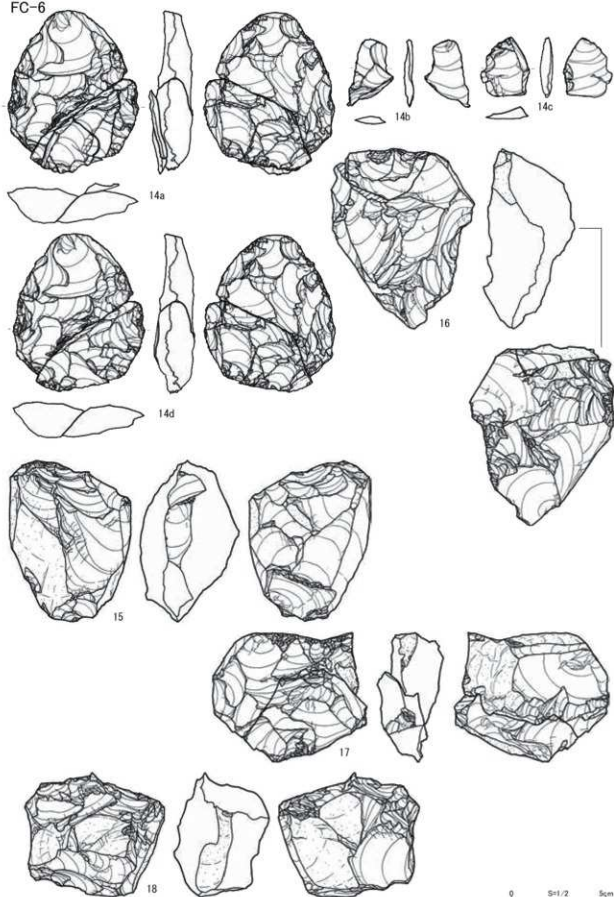
C 地区内では自然堆積層ではない土層が広範囲で確認され、分布は高位部と斜面部に大きく分かれる。両者は色調や分布形などの特徴が異なることから RM 層(高位部)、M 層(斜面部)に分けた。

RM 層は大型住居 H-1～4 の周辺に周堤状に分布し、最も厚いところで 67cm を測り、住居近くで厚く、東側にはあまり広がらない。土層は V 層に類似した黄褐色土である。H-1～4 は住居の掘り上げ土を屋根土として屋根から裾にかけて土盛りし、廃絶後に屋根上の土は堅穴内部縁辺に落下し、裾の土が堅穴周囲に残る。その土手状の土が RM 層である。これらの住居の時期は縄文時代前期後半円筒下層



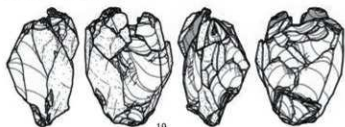
図VI-217 土器集中・剥片集中 (1) の遺物 PC-1、FC-3・5

FC-6



図VI-218 剥片集中の遺物 (2) FC-6(1)

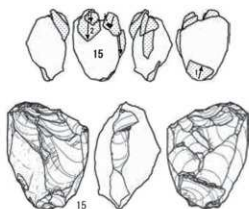
母岩一・接合276



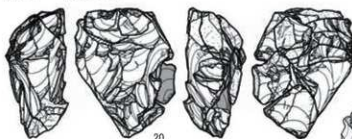
出土層位別点数

工種	1・2・石種
FC-6	H-305M層 60C(1)
P88	H-305M層 1
計	2

C:石種



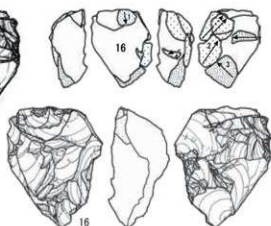
母岩一・接合279



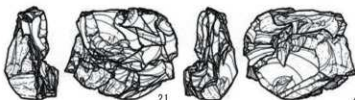
出土層位別点数

工種	1・4・石種
FC-6	H-305M層 90C(2)
計	2

C:石種



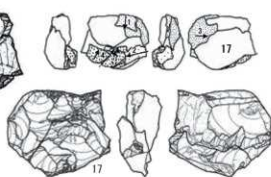
母岩一・接合277



出土層位別点数

工種	1・4・石種
FC-6	H-305M層 80C(1)
P88	H-305M層 20C(1)
計	10

C:石種



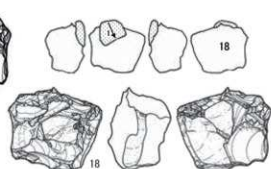
母岩一・接合287



出土層位別点数

工種	1・石種
FC-6	H-305M層 20C(1)
計	2

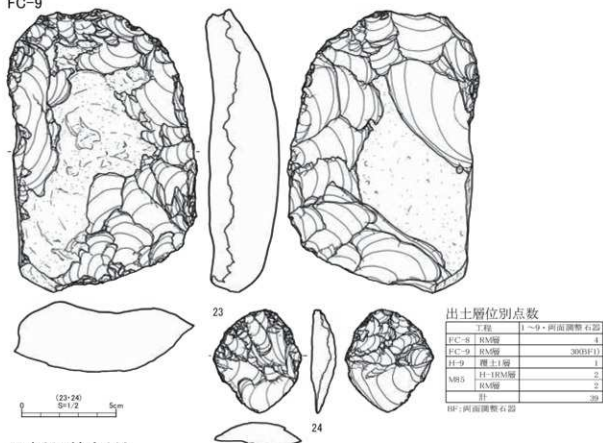
C:石種



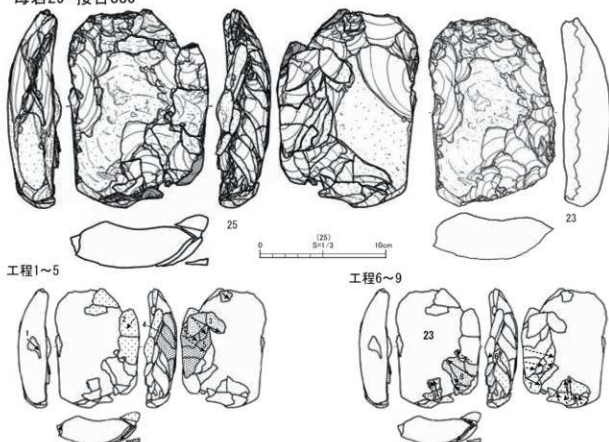
0 S=1/3 10cm

図VI-219 剥片集中の遺物 (3) FC-6(2)

FC-9

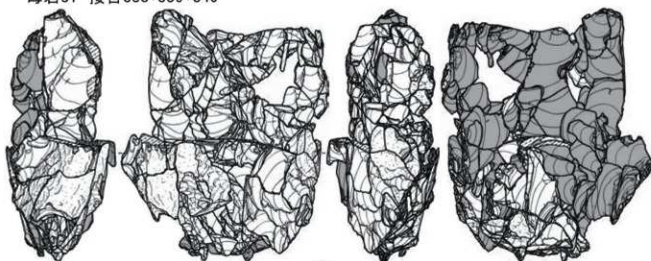


母岩29・接合330

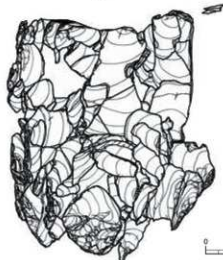


図VI-220 剥片集中の遺物 (4) FC-9(1)

母岩31・接合338+339+340



26



出土層位別点数

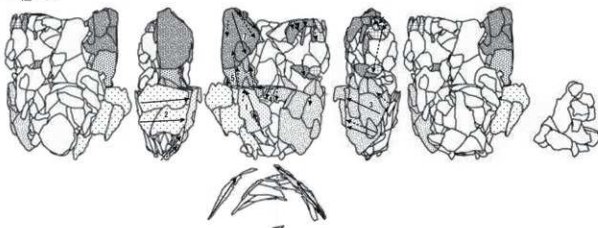
工程		338				339		340		338・339・340計		
		3			4・12・両面調整石器			1・2			13・14	
		A	3	小計								
FC-8	ROM	1	1	1				26		2		28
FC-9	ROM	8	1	9	8(2BF1)			6		16		104
MB5	H-ROM	1		1				4		1		5
	ROM							6		1		7
MB6	ROM							1				1
計		10	1	11				119		8		145

BF:両面調整石器



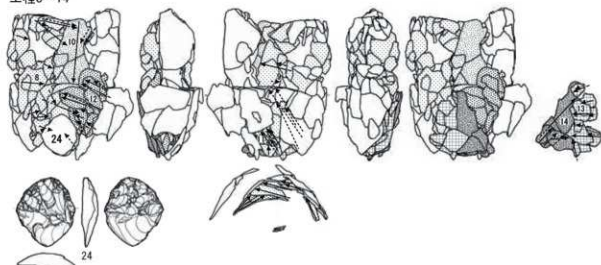
0 S=1/3 10cm

工程1~7

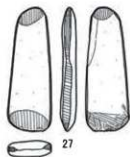


図VI-221 剥片集中の遺物 (5) FC-9(2)

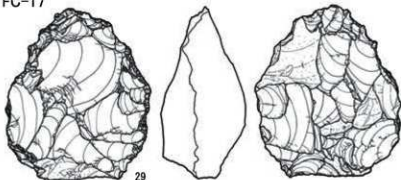
工程8~14



FC-11



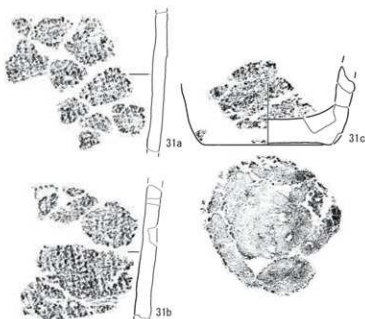
FC-17



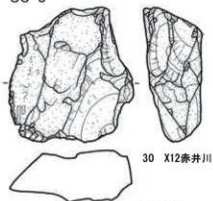
FC-15



BP-1



SC-3



(27-29・30)
S=1/2 5cm

(28・31)
S=1/3 10cm

図VI-222 剥片集中 (6)・礫集中・埋設土器の遺物 FC-9(3)・11・15・17、SC-3、BP-1

d1 式期であるが、RM 層の下位からは円筒下層 b1 ~ c 式期の住居が高密度に検出され、西側の斜面際には同時期の遺物の集積である廃棄域（図VI-265 ~ 272）が検出されている。

一方、M 層は斜面部のすり鉢状の地形に沿って弧状に分布し、層厚は住居跡内部を除けば 40 cm 以下で、高位部に比べ薄く、厚さの分布に強弱が少ない。土層はⅢ層とⅤ層が混じった暗褐色土～にぶい黄褐色土で、混合率によって土色に幅がある。分布範囲には覆土に M 層が流れ込む H-6・7・8・25 と含まれない H-11・26・29・38 がある。前者は円筒下層 c ~ d1 式期、後者は榎林式期～後期前葉である。遺物量は多くはないが、M 層下位のⅢ下層からは概ね 78・79 ライン間の東側でⅢ群 b 類土器が出土する一方、西側ではⅡ群 b 類のみが出土することから東側は中期後半榎林式期、西側は前期後半、おそらく円筒下層 d1 式期に形成されたと推定される。高位部の西側緩斜面部を除いた大型住居周辺にはⅢ下層が残らないことから大型住居建造時にⅤ層まで削平し、その土を東側に廃棄した土に相当すると考えられる。

RM・M 層ともⅢ層の中に挟み、Ⅲ上層とⅢ下層に分けている。RM 層は土手状であるためその上位のⅢ上層の発達が悪い。

RM・M 層の土量を 4m 単位のメッシュ法¹⁾で計算したところ、RM 層は 139 m³、M 層は 101 m³であった。RM 層を供給したとみられる大型住居 H-1・2・4 の推定掘り上げ土量（堅穴の土量）を平均すると 1 軒あたり 59 m³で、RM 層は 2.4 軒、M 層は 1.7 軒分に相当する。C 地区高位部には H-3 の周堤もあり、H-1 と半端な H-2・4 と合わせて 3 軒分位に相当する RM 層があったと推定される。RM 層は調査区の西側のボンクレ川の斜面にも広がっており、それらを考慮に入れて RM 層は大型住居の掘り上げ土の量と概ね一致しそうである。（鈴木）

1) グリッドの四隅の厚さの和を 4 で割り（平均化した厚さ）、1 グリッド面積（16 m²）をかけたものをそのグリッドの土量とし、その総和を全体の土量とする。例えば、四隅が 18・18・34・21cm の MSO 区の場合、厚さを「m」に変換し、 $\{(0.18+0.18+0.34+0.21) \div 4\} \times 16 \text{ m}^2 = 3.64 \text{ m}^3$ となる。大体の土量を把握することを目的としているため、地形の傾斜や微細な凹凸は無視している。

表 VI-1 C 地区遺構一覽

遺構名	位置 [坐標(E)]	構築面	検出面	平面形	検出面 (m)		底面 (m)		深さ (m)	長軸方向	時期	備考
					長軸	短軸	長軸	短軸				
H-1	M85 ~ 87, N81 ~ 87, O84 ~ 87, P85 ~ 86	Ⅲ層中	RM 層上面	隅丸長方形	10.65	8.94	10.80	8.72	1.11	N-48° -E	前期後半円下 d1 式	KO4-D1 ~ D4
H-2	J87 ~ 88, K87 ~ 88, L87 ~ 88	Ⅲ層中	RM 層上面	隅丸方形	(5.81)	6.52	(5.50)	6.10	0.95	N-13° -E	前期後半円下 d1 式	
H-3	Q85 ~ 87	Ⅲ層中	RM 層上面	隅丸方形	(6.90)	(1.00)	(6.88)	(0.89)	0.60	N-79° -W	前期後半円下 d1 式	
H-4	O83 ~ 84, P82 ~ 84, Q82 ~ 84	Ⅲ層中	RM 層上面	隅丸方形	(7.14)	7.71	(6.99)	7.29	1.02	N-23° -E	前期後半円下 d1 式	KO4-D5 ~ D6
H-5	K74 ~ 75, L74 ~ 75	Ⅲ層中	Ⅲ層中	台形	(5.64)	4.93	6.20	4.74	0.44	N-83° -E	前期後半(下部), 中期後半半段式(上部)	KO4-D7 ~ D8
H-6	L78 ~ 79, M78 ~ 79, N78 ~ 79	Ⅲ層中	Ⅲ層上面	隅丸方形	4.78	4.27	4.60	(4.20)	0.59	N-62° -E	前期後半円下 d1 式	KO4-D9 ~ D10
H-7	M76 ~ 77, N76 ~ 77, O76 ~ 77	Ⅲ層中	Ⅲ層上面	隅丸方形	(5.98)	5.76	5.78	5.50	0.88	N-24° -E	前期後半円下 d1 式	KO4-D11 ~ D12
H-8a	J78 ~ 79, K78 ~ 79	Ⅲ層中	Ⅲ・M 層	不整形	(5.04)	4.47	(4.46)	(3.72)	(0.41)	N-10° -W	後期の竈天埴今式	KO4-D13
H-8b	J78 ~ 79, K78 ~ 79	Ⅲ層中	Ⅲ・M 層	隅丸長方形	7.30	5.88	7.02	5.79	0.87	N-46° -E	前期後半円下 c 式	KO4-D14
H-9	N84 ~ 85, O84 ~ 85	造成削平面V層	H-1RM 層下位	隅丸方形	6.74	(5.38)	5.90	(4.78)	0.50	N-21° -E	前期後半円下 b1 ~ c 式	KO4-D15
H-10	J86, K86	造成削平面IV層	H-2RM 層下位	不明	(3.76)	(1.52)	(3.56)	(1.28)	0.52	N-30° -W	前期後半円下 b1 ~ c 式	
H-11	N80	Ⅲ層上面	M 層下・Ⅲ層上面	隅丸長方形	3.03	2.18	2.76	1.88	0.33	N-25° -E	後期の竈天埴今式	KO4-D16 ~ D17
H-12	N79 ~ 80, O79 ~ 80	Ⅲ層上面	M 層下・Ⅲ層上面	不整形	3.53	3.13	3.14	2.80	0.68	N-20° -W	前期後半?	
H-13	L86 ~ 87, M86 ~ 87	Ⅲ層上面	H-1RM 層下・Ⅲ層上面	隅丸方形	4.98	4.94	4.77	4.36	0.54	N-21° -E	前期後半円下 b1 ~ c 式	KO4-D18
H-14	K86, L86	Ⅲ層上面	H-2RM 層下・Ⅲ層上面	不整形	(4.74)	(4.42)	(4.64)	(4.30)	0.30	N-48° -W	前期後半円下 b1 ~ c 式	KO4-D19
H-15	L85 ~ 86, M85 ~ 86	Ⅲ層上面	H-1RM 層下・Ⅲ層上面	不整形	4.64	4.56	4.30	4.15	0.36	N-13° -E	前期後半円下 b1 ~ c 式	KO4-D20
H-16	P84 ~ 85, Q84 ~ 85	Ⅲ層上面	RM 層下・Ⅲ層上面	楕円形	(3.73)	(3.67)	(3.64)	(3.42)	0.64	N-15° -E	前期後半円下 b1 ~ c 式	
H-17	J85 ~ K85	不明	V 層上	不整形	(4.19)	4.12	3.98	3.92	0.30	N-65° -E	前期後半円下 b1 ~ c 式	
H-18	O83 ~ 84	Ⅲ層上面	RM 層下	圆形	4.56	(2.69)	4.35	(2.54)	0.42	N-23° -W	前期後半円下 b1 ~ b2 式	
H-19	O84, P84	Ⅲ層上面	RM 層下	隅丸長方形	4.25	(1.76)	3.95	(1.64)	0.22	N-37° -W	前期後半円下 h2 式	
H-20	N81 ~ 82, O81 ~ 82	Ⅲ層	M 層下・Ⅲ層上面	隅丸長方形	(6.70)	(4.39)	6.14	(3.94)	0.60	N-31° -E	中期前半円上層 a2 式	KO4-D21
H-21	P86, Q86	Ⅲ層上面	RM 層下	楕円形?	(3.20)	(1.38)	(3.07)	(1.22)	0.33	N-81° -W	前期後半	
H-22	I79 ~ 80	Ⅲ層	V 層上	楕円形?	4.52	(2.53)	3.86	(2.35)	0.62	N-40° -E	後期前葉	
H-23	I80, 80	Ⅲ層	V 層上	不整形楕円形	(3.06)	(1.94)	(2.65)	(1.72)	0.36	N-12° -E	前期後半円下 d1 式?	
H-25	O80, P80	M 層下位	M 層 ~ Ⅲ層	隅丸方形	(3.62)	(5.32)	(5.46)	(3.06)	0.90	N-41° -E	前期後半円下 a1 式	KO4-D22
H-26	P76 ~ 77, Q76 ~ 77	M 層上面	M 層上面	隅丸方形	4.28	3.88	4.05	3.57	0.62	N-11° -W	中期後半段式	KO4-D23 ~ D24
H-27	Q74 ~ 75, R74 ~ 75	M 層下面	M 層下面	隅丸長方形	(5.20)	5.34	(5.14)	5.25	1.07	N-79° -W	前期後半円下 c ~ d1 式	KO4-D25 ~ D27
H-28	K72 ~ 73	Ⅲ層	Ⅲ層	隅丸長方形	7.18	(2.79)	7.02	(2.76)	0.82	N-86° -W	前期後半円下 a1 式	KO4-D28
H-29	O74 ~ 75	Ⅲ層	Ⅲ層	隅丸方形	(4.02)	(3.56)	(3.60)	(3.30)	0.60	N-4° -W	中期後半段式	KO4-D29 ~ D30
H-30	O68 ~ 69, P68 ~ 69	Ⅲ層	Ⅲ層	隅丸方形	(5.63)	5.32	(5.16)	4.88	0.74	N-68° -E	前期後半円下 d2 式	KO4-D31 ~ D34
H-31	S69	Ⅲ層中	V 層上面	円形?	(2.80)	(1.40)	(2.48)	(1.20)	0.40	N-83° -W	中期後半段式 ~ 大安在 B 式	
H-32	R70 ~ 71, S70 ~ 71	Ⅲ層中	V 層	隅丸方形?	(3.89)	(1.98)	(3.60)	-	0.54	N-74° -E	中期後半段式 ~ 大安在 B 式	KO4-D35
H-33	N70	Ⅲ層	V 層	隅丸方形	(2.42)	2.05	1.80	1.82	0.34	N-43° -E	中期前半?	KO4-D36
H-34	R66	Ⅲ層	V 層	隅丸方形	(2.32)	(1.94)	(2.09)	1.76	0.34	N-61° -E	中期後半段式	KO4-D37
H-37	M75 ~ N74	Ⅲ層中	V 層	隅丸方形	(3.08)	3.08	(2.94)	(2.90)	0.24	N-19° -W	中期後半段式	KO4-D40
H-38	O78	M 層	V 層	不整形	(1.90)	1.79	(1.76)	1.64	0.58	N-82° -W	中期後半段式	KO4-D41
P-1	M77	Ⅲ層?	IV層	円形	0.88	0.80	0.88	0.70	0.62	N-30° -W	後期前葉	
P-2	L77	Ⅲ層?	V 層	円形	1.46	1.41	1.25	1.19	0.34	N-7° -W	中期後半?	
P-3	M77	Ⅲ層?	V 層	円形	0.54	0.50	0.26	0.22	0.34	N-90° -W	不明	
P-4	J83 ~ 84, K83 ~ 84	Ⅲ層中	IV層	不明	-	-	-	-	-	-	不明	
P-5	K81 ~ 82	M 層上?	M 層中	楕円形	0.94	0.68	0.62	0.50	0.56	N-25° -E	前期後半円下 b1 ~ b2 式	
P-6	L80, M80	M 層上	M 層上	長方形	(2.10)	1.58	1.84	1.24	0.36	N-44° -W	前期後半円下 b1 ~ d1 式	
P-7	L74	Ⅲ層?	V 層	円形?	0.69	(0.25)	(0.18)	(0.05)	0.50	N-54° -W	前期後半	
P-8	L74	Ⅲ層?	V 層	不整形	(0.38)	(0.50)	(0.26)	(0.20)	0.20	N-18° -E	不明	
P-9	L75	Ⅲ層?	V 層	円形	0.48	0.48	0.22	0.13	0.18	N-16° -E	不明	
P-10	N85, O85	H-1 礎土 1 ~ 2 上面	H-1 礎土 1 ~ 2 上面	不整形	(1.34)	(1.42)	0.80	0.68	1.08	N-9° -E	前期後半以降	
P-11	K87	H-1 礎土 8 上面	H-2 礎土 8 上面	不整形	1.00	0.95	0.92	0.89	0.05	N-9° -E	前期後半円下 d1 式?	
P-12	N84	H-1 礎土	H-1RM 層	円形	1.04	1.00	0.72	0.68	0.86	N-48° -W	前期後半以降	
P-13	N87	H-1 礎土 ~ 礎土 2 ~ 礎土	H-1RM 層	円形	1.11	(1.22)	0.98	1.00	0.78	N-81° -W	前期後半以降	

遺構名	位置 (発掘区)	構築面	検出面	平面形	検出面 長軸 短軸	底面 (m) 長軸 短軸	深さ (m)	長軸方向	時期	備考
P-14	N85	H-1 壁～覆土2～ 盛土	H-1 覆土	不整形円形	1.24 1.13	0.92 0.78	0.88	N-24° -W	中期後半	
P-17	P86	H-1 壁～覆土2、 盛土	H-1 覆土	不整形円形	2.16 1.91	1.72 1.75	1.16	N-77° -W	中期後半	K04-D48
P-18	P86	H-1 壁～覆土2	P-17 覆土	円形	[1.62] [0.68]	[1.42] [0.86]	1.23	N-49° -W	前期後半～中期後半	
P-19	P86	H-1 壁～覆土2	P-17 覆土	楕円形	1.50 [0.50]	[0.90] [0.09]	1.44	N-54° -E	前期後半以降～中期後半以前	
P-20	L85	遺構?	V層	円形	1.29 1.06	0.82 0.62	0.34	N-60° -W	前期後半以降	
P-21	L85	遺構?	V層	円形	0.64 0.56	0.36 0.30	0.26	N-73° -W	前期後半以降	
P-22	K86	遺構中	遺構中	不明	1.02 [0.30]	0.54 [0.30]	0.42	N-79° -E	前期後半円下41式以降	
P-23	K86	遺構?	V層	円形	0.65 [0.28]	0.60 [0.26]	0.14	N-11° -W	前期後半円下41式以降	
P-24	O85	M層下	M層下V層	円形	0.68 0.67	0.46 0.44	0.31	N-10° -E	前期後半	
P-25	M84	H-9 覆土上	H-9 床セクション	楕円形	1.22 0.89	1.02 0.64	0.66	N-41° -W	前期後半以降	
P-26	M84	—	H-9 床	楕円形	0.66 0.60	0.42 0.40	0.09	N-27° -E	前期後半以降?	
P-27	P87	RM層より上	RM層上面	円形	1.75 1.73	1.64 1.90	0.80	N-10° -E	前期後半円下41式以降	K04-D49
P-28	P85	—	RM層下面	円形	1.10 1.05	1.04 1.01	0.42	N-7° -W	前期後半以降	
P-29	Q88	RM層より上	RM層上面	不明	1.14 0.98	0.96 0.92	0.83	N-81° -W	前期後半以降	
P-30	P85・86	—	RM層下	円形	—	—	0.21	—	中盤後半以前	
P-31	P86	—	IV～V層	方形	1.12 [0.32]	0.77 [0.30]	0.32	N-50° -E	後期前葉?	
P-32	P85	—	H-16 壁、覆土	円形	0.74 0.64	0.58 0.56	0.16	N-65° -E	前期後半以降	
P-33	O83	H-18 覆土	H-18 セクション床	円形	0.91 0.84	0.72 0.69	0.07	N-70° -W	前期後半以降	
P-34	P86	RM層上	H-18 セクション床	不整形円形	[0.94]	0.94 0.59 0.47	0.48	N-57° -E	後期前葉以降～10世紀以前	
P-35	N29	遺構下	V層	円形	1.26 1.11	1.06 0.92	0.42	N-19° -W	前期後半	
P-36	K87	遺構中	遺構中	円形	0.67 [0.38]	0.60 [0.38]	0.54	N-81° -W	前期後半円下41式以降	
P-37	O84	H-18 覆土	遺構中	楕円形	[1.84]	1.27 [1.66]	0.82 0.38	N-9° -W	前期後半	
P-38	Q87	不明	遺下層	円形	0.91 0.87	0.72 0.60	0.58	N-79° -W	前期後半円下41式以降	
P-39	K79・80	遺構上	V層上	楕円形	1.18 0.78	0.96 [0.42]	0.22	N-45° -E	不明	
P-40	M86	—	V層	楕円形?	[0.71]	[0.31] 0.34 [0.11]	0.32	N-78° -E	前期後半円下41式以降	
P-41	N81・82	—	H-20 床面	円形	0.82 0.73	0.44 0.42	0.60	N-50° -W	中盤前半円下層a2式以降	K04-D50
P-42	N81・82	—	H-20 床面	円形	0.75 0.65	0.56 0.43	0.10	N-10° -W	中盤前半以前	
P-43	G80	遺構中	V層上面	楕円方形?	2.33 [1.02]	1.92 [0.86]	0.74	N-43° -W	後期前葉?	
P-44	Q87	—	遺下層	円形	[1.10]	1.00 [1.00]	0.93 0.53	N-12° -E	前期後半以降	
P-45	Q84	—	V層	楕円方形	1.18 [0.60]	0.93 [0.26]	0.72	N-11° -E	前期後半～中期後半?	
P-46	B80	—	V層	楕円方形	[1.34]	[1.06] [1.26]	1.01 0.34	N-50° -E	不明	
P-47	Q86	RM層上面	RM層上面	不明	[0.88]	— [0.66]	— 0.64	N-77° -W	前期後半円下41式以降	
P-48	P67	—	V層	円形	0.55 0.53	0.58 0.49	0.57	N-87° -W	後期前葉?	
P-49	P67	—	V層	円形	0.68 0.59	0.64 0.48	0.52	N-72° -E	不明	
P-50	N69	遺構中	V層	円形	[1.42]	[0.94] [1.26]	0.86 0.14	N-22° -W	前期後半?	
P-51	O67	遺構	V層	楕円形	0.73 0.65	0.49 0.48	0.12	N-7° -E	不明	
P-52	N69、O69	遺構	V層	円形	0.76 [0.68]	0.59 [0.56]	0.38	N-86° -W	不明	
P-53	B67	—	V層	楕円形	0.82 0.66	0.65 0.53	0.15	N-76° -W	不明	
P-54	N70	遺構	V層	楕円形	[0.63]	0.56 0.47 0.29	0.11	N-74° -W	前期前半	
P-55	N70	遺構	V層	楕円形	1.30 [1.08]	0.70 0.59 0.14	N-14° -E	前期後半以降		
P-56	N71	遺構	V層	円形	0.67 0.62	0.39 0.36	0.36	N-77° -W	不明	
P-57	N71、O71	遺構	V層	円形	0.77 0.72	0.54 0.56	0.32	N-82° -W	不明	
P-58	O71・72	遺構	V層	円形	0.74 0.68	0.89 0.82	0.40	N-65° -E	後期前葉	
P-59	Q66	遺構	V層	楕円形	0.88 0.64	0.37 0.36	0.36	N-61° -E	前期後半以降	
P-60	N70、O70	遺構	V層	楕円形	0.68 0.58	0.47 0.37	0.30	N-6° -E	不明	
P-61	Q64	遺構	V層	楕円形	0.78 0.66	0.58 0.48	0.34	N-83° -W	不明	
P-62	P72	—	V層	円形	0.67 0.69	0.52 0.52	0.34	N-21° -W	不明	
P-63	P72	—	V層	円形	0.72 0.69	0.74 0.70	0.38	N-77° -W	不明	
P-64	P65	遺構	V層	円形	0.90 [0.82]	0.70 0.57	0.40	N-55° -E	不明	
P-65	P72	—	V層	円形	0.50 0.45	0.43 0.37	0.08	N-53° -W	不明	
P-66	Q67	遺構	V層	楕円形	0.82 0.69	0.50 0.38	0.25	N-69° -W	不明	
P-67	Q68	遺構	V層	円形	1.81 [1.66]	1.48 1.47	0.29	N-67° -E	中盤前半?	
P-68	Q68	遺構	V層	楕円方形	[1.72]	1.52 [1.42]	1.24 0.20	N-84° -E	前期後半以前	
P-69	B66	遺構?	H-34 床面	楕円形	0.64 0.54	0.40 0.32	0.07	N-22° -W	前期後半以前	
P-70	Q73・74、R73・74	遺構	H-27 西壁	楕円形	2.36 1.47	1.85 1.06	1.28	N-7° -E	前期後半以降	
P-71	R70、S70	—	V層	円形	0.83 0.77	0.87 0.78	0.19	N-36° -W	不明	
P-72	Q68	遺構	V層	円形	[1.61]	[0.83] 0.80 [0.60]	0.28	N-73° -E	中期後半	
P-73	N68	遺構	V層	楕円形	[0.85]	0.58 0.62 0.35	0.14	N-84° -E	前期後半円下41式以降	
P-74	Q70、R70	—	V層	長方形	1.99 1.30	1.78 0.96	1.18	N-69° -E	前期後半楕円式	K04-D51
P-75	P72	—	V層	円形	0.92 0.88	0.92 0.91	0.37	N-72° -W	前期後半?	
P-76	R71、S71	—	V層	方形	0.67 0.66	0.58 0.54	0.15	N-61° -W	前期後半以前	
P-77	Q70	遺構	V層	円形	1.10 0.96	0.96 0.86	0.74	N-77° -E	不明	
P-78	P70	遺構	V層	楕円形	1.14 [0.50]	0.82 [0.40]	0.16	N-72° -E	不明	

遺構名	位置 (坐標区)	構面	構面	平面形	横断面 (m) 長軸 短軸	底面 (m) 長軸 短軸	深さ (m)	長軸方向	時期	備考
P-79	O70、P70	遺構	V層	構内形	(2.22) 1.76	(1.94) 1.54	0.29	N-12° W	前期後半?	
P-80	O70	遺構	V層	方形	1.06 0.96	0.86 0.72	0.09	N-65° 主	不明	
P-81	N72	遺構	V層	内形	1.35 [1.21]	1.01 1.00	0.40	N-82° 主	前期後半?	
P-82	N72	遺構	V層	内形	0.98 0.98	0.72 0.68	0.36	N-11° 主	不明	
P-83	Q70	遺構	V層	内形	1.66 1.66	1.48 1.38	0.34	N-18° W	不明	
P-84	O68	遺構	V層	構内形	0.96 0.83	0.47 0.39	0.44	N-30° W	前期後半?	
P-85	R70	—	V層	不明	(0.60) (0.24)	(0.52) (0.20)	(0.41)	N-56° W	中期後半横林式以前	
P-86	M72	遺構?	V層	内形	0.92 0.81	0.41 0.32	0.52	N-31° W	不明	
P-87	N77、O77	M層上位	M層	構内形	1.12 (0.92)	0.88 0.70	0.38	N-63° 主	不明	
P-88	Q71・72	—	V層	内形	1.68 1.58	1.46 1.30	0.46	N-72° 主	不明	
P-89	R73	—	V層	内形	1.02 0.92	0.94 0.84	0.26	N-54° 主	前期後半?	
P-91	Q73	—	V層	内形	[1.44] [1.42]	0.94 [0.92]	0.42	N-73° W	前期後半?	
P-92	Q73	—	V層	不明	(0.62) (0.50)	(0.44) (0.32)	0.23	N-9° 主	前期後半?	
P-93	N71	—	V層	内形	(0.78) (0.70)	0.48 0.40	0.38	N-23° 主	不明	
P-94	P70・71	—	V層	内形	[1.66] 1.60	[1.44] 1.40	0.39	N-62° 主	前期後半?	
P-95	R70	—	V層	内形	0.82 0.80	0.82 0.87	0.38	N-54° W	前期後半?	
P-96	Q65	—	V層	内形	0.69 0.70	0.66 0.64	0.28	N-18° W	不明	
P-97	Q64	—	V層	内形	0.62 0.54	0.64 0.52	0.62	N-86° W	不明	
P-98	N69	—	V層	内形	[0.68] [0.64]	[0.64] [0.64]	0.14	N-83° W	不明	
P-99	Q65	—	V層	内形	0.68 [0.62]	0.56 0.52	0.16	N-9° 主	不明	
F-1	K76	遺構下部	遺構下部	—	0.94 0.62	—	—	—	不明	
F-2	M77	遺構下部	遺構下部	—	(0.67) (0.50)	—	(0.68)	—	不明	
F-3	J76	遺構下部	遺構下部	—	0.49 0.28	—	—	—	不明	
F-4	Q84	M層	RM層	—	0.72 0.40	—	—	—	前期後半円下d1式	
F-5	L80	M層上	M層上	—	0.58 0.56	—	—	—	後期前葉	KO4-D44
F-7	H80・81	盛土上?	盛土上?	—	—	—	—	—	後期前葉	
F-13	N85、O85	H-1 覆土2 上面	V層	—	[0.66] [0.54]	—	—	—	前期後半?	
F-14	N81	M層下	M層下	—	0.68 (0.34)	—	—	—	中期前半?	
F-15	Q84	遺下層上面	遺下層上面	—	(0.39) 0.34	—	—	—	前期後半円下b1～d1式	
F-16	M85	RM層直下	V層上面	—	0.36 0.24	—	—	—	前期後半円下b1～d1式	
F-17	M79	遺構下層	遺構下	—	0.30 0.28	—	—	—	不明	
F-18	R83	遺構中	遺構中	—	0.50 0.20	—	—	—	不明	
F-19	O72	遺構下	遺構下	—	(0.46) 0.48	—	—	—	後期前葉以降	
F-20①	O70、P70	遺構下	遺構下	—	(0.40) (0.34)	—	—	—	不明	
F-20②				—	0.50 (0.36)	—	—	—	不明	
F-23	Q73	遺構中	遺構中	—	0.34 0.22	—	—	—	前期後半以降	
F-24	O78	遺下層下部	遺下層	—	(0.22) 0.24	—	—	—	中期後半	
FC-1	R71	—	遺構中	—	0.60 0.44	—	—	—	前期後半円下b2式	
FC-2	L83	遺構	遺構	—	0.99 0.84	—	—	—	不明	
FC-3	N79	遺下層	遺下層	—	2.84 1.88	—	—	—	前期後半	
FC-4	N80	M層中	M層中	—	[0.60] [0.44]	—	—	—	前期後半	
FC-5	L80	遺下層上面	遺下層上面	—	2.92 1.76	—	—	—	前期後半	
FC-6	P88	H-3RM層	H-3RM層下部	—	(1.22) 0.88	—	—	—	前期後半円下b1～c式	
FC-7	L86	H-2RM層	H-2RM層中部	—	0.60 0.43	—	—	—	前期後半円下d1式	
FC-8	L86、M86	H-1RM層	H-1RM層中	—	0.53 0.34	—	—	—	前期後半円下b1～d1式	
FC-9	M85	H-1RM層中	H-1RM層中	—	0.92 (0.68)	—	—	—	前期後半円下b1～d1式	
FC-10	M88	遺下層上部	遺下層上部	—	1.02 0.73	—	—	—	前期後半円下b1～c式	
FC-11	P86	H-1RM層中	H-1RM層中	—	0.66 0.42	—	—	—	前期後半円下b1～d1式	
FC-12	O66	遺構下部	遺構下部	—	2.05 1.41	—	—	—	不明	
FC-13	R70	遺構下部	遺構下部	—	1.48 0.52	—	—	—	不明	
FC-14	R71	遺構	遺構	—	1.24 0.84	—	—	—	不明	
FC-15	Q65	遺構	遺構	—	1.04 0.54	—	—	—	不明	
FC-16	P78	M層下・遺下層上面	M層下・遺下層上面	—	0.58 0.30	—	—	—	中期後半以前	
FC-17	P78	M層下・遺下層上面	M層下・遺下層上面	—	0.68 0.54	—	—	—	中期後半以前	
FC-18	P78	M層下・遺下層上面	M層下・遺下層上面	—	1.12 0.78	—	—	—	中期後半以前	
SC-3	O77	遺上層	遺上層	—	0.16 0.13	—	—	—	中期後半以降	
UP-1	M75	遺構	遺構	—	0.62 0.53	—	—	—	前期後半円下b1～c式	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

調査年度	調査区画	調査方法	土層別出土品										47年度出土品										調査年度
			遺物	土器	石器	金属	ガラス	陶器	瓦	土	石	骨	植物	動物	植物	動物	植物	動物	植物	動物	植物	動物	
昭和17	調査区画1	調査方法1	遺物	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	昭和17
			土器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			石器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			金属	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			ガラス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			陶器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			瓦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			土	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			石	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			骨	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
昭和18	調査区画2	調査方法2	遺物	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	昭和18
			土器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			石器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			金属	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			ガラス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			陶器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			瓦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			土	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			石	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			骨	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
昭和19	調査区画3	調査方法3	遺物	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	昭和19
			土器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			石器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			金属	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			ガラス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			陶器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			瓦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			土	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			石	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			骨	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
昭和20	調査区画4	調査方法4	遺物	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	昭和20
			土器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			石器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			金属	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			ガラス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			陶器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			瓦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			土	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			石	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			骨	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

表VI-3 C地区遺構出土掲載土器一覧

種類	図 番	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	点数	分類	器形・部位	備考	
VI-7	168	1-1	Ⅲ	Ⅲ	12	Ⅱb	口縁～底部		
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	18				
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	88	4			
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	68	1			
			P-13	Ⅲ-2	6				
			N87	Ⅲ-2	2				
			Ⅲ	Ⅲ	1				
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	7				
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	497	1			
			Ⅲ-1 ⅢP-1	Ⅲ-2	1				
			Ⅲ-1 ⅢP-2	Ⅲ-2	4				
大断面：(117.2)×(27.6)×(8.9)cm									
VI-7	168	2	Ⅲ-1	Ⅲ-2	1	Ⅱb	胴部		
VI-7	168	3a	Ⅲ-1	Ⅲ-10M	2	Ⅱb	口縁～胴部		
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	5				
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	1				
VI-7	168	3b	Ⅲ-1	Ⅲ-2	1	Ⅱb	口縁		
VI-7	168	4	Ⅲ-1	Ⅲ	4	Ⅱb	口縁～胴部		
			Ⅲ-1	Ⅲ	1				
			P-17	Ⅲ-1	1				
VI-7	168	5a	Ⅲ-1	Ⅲ	230	1	Ⅱb	口縁～胴部	
			Ⅲ-1	Ⅲ	248	3			
			Ⅲ-1	Ⅲ	275	1			
			Ⅲ-1	Ⅲ	1				
VI-7	168	5b	Ⅲ-1	Ⅲ-10M	270	1	Ⅱb	胴部	
			Ⅲ-1	Ⅲ-10M	271	1			
			Ⅲ-1	Ⅲ	268	3			
			Ⅲ-1	Ⅲ	269	1			
			Ⅲ-1	Ⅲ	275	1			
			Ⅲ-1	Ⅲ	276	1			
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	1				
VI-7	168	6	Ⅲ-1 ⅢP-9	Ⅲ-1	1	Ⅱb	胴部		
			Ⅲ-6	Ⅲ-1a	1				
			Ⅲ-6	Ⅲ-1	1				
VI-7	168	7	Ⅲ-1	Ⅲ	520	2	Ⅱb	口縁	
VI-7	168	8	Ⅲ-1	Ⅲ	102	1	Ⅱb	口縁	
VI-7	168	9	Ⅲ-1	Ⅲ-10M	437	1	Ⅱb	口縁	
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	2				
VI-7	168	10	Ⅲ-1	Ⅲ-2	3	Ⅱb	口縁		
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	5	Ⅱb	口縁		
VI-7	168	11a	Ⅲ-1	Ⅲ-2	2	Ⅱb	口縁		
VI-7	168	11b	Ⅲ-1	Ⅲ-2	2	Ⅱb	口縁		
VI-7	168	11c	Ⅲ-1	Ⅲ-2	1	Ⅱb	口縁		
VI-7	168	11d	Ⅲ-1	Ⅲ-2	3	Ⅱb	胴部		
VI-7	168	12a	Ⅲ-1	Ⅲ-10M	542	3	Ⅱb	胴部	
			Ⅲ-1	Ⅲ-1	1				
			Ⅲ-1 ⅢP-9	Ⅲ-1	1				
VI-7	168	12b	Ⅲ-1	Ⅲ	417	4	Ⅱb	胴部	
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	2				
			Ⅲ-1	Ⅲ	1				
VI-7	168	13	Ⅲ-1	Ⅲ	1	Ⅱb	胴部～底部		
			Ⅲ-1	Ⅲ	431	1			
			Ⅲ-1	Ⅲ	1				
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	1				
			Ⅲ-2 ⅢP-2	Ⅲ-2	2				
VI-8	168	14	Ⅲ-1 ⅢP-1	Ⅲ-1	1	Ⅱb	口縁		
VI-8	168	15	Ⅲ-1	Ⅲ-1a	4	Ⅱb	口縁		
VI-8	168	16a	Ⅲ-1	Ⅲ	2	Ⅱb	口縁		
VI-8	168	16b	Ⅲ-1	Ⅲ-2	2	Ⅱb	口縁		
VI-8	168	17a	Ⅲ-1	Ⅲ-2	9	Ⅱb	口縁		
VI-8	168	17b	Ⅲ-1	Ⅲ-2	3	Ⅱb	口縁		
VI-8	168	17c	Ⅲ-1	Ⅲ-10M	356	2	Ⅱb	胴部	
VI-8	168	17d	Ⅲ-1	Ⅲ-2	10				
			Ⅲ-1	Ⅲ	233	3	Ⅱb	胴部	
VI-8	168	18	Ⅲ-1	Ⅲ-2	6				
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	1	Ⅱb	口縁		
VI-8	168	19	Ⅲ-1	Ⅲ-1a	1	Ⅱb	胴部		
VI-8	168	20	Ⅲ-1	Ⅲ	3	Ⅱb	口縁		
VI-8	168	21	Ⅲ-1	Ⅲ-10M	350	1			
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	1				
			Ⅲ-1	Ⅲ	1				
VI-8	168	22	Ⅲ-1	Ⅲ-10M	2	Ⅱb	胴部		
VI-8	168	23	Ⅲ-1	Ⅲ-1a	1	Ⅱb	胴部		
VI-8	168	24	Ⅲ-1	Ⅲ	6	Ⅱb	口縁～胴部		
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	5				
VI-8	168	25a	Ⅲ-1	Ⅲ	1	Ⅱb	口縁～胴部		
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	1	Ⅱb	底部	土製内蓋	
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	1				
VI-8	168	25b	Ⅲ-1	Ⅲ-2	2	Ⅱb	底部	土製内蓋	
VI-8	168	26	Ⅲ-1	Ⅲ-2	1	Ⅱb	底部	土製内蓋	
VI-8	168	27	Ⅲ-1	Ⅲ-2	1	Ⅱb	胴部	土製内蓋	

種類	図 番	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	点数	分類	器形・部位	備考	
VI-8	169	28	Ⅲ-1	Ⅲ-1a	1	Ⅱb	胴部	土製内蓋	
VI-8	169	29	Ⅲ-1	Ⅲ-2	2	Ⅱb	胴部		
VI-8	169	30	Ⅲ-1	Ⅲ	2	Ⅱb	口縁		
VI-8	169	31	Ⅲ-1	Ⅲ-1a	1	Ⅱb	胴部		
VI-8	169	32	Ⅲ-1	Ⅲ	5	Ⅱb	底部		
			Ⅲ-1	Ⅲ-1a	7				
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	1				
			P-14	Ⅲ-1	3				
VI-8	169	33	Ⅲ-1	Ⅲ	12	Ⅱb	口縁～胴部		
			Ⅲ-1	Ⅲ-1a	1				
			Ⅲ-1	Ⅲ-1a	1				
			Ⅲ-1	Ⅲ-2	3				
			P-14	Ⅲ-2	9				
			P-14	Ⅲ-2	2				
大断面：(15.2)×(18.1)×(8.1)cm									
VI-8	169	34	Ⅲ-1	Ⅲ	5	Ⅱb	口縁		
VI-21	172	1	Ⅲ-2	Ⅲ-2	4	Ⅱb	口縁～胴部		
VI-21	172	2	Ⅲ-2	Ⅲ	1	Ⅱb	口縁		
VI-21	172	3	Ⅲ-2	Ⅲ-1	1	Ⅱb	口縁		
VI-21	172	4	Ⅲ-2	Ⅲ-1	1	Ⅱb	胴部		
VI-21	172	5	Ⅲ-1	Ⅲ-1a	2	Ⅱb	胴部		
VI-21	172	6	Ⅲ-2 ⅢP-2	Ⅲ-2	2				
			Ⅲ-2	Ⅲ-1	1	Ⅱb	底部		
VI-21	172	8	Ⅲ-2	Ⅲ-1	3	Ⅱb	口縁		
			Ⅲ-2	Ⅲ-1	1	Ⅱb	口縁		
VI-21	172	9	Ⅲ-2	Ⅲ-1	3	Ⅱb	口縁		
VI-21	172	10	Ⅲ-2	Ⅲ	1	Ⅱb	胴部		
VI-25	175	1	Ⅲ-3	Ⅲ	2	Ⅱb	胴部		
VI-25	175	2	Ⅲ-3	Ⅲ-1	1	Ⅱb	胴部		
VI-25	175	3	Ⅲ-3	Ⅲ-1a	2	Ⅱb	口縁～胴部		
VI-30	174	1	Ⅲ-4	Ⅲ	2	Ⅱb	口縁～底部		
			Ⅲ-4	Ⅲ-1a	24				
			Ⅲ-4	Ⅲ-1a	13①	67			
			Ⅲ-4	Ⅲ-1a	3				
			Ⅲ-4	Ⅲ-1a (厚上蓋)	3				
大断面：(15.1)×(26.0)×(7.3)cm									
VI-30	174	2	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	6	Ⅱb	口縁～底部		
大断面：(24.9)×(35.5)×(13.3)cm									
VI-30	174	3	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	11①	37	Ⅱb	口縁～胴部	
			Ⅲ-4	Ⅲ-1a	12①	30			
			Ⅲ-4	Ⅲ-1a	26①	8			
			Ⅲ-4	Ⅲ-1a	26①	8			
大断面：(22.3)×(30.0)×(8.1)cm									
VI-30	174	4	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	8	Ⅱb	口縁～胴部		
			Ⅲ-4	Ⅲ-1a	4①	50			
			Ⅲ-4	Ⅲ-1a	26①	21			
			Ⅲ-4	Ⅲ-1a	4				
大断面：22.7×(30.5)×(10.3)cm									
VI-31	175	5	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	1	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	6	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	33①	1	Ⅱb	口縁	
VI-31	175	7	Ⅲ-4	Ⅲ-2	3	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	8	Ⅲ-4	Ⅲ	1	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	9	Ⅲ-4	Ⅲ	1	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	10	Ⅲ-4	Ⅲ	3	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	11	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	32①	6	Ⅱb	口縁～胴部	
VI-31	175	12	Ⅲ-4	Ⅲ-2	1	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	13	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	26①	2	Ⅱb	口縁	
VI-31	175	14	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	33①	1	Ⅱb	口縁	
VI-31	175	15a	Ⅲ-4	Ⅲ-2	2	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	15b	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	2	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	16a	Ⅲ-4	Ⅲ	91	3	Ⅱb	胴部	
VI-31	175	16b	Ⅲ-4	Ⅲ	91	1	Ⅱb	胴部	
VI-31	175	17	Ⅲ-4	Ⅲ	1	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	18	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	1	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	19	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	1	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	20	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	2	Ⅱb	口縁		
VI-31	175	21	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	33①	4	Ⅱb	口縁	
VI-31	175	22	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	29①	2	Ⅱb	口縁	
VI-31	175	23	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	26①	2	Ⅱb	口縁	
VI-31	175	24a	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	3①	2	Ⅱb	口縁	
VI-31	175	24b	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	3①	3	Ⅱb	胴部	
VI-31	175	25	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	21	3	Ⅱb	口縁～胴部	
VI-31	175	26	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	29①	2	Ⅱb	胴部	
VI-31	175	27	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	1	Ⅱb	胴部		
VI-31	175	28	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	17	6	Ⅱb	胴部	
VI-31	175	29	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	1	Ⅱb	底部		
VI-31	175	30	Ⅲ-4	Ⅲ-1a	1	Ⅱb	底部		
VI-31	175	31	Ⅲ-4	Ⅲ	26①	17	Ⅱb	胴部(厚上蓋)	

図面	番号	遺構・ 基礎区	層位	遺物 番号	点数	分類	部材・部位	備考
VI-31	175	32	II-4	覆土 1b	25 (3)	21	Ⅱb	底面
VI-32	175	33	II-4	覆土 1b	34	34	Ⅱb	側面～底面
		II-4	覆土 1b	1 (3)	36			
		II-4	覆土 1b	29 (3)	28			
大断面：1 × (28.0) × (11.2) cm								
VI-32	176	34a	II-4	覆土 1b	1	1	Ⅱb	口縁～側面
		II-4	覆土 1b		2			
VI-32	176	34b	II-4	覆土 1a	3	3	Ⅱb	口縁～側面
VI-32	176	35	II-4	覆土 1a	1	1	Ⅱb	底面
VI-32	176	36	II-4	Ⅱ上	1	1	Ⅱb	口縁
VI-32	176	37	II-4	覆土 1a	1	1	Ⅱb	口縁
VI-32	176	38	II-4	Ⅱ上	8	8	Ⅱb	口縁
VI-44	179	1	II-5	覆土 2	2	2	Ⅱb	口縁
VI-44	179	2	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	側面
VI-44	179	3a	II-5	覆土 1	2	2	Ⅱb	口縁
VI-44	179	3b	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	側面
VI-44	179	4	II-5	覆土 1	3	3	Ⅱb	口縁
VI-44	179	5	II-5	覆土 2	1	1	Ⅱb	口縁
VI-44	179	6	II-5	覆土 2	1	1	Ⅱa	口縁
VI-44	179	7a	II-5	覆土 2	3	3	Ⅱa	口縁～側面
		875	Ⅱ上					
VI-44	179	7b	876		2	2	Ⅱa	口縁
VI-44	179	7c	II-5	覆土 1	9	9	Ⅱb	口縁～側面
		174	Ⅱ上		1			
		176	Ⅱ上		2			
VI-44	179	8	II-5	覆土 1	3	3	Ⅱa	口縁
VI-44	179	9	II-5	覆土 1	2	2	Ⅱa	口縁
VI-44	179	10	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱa	底面
VI-44	179	11	II-5	覆土 1	10	10	Ⅱb	口縁～底面
		M74	Ⅱ上		1			
大断面：(15.2) × (9.3) × 4.2 cm								
VI-44	179	12	II-5	覆土 1	20	20	Ⅱb	口縁～側面
大断面：(15.5) × (5.6) × (4.5) cm								
VI-44	179	13	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁～底面
		II-5	覆土 1		61			
大断面：23.8 × 30.9 × (7.8) cm								
VI-45	179	14a	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁～側面
		II-5	覆土 1		4			
		174	Ⅱ上		1			
		M74	Ⅱ上		7			
VI-45	179	14b	II-5	覆土 1	3	3	Ⅱb	口縁
VI-45	179	15a	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁
VI-45	179	15b	II-5	覆土 1	6	6	Ⅱb	側面
VI-45	179	16	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁
VI-45	179	17	II-5	覆土 1	10	10	Ⅱb	側面
VI-45	179	18	II-5	覆土 1	14	14	Ⅱb	側面
VI-45	179	19a	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁
		876	Ⅱ上		1			
VI-45	179	19b	G79	Ⅱ上	1	1	Ⅱb	口縁～側面
		176	Ⅱ上		3			
VI-45	180	20	II-5	覆土 1	2	2	Ⅱb	口縁
VI-45	180	21	II-5	覆土 1	3	3	Ⅱb	口縁～側面
VI-45	180	22	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁
VI-45	180	23a	II-5	覆土 1	3	3	Ⅱb	口縁
VI-45	180	23b	II-5	覆土 1	13	13	Ⅱb	口縁～側面
VI-45	180	23c	II-5	覆土 1	6	6	Ⅱb	側面
VI-45	180	23d	II-5	覆土 1	4	4	Ⅱb	側面
VI-46	180	24a	II-5	覆土 1	5	5	Ⅱb	口縁～側面
VI-46	180	24b	II-5	覆土 1	5	5	Ⅱb	側面
		175	Ⅱ上		1			
VI-46	180	25	II-5	覆土 1	6	6	Ⅱb	口縁～側面
VI-46	180	26	II-5	覆土 1	3	3	Ⅱb	口縁
		II-5	覆土 1		7			
		II-5	覆土 2		1			
VI-46	180	27	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁～側面
		II-5	覆土 1		8			
大断面：(14.1) × (9.0) × - cm								
VI-46	180	28	II-5	覆土 1	4	4	Ⅱb	側面
		II-5	覆土 2		10			
VI-46	180	29a	II-5	覆土 1	5	5	Ⅱb	側面
		M74	Ⅱ上		1			
VI-46	180	29b	II-5	覆土 1	3	3	Ⅱb	側面
		174	Ⅱ上		1			
VI-46	181	30	II-5	覆土 1	12	12	Ⅱb	口縁～側面
VI-46	181	31	II-5	覆土 1	2	2	Ⅱb	口縁
VI-47	181	32a	176	Ⅱ上	3	3	Ⅱb	口縁
		179	Ⅱ上		2			
VI-47	181	32b	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁

図面	位置	番号	遺構・基礎区	層位	遺物番号	点数	分類	部材・部位	備考
VI-47	181	33	II-5	覆土 1	10	10	Ⅱb	側面～底面	
VI-47	181	34	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱb	底面	
VI-47	181	35	II-5	覆土 1	3	3	Ⅱb	側面	
VI-47	181	36	II-5	覆土 1	2	2	Ⅱb	底面	
VI-47	181	37	II-5	覆土 1	4	4	Ⅱb	底面	
VI-47	181	38	II-5	覆土 1	10	10	Ⅱb	側面	統合面あり
VI-47	181	39	II-5	覆土 1	7	7	Ⅱb	側面～底面	統合面あり ROM・CNH
VI-47	181	40	II-5	覆土 1	9	9	Ⅱb	底面	
VI-47	181	41	II-5	覆土 1	2	2	Ⅱb	底面	
		II-5	覆土 1	1					
VI-47	181	42	II-5	覆土 2	1	1	Ⅱa	側面	
VI-47	181	43	II-5	覆土 1	1	1	Ⅱa	底面	
VI-56	183	1	II-6	M1	5	5	Ⅱb	口縁～底面	
		II-6	覆土 1 (層上直)	168	87				
		II-6	覆土 1		20				
		II-6	覆土 2		1				
		M79	Ⅱ上		1				
大断面：23.7 × 36.5 × 7.5cm									
VI-56	183	2	II-6	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁	
VI-56	183	3	II-6	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁	
VI-56	183	4	II-6	覆土 1	1	1	Ⅱb	側面	
VI-56	183	5	II-6	覆土 2	1	1	Ⅱb	側面	
VI-56	183	6	II-6	M1	1	1	Ⅱb	側面	
VI-56	183	7	II-6	覆土 1	2	2	Ⅱb	側面	
VI-56	183	8	II-6	覆土 1	2	2	Ⅱb	底面	
VI-56	183	9	II-6	覆土 1	1	1	Ⅱb	側面	
VI-62	184	1	II-7	M	2	2	Ⅱb	口縁	
VI-62	184	2	II-7	床面直上	42	1	Ⅱb	口縁	
VI-62	184	3	II-7	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁	
VI-62	184	4	II-7	覆土 1	1	1	Ⅱb	口縁	
VI-62	184	5	II-7	M	1	1	Ⅱb	口縁	
VI-62	184	6	II-7	Ⅱ上上面	1	1	Ⅱb	口縁	
VI-62	184	7	II-7	M	1	1	Ⅱb	口縁～側面	
		N77	Ⅱ上		2				
		N77	Ⅱ上		17				
		N77	覆土 1		2				
		N78	M		8				
		N78	覆土 1		12				
		N79	M		1				
大断面：(25.1) × (29.2) × - cm									
VI-62	184	8a	II-6	覆土 2	1	1	Ⅱb	口縁～側面	
		G77	M	1	1	Ⅱb	口縁		
VI-62	184	8b	II-7	M	1	1	Ⅱb	口縁	
VI-62	184	8c	II-7	M	1	1	Ⅱb	口縁	
VI-62	184	9	II-7	M 層上面	1	1	Ⅱb	側面	
VI-62	184	10	II-7	M 層上面	2	2	Ⅱb	口縁	
VI-62	184	11a	II-7	M 層上面	2	2	Ⅱb	口縁	
VI-62	184	11b	M74	Ⅱ上	1	1	Ⅱb	側面～底面	
		M74	Ⅱ上		11				
VI-62	184	12	II-7	M	2	2	Ⅱb	側面～底面	
VI-70	185	1	II-8	Ⅱ上	7	7	Ⅱa	口縁～側面	
		II-8	M		2				
		II-8	覆土 1		3				
		II-8	覆土 中		9				
		II-8 IF-1	覆土 1	18 (1)	2				
		II-8a	床面	16	19				
		II-8a	床面	19	7				
大断面：(23.5) × (28.2) × - cm									
VI-70	185	2	II-8	M	1	1	Ⅱa	口縁～側面	
		II-8a	床面	1 (3)	35				
		II-8a	床面	2 (3)	20				
大断面：22.5 × (28.2) × - cm									
VI-70	186	7-1	II-8b	床面	63	27	Ⅱb	口縁～底面	
		II-8b	床面	64	48				
		II-8b	床面	86	19				
		7-2	II-8b	床面	64	16			
		II-8b	床面	86	2				
大断面：(17.2) × (33.9) × 7.7cm									
VI-72	186	14a	II-8	覆土 1	1	1	Ⅱb	側面	
VI-72	186	14b	II-8	M	2	2	Ⅱb	側面	
		II-8	覆土 1		1				
VI-72	186	15	II-8	覆土 1	1	1	Ⅱb	側面	
VI-72	186	16	II-8	覆土 1	1	1	Ⅱb	側面	
		K78	Ⅱ上		1				
VI-72	186	17	II-8	覆土 1	3	3	Ⅱb	底面	
VI-72	186	18	II-8	覆土 中	3	3	Ⅱb	口縁	
VI-72	186	19	II-8	覆土 中	1	1	Ⅱb	口縁	
VI-72	186	20	II-8	覆土 中	1	1	Ⅱb	側面	

探検 図記	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	点数	分類	部材・部位	備考	
VI-72 186	21	II-B	覆土	2	II-B	側部		
VI-72 186	22	II-B	覆土 2	1	II-B	口縁		
VI-72 186	23	II-B	覆土 1	1	II-B	口縁		
VI-72 186	24	II-B	覆土 2	2	II-B	側部		
VI-72 186	25	II-B	覆土 中	1	II-B	側部		
VI-72 187	26	II-B	覆土 中	8	II-B	口縁～側部		
VI-72 187	27a	Ⅱ	Ⅱ	4	IV-A	側部		
VI-72 187	27b	Ⅱ	Ⅱ	1	IV-A	側部		
VI-80 188	1	II-A	覆土 2	5	II-B	口縁～側部		
VI-80 188	1	II-A	覆土 1	10	II-B	口縁		
VI-80 188	1	II-A	灰面直上	53	5	II-B	側部	
VI-80 188	1	II-A	灰面直上	148	6	II-B	側部	
VI-80 188	1	II-A	覆土	1	II-B	側部		
VI-80 188	1	II-A	RM	16	II-B	側部		
大きさ: [21.1] × [23.0] × - cm								
VI-80 188	2	II-A 10P-2	覆土	1	II-B	口縁		
VI-80 188	3	II-A 10P-5	覆土	1	II-B	口縁		
VI-80 188	4	II-A 10P-9	覆土	1	II-B	側部		
VI-80 188	5	II-A	灰面直上・灰土	31	97	II-B	側部～底部	
VI-80 188	5	II-A	覆土 2	3	II-B	側部		
VI-80 188	5	II-A 10P-3	覆土	2	II-B	側部		
大きさ: - × [22.9] × 9.2cm								
VI-80 188	6	II-A	灰面直上	148	3	II-B	口縁	
VI-80 188	7a	II-A	灰面直上	148	5	II-B	口縁～側部	
VI-80 188	7b	II-A	灰面直上	54	9	II-B	口縁～側部	
VI-80 188	8	II-A	灰面直上	149	5	II-B	口縁	
VI-80 188	9	II-A	覆土 1	1	II-B	口縁		
VI-80 188	10a	II-A	灰面直上	213	1	II-B	側部	
VI-80 188	10b	II-A	灰面直上	213	1	II-B	側部	
VI-80 188	11a	II-A	灰面直上・灰土	53	33	II-B	口縁～側部	
VI-80 188	11b	II-A	灰面直上・灰土	53	13	II-B	口縁～側部	
VI-80 188	11c	II-A	灰面直上・灰土	53	5	II-B	口縁～側部	
VI-80 188	11d	II-A	灰面直上・灰土	53	2	II-B	底部	
VI-80 188	11e	II-A	灰面直上・灰土	53	2	II-B	底部	
VI-80 188	12a	II-A	灰面直上	213	12	II-B	口縁	
VI-80 188	12b	II-A	灰面直上	213	5	II-B	口縁	
VI-80 188	12c	II-A	灰面直上	213	1	II-B	側部	
VI-96 193	1	II-13	RM	11	92	II-B	口縁～底部 圧痕 36	
VI-96 193	1	II-13	RM	11	65	II-B	口縁～底部	
大きさ: 28.9 × 39.1 × [15.9]cm								
VI-96 193	2	II-13	覆土 2	2	196	II-B	口縁～底部	
大きさ: [10.7] × 49.2 × [5.7]cm								
VI-97 193	3	II-13	覆土 2	17	215	II-B	口縁～底部	
大きさ: 27.2 × 52.2 × 15.5cm								
VI-97 193	4	II-13	覆土 2	16	113	II-B	口縁～底部	
VI-97 193	4	II-13M	II-13M	14	14	II-B	口縁～底部	
大きさ: [20.6] × 49.2 × 10.3cm								
VI-98 194	5	II-13	RM	2	11	II-B	口縁～底部	
VI-98 194	5	II-13	覆土 2	21	218	II-B	口縁～底部	
大きさ: [17.6] × 86.8 × 9.0cm								
VI-98 194	6	II-13	覆土 2	26	121	II-B	口縁～底部	
大きさ: [14.0] × 33.2 × [6.3]cm								
VI-98 194	7	II-13	覆土 2	14	125	II-B	口縁～底部	
大きさ: 16.7 × 39.9 × [7.1]cm								
VI-98 194	8	II-13	覆土 1	8	8	II-B	口縁～底部	
VI-98 194	8	II-13	覆土 2	28	90	II-B	口縁～底部	
大きさ: 15.7 × 21.9 × 8.3cm								
VI-98 195	9	II-13	覆土 1	1	II-B	口縁～底部		
VI-98 195	9	II-13	覆土 2	20	67	II-B	口縁～底部	
大きさ: [15.2] × 25.5 × [9.2]cm								
VI-99 195	10	II-13	覆土 2	30	64	II-B	口縁～底部	
大きさ: [16.4] × 23.7 × 8.5cm								
VI-99 195	11	II-13	覆土 1	23	55	II-B	口縁～底部	
VI-99 195	11	II-13	覆土 2	5	II-B	口縁～底部		
大きさ: [15.2] × 18.7 × [7.2]cm								
VI-99 195	12a	II-12	覆土 2	2	II-B	口縁		
VI-99 195	12b	K80	II-28M	1	II-B	側部		
VI-99 195	12c	II-13	覆土 1	1	II-B	側部		
VI-99 195	12c	II-14	覆土	1	II-B	側部		
VI-99 195	13	II-13	覆土 2	1	II-B	側部		
VI-99 195	14	II-13	RM	2	34	II-B	口縁～側部	
VI-99 195	15	II-13	RM	3	II-B	口縁～側部		
VI-99 195	16	K87	II-18M	1	II-B	口縁		
VI-99 195	17	II-13	覆土 1	1	II-B	口縁		
VI-99 195	18	II-13	RM	2	6	II-B	口縁	
VI-99 195	19	II-13	覆土 2	15	3	II-B	口縁	
VI-99 195	20	II-13	RM	11	2	II-B	側部	

探検 図記	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	点数	分類	部材・部位	備考
VI-99 195	21	II-13	覆土 1	1	II-B	口縁	
VI-99 195	22	II-13	覆土 2	1	II-B	口縁	
VI-99 195	23	II-13	覆土 1	7	2	II-B	側部
VI-99 195	24a	II-13	覆土 2	24	6	II-B	口縁～側部
VI-99 195	24b	II-13	覆土 2	24	12	II-B	口縁～側部
VI-99 195	25	II-13	覆土 2	29	16	II-B	口縁～側部
VI-99 195	26	II-13	覆土 3	1	II-B	口縁	
VI-99 195	27	II-13	覆土 1	7	3	II-B	側部
VI-100 196	28	II-13	覆土 2	13	146	II-B	口縁～底部
大きさ: [21.5] × [41.4] × [12.0]cm							
VI-100 196	29a	II-13	覆土 2	9	1	II-B	側部
VI-100 196	29b	II-13	RM	10	24	II-B	側部
VI-100 196	29c	II-13	覆土 2	9	31	II-B	側部
VI-100 196	29d	II-13	覆土 2	10	31	II-B	側部
VI-100 196	29e	II-13	覆土 2	9	5	II-B	側部～底部
VI-100 196	29f	II-13	覆土 2	10	21	II-B	側部
VI-100 196	30	II-13	覆土 1	8	19	II-B	側部～底部
VI-101 196	31	II-13	RM	1	13	II-B	底部
VI-101 196	32	II-13	RM	2	30	II-B	側部～底部
VI-101 196	33	II-13	覆土 1	7	10	II-B	側部～底部
VI-101 196	33	II-13	覆土 2	13	25	II-B	側部～底部
大きさ: - × [24.2] × [8.6]cm							
VI-109 200	1	II-14	覆土	1	II-B	底部	
VI-112 200	1	II-15	覆土 1	5	II-B	口縁	
VI-112 200	2	II-15	覆土 1	1	II-B	口縁	
VI-112 200	3a	II-15	覆土 1	1	II-B	口縁	
VI-112 200	3b	II-15	覆土 1	1	II-B	側部	
VI-112 200	4	II-15	覆土 1	1	II-B	底部	
VI-116 200	1	II-16	覆土 2	60	10	II-B	口縁～側部
大きさ: [23.6] × [22.8] × - cm							
VI-116 201	2	II-16	覆土 2	1	II-B	口縁	
VI-116 201	3	II-16	覆土 2	1	II-B	口縁	
VI-116 201	4	II-16	灰面直上	1	II-B	側部	
VI-116 201	5	II-16	覆土 2	1	II-B	底部	
VI-119 201	1	II-17	灰面直上	17	4	II-B	側部
VI-119 201	1	II-17	灰面直上	18	6	II-B	側部
VI-121 202	1a	II-18	覆土	3	II-B	口縁	
VI-121 202	1b	II-18	覆土	3	II-B	側部	
VI-121 202	1c	II-18	覆土	2	II-B	側部	
VI-121 202	2	II-18	覆土	5	II-B	底部	
VI-121 202	3	II-18	覆土	2	II-B	側部	
VI-121 202	4	II-18	覆土	1	II-B	側部	
VI-121 202	5	II-18	覆土	1	II-B	側部	
VI-121 202	6	II-19	灰面直上	2	19	II-B	側部～底部
VI-121 202	7	II-19	覆土 1	1	II-B	側部	
VI-121 202	8	II-19	覆土 2	1	II-B	側部	
VI-121 202	9	II-19	覆土 3	1	II-B	側部	
VI-121 202	10	II-19	覆土 4	1	II-B	側部	
VI-121 202	11	II-19	覆土 5	1	II-B	側部	
VI-121 202	12	II-19	覆土 6	1	II-B	側部	
VI-121 202	13	II-19	覆土 7	1	II-B	側部	
VI-121 202	14	II-19	覆土 8	1	II-B	側部	
VI-121 202	15	II-19	覆土 9	1	II-B	側部	
VI-121 202	16	II-19	覆土 10	1	II-B	側部	
VI-121 202	17	II-19	覆土 11	1	II-B	側部	
VI-121 202	18	II-19	覆土 12	1	II-B	側部	
VI-121 202	19	II-19	覆土 13	1	II-B	側部	
VI-121 202	20	II-19	覆土 14	1	II-B	側部	
VI-121 202	21	II-19	覆土 15	1	II-B	側部	
VI-121 202	22	II-19	覆土 16	1	II-B	側部	
VI-121 202	23	II-19	覆土 17	1	II-B	側部	
VI-121 202	24	II-19	覆土 18	1	II-B	側部	
VI-121 202	25	II-19	覆土 19	1	II-B	側部	
VI-121 202	26	II-19	覆土 20	1	II-B	側部	
VI-121 202	27	II-19	覆土 21	1	II-B	側部	
VI-121 202	28	II-19	覆土 22	1	II-B	側部	
VI-121 202	29	II-19	覆土 23	1	II-B	側部	
VI-121 202	30	II-19	覆土 24	1	II-B	側部	
VI-121 202	31	II-19	覆土 25	1	II-B	側部	
VI-121 202	32	II-19	覆土 26	1	II-B	側部	
VI-121 202	33	II-19	覆土 27	1	II-B	側部	
VI-121 202	34	II-19	覆土 28	1	II-B	側部	
VI-121 202	35	II-19	覆土 29	1	II-B	側部	
VI-121 202	36	II-19	覆土 30	1	II-B	側部	
VI-121 202	37	II-19	覆土 31	1	II-B	側部	
VI-121 202	38	II-19	覆土 32	1	II-B	側部	
VI-121 202	39	II-19	覆土 33	1	II-B	側部	
VI-121 202	40	II-19	覆土 34	1	II-B	側部	
VI-121 202	41	II-19	覆土 35	1	II-B	側部	
VI-121 202	42	II-19	覆土 36	1	II-B	側部	
VI-121 202	43	II-19	覆土 37	1	II-B	側部	
VI-121 202	44	II-19	覆土 38	1	II-B	側部	
VI-121 202	45	II-19	覆土 39	1	II-B	側部	
VI-121 202	46	II-19	覆土 40	1	II-B	側部	
VI-121 202	47	II-19	覆土 41	1	II-B	側部	
VI-121 202	48	II-19	覆土 42	1	II-B	側部	
VI-121 202	49	II-19	覆土 43	1	II-B	側部	
VI-121 202	50	II-19	覆土 44	1	II-B	側部	
VI-121 202	51	II-19	覆土 45	1	II-B	側部	
VI-121 202	52	II-19	覆土 46	1	II-B	側部	
VI-121 202	53	II-19	覆土 47	1	II-B	側部	
VI-121 202	54	II-19	覆土 48	1	II-B	側部	
VI-121 202	55	II-19	覆土 49	1	II-B	側部	
VI-121 202	56	II-19	覆土 50	1	II-B	側部	
VI-121 202	57	II-19	覆土 51	1	II-B	側部	
VI-121 202	58	II-19	覆土 52	1	II-B	側部	
VI-121 202	59	II-19	覆土 53	1	II-B	側部	
VI-121 202	60	II-19	覆土 54	1	II-B	側部	
VI-121 202	61	II-19	覆土 55	1	II-B	側部	
VI-121 202	62	II-19	覆土 56	1	II-B	側部	
VI-121 202	63	II-19	覆土 57	1	II-B	側部	
VI-121 202	64	II-19	覆土 58	1	II-B	側部	
VI-121 202	65	II-19	覆土 59	1	II-B	側部	
VI-121 202	66	II-19	覆土 60	1	II-B	側部	
VI-121 202	67	II-19	覆土 61	1	II-B	側部	
VI-121 202	68	II-19	覆土 62	1	II-B	側部	
VI-121 202	69	II-19	覆土 63	1	II-B	側部	
VI-121 202	70	II-19	覆土 64	1	II-B	側部	
VI-121 202	71	II-19	覆土 65	1	II-B	側部	
VI-121 202	72	II-19	覆土 66	1	II-B	側部	
VI-121 202	73	II-19	覆土 67	1	II-B	側部	
VI-121 202	74	II-19	覆土 68	1	II-B	側部	
VI-121 202	75	II-19	覆土 69	1	II-B	側部	
VI-121 202	76	II-19	覆土 70	1	II-B	側部	
VI-121 202	77	II-19	覆土 71	1	II-B	側部	
VI-121 202	78	II-19	覆土 72	1	II-B	側部	
VI-121 202	79	II-19	覆土 73	1	II-B	側部	
VI-121 202	80	II-19	覆土 74	1	II-B	側部	
VI-121 202	81	II-19	覆土 75	1	II-B	側部	
VI-121 202	82	II-19	覆土 76	1	II-B	側部	
VI-121 202	83	II-19	覆土 77	1	II-B	側部	
VI-121 202	84	II-19	覆土 78	1	II-B	側部	
VI-121 202	85	II-19	覆土 79	1	II-B	側部	
VI-121 202	86	II-19	覆土 80	1	II-B	側部	
VI-121 202	87	II-19	覆土 81	1	II-B	側部	
VI-121 202	88	II-19	覆土 82	1	II-B	側部	
VI-121 202	89	II-19	覆土 83	1	II-B	側部	
VI-121 202	90	II-19	覆土 84	1	II-B	側部	
VI-121 202	91	II-19	覆土 85	1	II-B	側部	
VI-121 202	92	II-19	覆土 86	1	II-B	側部	
VI-121 202	93	II-19	覆土 87	1	II-B	側部	
VI-121 202	94	II-19	覆土 88	1	II-B	側部	
VI-121 202	95	II-19	覆土 89	1	II-B	側部	
VI-121 202	96	II-19	覆土 90	1	II-B	側部	
VI-121 202	97	II-19	覆土 91	1	II-B	側部	
VI-121 202	98	II-19	覆土 92	1	II-B	側部	
VI-121 202	99	II-19	覆土 93	1	II-B	側部	
VI-121 202	100	II-19	覆土 94	1	II-B	側部	
VI-121 202	101	II-19	覆土 95	1	II-B	側部	
VI-121 202	102	II-19	覆土 96	1	II-B	側部	
VI-121 202	103	II-19	覆土 97	1	II-B	側部	
VI-121 202	104	II-19	覆土 98	1	II-B	側部	
VI-121 202	105	II-19	覆土 99	1	II-B	側部	
VI-121 202	106	II-19	覆土 100	1	II-B	側部	
VI-121 202	107	II-19	覆土 101	1	II-B	側部	
VI-121 202	108	II-19	覆土 102	1	II-B	側部	
VI-121 202	109	II-19	覆土 103	1	II-B	側部	
VI-121 202	110	II-19	覆土 104	1	II-B	側部	
VI-121 202	111	II-19	覆土 105	1	II-B	側部	
VI-121 202	112	II-19	覆土 106	1	II-B	側部	
VI-121 202	113	II-19	覆土 107	1	II-B	側部	
VI-121 202	114	II-19	覆土 108	1	II-B	側部	
VI-121 202	115	II-19	覆土 109	1	II-B	側部	
VI-121 202	116	II-19	覆土 110	1	II-B	側部	
VI-121 202	117	II-19	覆土 111	1	II-B	側部	
VI-121 202	118	II-19	覆土 112	1	II-B	側部	
VI-121 202	119	II-19	覆土 113	1	II-B	側部	
VI-121 202	120	II-19	覆土 114	1	II-B	側部	
VI-121 202	121	II-19	覆土 115	1	II-B	側部	
VI-121 202	122	II-19	覆土 116	1	II-B	側部	
VI-121 202	123	II-19	覆土 117	1	II-B	側部	
VI-121 202	124	II-19	覆土 118	1	II-B	側部	
VI-121 202	125	II-19	覆土 119	1	II-B	側部	
VI-121 202	126	II-19	覆土 120	1	II-B	側部	
VI-121 202	127	II-19	覆土 121	1	II-B	側部	
VI-121 202	128	II-19	覆土 122	1	II-B	側部	
VI-121 202	129	II-19	覆土 123	1	II-B	側部	
VI-121 202	130	II-19	覆土 124	1	II-B	側部	
VI-121 202	131	II-19	覆土 125	1	II-B	側部	
VI-121 202	132	II-19	覆土 126	1	II-B	側部	
VI-121 202	133	II-19	覆土 127	1	II-B	側部	
VI-121 202	134	II-19	覆土 128	1	II-B	側部	
VI-121 202	135	II-19	覆土 129	1	II-B	側部	
VI-121 202	136	II-19	覆土 130	1	II-B	側部	
VI-121 202	137	II-19	覆土 131	1	II-B	側部	
VI-121 202	138	II-19	覆土 132	1	II-B	側部	
VI-121 202	139	II-19	覆土 133	1	II-B	側部	
VI-121 202	140	II-19	覆土 134	1	II-B	側部	
VI-121 202	141	II-19	覆土 135	1	II-B	側部	
VI-121 202	142	II-19	覆土 136	1	II-B	側部	
VI-121 202	143	II-19	覆土 137	1	II-B	側部	
VI-121 202	144	II-19					

系列	国産	番号	・用途・	部位	實物 番号	点數	分點	器具・部位	備考
VI-126	203	3h	N81 O81 O81	燈罩	1	3			
				皿	1	1			
				皿	2	2	a	口縁	
VI-126	203	3c	N81	燈罩	1	2	a	口縁	
VI-127	204	4	H-20 H-20 H-20	床面直上	23	2			口縁→底面
				床面直上	24	3			
				燈上	2	2			
VI-127	204	5a	N81 N81 N81	皿	1	1			
				皿上	1	1			
				燈罩	4	4	a	口縁	
VI-127	204	6	H-20 H-20 H-20	床	55	1	a	口縁	
				床面直上	61	3			
				床面直上	1	1			
VI-127	204	7	H-20 H-20 H-20	床	4	2			口縁
				床	57	3			
				床	1	1			
VI-131	204	1	H-23	床	75	4	b	底面	
VI-131	204	2	H-23	床	14	6	P/a	口縁→底面	
VI-131	204	3	H-23	床	14	6	P/a	口縁→底面	
VI-131	204	4	CG CG CG	燈上	1	2	P/a	底面	
				燈上	2	2	P/a	底面	
				燈上	10	5	b	口縁→底面	
VI-132	204	5a	H-24 H-1	燈上	9	5	b	口縁→底面	
VI-132	204	5b	H-24 H-1	燈上	10	5	b	口縁→底面	
VI-132	204	6	H-24	床	1	1	b	口縁→底面	
VI-136	205	1	H-25 H-3	燈上	1	1	b	口縁	
VI-136	205	2	H-25	燈上	1	1	b	口縁	
VI-141	205	1	H-26	燈土下	2	3	b	口縁	
VI-141	205	2	H-26	燈土下	1	1	b	口縁	
VI-141	205	3	H-26	燈土上	1	1	b	口縁	
VI-141	205	4	H-26	燈土上	1	1	b	口縁	
VI-141	205	5a	H-26 OT6	燈土上 燈土	3	3	b	底面	K04-CN12 K04-CN12
VI-141	205	5b	H-26	燈土上	1	1	b	底面	
VI-141	205	6	H-26	燈土上	1	1	b	底面	
VI-141	205	7	H-26	M	13	13	b	口縁→底面	
VI-141	205	8	H-26	燈土下	25	25	b	口縁→底面	
VI-141	205	9	H-26	燈土上	1	1	b	口縁→底面	
VI-141	205	9	H-27	燈土下	8	8			縁全面あり
VI-149	206	1-1	H-27 H-27 H-27 H-27 H-27 H-27 H-27 H-1	燈土上 2	2	2	b	口縁	
				燈土上 3	5	5			
				燈土上 3	4	90			
				燈土上 3 層下	2	2			
				燈土上 2	6	6			
				燈土上 3	4	4			
				燈土上 1	1	1			
				大さき：(H×W)×(424)×(11.1)cm					
VI-149	207	2	H-27	燈土上 1	1	1	b	底面	
VI-149	207	3	H-27	燈土中 1	1	1	b	口縁	
VI-149	207	4	H-27	燈土中 1	2	2	b	口縁	
VI-149	207	5	H-27	燈土中 1	1	1	b	口縁	
VI-149	207	6	H-27	燈土中 8	8	8	b	口縁→底面	
VI-149	207	7a	H-27	燈土中 5 (I)	21	21	b	口縁→底面	
VI-149	207	7b	H-27	燈土上 2	2	2	b	口縁→底面	
VI-149	207	8	H-27 H-27 H-27	燈土上 2	5 (I)	28			口縁→底面
				燈土上 3	14	14	b	口縁	
				燈土上 9	9	9	b	口縁	
VI-149	208	10	H-27	燈土中 10	10	10	b	口縁→底面	
VI-149	208	11a	H-27	燈土上 3	2	2	b	口縁	
VI-149	208	11b	H-27	燈土上 2	3	3	b	口縁→底面	
VI-149	208	12	H-27 H-27 H-27	燈土上 3	5	5	b	口縁	
				燈土上 2	3	3	b	口縁	
				燈土上 2	3	3	b	口縁	
VI-149	208	13	H-27	燈土上 3	2	2	b	口縁	
VI-149	208	14	H-27	燈土上 2	1	1	b	口縁	
VI-149	208	15	H-27	燈土上 2	1	1	b	口縁	
VI-149	208	16	H-27	燈土上 3	3	3	b	底面	
VI-149	208	17	H-27	燈土中 7 (I)	6	6	b	底面	

※国	※民	※番	※新	※地	※物	※分	※面	※考
区	区	番	番	番	番	数	積・面	
VI-169	208	18	1F-27	覆土上 2	1	畧	底面	
VI-169	208	19	1F-27	覆土上 2	1	畧	口縁	
VI-161	211	1	1F-28	覆土	1	畧	口縁	
VI-161	211	2	1F-28	覆土	1	畧	傾面	
VI-161	211	3	1F-28	覆土上 1	畧	傾面		
VI-161	211	4	1F-28	覆土上 2	畧	口縁		
VI-161	211	5	1F-28	覆土上 3	畧	口縁		
VI-161	211	6	1F-28	覆土上 1	畧	傾面		
VI-165	212	1a	1F-27	覆土上 3	1	畧	傾面	
			1F-29	覆土	2			
			1F-37	覆土下 1	1			
VI-165	212	1b	1F-5	覆土上 1	1	畧	傾面	
			1F-7	基壇上面	1			
VI-165	212	2	1F-29	覆土	1	畧	口縁・底面	
VI-170	212	1	1F-30	覆土	1	IV	口縁・底面	
			1F-30	覆土	1	47		
			1F-30	覆土上 基壇上	1	41		
			1F-30	覆土	10			
			1F-30	底面	95	2		
大畧: 28.8 × 30.3 × 11.1 cm								
VI-170	212	2	1F-30	覆土上 2	1	畧	口縁	
VI-170	212	3	1F-30	覆土上 上面	1	畧	口縁	
VI-170	212	4	1F-30	覆土上 2	1	畧	口縁	
VI-170	212	5a	1F-30 1F-5	底面	1	4	畧	口縁
VI-170	212	5b	1F-30 1F-5	底面	1	7	畧	傾面
VI-170	212	6	1F-30	覆土上 2	2	畧	口縁	
VI-170	212	7a	1F-30	底面	77	1	畧	口縁
			1F-30	覆土上 1	4			
			1F-30	覆土上 2	1			
VI-170	212	7b	1F-71	傾面	1	畧	口縁	
VI-170	212	8	1F-30	覆土上 2	1	畧	口縁	
VI-170	212	9	1F-30	覆土上 2	5	畧	口縁	
VI-170	213	10a	1F-30	底面	1	13	畧	口縁・傾面
			1F-30	底面	19	1		
VI-170	213	10b	1F-30	底面	6	4	畧	口縁・傾面
			1F-30	底面	9	1		
VI-170	213	10c	1F-30	底面	13	2	畧	傾面・底面
			1F-30	底面	12	4		
			1F-30	覆土上 2	3			
			1F-30	傾面	4			
			1F-33	覆土上 1	畧	口縁		
VI-170	213	11	1F-30	覆土上 上面	1	畧	口縁	
VI-170	213	12	1F-30	覆土上 上面	1	畧	口縁	
VI-170	213	13	1F-30	覆土上 上面	2	畧	口縁・傾面	
VI-170	213	14	1F-30	覆土上 上面	2	畧	底面	
VI-170	213	15	1F-30	覆土上 上面	1	IV	口縁	
VI-173	214	1	1F-31	覆土	1	畧	傾面	
			569	底面	1			
			569	傾面	1			
VI-175	214	1	1F-32	覆土下層土 1 (1)	30	畧	口縁・傾面	
大畧: 34.5 × 22.8 × 5 cm								
VI-176	214	1	1F-33	覆土	1	畧	傾面	
VI-177	214	1	1F-34	覆土	1	畧	傾面	
VI-177	214	2a	1F-34	底面直上	3	1	畧	傾面
VI-177	214	2b	1F-34	底面	1	畧	傾面	
			P60	底面	1			
			Q65	底面	1			
VI-179	214	1a	1F-37	覆土下 1	1	畧	口縁	
			M74	底面	1			
VI-179	214	1b	1F-37	覆土上 1	1	畧	傾面	
VI-179	214	2	1F-37	覆土下 1	1	畧	傾面	
VI-179	214	3	1F-37	覆土下 2	1	畧	傾面	
VI-179	214	4	1F-37	底面直上	3	2	畧	傾面
VI-179	214	5	1F-37	覆土上 1	1	畧	口縁	
VI-179	214	6	1F-37	覆土上 2	1	畧	傾面	
VI-179	214	7	1F-37	覆土上 1	1	畧	傾面・底面	
			大畧: 11.4 × 14.6 × 4.6 cm					
VI-181	214	1	1F-38	M	1	畧	口縁・底面	
大畧: 114.7 × 18.9 × 3.7 cm								
VI-181	214	2	1F-38	M	1	畧	傾面	
VI-181	214	3	1F-38	床	8	1	畧	傾面
VI-201	215	1	1F-2	覆土	1	畧	傾面	
VI-201	215	2	1F-2	覆土	1	畧	口縁	
VI-201	215	5	1F-2	覆土	1	IV	口縁・底面	土積
VI-201	215	6	1F-3	覆土上 2	3	30	畧	口縁
大畧: 10.7 × 14.6 × 6.5 cm								
VI-201	215	7	1F-5	覆土上 2	1	畧	口縁・底面	

序	図	番	地区・地区名	居住	建物 番号	在り 敷分	面	形状・方位	備考
Ⅴ-201	215	8	P-5	障土 2	5	1	1	1	傾斜
Ⅴ-201	215	11	P-6	障土上面	1	79	障土	1	口縁→底面
大津3 19.2.2 × 21.1 × 7.3cm									
Ⅴ-201	215	12	P-6	障土下	1	1	1	1	傾斜
Ⅴ-202	215	13	P-10	障土 3	4	2	1	1	底面
Ⅴ-202	215	18	P-12	障土 3	1	2	1	1	口縁
Ⅴ-202	216	21	P-13	障土 3	7	1	1	1	傾斜
Ⅴ-202	216	22	P-13	障土 2	1	1	1	1	底面
Ⅴ-203	216	23	P-14	障土 1	1	1	1	1	傾斜
Ⅴ-203	216	24	P-14	障土 1	1	1	1	1	傾斜
Ⅴ-203	216	25	P-14	障土 2	1	1	1	1	口縁
Ⅴ-203	216	26	P-14	障土 1	1	1	1	1	口縁
Ⅴ-203	216	27	P-14	障土 1a	1	1	1	1	傾斜
			P-14	障土 1	2	1	1	1	
			SBS	障土 1	1	1	1	1	
Ⅴ-203	216	28	P-14	障土 1	1	1	1	1	傾斜
			P-14	障土 1	1	1	1	1	口縁→底面
大津3 19.10.3 × 24.2 × 6.2cm									
Ⅴ-203	216	29	H-1	障土 1a	2	1	1	1	口縁→傾斜
			H-1	障土 2	1	1	1	1	
			H-1	障土 1	1	1	1	1	
Ⅴ-203	216	30	P-14	障土 1	6	7	1	1	傾斜
Ⅴ-204	216	32	H-1	障土 1	1	1	1	1	傾斜
			H-1	M	1	12	1	1	
			P-17	障土 1	4	1	1	1	
			P-17	障土 2	1	6	1	1	
			P-18	障土 1	6	1	1	1	
			P-18	障土 2	5	1	1	1	
			P-27	障土 2	1	1	1	1	
			P-27	障土 3	10	1	1	1	
			P80	障土 1	1	1	1	1	
			P80	障土 2	1	1	1	1	
			P80	障土 3	1	1	1	1	
			P80	障土 4	1	1	1	1	
大津3 19.10.3 × 20.0.0.3 × 14.5.5cm									
Ⅴ-204	217	33	P-17	障土 1	1	1	1	1	傾斜
Ⅴ-204	217	34	P-17	障土 2	1	1	1	1	底面
Ⅴ-204	217	35	P-17	障土 2	1	1	1	1	傾斜
Ⅴ-204	217	37	H-1	障土 1a	1	1	1	1	口縁→傾斜
			H-1	障土 1b	1	1	1	1	
			P-17	障土 1	1	1	1	1	
			P-18	障土 3	4	1	1	1	
			P-18	障土 2	2	1	1	1	
			P85	障土 1	1	1	1	1	
			P85	M	2	1	1	1	
Ⅴ-204	217	38	P-18	障土 2	1	1	1	1	口縁
Ⅴ-204	217	39	P-18	障土 2	1	1	1	1	底面
Ⅴ-204	217	40	P-18	障土 1	1	1	1	1	底面
Ⅴ-204	217	40a	P-18	障土 1	1	1	1	1	底面
Ⅴ-204	217	40b	H-1	障土 2	1	1	1	1	底面
			H-1 (1P-2)	障土 1	1	1	1	1	
Ⅴ-205	217	41	P-17	障土 1	1	1	1	1	傾斜
			P-27	障土 1	1	1	1	1	傾斜
Ⅴ-205	217	45	P-17	障土 1	1	1	1	1	傾斜
Ⅴ-205	217	48	P-25	障土 2	1	1	1	1	傾斜
Ⅴ-205	217	50a	P-27	障土 3	7	1	1	1	口縁→傾斜
			P-27	障土 2	1	1	1	1	
			P87	障土 1	1	1	1	1	
Ⅴ-205	217	50b	P-27	障土 3	14	1	1	1	傾斜→底面
			P-27	障土 2	7	1	1	1	
			P87	障土 1	1	1	1	1	
大津3 19.10.3 × 21.2.2 × 9.6cm									
Ⅴ-205	217	51	P-27	障土 3	1	1	1	1	口縁→傾斜
			P87	障土 2	2	1	1	1	
Ⅴ-205	217	52	P-27	障土 2	2	1	1	1	口縁
Ⅴ-205	217	52a	P-27	障土 2	7	1	1	1	傾斜
Ⅴ-205	217	52b	P-27	障土 2	6	1	1	1	傾斜
Ⅴ-205	218	54	P-27	障土 2	1	1	1	1	口縁
Ⅴ-205	218	55	P-27	障土 3	1	1	1	1	口縁
Ⅴ-205	218	56	P-27	障土 3	1	1	1	1	傾斜
Ⅴ-205	218	57	P-27	障土 3	5	1	1	1	傾斜→底面
			P-27	障土 2	1	1	1	1	
Ⅴ-206	218	58a	P-27	障土 2	16	1	1	1	口縁→傾斜
Ⅴ-206	218	58b	P-27	障土 2	5	1	1	1	傾斜→傾斜
Ⅴ-206	218	58c	P-27	障土 2	12	1	1	1	傾斜
Ⅴ-206	218	59a	P-27	障土 3	1	1	1	1	口縁
Ⅴ-206	218	59b	P-27	障土 3	2	1	1	1	傾斜

碑記 番號	碑高 番號	碑基 番號	碑位	遺物 番號	文數	分類	器型・部位	備考
M-206-218	58c	P-27	碑土 3	1	1	1	順品	
M-206-218	60	P-27	碑土 2	1	1	1	順品	
M-206-218	61	P-27	碑土 2	2	4	1	順品	
M-206-218	62	P-27	碑土 2	2	2	1	順品	
M-206-218	63	P-27	碑土 2	1	1	1	順品	
M-206-218	64	P-28	碑土 1	1	1	1	口緣	
M-206-218	69	P-29	碑土 1	1	1	1	口緣	
M-206-218	70	P-29	碑土 1	1	1	1	順品	
M-207-218	72	P-43	碑土 1	2	4	1	口緣→順品	
M-207-219	75	H-1 P-37	碑土 1 碑土 1	1	1	1	順品	
M-207-219	80	P-43	碑土 1	1	1	1	順品	
M-207-219	81	P-43	碑土 2	8	4	1	順品	
M-208-219	83	P-44	碑土 2	2	1	1	口緣	
M-208-219	84	Q-8 P-44	碑土 7 碑土 1	1	3	1	口緣	
M-208-219	85b	P-44	碑土 1	1	1	1	順品	
M-208-219	85	P-44	碑土 2	2	1	1	底面	
M-208-219	87	P-46	碑土 1	1	4	1	底面	
M-208-219	89	P-46	碑土上面	1	1	1	順品→底面	
大8S: × (17.4) × (8.8)cm								
M-208-219	90	P-54	碑土上面	1	1	1	順品	
M-208-219	91	P-56	N70 順品	1	1	1	順品	
M-208-220	92	H-35	碑土上面	1	1	1	口緣→順品	V-3-1と同一
M-208-220	93	P-56	順品	1	1	1	順品	
M-209-220	93	P-67	碑土 1	1	1	1	順品	
M-209-220	94	P-68	碑土 1	1	1	1	順品	
M-209-220	97	P-72	碑土 1	1	1	1	口緣	
M-209-220	98	P-73	碑土 1 碑土 2	1 1	1 1	1 1	口緣→順品	
大8S: × (19.4) × (23.7)cm								
M-209-220	99	P-74	碑土 7	1	1	1	順品→底面	
M-209-220	100	P-74	碑土 7	1	1	1	順品	
M-209-220	101	P-74	碑土 7	3	2	1	順品	
M-209-220	102	P-74	碑土 7	4	3	1	順品	
M-209-220	103	P-74	碑土 7	6	1	1	順品	
M-209-220	104	P-74	碑土 7	4	1	1	順品	
大8S: 24.8 × 27.4 × 8.2cm								
M-209-220	100	P-74	碑土 1	1	1	1	口緣	
M-209-220	101a	H-27	碑土 2	2	1	1	順品	鎌倉面あり
M-209-220	101b	H-28	碑土 1	1	1	1	順品	
M-209-220	102	P-74	碑土 1	1	1	1	順品	
M-209-220	102a	P-74	碑土 1	1	1	1	口緣	
M-209-220	103	P-74	碑土 1	1	1	1	口緣	
M-210-220	104	H-28	碑土 1	2	1	1	口緣	
M-210-220	105	P-74	碑土 1	1	1	1	順品	
M-210-220	106	P-74	碑土 1	1	1	1	順品	
M-210-220	107	P-74	碑土 1	1	1	1	順品	
M-210-220	108	P-74	碑土 1	1	1	1	口緣	
M-210-220	109	P-74	碑土 1	1	1	1	口緣→順品	
M-210-221	107	P-74	碑土 7	5	8	1	順品→底面	
大8S: × (13.9) × 6.5cm								
M-211-221	110	P-79	碑土 1	1	1	1	順品	
M-211-221	112	P-83	碑土 1	1	1	1	順品	
M-211-221	113	P-89	碑土 1	1	1	1	順品	
M-211-221	114	PC-1	碑土 1	2	1	1	口緣	
M-217-221	1a	PC-1	蓋 1	1	1	1	口緣	
M-217-221	1b	PC-1	蓋 1	1	1	1	順品	
M-217-221	1c	PC-1	蓋 1	6	1	1	順品	
M-217-221	2	PC-1	蓋 3	3	1	1	口緣	
M-217-221	3a	PC-1	蓋 3	3	1	1	口緣	
M-217-221	3b	PC-1	蓋 3	3	1	1	順品	
M-217-221	3c	PC-1	蓋 6	6	1	1	順品	
M-217-221	4	PC-3	蓋下 7	1	1	1	口緣	
M-217-221	5	PC-3	蓋下 11	4	1	1	順品	
M-222-225	28	PC-15	蓋 1	1	1	1	口緣	
M-222-225	31a	HP-1	蓋 1	1	1	1	順品	
M-222-225	31b	HP-1	蓋 1	9	1	1	順品	
M-222-225	33a	HP-1	蓋 1	27	1	1	順品	

表 VI -4 C 地区遺構出土掘載石器一覧

国名	図版	番号	器種名	遺構・発掘区	層位	遺物番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	材質	備考
VI-9	169	35	石鏃	II-1	床面	79	33	22	8	2.7	頁岩	
VI-9	169	36	石鏃	II-1	覆土 2	561	41	17	5	2.5	頁岩	
VI-9	169	37	石鏃	II-1	II 下	558	(39)	15	4	(2.3)	頁岩	
VI-9	169	38	石鏃	II-1	III	567	78	25	10	17.6	頁岩	
VI-9	169	39	石鏃	II-1	覆土 2 II-3 RM	560 9	101	44	20	56.9 18.7	頁岩	接合 No.50079
VI-9	169	40	石鏃	II-1	覆土 1b RM	574 29	158	44	21	35.7 65.3	頁岩	接合 No.50078
VI-9	169	41	両面調整石器	II-1	覆土 1b	616	119	48	23	114.3	頁岩	
VI-9	169	42	両面調整石器	II-1	床面直上	24	38	48	17	22.5	頁岩	
VI-9	169	43	両面調整石器	II-1	覆土 1b	588	100	30	16	47.6	泥岩	
VI-9	169	44	両面調整石器	II-1 IIP-9	覆土	2	111	94	40	402.0	頁岩	
VI-10	170	45	両面調整石器	II-1 IIP-9	覆土	1	155	80	42	596.0	頁岩	
VI-10	170	46	鹿状石器	II-1	III	585	88	34	11	37.8	頁岩	
VI-10	170	47	鹿状石器	II-1	III	592	51	30	9	14.9	頁岩	
VI-10	170	48	鹿状石器	II-1	床面 床面直上	236 280	96	33	19	7.2 51.5	頁岩	接合 No.50077
VI-10	170	49	鹿状石器	II-1 II-1	床面直上 覆土 2	272 625	181	59	34	231.2 79.4	頁岩	接合 No.50089 光沢あり 光沢あり
VI-10	170	50	つまみ付きナイフ	II-1	覆土 2	644	46	25	8	7.6	黒曜石	産地分析 X1
VI-10	170	51	つまみ付きナイフ	II-1	床面直上	540	78	31	10	17.7	頁岩	
VI-10	170	52	つまみ付きナイフ	II-1	床面	97	42	56	9	8.3	頁岩	
VI-10	170	53	つまみ付きナイフ	II-1	覆土 1b	643	154	20	10	27.2	頁岩	
VI-10	170	54	スクレイパー	II-1 II-1	床面 M II 下	191 732 5③	99	27	18	29.9 1.4 4.5	頁岩	接合 No.50098
VI-11	170	55	スクレイパー	II-1	III	658	113	42	20	61.3	頁岩	光沢あり
VI-11	170	56	スクレイパー	II-1	覆土 2	674	85	52	15	52.1	頁岩	
VI-11	170	57	スクレイパー	II-1	床面	443	54	25	14	9.7	頁岩	
VI-11	170	58	スクレイパー	II-1	床面直上	148	103	64	18	72.2	頁岩	
VI-11	170	59	石鏃	II-1	床面直上	689	21	16	6	1.5	頁岩	
VI-11	170	60	石鏃	II-1	床面	551	25	26	5	2.5	頁岩	
VI-11	170	61	石鏃	II-1	床面	368	48	34	14	10.4	頁岩	
VI-11	170	62	石鏃	II-1	床面直上	61	52	19	11	8.5	頁岩	
VI-11	170	63	石鏃	II-1	覆土 2	688	50	28	4	4.5	頁岩	
VI-11	170	64	石鏃	II-1	III	767	165	115	74	1,278.6	頁岩	
VI-12	170	65	石鏃	II-1	床面直上	381	74	72	46	178.6	頁岩	
VI-12	170	66	石鏃	II-1	床面直上	323	117	59	34	340.1	花崗閃緑岩	
VI-12	170	67	石のみ	II-1	床面	280	63	15	9	16.6	泥岩	
VI-12	170	68	石のみ	II-1	III	808	67	24	7	13.5	泥岩	
VI-12	170	69	断切残片	II-1	覆土 2 II-3 RM	807 92	120	90	59	576.8 253.0	緑色岩	接合 No.50101
VI-13	170	70a	接合資料				101	130	55	1,123.7	閃緑岩	接合 No.34
		70b	剥片	II-1 II-1	覆土 2 覆土 2	900 901	58	32	15	8.8 16.1	閃緑岩	
		70c	剥片	II-1	III	899	50	52	12	35.3	閃緑岩	
		70d	北海道式石冠	II-1	覆土	862	100	140	55	1,063.5	閃緑岩	
VI-13	171	71	北海道式石冠	II-1	床面直上	315	121	130	79	1,420.0	安山岩	
VI-13	171	72	北海道式石冠	II-1	III	860	115	109	67	888.9	安山岩	
VI-13	171	73	北海道式石冠	II-1	覆土	857	107	89	75	761.5	砂岩	
VI-13	171	74	北海道式石冠	II-1	III	830	143	171	85	2,745.0	砂岩	
VI-13	171	75a	接合資料				51	62	21	63.0	閃緑岩	接合 No.23
		75b	剥片	II-1	床面	396	54	28	13	16.6	閃緑岩	
		75c	剥片	II-1	III	902	54	62	16	52.4	閃緑岩	
VI-14	171	76	扁平打製石器	II-1	III	586	48	91	12	62.3	泥岩	
VI-14	171	77	扁平打製石器	II-1	覆土 2	590	79	154	30	388.8	砂岩	
VI-14	171	78	扁平打製石器	II-1	覆土 2 覆土 2	824 825	74	169	34	204.3 239.6	安山岩	接合 No.50103
VI-14	171	79	扁平打製石器	II-1	床面	165	78	160	28	396.7	安山岩	
VI-14	171	80	扁平打製石器	II-1	覆土 2	814	59	144	27	263.7	頁岩	
VI-14	171	81	扁平打製石器	II-1	擾乱	815	88	173	39	484.9	頁岩	
VI-14	171	82	扁平打製石器	II-1	床面	393	83	74	38	115.1	砂岩	

調査年度	図版	番号	図解名	遺構・発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	備考	
VI-14	171	83	扁平打製石器	II-1	床面直上	829	106	104	16	230.6	安山岩		
VI-14	171	84	扁平打製石器	II-1	II-1HP-2	1	93	133	21	362.5	砂岩		
VI-14	171	85	すり石	II-1	覆土1b	871	88	150	37	622.2	安山岩		
VI-14	171	86	すり石	II-1	床面直上	105	80	110	28	342.7	安山岩		
VI-14	171	87	石割	II-1	床面	262	(25)	(33)	12	(13.8)	安山岩		
VI-14	171	88	石割	II-1	II-1HP-15 II-3	覆土 M	5 49	70	147	17	73.3 86.8	安山岩	接合 No.50122
VI-14	171	89	石割	II-1	II-15 覆土1	830 75	69	207	22	193.4 96.5	安山岩	接合 No.50124	
VI-15	171	90	石割	II-1	覆土	831	48	123	15	86.2	頁岩		
VI-15	171	91	たたき石	II-1	床面	232	111	59	44	408.1	砂岩		
VI-15	171	92	たたき石	II-1	床面	296	144	80	46	768.2	砂岩		
VI-15	172	93	たたき石	II-1	覆土1b	844	72	60	31	302.0	砂岩		
VI-15	172	94	たたき石	II-1	覆土1a	854	114	71	36	276.9	頁岩		
VI-15	172	95	たたき石	II-1	覆土	855	134	73	34	482.2	安山岩		
VI-15	172	96	たたき石	II-1	床面	204	148	91	37	679.4	砂岩		
VI-15	172	97	たたき石	II-1	床面直上	292	70	43	23	87.8	泥岩		
VI-15	172	98	たたき石	II-1	覆土1b	846	94	80	56	517.1	砂岩		
VI-15	172	99a	接合資料				64	50	14	40.3	泥岩	接合 No.50	
		99a	硯石	M88	RM下	85	26	34	5	12.6	泥岩		
		99b	硯石	II-1	床面	304	40	44	20	27.7	泥岩		
VI-15	172	100	硯石	II-1	貼り床下床面	557	373	116	58	1,440.0	砂岩		
VI-15	172	101	台石	II-1	床面直上	101	384	247	130	8,205.0	泥岩		
VI-16	172	102	磨製石器	II-1	覆土1a	877	90	40	22	65.4	泥岩		
VI-16	172	103a	接合資料				132	111	46	500.2	砂岩	接合 No.38	
		103a	刮片	II-8	覆土中 II-1RM	213 42	64	101	16	27.2 50.6	砂岩		
		103b	加工痕のある礫	II-1	Ⅲ	882	108	106	44	422.4	砂岩		
VI-16	172	104	加工痕のある礫	II-1	覆土2	886	41	57	17	55.5	砂岩		
VI-21	172	11	石礫	II-2	覆土2	36	45	19	6	4.0	頁岩		
VI-21	172	12	石礫	II-2	床面直上	37	30	19	5	1.5	頁岩		
VI-21	173	13	石礫	II-2	覆土	40	142	56	22	126.0	頁岩		
VI-21	173	14	両面調整石器	II-2	覆土2	622	96	28	19	24.2	頁岩	接合 No.50090	
				II-2HP-8	覆土1	1				14.5			
VI-21	173	15	つまみ付きナイフ	II-2	覆土1	7	76	26	15	29.8	頁岩		
VI-21	173	16	つまみ付きナイフ	II-2	覆土1	47	97	14	8	10.0	頁岩	光沢あり	
VI-21	173	17	スクレイパー	II-2	覆土1	53	59	39	9	20.7	頁岩	光沢あり	
VI-21	173	18	石礫	II-2	床面直上	11	41	49	26	32.0	頁岩		
VI-21	173	19	北海道式石冠	II-2	Ⅲ	127	110	150	64	782.2	安山岩	接合 No.50133	
				II-2	Ⅲ	128				696.8			
VI-21	173	20	扁平打製石器	II-2	覆土1	133	89	123	23	149.8	泥岩	接合 No.25	
				K78	Ⅲ	13				99.6			
VI-22	173	21	北海道式石冠	II-2	Ⅲ	126	173	109	53	502.5	安山岩	接合 No.50132	
				II-2	Ⅲ	135				991.0			
VI-22	173	22	扁平打製石器	II-2	Ⅲ	110	77	198	27	254.0	安山岩	接合 No.50104	
				II-2	覆土1	113				300.6			
VI-22	173	23	すり石	II-2	Ⅲ	125	108	186	38	354.9	砂岩	接合 No.47	
				I79	Ⅲ	49				697.3			
VI-22	173	24	たたき石	II-2HP-7	覆土1	1	125	81	33	457.1	砂岩		
VI-22	173	25	磨製石器	II-2	覆土	132	47	16	9	11.5	泥岩		
VI-25	173	4	石槍	II-3	覆土1 II-1RM	17 38	103	40	16	27.0 26.8	頁岩	接合 No.50080	
				O88									
VI-25	173	5	石槍	II-3	覆土 10M	18 3	109	36	16	29.0 25.4	頁岩	接合 No.50081	
				O84									
VI-25	173	6	石礫	II-3	床面	10	70	60	46	128.9	頁岩		
VI-25	173	7	扁平打製石器	II-3	Ⅲ	19	126	154	31	552.6	頁岩		
VI-33	176	39	石礫	II-4	覆土2	119	33	14	4	1.4	頁岩		
VI-33	176	40	石礫	II-4	Ⅲ	116	37	13	6	1.7	頁岩		
VI-33	176	41	石礫	II-4	覆土1a	117	32	12	6	1.9	頁岩		
VI-33	176	42	石礫	II-4	覆土2	121	67	17	6	3.5	頁岩		
VI-33	176	43	石礫	II-4	覆土1a	131	61	27	8	9.0	めがら		
VI-33	176	44	両面調整石器	II-4	覆土	158	62	18	10	16.3	頁岩		
VI-33	176	45	両面調整石器	II-4	覆土2	155	63	22	19	22.7	頁岩		
VI-33	176	46	両面調整石器	II-1	覆土2	620	107	66	22	33.9	頁岩	接合 No.50011	

緯度	経度	番号	器種名	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
					II-4	III	132			97.9		
VI-33	176	47	両面調整石器	II-4	覆土 1b	31 ㊲	116	76	34	244.3	頁岩	接合 No.50017
					II-4	覆土 1b	447			21.6		
VI-33	176	48	蹄状石器	II-4	床面	100	152	47	27	195.8	頁岩	
VI-33	176	49	蹄状石器	II-4	覆土 1b	164	140	60	31	229.4	頁岩	
VI-34	176	50	蹄状石器	II-4	接合	130	92	39	16	39.1	頁岩	接合 No.50082
				P88	II-3 REM	29				5.1		
VI-34	176	51	つまみ付きナイフ	II-4	床面	67	79	28	10	10.2	頁岩	光沢あり
VI-34	176	52	つまみ付きナイフ	II-4	III	178	89	42	16	39.0	頁岩	光沢あり
VI-34	176	53	つまみ付きナイフ	II-4	覆土 2	174	53	22	8	6.9	頁岩	
VI-34	176	54	つまみ付きナイフ	II-4	覆土 1b	165	33	17	8	2.2	黒曜石	接合 No.50097 産地分析 X2
					II-4	覆土 1b	166			0.9		
VI-34	176	55	つまみ付きナイフ	II-4	覆土 1a	168	45	33	8	8.0	頁岩	
VI-34	176	56	スクレイパー	II-4	覆土 1b	30 ㊲	74	35	14	20.6	頁岩	光沢あり
VI-34	176	57	スクレイパー	II-4	覆土 1b	20	81	35	12	26.5	頁岩	光沢あり
VI-34	176	58	スクレイパー	II-4	覆土 1b	199	90	39	10	31.5	頁岩	光沢あり
VI-34	176	59	スクレイパー	II-4	覆土 1b	197	68	48	11	21.8	頁岩	光沢あり
VI-34	176	60	スクレイパー	II-4	覆土 1b	196	62	45	8	12.4	頁岩	光沢あり
VI-34	176	61	石核	II-4	接合	290	105	61	63	408.9	頁岩	
VI-34	176	62	石核	II-4	覆土 1b	283	69	102	57	356.6	頁岩	
VI-34	176	63	石核	II-4	覆土 1b	268	62	52	21	64.8	頁岩	
VI-35	177	64	石核	II-4	覆土 1b	272	107	90	47	395.5	頁岩	
VI-35	177	65	石核	II-4	覆土 1a	263	138	82	45	443.3	頁岩	
VI-35	177	66	石核	II-4	覆土 1b	270	72	75	47	177.2	頁岩	
VI-35	177	67	石核	II-4	覆土 1b	5 ㊲	72	75	37	173.2	頁岩	
VI-35	177	68	石核	II-4	覆土 1b	26 ㊲	35	43	24	32.7	頁岩	
VI-35	177	69	石核	II-4	覆土 1b	23 ㊲	59	60	43	123.8	頁岩	母岩 No.2・接合 No.74
VI-35	177	70	石核	II-4	覆土 1b	334	55	53	25	74.7	頁岩	
VI-35	177	71	石核	II-4	覆土 1a	254	122	77	55	411.3	頁岩	
VI-36	177	72	石核	II-4	覆土 1b	280	73	81	46	186.2	頁岩	
VI-36	177	73	石核	II-4	覆土 1b	23 ㊲	67	84	53	253.6	頁岩	母岩 No.2・接合 No.74
VI-36	177	74	石核	II-4	覆土 1b	31 ㊲	76	113	81	757.6	頁岩	
VI-36	177	75	石核	II-4	覆土 1b	23 ㊲	82	39	54	133.0	頁岩	母岩 No.2・接合 No.74
VI-36	177	76	石核	II-4	床面	81	116	79	41	215.8	頁岩	
VI-36	177	77	石核	II-4	覆土 1b	30 ㊲	140	74	41	375.1	頁岩	
VI-37	177	78	石片	II-4	覆土 1a	293	59	30	10	14.5	泥岩	
VI-37	177	79	石片・破片	II-4	床面直上	112	122	61	22	258.8	緑色岩	
VI-37	177	80	北海道式石器	II-4 IIP-10	覆土	3	110	122	58	367.3	安山岩	
VI-37	177	81a	接合資料				101	162	53	1,048.2	砂岩	接合 No.19
		81b	剥片	II-8	覆土中	214	63	102	21	9.6	砂岩	
				178	III	27				74.8		
		81c	すり石	II-4	覆土 1b	24	98	162	47	963.8	砂岩	
VI-38	178	82	扁平打製石器	II-4	覆土 1b	296	83	143	36	277.5	泥岩	
VI-38	178	83	扁平打製石器	II-4	覆土 1a	301	78	173	20	263.4	安山岩	接合 No.26
				1179	III	29				102.9	安山岩	
VI-38	178	84	扁平打製石器	II-4	覆土 1b	11 ㊲	77	119	22	272.7	安山岩	
VI-38	178	85	扁平打製石器	II-4	覆土 1 層上面	328	71	170	32	234.1	安山岩	接合 No.50105
				W85	III 下層上	32				185.4	安山岩	
VI-38	178	86	すり石	II-4	覆土 1b	315	82	138	30	510.1	砂岩	
VI-38	178	87	すり石	II-4	覆土 1b	31 ㊲	84	147	30	274.8	安山岩	接合 No.50135
				P85	RM	48				181.5		
VI-38	178	88	たたき石	II-4	覆土 1a	319	72	55	38	171.2	頁岩	
VI-38	178	89	たたき石	II-4	覆土 1b	4 ㊲	60	68	54	274.1	砂岩	
VI-38	178	90	たたき石	II-4	覆土 1a	311	157	67	25	379.5	砂岩	
VI-38	178	91	石皿	II-4	床面直上	35	200	226	60	4,955.0	安山岩	
VI-38	178	92	磨製礫	II-4	覆土 1b	325	84	28	11	28.0	泥岩	
VI-48	181	44	石核	II-5	覆土 2	151	29	14	3	1.2	頁岩	
VI-48	181	45	石核	II-5	覆土 2	150	39	14	6	3.3	頁岩	
VI-48	181	46	石核	II-5	覆土	147	41	12	5	2.0	頁岩	
VI-48	181	47	石核	II-5	覆土 1	149	50	13	6	2.6	頁岩	
VI-48	181	48	石核	II-5	覆土 2	349	90	26	13	21.1	頁岩	
VI-48	181	49	石核	II-5	覆土 2	350	112	23	16	37.2	頁岩	
VI-48	181	50	石核	II-5	床面	1	131	43	17	84.8	頁岩	
VI-48	181	51	両面調整石器	II-5	覆土 2 層下	54	95	59	37	168.5	頁岩	

探区	図版	番号	記録名	遺構・発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	備考
VI-48	181	32	両面調整石器	II-5	層土1	351	105	45	14	56.3	頁岩	
VI-48	181	53	両面調整石器	II-5	層土2層下	109	176	81	45	393.1	頁岩	
VI-49	181	54	両面調整石器	II-5	層土1	161	111	79	40	322.3	頁岩	
VI-49	181	55	つばみ付きナイフ	II-5	層土2	173	43	30	8	7.9	頁岩	
VI-49	181	56	スクレイパー	II-5	層土1	195	65	34	10	21.2	頁岩	光沢あり
VI-49	181	57	スクレイパー	II-5	層土1	201	69	(28)	9	(13.1)	頁岩	光沢あり
VI-49	181	58	スクレイパー	II-5	層土1	180	84	36	16	37.4	頁岩	光沢あり
VI-49	181	59	スクレイパー	II-5	層土1	205	105	52	18	85.9	頁岩	光沢あり
VI-49	181	60	スクレイパー	II-5	層土1	352	74	34	13	23.5	頁岩	光沢あり
VI-49	182	61	スクレイパー	II-5	層土1	192	51	65	9	16.5	頁岩	光沢あり
VI-49	182	62	スクレイパー	II-5	層土	178	68	50	15	39.2	頁岩	光沢あり
VI-49	182	63	スクレイパー	II-5	層土	177	76	57	16	77.7	頁岩	光沢あり
VI-50	182	64	スクレイパー	II-5	層土2層下	53	66	49	10	22.3	頁岩	
VI-50	182	65	スクレイパー	II-5	層土1	209	85	50	12	36.4	頁岩	光沢あり
VI-50	182	66	石鏝	II-5	層土2	219	51	22	9	8.9	頁岩	
VI-50	182	67	石鏝	II-5	層土1	218	72	62	16	36.6	頁岩	
VI-50	182	68	リフレイク	II-5	層土1	266	55	24	6	6.3	頁岩	光沢あり
VI-50	182	69	剥片	II-5	層土	353	95	77	23	138.5	頁岩	光沢あり
VI-50	182	70	石核	II-5 IIP-1	層土	2	71	79	35	195.4	頁岩	
VI-50	182	71	石核	II-5	層土2層下	82	78	57	44	199.4	泥岩	
VI-50	182	72	北海道式石冠	II-5	層土2層下	59	110	119	62	1,265.1	安山岩	
VI-50	182	73	北海道式石冠	II-5	層土1	316	68	122	61	709.6	安山岩	
VI-50	182	74	北海道式石冠	II-5	層土	315	85	57	50	191.1	閃緑岩	
VI-50	182	75	扁平打製石器	II-5	層土	294	69	138	29	372.0	砂岩	
VI-51	182	76	扁平打製石器	II-5	層土1	295	93	162	23	404.0	砂岩	
VI-51	182	77	すり石	II-5	層土2層下	70	104	147	45	707.0	安山岩	
VI-51	182	78	すり石	II-5	層土	327	48	124	25	40.9	安山岩	接合 No.50139 焼熱
					N72	層土	1			112.1		
VI-51	182	79	すり石	II-5	層土2	318	93	163	30	375.3	砂岩	接合 No.50137
					I79	層土	42			229.8		
VI-51	182	80	すり石	II-5	層土2	300	94	179	45	302.7	安山岩	接合 No.50136
					II-5	層土1	321			681.6		
VI-51	182	81	すり石	II-5	層土1	322	90	195	25	394.1	閃緑岩	接合 No.54
					II-5	層土1	325			140.1		
VI-51	182	82	たたき石	II-5	層土2	311	172	76	28	172.6	安山岩	接合 No.50138
					II-5	層土2	312			356.8		
VI-51	182	83	たたき石	II-5	層土2	308	86	57	34	234.3	砂岩	
VI-51	182	84	たたき石	II-5	層土2	303	123	55	23	166.4	泥岩	
VI-51	182	85	加工痕のある磯	II-5	床面	13	73	50	15	46.8	泥岩	
VI-56	183	10	石鏝	II-6	層土2	141	29	14	4	8.9	黒曜石	産地分析 X4
VI-56	183	11	石鏝	II-6	層土1	142	(33)	12	4	(0.9)	頁岩	
VI-56	183	12	両面調整石器	II-6	床面直上	33	115	51	23	121.5	頁岩	
VI-56	183	13	両面調整石器	II-6	床面直上	24	102	76	32	274.0	頁岩	
VI-56	183	14	つばみ付きナイフ	II-6	床面直上	100	(43)	24	(11)	(8.5)	黒曜石	産地分析 X3
VI-57	183	15	スクレイパー	II-6	層土2	153	65	43	15	38.0	頁岩	光沢あり
VI-57	183	16	スクレイパー	II-6	層土2	155	57	33	9	12.6	頁岩	光沢あり
VI-57	183	17	スクレイパー	II-6	床面直上	83	81	44	18	33.7	頁岩	
VI-57	183	18	石核	II-6	層土2	171	50	85	65	188.9	頁岩	
VI-57	183	19	石核	II-6	床面直上	12	65	105	39	197.3	頁岩	
VI-57	183	20	扁平打製石器	II-6	層土1	179	69	109	23	256.2	砂岩	
VI-57	183	21	扁平打製石器	II-6	M1	178	49	103	15	100.7	泥岩	
VI-57	183	22	すり石	II-6	層土1	185	95	170	38	752.6	閃緑岩	
VI-57	183	23	すり石	II-6	層土2	184	58	130	33	306.9	泥岩	
VI-57	183	24	たたき石	II-6	層土2	183	74	45	23	98.3	砂岩	
VI-57	183	25	接合資料				126	120	74	1,342.7	泥岩	接合 No.20
			くぼみ	II-6	床面	22	121	120	42	793.8	泥岩	
			Rフレイク	II-6	床面直上	91	126	115	38	548.9	泥岩	
VI-62	184	13	石鏝	II-7	層土層上面	99	37	14	7	2.6	頁岩	
VI-62	184	14	両面調整石器	II-7	層土2	109	126	80	26	73.8	頁岩	接合 No.30091
					O78	M	5			154.3		
VI-62	184	15	スクレイパー	II-7	M層上面	131	92	34	20	42.6	頁岩	
VI-62	184	16	スクレイパー	II-7	層土2	122	47	40	7	11.2	頁岩	光沢あり
VI-63	184	17	スクレイパー	II-7	層土1	117	96	54	23	56.7	頁岩	
VI-63	184	18	スクレイパー	II-7	M層上面	128	75	66	18	70.7	頁岩	光沢あり

採掘区	図版	番号	器種名	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
VI-63	184	19	リフレイク	II-7	掘込	152	77	51	17	53.3	頁岩	光沢あり
VI-63	184	20	石鏝	II-7	床面直上	37	74	82	49	294.7	頁岩	
VI-63	184	21	扁平打製石器	II-7	覆土 1	181	93	148	35	525.8	安山岩	
VI-63	185	22a	接合資料			83	202	55	1,153.5	砂岩	接合 No.49	
		22b	剥片	II-13	床面	41	35	62	22	48.2	砂岩	
		22c	剥片	II-13	床面	62	33	58	17	21.1	砂岩	
		22d	剥片	II-13	覆土 3	134	13	15	4	0.8	砂岩	
VI-64		22e	すり石	II-7	覆土 1	188	82	183	55	1,683.4	砂岩	
VI-64	185	23	たたき石	II-7	M	185	132	89	39	673.8	砂岩	
VI-64	185	24	石皿	II-7	覆土 1	193	383	286	85	14,940.9	安山岩	
VI-64	185	25	石鏝	II-7	M 層上面	134	119	85	30	406.9	安山岩	
VI-64	185	26	竈形礎	II-7	覆土 1	196	63	44	11	29.9	泥岩	
VI-64	185	27	遺物	II-7	M	194	81	46	8	11.5	砂岩	接合 No.50148
				II-7	M	195				14.8		
VI-70	186	3	両面調整石器	II-8a	床面	5	82	32	18	39.3	頁岩	
VI-70	186	4	隠状石器	II-8a	床面	6	69	46	15	41.9	頁岩	
VI-70	186	5	リフレイク	II-8a	床面	8	110	26	26	43.5	頁岩	
VI-70	186	6	扁平打製石器	II-8a	床面	14	81	102	21	203.2	安山岩	
VI-71	186	8	両面調整石器	II-8b	床面	55	132	65	34	231.9	頁岩	
VI-71	186	9	両面調整石器	II-8b	床面	52	113	55	18	85.6	頁岩	
VI-71	186	10	両面調整石器	II-8b	床面	76 ①	45	41	19	32.5	頁岩	
VI-71	186	11	スクレイパー	II-8b	床面	53	60	31	8	12.2	頁岩	
VI-71	186	12	石芥	II-8b	床面	77	98	43	29	209.7	緑色岩	
VI-71	186	13	磨切残片	II-8b	床面	57	168	120	57	1,225.0	緑色岩	
VI-72	187	28	石鏝	II-8	M	97	28	13	5	1.3	頁岩	
VI-72	187	29	石鏝	II-8 I 部・13	覆土 1	1	38	16	5	2.1	頁岩	
VI-72	187	30	両面調整石器	II-8	覆土下	12 ①	94	33	19	55.5	頁岩	
VI-72	187	31	両面調整石器	II-8	Ⅲ上	101	78	29	12	18.8	頁岩	
VI-72	187	32	スクレイパー	II-8	覆土下	113	69	38	14	28.6	頁岩	光沢あり
VI-72	187	33	スクレイパー	II-8	覆土中	111	76	40	13	30.3	頁岩	光沢あり
VI-72	187	34	スクレイパー	II-8	M	116	70	54	19	63.9	頁岩	光沢あり
VI-73	187	35	スクレイパー	II-8	M	115	80	48	9	23.7	頁岩	光沢あり
VI-73	187	36	石鏝	II-8	覆土下	12 ②	37	42	14	19.7	頁岩	
VI-73	187	37	石鏝	II-8	覆土中	141	76	50	35	140.3	頁岩	
VI-73	187	38	石鏝	II-8	覆土中	142	53	58	48	140.3	頁岩	
VI-73	187	39	石鏝	II-8	覆土下	151	58	74	51	189.7	頁岩	
VI-73	187	40	石芥	II-8	覆土中	156	84	35	14	73.4	緑色岩	
VI-73	187	41	石芥	II-8	覆土中	157	102	72	39	395.6	緑色岩	
VI-73	187	42	石のみ	II-8	覆土中	158	72	19	9	20.2	片岩	
VI-73	187	43	扁平打製石器	II-8	覆土下	190	83	137	30	422.8	泥岩	
VI-73	187	44	扁平打製石器	II-8	覆土中	167	85	172	20	164.9	安山岩	接合 No.28
				Ⅲ		5				166.5		
VI-74	187	45	扁平打製石器	II-8	M	178	102	106	35	684.9	安山岩	
VI-74	187	46	扁平打製石器	II-8	覆土下	161	75	147	28	240.1	泥岩	
VI-74	187	47	扁平打製石器	II-8	覆土下	160	65	123	19	138.8	泥岩	
VI-74	187	48a	接合資料			85	137	29	(349.6)	砂岩	接合 No.27	
		48b	扁平打製石器	II-8	覆土中	162	83	97	20	148.7	砂岩	
		48c	扁平打製石器	Ⅲ	Ⅲ	18	82	(110)	19	(200.9)	砂岩	
VI-74	188	49	扁平打製石器	II-8	覆土下	159	66	141	35	225.2	泥岩	
VI-74	188	50	扁平打製石器	II-8	覆土中	165	71	173	35	443.4	安山岩	接合 No.53
				G79	Ⅲ	70				152.6		
VI-75	188	51	扁平打製石器	II-8	覆土中	203	71	173	35	344.2	泥岩	接合 No.50129
				II-8	覆土下	205				412.3		
VI-75	188	52	扁平打製石器	II-8 IISC-2	覆土下層上面	14	92	125	13	48.2	安山岩	接合 No.50107
				N79	M	48				95.8		
VI-75	188	53	すり石	II-8	覆土下層上	15	102	191	36	529.4	安山岩	接合 No.50140
				II-8	Ⅲ上	192				397.6		
VI-75	188	54	すり石	II-8 IISC-2	覆土下層上面	15	77	119	20	281.6	安山岩	
VI-75	188	55	たたき石	II-8 IISC-2	覆土下層上面	5	99	86	38	413.8	砂岩	
VI-75	188	56	たたき石	II-8 IISC-2	覆土下層上面	9	100	73	42	453.1	砂岩	
VI-81	189	13	石鏝	II-9	覆土 1	240	21	11	3	0.8	頁岩	
VI-81	189	14	石鏝	II-9	覆土 1	241	31	14	4	1.6	頁岩	
VI-81	189	15	石鏝	II-9	床面直上	105 ②	36	20	11	6.9	頁岩	
VI-81	189	16	石鏝	II-9	床面直上	147	80	31	13	25.0	頁岩	

種類	図版	番号	図説名	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考	
VI-81	189	17	石楕	II-9	覆土 2	243	190	42	28	10.7	頁岩	接合 No.16	
			石楕		CR3 CR7	RM I-I RM	4 28			93.7 15.7	頁岩	接合 No.16	
VI-81	189	18	両面調整石器	II-9	覆土 2	246	52	13	39.7	頁岩			
VI-81	189	19	両面調整石器	II-9	覆土 2	293	101	39	15	11.1	泥岩	接合 No.50092	
					M80	M	26			40.2			
VI-81	189	20	つまみ付きナイフ	II-9	覆土 1	252	80	25	11	18.9	頁岩	光沢あり	
VI-81	189	21	スクレイパー	II-9	覆土 2	259	75	27	12	20.4	頁岩		
VI-81	189	22	スクレイパー	II-9	覆土 1	253	118	38	21	91.2	頁岩		
VI-81	189	23	スクレイパー	II-9	床面	260	75	33	8	15.9	頁岩	光沢あり	
VI-81	189	24	スクレイパー	II-9	覆土 1	255	58	36	11	9.1	頁岩		
VI-81	189	25	スクレイパー	II-9	I-I RM	261	91	57	15	40.7	頁岩		
VI-81	189	26	スクレイパー	II-9	床面直上	409	65	42	10	21.8	頁岩	光沢あり	
VI-82	190	27	スクレイパー	II-9	床面	139	(73)	32	11	(30.7)	頁岩		
VI-82	190	28	スクレイパー	II-9	覆土 1	254	78	62	19	60.2	頁岩		
VI-82	190	29	楔形石楕	II-9	覆土 2	262	42	23	13	10.1	黒曜石	産地分析 X5	
VI-82	190	30	石楕	II-9	覆土 1	263	72	53	33	110.4	頁岩		
VI-82	190	31	石楕	II-9	覆土 2	288	72	85	29	131.1	頁岩		
VI-82	190	32	石楕	II-9	覆土 1	272	102	86	61	488.0	頁岩	接合 No.5・接合 No.130	
VI-82	190	33	石楕	II-9	I-I RM	290	80	106	40	349.4	頁岩		
VI-83	190	34	石楕	II-9	床面直上	6	103	81	49	329.1	頁岩		
VI-83	190	35	石楕	II-9	覆土 1	279	58	93	72	371.5	頁岩	接合 No.5・接合 No.130	
VI-83	190	36	石楕	II-9	覆土 1	275	67	68	39	195.6	頁岩		
VI-83	190	37	石楕	II-9	床面直上	150	171	76	52	811.7	頁岩		
VI-83	190	38a	接合資料				42	96	27	107.0	緑色岩	接合 No.24	
		38b	剥片	II-9	覆土 2	304	38	68	20	51.8	緑色岩		
		38c	剥片		M85	RM	22	22	30	6	4.4	緑色岩	
		38d	剥片		CR8	壁下	109	41	50	23	50.8	緑色岩	
VI-84	190	39	石斧	II-9	床面直上	29	101	47	24	190.7	緑色岩		
VI-84	190	40	石のみ	II-9 IP-9	覆土 1	1	67	20	8	12.0	泥岩		
VI-84	190	41	扁平打製石器	II-9	床面直上	41	70	159	31	411.7	頁岩		
VI-84	190	42a	接合資料				145	67	30	446.3	砂岩	接合 No.48	
		42b	剥片	II-9	床面直上	99	44	59	15	34.7	砂岩		
		42c	すり石	II-1	覆土	866	145	67	28	231.6	砂岩		
				II-9	床面	800				186.0			
VI-84	190	43	石楕	II-9 IP-16	覆土 2	2	63	122	16	131.6	砂岩		
VI-84	190	44	石楕	II-9 IP-16	覆土 2	1	67	133	20	193.8	砂岩		
VI-84	191	45	石楕	II-9	覆土 2	299	82	184	30	328.8	泥岩		
VI-84	191	46	たたき石	II-9	床面直上	98	119	138	35	784.1	砂岩		
VI-84	191	47	たたき石	II-9	床面	216	105	70	36	321.5	砂岩		
VI-84	191	48	たたき石	II-9	床面直上	36	106	63	25	199.2	砂岩		
VI-84	191	49	砥石	II-9	覆土 1	302	128	70	38	241.0	泥岩		
VI-85	191	50	石楕	II-9	床面直上	90	347	267	107	16,096.0	安山岩		
VI-88	191	1	つまみ付きナイフ	II-10	覆土	38	76	29	9	17.1	頁岩		
VI-88	191	2a	接合資料				59	162	19	(296.8)	安山岩	接合 No.35	
		2b	剥片	II-10	床面	34	(3)	(19)	(25)	6	(2.2)	安山岩	HFC-1
		2c	扁平打製石器	II-11	床面	35	66	169	21	191.3	安山岩		
				II-12	床面	36				103.3			
VI-88	191	3	すり石	II-10	床面	16	82	131	35	460.5	安山岩		
VI-88	191	4	すり石	II-10 II-10	床面 床面	25 25	(90) (128)	46 (41.0)		(108.7)	砂岩	接合 No.50125 HFC-1	
VI-88	191	5	たたき石	II-10	床面	1	137	77	53	774.2	砂岩		
VI-88	191	6	剥片	II-1 II-3	覆土 1a 覆土 1	904 55	212	113	103	18.6 2.2	安山岩	接合 No.22 換熱 換熱	
			剥片	II-4	覆土 2	331				7.9	安山岩	接合 No.22 換熱	
			台石	II-10	床面	10				3,670.0	安山岩	接合 No.22 換熱	
			剥片	Q87	II-3 RM	58				26.9	安山岩	接合 No.22 換熱	
VI-90	192	1	石楕	II-11	床面	16	89	66	30	151.8	頁岩		
VI-91	192	1	石楕	II-12	M	1	68	28	15	22.4	頁岩		
VI-102	197	34	石楕	II-13	覆土 2	66	41	13	5	2.1	頁岩		
VI-102	197	35	石楕	II-13	覆土 1	67	35	12	4	1.1	頁岩		
VI-102	197	36	石楕	II-13	覆土 2	70	36	12	5	1.5	頁岩		
VI-102	197	37	石楕	II-13	覆土 2	71	36	19	5	2.3	頁岩	換熱	
VI-102	197	38	石楕	II-13	覆土 2	20 変	80	35	11	21.6	頁岩		

緯度	経度	番号	品名	遺構・ 基礎区	層位	遺物 番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
VI-102	197	39	石輪	II-13	RM	11㉔	137	52	22	64.9	頁岩	接合 No.30083
				N88	II-1 RM	35				54.7		
VI-102	197	40	つまみ付きナイフ	II-13	覆土 1	80	58	33	9	6.9	頁岩	接合 No.17
				N88	II-1 RM	77				5.2		
VI-102	197	41	スクレイパー	II-13	覆土 1	90	113	30	19	29.3	頁岩	
VI-102	197	42	スクレイパー	II-13	覆土 1	89	(99)	38	8	(16.2)	頁岩	光沢あり
VI-102	197	43	スクレイパー	II-13	覆土 1	84	74	50	15	51.9	頁岩	光沢あり
VI-102	197	44	石鏝	II-13	覆土 1	107	120	73	40	330.6	頁岩	母岩 No.11・接合 No.152
VI-102	197	45	石鏝	II-13	覆土 2	18㉔	34	31	17	16.3	頁岩	
VI-102	197	46	扁平打製石器	II-13	覆土 1	116	100	158	28	417.3	泥岩	
VI-102	197	47a	接合資料				76	130	19	225.6	泥岩	接合 No.29
		47b	扁平打製石器	M88	RM	72	72	128	19	195.3	泥岩	
		47c	扁平打製石器	II-13	覆土 1	118	47	68	16	30.3	泥岩	
VI-103	197	48a	接合資料				64	153	24	348.1	泥岩	接合 No.21
		48b	剥片	II-13	床面	64	34	38	8	6.8	泥岩	
		48c	扁平打製石器	II-13	床面	47	62	153	24	114.5	泥岩	
				II-13	床面	55				98.1		
				II-13	床面	58				128.7		
VI-103	197	49	扁平打製石器	II-13	覆土 2	123	62	153	25	119.9	安山岩	接合 No.50108
				II-13	覆土 3	124				229.3		
VI-103	197	50	すり石	II-13	覆土 3	131	87	158	43	827.3	砂岩	
VI-103	197	51	すり石	II-13	床面	46	82	168	37	356.9	安山岩	接合 No.50141
				II-13	覆土 3	132				390.5		
VI-103	197	52	すり石	II-13	床面	48㉔	90	142	35	619.4	安山岩	
VI-103	197	53	たたき石	II-13	RM	2㉔	73	97	25	236.4	砂岩	
VI-103	197	54	たたき石	II-13	床面	49	109	61	23	217.7	安山岩	
VI-103	197	55a	接合資料				118	79	32	417.8	砂岩	接合 No.43
		55b	剥片	M86	II-1 RM	15	37	21	8	4.2	砂岩	
		55c	たたき石	II-13	覆土 2	129	116	79	31	413.6	砂岩	
VI-103	197	56	重鋤	II-13	覆土 1	133	33	23	7	6.5	泥岩	
VI-103	197	57	石製品	II-13	覆土 1	95	128	34	25	54.7	泥岩	接合 No.50099
				II-13	覆土 1	96				28.8		
VI-109	200	2	石鏝	II-14	床面	6	35	18	5	2.9	頁岩	
VI-109	200	3	石鏝	II-14	床面	17	57	25	8	7.3	頁岩	
VI-109	200	4	石鏝	II-14	覆土	25	24	9	5	1.9	めのう	
VI-109	200	5	石鏝	II-14	床面	7	118	80	42	401.9	頁岩	
VI-109	200	6	石のみ	II-14	覆土	28	86	27	12	30.6	泥岩	
VI-112	200	5	石鏝	II-15	覆土 1	50	30	11	5	1.1	頁岩	
VI-112	200	6	両面調整石器	II-15	床面直上	1	168	86	40	416.1	頁岩	
VI-112	200	7	スクレイパー	II-15	覆土 1	56	74	43	9	27.2	頁岩	
VI-112	200	8	石鏝	II-15	覆土 1	63	100	78	45	291.5	頁岩	
VI-112	200	9	石鏝	II-15	床面	13	62	52	38	110.4	頁岩	
VI-112	200	10	石鏝	II-15	覆土 1	66	81	82	49	251.1	頁岩	
VI-112	200	11	石鏝	II-15	覆土 1	67	79	73	34	158.4	頁岩	
VI-113	200	12	北海道式石鏝	II-15	覆土 1	48	103	143	65	1,290.9	安山岩	
VI-113	200	13	石鏝	II-15	覆土 1	79	88	83	24	231.6	安山岩	
VI-113	200	14	重鋤	II-15	覆土 1	81	33	26	8	8.3	泥岩	
VI-113	200	15	重鋤	II-15	覆土 1	80	39	28	10	9.2	泥岩	
VI-113	200	16	石製品	II-15	覆土 2	57	10	16	4	0.5	泥岩	
VI-116	201	6	石鏝	II-16	覆土 2	87	24	12	4	0.9	頁岩	
VI-116	201	7	石鏝	II-16	覆土 2	86	29	15	4	1.2	頁岩	
VI-116	201	8	石鏝	II-16	床面	68	45	47	18	23.7	頁岩	
VI-116	201	9	両面調整石器	II-16	覆土	88	83	54	17	66.6	頁岩	
VI-116	201	10	つまみ付きナイフ	II-16	覆土 2	92	80	28	11	19.1	頁岩	
VI-116	201	11	スクレイパー	II-16	覆土	96	83	48	15	42.8	頁岩	
VI-116	201	12	スクレイパー	II-16	覆土	93	110	46	16	48.4	頁岩	
VI-116	201	13	石鏝	II-16	覆土 2 層上	101	70	51	15	21.9	頁岩	
VI-116	201	14	石鏝	II-16	覆土	112	73	71	40	189.5	頁岩	
VI-116	201	15a	接合資料				78	160	30	272.7	泥岩	接合 No.36
VI-117		15b	剥片	II-16	床面	75	26	50	8	6.8	泥岩	
		15c	扁平打製石器	II-16	床面	22	78	160	30	265.9	泥岩	
VI-117	201	16a	接合資料				74	145	34	451.9	砂岩	接合 No.30
		16b	扁平打製石器	II-16	床面	31	72	76	31	185.8	砂岩	
		16c	剥片	II-16	覆土	122	19	21	5	1.9	砂岩	

探洞	図版	番号	図録名	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
		16d	扁平打製石器	II-16	床面	37	66	123	32	264.2	砂岩	
VI-117	201	17	たたき石	II-16	覆土	121	118	76	32	426.6	砂岩	
VI-117	201	18	石皿	II-16	床面	21	316	280	90	3,480.0	安山岩	接合 No.50147 板熱
				II-16	床面	36				1,687.7		板熱
				II-16	床面	45				657.2		板熱
				II-16	床面	46				1,477.1		板熱
				II-16	床面	49				3,300.0		板熱
VI-117	201	19a	接合資料				92	64	28	234.3	砂岩	接合 No.40
		19b	刮片	II-16	掘削床	123	32	30	9	8.6	砂岩	
		19c	加工痕のある磯	II-16	床面	26	91	64	28	225.7	砂岩	
VI-119	201	2	両面調整石器	II-17	床面	12	87	45	23	65.3	頁岩	
VI-119	201	3	たたき石	II-17	覆土 1	36	96	73	36	372.9	砂岩	
VI-121	202	4	すり石	II-18	覆土	12	92	142	38	718.0	砂岩	
VI-121	202	5	砥石	II-18	覆土	15	219	297	77	2,775.0	安山岩	
VI-123	203	8	両面調整石器	II-19	覆土 2	6	130	30	29	139.8	頁岩	
VI-123	203	9	両面調整石器	II-19	覆土 2	7	218	88	44	865.4	頁岩	
VI-123	203	10	石楯	II-19	覆土 2	3	76	2	10	14.5	頁岩	
VI-123	203	11	スクレイパー	II-19	覆土 2	10	62	38	7	11.1	頁岩	元沢あり
VI-127	204	8	つまみ付きナイフ	II-20	覆土	71	69	30	7	9.0	頁岩	
VI-127	204	9	たたき石	II-20	覆土 1	81	126	62	34	361.0	砂岩	
VI-127	204	10	たたき石	II-20	覆土	80	129	70	33	445.5	砂岩	
VI-127	204	11	たたき石	II-20	覆土	79	100	75	44	459.8	砂岩	
VI-127	204	12	砥石	II-20	床面	64	53	48	26	53.0	泥岩	
VI-131	204	5	石楯	II-23	覆土	77	30	13	4	1.1	頁岩	
VI-131	204	6	両面調整石器	II-23	床面	60	38	30	15	14.5	頁岩	
VI-131	204	7	両面調整石器	II-23	床面	38	27	43	10	19.3	頁岩	
VI-131	204	8	石楯	II-23	床面	72	54	89	47	172.8	頁岩	
VI-131	204	9	石斧	II-23	覆土 下	26	133	38	26	231.5	片岩	
VI-132	204	3	石楯	II-24	覆土	34	115	38	15	52.8	頁岩	
VI-132	204	4	石楯	II-24	床面	33	80	51	18	66.1	頁岩	
VI-132	204	5	両面調整石器	II-24	床面	22	96	83	34	251.8	頁岩	
VI-132	204	6	すり石	II-24	床面	11	81	134	40	530.3	安山岩	
VI-136	205	3	スクレイパー	II-25	覆土 上	49	48	42	12	12.8	頁岩	
VI-136	205	4	石斧	II-25	覆土	64	110	44	26	305.5	緑色岩	
VI-136	205	5	扁平打製石器	II-25	覆土 中	29	83	157	33	493.0	砂岩	
VI-136	205	6	扁平打製石器	II-25	覆土	66	80	110	30	324.6	安山岩	
VI-136	205	7	すり石	II-25	覆土 下	27	65	130	44	426.7	砂岩	
VI-136	205	8	台石	II-25	覆土	69	186	176	52	770.8	安山岩	接合 No.50146
					L85 N88	3M II-1 RM	30 151			109.6 1,157.8		
VI-136	205	9	石皿	II-25	床面	11	246	342	86	9,915.0	安山岩	板熱
VI-137	205	10	石皿	II-25	床面	12	332	272	110	15,510.0	安山岩	板熱
VI-137	205	11	石皿	II-25	覆土 下	37	264	296	66	4,600.0	安山岩	板熱
VI-142	206	10a	接合資料				492	251	95	6,119.5	泥岩	母岩 No.12・接合 No.182
VI-143	207	10b	両面調整石器	II-26 IFC-1	■上	1	476	251	85	3,220.0	泥岩	
				II-26 IFC-1	■上	2				985.0		
				II-26 IFC-1	■上	3				461.3		
				II-26 IFC-1	■上	6				1,445.0		
				II-26 IFC-1	■上	108				8.2		
VI-143	206	11	石斧	II-26	覆土 上 3	68	97	29	10	45.0	片岩	
VI-143	206	12	すり石	II-26	床面直上	24	92	80	29	269.4	安山岩	板熱
VI-143	206	13	たたき石	II-26	床面直上	40	110	55	58	506.7	砂岩	
VI-143	206	14	たたき石	II-26	床面直上	38	119	60	38	426.2	砂岩	
VI-143	206	15	石皿	II-26 IFC-1	■上	8	253	139	75	3,715.0	安山岩	
VI-143	206	16	産物	II-26	覆土 下	71	45	31	8	9.9	泥岩	
VI-150	208	20	石楯	II-27	覆土下層上面	1	226	67	19	239.3	頁岩	
VI-150	208	21	両面調整石器	II-27	覆土 上 3	36	162	72	55	565.7	頁岩	
VI-150	208	22	鉋状石器	II-27	覆土 上 2	41	105	53	22	96.0	頁岩	
VI-150	208	23	鉋状石器	II-27	覆土 上 2	42	77	31	14	34.0	頁岩	
VI-150	208	24	つまみ付きナイフ	II-27	覆土 上 3	45	84	28	9	11.4	頁岩	
VI-150	208	25	つまみ付きナイフ	II-27	覆土 中	47	123	25	9	26.4	頁岩	
VI-151	208	26	つまみ付きナイフ	II-27	覆土 上 3 層上	2	103	24	9	20.6	頁岩	
VI-151	208	27	スクレイパー	II-27 IFC-1	覆土 上 3	2	84	36	10	27.7	頁岩	元沢あり
VI-151	208	28	スクレイパー	II-27	覆土 上 2	49	83	43	20	49.3	頁岩	

採掘	図版	番号	器種名	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
VI-151	208	29	スレイバー	II-27 HSC-1	覆土上 3	4	56	40	10	16.7	頁岩	光沢あり
VI-151	208	30	スレイバー	II-27	覆土上 3	57	94	32	19	23.2	頁岩	
VI-151	208	31	スレイバー	II-27	覆土上 2	50	101	46	20	32.4	頁岩	
VI-151	208	32	スレイバー	II-27 HSC-1	覆土上 3	3	75	55	12	34.6	頁岩	光沢あり
VI-151	208	33	スレイバー	II-27	覆土下	60	67	47	16	34.0	頁岩	
VI-151	208	34	スレイバー	II-27	覆土中	58	40	40	8	8.7	頁岩	
VI-151	208	35	スレイバー	II-27	覆土上 2	51	75	52	14	54.4	頁岩	光沢あり
VI-151	209	36	R フレイト	II-27 HFC-1	覆土中	1	115	71	18	115.1	頁岩	母岩 No.14・接合 No.187
VI-152	209	37	石核	II-27	床面直上	17	78	75	42	203.1	頁岩	
VI-152	209	38	石核	II-27	覆土上 2	93	93	75	44	228.5	頁岩	
VI-152	209	39	石核	II-27 HFC-1	覆土中	2	87	85	38	231.3	頁岩	母岩 No.14・接合 No.187
VI-152	209	40	石核	II-27	覆土上 2	98	60	65	56	234.1	頁岩	
VI-152	209	41	北海道式石冠	II-27	覆土上 2	124	78	126	47	606.0	閃緑岩	
VI-152	209	42	扁平打製石器	II-27	床面	11	78	103	29	293.7	安山岩	
VI-152	209	43	扁平打製石器	II-27	覆土上 覆土上 2	113 114	106	194	22	206.6 229.6	泥岩	接合 No.50126
VI-152	209	44	扁平打製石器	II-27	覆土中	116	116	201	39	610.6	泥岩	
VI-153	209	45	扁平打製石器	II-27	覆土中	117	61	148	24	217.6	泥岩	
VI-153	209	46	扁平打製石器	II-27	覆土上 2	31	55	147	25	236.4	頁岩	
VI-153	209	47	扁平打製石器	II-27	覆土下 P75 層下	120 12	58	154	14	91.9 79.4	安山岩	接合 No.50109
VI-153	209	48	すり石	II-27	覆土中	127	81	155	38	627.3	砂岩	
VI-153	209	49	たたき石	II-27 HSC-1	覆土上 3 層下	11	97	70	54	541.3	珸化岩	
VI-153	209	50	たたき石	II-27	覆土中	123	145	63	33	406.7	砂岩	
VI-153	209	51a	接合資料				138	108	40	806.2	砂岩	接合 No.44
		51b	剥片	II-27	覆土上 2	133	34	59	9	16.2	砂岩	
		51c	たたき石	L79	覆土上	24	138	108	40	790.0	砂岩	
VI-153	209	52	たたき石	II-27 HSC-1	覆土上 3 層下	12	65	54	51	246.5	頁岩	
VI-153	209	53	石製品	II-27	覆土上	110	42	23	8	10.8	泥岩	
VI-153	209	54	石製品	II-27	覆土上 2	61	56	33	17	36.9	泥岩	
VI-161	211	7	石核	II-28	覆土上	16	35	14	5	1.7	頁岩	
VI-161	211	8	石核	II-28	覆土上	17	(37)	13	6	(1.9)	めりろ	アスファルト付き
VI-161	211	9	両面調整石器	II-28	覆土上	21	113	104	34	274.7	頁岩	
VI-161	211	10	つまみ付きナイフ	II-28	覆土下	22	103	33	12	28.5	頁岩	光沢あり
VI-161	211	11	つまみ付きナイフ	II-28	覆土下	23	67	22	12	9.9	頁岩	
VI-161	211	12	スレイバー	II-28	覆土	26	68	42	12	25.7	頁岩	光沢あり
VI-161	211	13	スレイバー	II-28	床面	12	54	41	10	12.9	頁岩	
VI-161	212	14	石斧	II-28	床面直上	7	(106)	67	30	(344.0)	泥岩	
VI-161	212	15	北海道式石冠	II-28	床面直上 覆土下	10 37	102	155	30	409.2 225.1	安山岩	接合 No.50134
VI-161	212	16	すり石	II-28	覆土上	50	90	153	40	722.0	安山岩	
VI-162	212	17	扁平打製石器	II-28 C88 II-1 RM	覆土下 覆土下	38 39 116	67	112	20	30.7 48.4 62.3	安山岩	接合 No.50110
VI-162	212	18	石製	II-28	覆土下	43	53	125	19	123.4	安山岩	
VI-162	212	19	たたき石	II-28	覆土下	47	110	68	49	476.5	砂岩	
VI-162	212	20	たたき石	II-28	覆土下	45	113	71	50	591.4	砂岩	
VI-162	212	21	たたき石	II-28	覆土下	46	63	52	29	130.5	砂岩	
VI-165	212	3	石核	II-29	床面直上	13	37	16	5	2.3	頁岩	
VI-165	212	4	石核	II-29	床面直上	14	46	19	6	3.0	頁岩	
VI-165	212	5	両面調整石器	II-29	覆土上	18	121	46	34	131.7	頁岩	
VI-165	212	6	剥片	II-29	覆土上	26	(14)	27	9	(2.1)	黒曜石	産地分析 X7
VI-165	212	7	石核	II-29	覆土上	20	19	32	20	7.9	黒曜石	産地分析 X6
VI-165	212	8	石核	II-29	覆土上	24	45	47	42	122.9	頁岩	
VI-165	212	9	扁平打製石器	II-29	床面	16	77	84	12	117.4	安山岩	
VI-171	213	16	石核	II-30	覆土上	103	31	16	5	2.0	頁岩	
VI-171	213	17	石核	II-30	覆土上	104	(29)	14	5	(1.4)	頁岩	
VI-171	213	18	つまみ付きナイフ	II-30	覆土上	112	82	23	12	14.3	頁岩	
VI-171	213	19	スレイバー	II-30	覆土上 2	116	81	32	11	22.0	頁岩	
VI-171	213	20	スレイバー	II-30	床面	2	64	41	13	29.2	頁岩	
VI-171	213	21	スレイバー	II-30	覆土上 2	117	76	51	17	51.3	頁岩	光沢あり
VI-171	213	22a	接合資料				104	67	65	404.7	安山岩	接合 No.45
		22b	北海道式石冠	II-30	覆土上 2	141	104	62	65	376.9	安山岩	
		22c	剥片	G79	III	83	54	57	13	27.8	安山岩	

探検	図版	番号	図録名	遺構・発掘区	層位	遺物番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	石質	備考
VI-171	213	23	北海道式石冠	H-30	床面	63	110	78	62	384.1	閃緑岩	
VI-171	213	24	扁平打製石器	H-30	層土 1	134	73	141	23	328.5	安山岩	
VI-171	213	25	扁平打製石器	H-30 1P-13	層土	1	57	127	19	168.6	安山岩	
VI-171	213	26	扁平打製石器	H-30	層土 2	132	66	145	22	176.3	泥岩	
VI-172	213	27	扁平打製石器	H-30	床面	67	79	171	27	119.7	泥岩	接合 No.50111
				表採	I	37				203.3		
VI-172	213	28	扁平打製石器	H-30	床面	91	56	126	17	19.0	泥岩	接合 No.50112
				H-30	床面	92				80.3		
VI-172	213	29	すり石	H-30	礎石	143	77	160	30	538.1	安山岩	
VI-172	213	30	すり石	H-30 1P-14 H-30 1P-14	坑底 坑底	1 2	99	156	38	405.7 348.4	閃緑岩	接合 No.50145 被熱 被熱
VI-172	213	31	すり石	H-30	床面	18	74	88	44	309.4	安山岩	
VI-172	213	32	たたき石	H-30	床面	22	130	100	41	746.5	泥岩	
VI-172	213	33	たたき石	H-30	層土 1	136	98	67	38	410.2	砂岩	
VI-172	213	34	たたき石	H-30	層土 1	137	113	89	42	618.8	砂岩	
VI-172	213	35	たたき石	H-30	層土 2	140	111	97	81	1,142.8	石英岩	
VI-172	213	36	加工痕のある礫	H-30	床面	52①	63	49	14	46.2	泥岩	
VI-172	213	37	加工痕のある礫	H-30	層土 2	144	38	78	14	51.3	泥岩	
VI-179	214	8	石礫	H-37	床面	9	25	18	4	1.0	黒曜石	産地分析 X9
VI-179	214	9	石礫	H-37	床面直上	7	42	22	6	3.5	黒曜石	産地分析 X8
VI-179	214	10	スクレイパー	H-37	層土下	22	70	33	15	27.4	頁岩	光沢あり
VI-179	214	11	石礫	H-37	床面	11	30	10	5	1.1	頁岩	
VI-181	214	4	両面調整石器	H-38	床面	6	109	39	21	26.5	頁岩	接合 No.50093
				O78	墓下	1				46.6		
VI-181	214	5	石礫	H-38	床面	7	75	67	37	176.2	頁岩	
VI-181	214	6	すり石	H-38	層土	2	74	107	28	308.5	砂岩	
VI-201	215	3	スクレイパー	P-2	層土	7	61	53	17	57.5	頁岩	光沢あり
VI-201	215	4	すり石	P-2	層土	11	75	122	35	419.1	安山岩	
VI-201	215	9	つまみ付きナイフ	P-5	坑底	6	99	34	10	14.8	頁岩	
VI-201	215	10	石片	P-5	坑底	7	94	25	19	61.2	緑色岩	
VI-202	215	14	三角形石製品	P-10	層土 2	13	72	62	25	89.4	頁岩	
VI-202	215	15	両面調整石器	P-11	層土 1	1	125	72	41	286.1	頁岩	
VI-202	215	16	北海道式石冠	P-11	層土	2	101	104	65	868.1	安山岩	
VI-202	215	17	すり石	P-11	層土 1	3	84	151	39	677.0	安山岩	
VI-202	215	19	たたき石	P-12	層土 2	8	108	75	55	653.0	砂岩	
VI-202	215	20	北海道式石冠	P-12	層土 2	7	102	98	67	762.9	安山岩	
VI-203	216	31	石礫	H-1	礎石	583	181	52	16	29.6	頁岩	接合 No.15
				N87	H-1 RM	10				29.3		
			石礫	P-14	層土 1	7				59.6		接合 No.15
VI-204	217	36	石礫	P-17	坑底	2	82	59	38	172.9	頁岩	
VI-204	217	41	石礫	P-18	層土 1	1	31	14	4	1.5	頁岩	
VI-204	217	42	楔形石器	P-18	層土 2	3	44	37	30	23.0	圧化岩	
VI-204	217	43	扁平打製石器	P-18	層土 1 層土	6	104	113	26	393.3	安山岩	被熱
VI-205	217	46	両面調整石器	P-19	層土 1	1	93	96	21	184.7	頁岩	
VI-205	217	47	たたき石	P-20	層土	2	106	84	40	456.2	砂岩	
VI-205	217	49	スクレイパー	P-25	層土	11	61	39	11	19.3	頁岩	光沢あり
VI-206	218	64	石礫	P-27	層土 2	3	130	57	19	54.9	頁岩	接合 No.50084
				P87	RM	41				53.8		
VI-206	218	65	つまみ付きナイフ	P-27	層土 2	2	116	34	11	37.5	頁岩	
VI-206	218	66	つまみ付きナイフ	P-27	層土 2	6	37	24	13	8.8	黒曜石	産地分析 X10
VI-206	218	67	スクレイパー	P-27	層土 2	8	55	37	12	13.9	頁岩	
VI-206	218	71	スクレイパー	P-29	層土	3	96	55	20	55.0	頁岩	
VI-207	218	73	両面調整石器	P-31	層土	3	104	54	24	122.7	頁岩	
VI-207	218	74	石礫	P-34	層土	3	32	16	5	1.9	頁岩	
VI-207	219	76	扁平打製石器	P-37	層土	5	80	165	20	287.2	泥岩	
VI-207	219	77	砥石	P-37	層土	7	268	113	30	854.5	泥岩	
VI-207	219	78	石のみ	P-41	層土	4	57	21	6	9.9	泥岩	
VI-207	219	79	たたき石	P-41	層土	5	113	62	38	412.5	砂岩	
VI-208	219	82	断切痕片	P-43	層土	2	105	62	42	331.7	緑色岩	
VI-208	219	86	スクレイパー	P-44	層土	2	62	40	13	22.6	頁岩	
VI-208	219	88	加工痕のある礫	P-48	層土	1	71	53	20	112.6	砂岩	
VI-209	220	95	石礫	P-70	層土上	1	38	14	4	1.5	頁岩	
VI-209	220	96	スクレイパー	P-70	層土中	2	108	68	20	108.7	頁岩	
VI-210	221	108	削片	P-74	層土下	14	30	46	16	18.6	黒曜石	産地分析 X11

採掘区	図版	番号	器種名	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	石質	備考
VI-210	221	109	たたき石	P-74	層土上	13	96	62	53	444.5	砂岩	
VI-211	221	111	石楯	P-79	層土	2	100	164	157	2,310.0	頁岩	
VI-211	221	115	すり石	P-94	坑底	1	73	77	30	315.9	閃緑岩	
VI-217	221	6	石楯	FC-3	Ⅱ下	1③	143	55	24	133.4	頁岩	
VI-217	221	7	石楯	FC-3	Ⅱ下	17	120	82	23	146.8	頁岩	
VI-217	222	8	つまみ付きナイフ	FC-3	Ⅱ下	2②	85	26	12	18.2	頁岩	光沢あり
VI-217	222	9	スクレイパー	FC-3	Ⅱ下	1④	82	43	13	30.4	頁岩	
VI-217	222	10	R フレイク	FC-3	Ⅱ下	2③	33	24	5	4.3	頁岩	
VI-217	222	11	石楯	FC-3	Ⅱ下	2④	81	74	46	258.1	頁岩	
VI-217	222	12	扁平打製石楯	FC-3	Ⅱ下	9	104	171	31	190.2	頁岩	接合 No.50128
				FC-3	Ⅱ下	10				264.3		
VI-217	222	13	石楯	FC-5	Ⅱ下層上	2	45	62	19	56.6	頁岩	
VI-218	222	14a	接合資料				86	69	25	122.5	頁岩	接合 No.3
		14b	剥片	FC-6	Ⅱ-3 RM	152	36	24	6	2.7	頁岩	
		14c	剥片	FC-6	Ⅱ-3 RM	153	32	26	7	4.2	頁岩	
		14d	両面調整石楯	FC-6	Ⅱ-3 RM	6	83	69	21	75.1	頁岩	
				W86	Ⅱ-39 RM	32				40.5		
VI-218	222	15	石楯	FC-6	Ⅱ-3 RM	42	86	64	52	265.0	頁岩	接合 No.276
VI-218	222	16	石楯	FC-6	Ⅱ-3 RM	19	95	75	48	21.6	頁岩	接合 No.279
				FC-6	Ⅱ-3 RM	39				250.0		
VI-218	222	17	石楯	FC-6	Ⅱ-3 RM	9	68	82	35	53.8	頁岩	接合 No.277
				P88	Ⅱ-3 RM	90				98.8		
VI-218	222	18	石楯	FC-6	Ⅱ-3 RM	41	65	74	50	225.0	頁岩	接合 No.287
VI-220	224	23	両面調整石楯	FC-9	RM	2	149	101	40	663.2	頁岩	母岩 No.29・接合 No.330
VI-220	224	24	両面調整石楯	FC-9	RM	1	54	46	13	26.3	頁岩	母岩 No.31・接合 No.338
VI-222	225	27	石のみ	FC-11	Ⅱ-1 RM	3	65	23	9	15.0	泥岩	
VI-222	225	29	石楯	FC-17	Ⅱ下層上	9	90	77	45	267.6	頁岩	
VI-222	225	30	磨石	SC-3	Ⅱ上	3	71	66	29	140.6	黒曜石	産地分析 X12

表 VI-5 C 地区遺構出土土曜石器接合資料一覧

採掘区	図版	番号	器種等	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
VI-29	178	93	母岩 No.1・接合 No.71(頁)			699.4	37	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1a	422	13.5	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	29 ②-3	16.3	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1a	423	11.1	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1a	424	2.8	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-1	1.7	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-1	17.6	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	3 ②-1	43.0	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-2	4.3	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-3	15.1	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	29 ②-5	2.6	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-7	5.2	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-8	5.0	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-9	0.4	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-12	168.8	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	29 ②-4	13.1	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-13	2.1	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-14	2.1	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-15	4.5	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-16	2.8	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-17	4.1	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-18	11.0	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	29 ②-1	81.7	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-20	2.8	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-23	12.9	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-21	2.0	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	30 ②-1	27.0	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-22	82.1	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-24	9.2	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-25	1.0	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-26	0.7	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	2 ②-28	3.7	

採掘区	図版	番号	器種等	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	29 ②-6	3.9	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	29 ②-7	12.8	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	413	14.6	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	414	36.7	
VI-39	178	94	母岩 No.2・接合 No.74(頁)			776.8	22	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1a	437	4.7	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1a	457	2.1	
VI-36	177	73	石楯	Ⅱ-4	層土 1b	23 ②	253.6	
VI-35	177	69	石楯	Ⅱ-4	層土 1b	23 ③	123.8	
VI-36	177	75	石楯	Ⅱ-4	層土 1b	23 ③	133.0	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	23 ⑤-1	6.2	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	23 ⑤-2	10.6	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	23 ⑤-3	6.0	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	425	8.6	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	431	35.2	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	436	7.3	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	429	6.1	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	428	12.7	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	430	24.5	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	434	17.9	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	432	20.1	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	433	11.3	
			剥片	Ⅱ-4	層土 2	438	8.9	
			石楯	Ⅱ-4	層土 1b	435	51.4	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	436	5.5	
			剥片	Ⅱ-4	層土 1b	439	1.4	
			剥片	Ⅱ-4	層土 2b	427	25.9	
VI-96	191	51	母岩 No.5・接合 No.130(頁)			1478.6	71	
VI-82	190	32	石楯	Ⅱ-9	層土 1	272	488.0	
VI-83	190	35	石楯	Ⅱ-9	層土 1	279	371.5	
			剥片	Ⅱ-9	層土 1	280	207.1	
			剥片	Ⅱ-9	床面直上	178 ①	28.0	
			剥片	Ⅱ-9	層土 1	309	2.5	
			剥片	Ⅱ-9	層土 1	310	7.9	

碑図	図版	番号	器種等	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	311	00.4
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	345	1.8
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	312	00.0
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	313	3.5
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	316	00.4
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	317	111.8
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	318	39.2
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	320	4.3
					Ⅱ-9	Ⅱ-2	319	20.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	321	0.6
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	323	2.2
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	325	0.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	324	4.3
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	326	0.1
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	342	9.9
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	327	0.8
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	339	32.9
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	343	10.0
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	328	7.2
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	334	2.4
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	329	6.4
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	346	2.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	330	2.4
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	331	3.5
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	332	2.1
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	333	3.7
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	335	0.9
					Ⅱ-9	Ⅱ-2	322	58.8
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	336	10.9
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	337	1.0
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	338	0.8
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	340	23.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	341	5.9
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	344	1.4
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	347	13.4
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	348	2.5
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	349	31.6
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	363	3.6
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	350	1.4
					Ⅱ-9	Ⅱ-2	370	4.0
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	351	32.9
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	352	4.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	353	0.5
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	355	0.9
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	354	11.8
					Ⅱ-9	Ⅱ-2	369	15.4
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	356	2.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	357	1.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	358	0.4
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	359	3.6
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	360	0.6
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	361	0.7
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	362	2.2
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	364	1.5
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	365	15.7
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	366	9.8
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	367	16.0
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	368	0.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	371	4.5
					Ⅱ-9	Ⅱ-1	372	1.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	373	5.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	378	1.1
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-1	379	0.9
					Ⅱ-9	Ⅱ-2	377	36.3
			銅片		Ⅱ-9	Ⅱ-2	376	13.7
VI-88	192	7	母屋 No.9・接合 No.10(真鍮)					394.9 63
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	41	10.7
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	42	15.1
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	45	7.8
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	46	5.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	69	2.0
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	70	3.1
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	71	2.1
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	72	0.5
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	73	0.3
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	74	1.3
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	75	0.8
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	76	0.5
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	77	2.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	78	3.4
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	90	18.4
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	91	1.7
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	92	0.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	93	8.2
				K86	Ⅱ-2 KM		28	4.3
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	101	18.3
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	102	1.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	103	13.8
					Ⅱ-10	Ⅱ-1	127	9.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	105	10.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	106	9.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	111	11.9
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	112	1.1
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	128	4.1
					Ⅱ-10	Ⅱ-1	240	0.3
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	130	0.8
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	131	6.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	144	1.4
				K86	Ⅱ-2 KM		23	28.9
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	145	16.7
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	151	2.9
					Ⅱ-10	Ⅱ-1	213	0.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	152	8.1
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	160	2.7
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	176	2.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	182	2.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	183	3.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	184	2.0
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	185	2.0
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	187	0.5
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	195	6.4
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	196	2.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	208	0.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	209	1.1
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	210	2.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	211	1.3
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	214	0.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	241	1.5
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	242	3.3
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	243	0.4
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	244	0.3
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	245	2.1
			銅片	K86	Ⅱ-2 KM		21	88.0
			銅片	K86	Ⅱ-2 KM		22	17.9
			銅片	K86	Ⅱ-2 KM		38	5.6
			銅片	K86	Ⅱ-2 KM		41	0.7
			銅片	K86	Ⅱ-2 KM		46	5.5
			銅片	K86	Ⅱ-2 KM		50	1.0
			銅片	K86	Ⅱ-2 KM		51	4.7
VI-89	192	8	母屋 No.10・接合 No.15(真鍮)					801.5 77
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	43	6.7
					Ⅱ-10	Ⅱ-1	44	2.3
					Ⅱ-10	Ⅱ-1	239	1.5
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	49	35.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	50	27.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	56	3.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	57	13.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	60	9.3
					Ⅱ-10	Ⅱ-1	200	1.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	61	24.2
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	62	29.8
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	63	16.6
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	64	8.5
			銅片		Ⅱ-10	Ⅱ-1	84	0.3

種別	図版	番号	図種等	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
				H-10	覆土	85	2.3	
			銅片	H-10	覆土	86	7.4	
				H-10	覆土	198	7.7	
			銅片	H-10	覆土	87	0.7	
			銅片	H-10	覆土	88	2.6	
			銅片	H-10	覆土	89	6.9	
			銅片	H-10	覆土	94	1.2	
			銅片	H-10	覆土	95	4.6	
			銅片	H-10	覆土	98	5.9	
			銅片	H-10	覆土	99	130.0	
				H-10	覆土	153	0.3	
			銅片	H-10	覆土	100	21.0	
			銅片	H-10	覆土	107	11.2	
				H-10	覆土	108	4.6	
			銅片	H-10	覆土	109	37.0	
				H-10	覆土	132	32.6	
			銅片	H-10	覆土	110	7.8	
			銅片	H-10	覆土	124	49.4	
			銅片	H-10	覆土	125	0.2	
			銅片	H-10	覆土	126	4.7	
			銅片	H-10	覆土	129	0.9	
			銅片	H-10	覆土	133	16.8	
			銅片	H-10	覆土	134	26.6	
				H-10	覆土	193	0.7	
				K86 H-2 RM		27	32.0	
			銅片	H-10	覆土	135	4.6	
				H-10	覆土	161	1.6	
				H-10	覆土	162	11.3	
			銅片	H-10	覆土	136	81.6	
			銅片	H-10	覆土	137	0.4	
			銅片	H-10	覆土	138	6.1	
				H-10	覆土	139	6.1	
				H-10	覆土	140	1.9	
				H-10	覆土	181	5.3	
			銅片	H-10	覆土	146	2.3	
			銅片	H-10	覆土	147	6.4	
			銅片	H-10	覆土	163	1.3	
			銅片	H-10	覆土	164	3.8	
			銅片	H-10	覆土	166	3.5	
			銅片	H-10	覆土	167	3.1	
			銅片	H-10	覆土	190	2.4	
			銅片	H-10	覆土	191	0.5	
				K86 H-2 RM		39	1.3	
			銅片	H-10	覆土	194	4.3	
			銅片	H-10	覆土	199	0.3	
			銅片	H-10	覆土	203	8.5	
				K86 H-2 RM		44	3.9	
			銅片	H-10	覆土	204	1.2	
				H-10	覆土	205	1.4	
			銅片	H-10	覆土	206	4.6	
			銅片	H-10	覆土	207	0.7	
			銅片	H-10	覆土	215	2.7	
			銅片	H-10	覆土	216	1.5	
				K86 H-2 RM		45	3.5	
			銅片	H-10	覆土	223	2.9	
			銅片	H-10	覆土	231	7.9	
			銅片	H-10	覆土	232	6.6	
			銅片	H-10	覆土	236	0.4	
				H-10	覆土	237	1.5	
				H-10	覆土	238	0.3	
			銅片	K86 H-2 RM		30	8.1	
			銅片	K86 H-2 RM		48	0.9	
			銅片	K86 H-2 RM		49	1.3	
VI-104	196/199	96-50	銚子 No.11・鎌合 No.152(真鍮)			2,281.3	351	
VI-102	197	44	石塊	H-13	覆土 1	107	330.6	
			銅片	H-13	覆土 1	156	3.7	
				H-13 HFC-1	覆土 1	209	2.1	
			銅片	H-13	覆土 1	157	12.5	
				H-13 HFC-1	覆土 1	16	18.3	
				H-13 HFC-1	覆土 1	30	3.1	
			銅片	H-13	覆土 1	159	7.3	
			銅片	H-13	覆土 1	160	5.0	

種別	図版	番号	図種等	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			銅片	H-13	覆土 1	169	17.7	
				H-13 HFC-1	覆土 1	386	0.5	
			銅片	H-13	覆土 1	170	6.7	
			銅片	H-13	覆土 1	171	89.7	
				H-13 HFC-1	覆土 1	61	2.5	
				H-13 HFC-1	覆土 2	239	1.0	
			銅片	H-13	覆土 1	172	11.4	
				H-13 HFC-1	覆土 1	95	4.5	
			銅片	H-13	覆土 1	173	132.1	
				H-13 HFC-1	覆土 1	296	0.7	
			銅片	H-13	覆土 1	174	22.5	
			銅片	H-13	覆土 1	175	4.2	
				H-13	覆土 1	179	7.1	
				H-13 HFC-1	覆土 1	46	7.9	
				H-13 HFC-1	覆土 1	111	1.5	
				H-13 HFC-1	覆土 1	212	2.2	
			銅片	H-13	覆土 1	177	5.8	
			銅片	H-13	覆土 1	178	12.6	
			銅片	H-13	覆土 1	180	3.2	
			銅片	H-13	覆土 1	181	2.1	
				H-13 HFC-1	覆土 2	304	0.4	
			銅片	H-13	覆土 1	182	1.3	
			銅片	H-13	覆土 1	183	1.4	
				H-13	覆土 1	194	2.4	
			銅片	H-13	覆土 1	184	1.5	
			銅片	H-13	覆土 1	185	1.6	
			銅片	H-13	覆土 1	186	2.9	
			銅片	H-13	覆土 1	187	1.5	
				H-13 HFC-1	覆土 1	121	2.2	
			銅片	H-13	覆土 1	188	2.2	
				H-13 HFC-1	覆土 1	162	2.2	
			銅片	H-13	覆土 1	189	2.6	
				H-13 HFC-1	覆土 1	125	1.8	
				H-13 HFC-1	覆土 2	85	3.4	
			銅片	H-13	覆土 1	190	0.8	
			銅片	H-13	覆土 1	191	0.7	
				H-13 HFC-1	覆土 2	187	2.1	
			銅片	H-13	覆土 1	192	1.6	
			銅片	H-13	覆土 1	193	2.7	
			銅片	H-13	覆土 1	197	0.9	
				H-13 HFC-1	覆土 1	284	0.4	
			銅片	H-13	覆土 1	198	1.0	
			銅片	H-13	覆土 1	199	1.6	
			銅片	H-13	覆土 1	200	6.5	
				H-13 HFC-1	覆土 1	234	24.5	
				H-13 HFC-1	覆土 1	271	0.4	
			銅片	H-13	覆土 1	201	0.8	
				H-13 HFC-1	覆土 1	79	2.8	
			銅片	H-13	覆土 1	202	0.7	
				H-13 HFC-1	覆土 1	341	0.3	
			銅片	H-13	覆土 1	205	0.3	
			銅片	H-13	覆土 1	206	3.4	
				H-13 HFC-1	覆土 1	210	1.7	
			銅片	H-13	覆土 1	207	1.5	
			銅片	H-13	覆土 1	210	0.4	
				H-13 HFC-1	覆土 1	315	0.4	
				H-13 HFC-1	覆土 1	335	0.9	
			銅片	H-13	覆土 1	211	0.5	
				H-13 HFC-1	覆土 1	204	6.3	
			銅片	H-13	RM 1②-1		6.0	
				H-13 HFC-1	覆土 1	1	13.2	
				H-13 HFC-1	覆土 1	211	0.6	
			Rフレイク	H-13 HFC-1	覆土 1	2	13.1	
			Rフレイク	H-13 HFC-1	覆土 1	3	71.3	
			Rフレイク	H-13 HFC-1	覆土 1	4	108.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	5	63.0	
				H-13 HFC-1	覆土 1	197	0.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	6	60.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	7	23.5	
				H-13 HFC-1	覆土 1	8	145.0	
				H-13 HFC-1	覆土 1	126	1.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	9	33.9	

碑図	図版	番号	部種等	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
				H-13 HFC-1	礎土2	72	2.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	10	37.5	
				H-13 HFC-1	礎土1	47	4.0	
				H-13 HFC-1	礎土1	63	3.7	
				H-13 HFC-1	礎土2	129	0.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	11	2.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	12	5.2	
				H-13 HFC-1	礎土1	280	1.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	13	4.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	14	15.1	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	15	12.3	
				H-13 HFC-1	礎土1	155	0.9	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	17	11.9	
				H-13 HFC-1	礎土1	261	0.7	
				H-13 HFC-1	礎土2	325	0.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	20	18.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	22	2.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	23	2.1	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	24	3.1	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	25	3.0	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	26	68.0	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	27	24.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	28	2.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	29	26.1	
				H-13 HFC-1	礎土1	253	0.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	31	4.2	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	32	10.2	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	33	16.5	
				H-13 HFC-1	礎土2	18	13.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	34	11.9	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	35	34.6	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	36	8.5	
				H-13 HFC-1	礎土1	39	2.2	
				H-13 HFC-1	礎土1	40	2.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	37	9.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	38	16.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	41	1.0	
				H-13 HFC-1	礎土1	333	0.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	42	0.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	43	1.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	44	2.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	45	7.8	
				H-13 HFC-1	礎土1	300	0.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	48	23.2	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	51	11.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	52	4.9	
				H-13 HFC-1	礎土2	53	1.0	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	54	2.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	55	8.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	56	2.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	57	1.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	58	3.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	59	6.8	
				H-13 HFC-1	礎土1	223	0.8	
				H-13 HFC-1	礎土2	364	0.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	60	8.9	
				H-13 HFC-1	礎土1	112	1.0	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	62	2.9	
				H-13 HFC-1	礎土2	21	3.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	64	1.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	65	1.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	66	1.5	
				H-13 HFC-1	礎土1	190	0.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	67	3.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	70	3.6	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	71	13.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	75	1.4	
				H-13 HFC-1	礎土1	280	0.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	80	2.2	
				H-13 HFC-1	礎土1	81	13.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	88	1.2	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	93	1.0	

碑図	図版	番号	部種等	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	94	1.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	96	9.3	
				H-13 HFC-1	礎土1	154	0.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	97	49.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	98	2.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	99	0.7	
				H-13 HFC-1	礎土1	100	5.5	
				H-13 HFC-1	礎土1	207	1.2	
				H-13 HFC-1	礎土2	101	1.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	102	1.2	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	103	1.9	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	104	2.1	
				H-13 HFC-1	礎土1	257	4.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	105	4.6	
				H-13 HFC-1	礎土1	106	2.6	
				H-13 HFC-1	礎土1	107	5.6	
				H-13 HFC-1	礎土1	108	4.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	109	3.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	110	4.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	113	2.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	115	1.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	116	0.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	117	4.9	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	118	1.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	119	0.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	120	3.1	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	124	0.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	127	0.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	128	1.2	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	130	8.9	
				H-13 HFC-1	礎土1	305	1.2	
				H-13 HFC-1	礎土2	237	10.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	131	2.2	
				H-13 HFC-1	礎土2	203	3.1	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	132	2.0	
				H-13 HFC-1	礎土1	238	1.9	
				H-13 HFC-1	礎土2	133	7.1	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	139	1.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	147	3.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	148	15.6	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	156	1.1	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	157	3.8	
				H-13 HFC-1	礎土1	158	3.1	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	159	1.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	160	3.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	161	0.7	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	164	1.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	167	0.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	168	0.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	169	0.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	170	0.8	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	171	3.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	172	2.0	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	173	1.4	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	175	1.6	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	176	1.0	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	179	2.6	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	180	1.1	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	181	1.2	
				H-13 HFC-1	礎土1	254	0.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	182	1.9	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	183	1.2	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	184	2.2	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	185	15.6	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	186	1.0	
				H-13 HFC-1	礎土1	248	0.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	191	1.1	
				H-13 HFC-1	礎土1	208	1.1	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	192	1.3	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	193	2.0	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	194	4.5	
			剥片	H-13 HFC-1	礎土1	198	1.7	

種別	図版	番号	記録等	遺構・ 地層区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	202	4.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	208	1.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	213	1.5	
				H-13 HFC-1	覆土 2	77	1.3	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	214	0.9	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	222	1.9	
				H-13 HFC-1	覆土 2	273	0.5	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	227	4.3	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	228	0.9	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	229	3.0	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	231	0.4	
				H-13 HFC-1	覆土 1	290	2.1	
				H-13 HFC-1	覆土 2	288	3.8	
				H-13 HFC-1	覆土 2	289	0.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	232	0.7	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	233	1.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	236	2.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	240	0.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	241	1.0	
				H-13 HFC-1	覆土 1	366	3.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	242	1.7	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	243	0.9	
				H-13 HFC-1	覆土 2	389	0.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	244	1.1	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	245	0.6	
				H-13 HFC-1	覆土 2	247	0.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	249	12.9	
				H-13 HFC-1	覆土 1	349	0.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	255	0.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	256	1.0	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	258	1.0	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	259	0.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	260	2.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	262	1.8	
				H-13 HFC-1	覆土 1	263	0.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	264	3.5	
				H-13 HFC-1	覆土 1	329	0.6	
				H-13 HFC-1	覆土 2	265	0.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	266	2.0	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	267	1.3	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	268	0.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	274	1.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	277	0.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	283	0.8	
				H-13 HFC-1	覆土 2	74	1.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	287	0.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	291	1.9	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	292	0.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	301	1.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	306	0.5	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	307	1.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	312	0.1	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	313	0.7	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	319	0.5	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	327	0.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	328	0.5	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	330	1.0	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	331	3.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	332	0.7	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	334	0.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	336	1.5	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	337	0.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	344	0.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	345	0.4	
				H-13 HFC-1	覆土 2	230	15.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	351	0.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	352	0.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	367	1.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	368	0.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	371	0.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	374	0.5	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	378	0.8	

種別	図版	番号	記録等	遺構・ 地層区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	379	0.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	381	0.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	390	0.7	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 1	391	0.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	19	4.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	68	1.3	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	69	1.9	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	73	3.5	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	76	4.3	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	78	1.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	82	2.2	
				H-13 HFC-1	覆土 2	153	1.5	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	83	1.0	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	84	2.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	86	2.0	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	89	2.1	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	90	0.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	91	0.7	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	92	2.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	114	1.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	122	3.6	
				H-13 HFC-1	覆土 2	123	1.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	134	1.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	135	1.0	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	149	2.1	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	150	0.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	151	1.9	
				H-13 HFC-1	覆土 2	152	2.1	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	163	1.1	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	165	1.1	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	166	2.1	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	174	2.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	199	0.7	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	215	0.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	228	1.7	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	246	1.0	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	248	3.5	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	250	3.0	
				H-13 HFC-1	覆土 2	254	1.1	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	251	1.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	252	2.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	272	0.2	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	299	0.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	314	4.7	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	316	0.9	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	318	0.3	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	326	0.9	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	343	0.8	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	350	0.3	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	356	0.3	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	357	0.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	358	0.3	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	360	0.6	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	365	1.4	
			銅片	H-13 HFC-1	覆土 2	377	0.5	
VI-142		206	10a	母群 No.12・接合 No.182 (見附)			7,093.6	46
VI-143		207	10b	表面調査 6番			3,220.0	
				H-26 HFC-1	覆土 1	2	985.0	
				H-26 HFC-1	覆土 1	3	461.3	
				H-26 HFC-1	覆土 1	6	1,445.0	
				H-26 HFC-1	覆土 1	108	8.2	
			銅片	H-26 HFC-1	覆土 1	7	185.4	
				H-26 HFC-1	覆土 1	26	34.1	
				H-26 HFC-1	覆土 1	31	42.4	
				H-26 HFC-1	覆土 1	32	36.4	
				H-26 HFC-1	覆土 1	89	35.5	
				H-26 HFC-1	覆土 1	90	7.2	
				H-26 HFC-1	覆土 1	123	6.2	
				H-26 HFC-1	覆土 1	124	18.2	
				H-26 HFC-1	覆土 1	125	9.3	
				H-26 HFC-1	覆土 1	145	3.2	
				H-26 HFC-1	覆土 1	146	10.3	

押印	国産	番号	原機種	通稱・整備区分	座位	重機番号	車重(g)	検査点数	
			銅片	併-2610FC-1	Ⅲ上	17	102.9		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	18	2.7		
			銅片	併-2610FC-1	Ⅲ上	21	49.8		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	22	41.9		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	93	6.0		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	122	10.0		
			銅片	併-2610FC-1	Ⅲ上	37	5.2		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	38	29.1		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	80	5.7		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	81	7.5		
			銅片	併-2610FC-1	Ⅲ上	40	28.4		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	41	51.6		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	46	25.9		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	47	15.3		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	63	15.5		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	127	6.4		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	132	14.8		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	133	8.3		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	137	18.0		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	138	2.6		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	144	7.3		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	153	5.2		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	155	3.1		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	156	2.8		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	157	0.6		
			銅片	併-2610FC-1	Ⅲ上	105	0.9		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	106	3.7		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	148	0.7		
				併-2610FC-1	Ⅲ上	154	1.6		
			銅片	併-2610FC-3	Ⅲ上	170	112.4		
Ⅲ-154	210	55	母型 No.14・後子 No.187(Ⅲ貫)					2,607.3	146
			銅片	併-27	Ⅲ上土 2	157	25.5		
				併-27	Ⅲ上土 3	136	1.5		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	196	4.9		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 2	158	8.4		
				併-27	Ⅲ上土 2	168	4.8		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 2	196	156.5		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 3	255	3.0		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	162	376.3		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	239	27.7		
				併-27	Ⅲ上土 4	164	16.9		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	159	5.4		
				併-27	Ⅲ上土 4	160	1.3		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	161	2.7		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	163	4.0		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	234	4.4		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	235	8.5		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	236	1.9		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	165	5.6		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	166	1.0		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	167	3.9		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	175	5.2		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	176	1.8		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	177	3.9		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	308	3.7		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	362	1.7		
			銅片	併-27	Ⅲ上土 4	178	0.6		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	367	1.3		
Ⅲ-151	209	36	R フレグ	併-2710FC-1	Ⅲ上土 1	115.1			
Ⅲ-152	209	39	心機	併-2710FC-1	Ⅲ上土 2	231.3			
			銅片	併-2710FC-1	Ⅲ上土 2	178	20.2		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 2	198	15.6		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	197	2.9		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	200	0.1		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	204	1.7		
			銅片	併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	179	20.8		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	281	3.0		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 2	282	5.6		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	304	1.7		
				併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	335	4.1		
			銅片	併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	380	4.0		
			銅片	併-2710FC-1	Ⅲ上土 4	181	21.8		

种別	国別	番号	路線等	乗組区 番順区	席位	乗組 番号	乗重 (g)	総合 点数
劇片	H-27 HFC-1	席士中	182	1.6				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	192	1.6				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	202	189.0				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	183	2.0				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	184	33.8				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	185	20.2				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	187	12.9				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	211	3.8				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	189	19.4				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	190	1.8				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	191	8.9				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	193	9.9				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	194	9.0				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	195	12.3				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	196	11.5				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	198	5.7				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	205	9.6				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	206	3.7				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	199	1.7				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	201	2.6				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	207	1.2				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	212	3.6				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	203	16.4				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	208	2.1				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	209	5.9				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	210	1.8				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	213	2.3				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	214	9.2				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	215	2.0				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	216	6.3				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	217	58.4				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	218	1.5				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	220	6.3				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	221	11.7				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	222	18.1				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	223	7.2				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	224	8.9				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	228	1.7				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	225	270.7				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	227	1.8				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	229	7.5				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	229	1.5				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	230	2.4				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	231	12.0				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	232	2.3				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	233	5.7				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	237	7.3				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	241	2.3				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	242	2.3				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	238	73.1				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	240	51.6				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	244	4.0				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	247	3.7				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	243	2.4				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	245	0.8				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	248	1.4				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	249	1.4				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	250	2.6				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	251	1.3				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	252	1.8				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	306	1.6				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	307	5.5				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	253	14.5				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	353	0.8				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	357	1.5				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	254	2.2				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	310	28.2				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	311	0.8				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	255	0.4				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	313	154.8				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	256	2.2				
劇片	H-27 HFC-1	席士中	258	21.2				

採掘区	図版	番号	記録等	遺構・ 埋没区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
				H-27 HFC-1	廃土中	369	15.4	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	259	4.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	283	16.6	
				H-27 HFC-1	廃土中	309	89.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	284	22.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	285	1.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	286	1.6	
				H-27 HFC-1	廃土中	315	5.3	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	287	0.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	305	7.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	308	18.6	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	312	7.4	
				H-27 HFC-1	廃土中	316	22.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	314	1.3	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	318	1.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	341	2.6	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	342	2.2	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	343	6.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	344	6.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	345	4.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	346	3.0	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	347	0.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	348	1.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	349	7.2	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	350	7.9	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	351	1.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	352	2.9	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	354	1.6	
				H-27 HFC-1	廃土中	356	7.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	355	1.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	370	2.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	371	3.4	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	373	1.1	
VI-236	211	56	母群 No.13・集合 No.183(真砂)				625.5	104
			剥片	H-27 廃土上2		137	10.5	
			剥片	H-27 廃土上2		138	4.3	
				H-27 廃土上2		147	0.5	
			剥片	H-27 廃土上3		141	7.7	
				H-27 HFC-1	廃土中	37	0.3	
			剥片	H-27 廃土上2		148	2.8	
				H-27 HFC-1	廃土中	68	1.2	
				H-27 HFC-1	廃土中	79	10.6	
			剥片	H-27 廃土上3		142	4.6	
			剥片	H-27 廃土上3		143	10.3	
			剥片	H-27 廃土下		139	0.7	
			剥片	H-27 廃土下		140	2.7	
			剥片	H-27 廃土下		144	1.6	
			剥片	H-27 廃土下		145	0.7	
			剥片	H-27 廃土下		146	1.2	
			剥片	H-27 廃土下		149	0.6	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	8	20.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	9	7.0	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	10	11.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	11	0.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	12	1.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	13	0.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	14	1.0	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	15	46.9	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	16	42.9	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	17	11.0	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	18	0.8	
				H-27 HFC-1	廃土中	28	8.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	19	3.6	
				H-27 HFC-1	廃土中	80	0.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	20	0.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	21	20.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	22	10.2	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	23	1.4	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	24	2.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	25	0.9	
				H-27 HFC-1	廃土中	45	1.6	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	26	6.2	

採掘区	図版	番号	記録等	遺構・ 埋没区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	27	19.6	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	29	13.6	
				H-27 HFC-1	廃土中	33	4.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	30	1.0	
				H-27 HFC-1	廃土中	74	1.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	31	0.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	32	19.4	
				H-27 HFC-1	廃土中	75	0.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	34	24.6	
				H-27 HFC-1	廃土中	81	0.6	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	35	1.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	36	22.0	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	38	10.6	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	39	4.1	
				H-27 HFC-1	廃土中	40	35.4	
				H-27 HFC-1	廃土中	60	0.5	
				H-27 HFC-1	廃土中	61	1.6	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	41	26.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	42	3.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	43	19.4	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	44	3.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	46	18.6	
				H-27 HFC-1	廃土中	63	0.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	47	6.1	
				H-27 HFC-1	廃土中	65	5.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	48	2.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	49	6.2	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	50	1.0	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	51	19.4	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	52	7.9	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	53	4.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	54	1.3	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	55	5.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	56	2.3	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	57	4.2	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	58	2.3	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	59	11.4	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	62	1.3	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	64	1.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	66	1.2	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	67	0.8	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	69	2.0	
				H-27 HFC-1	廃土中	73	0.4	
				H-27 HFC-1	廃土中	82	3.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	70	3.0	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	71	2.5	
				H-27 HFC-1	廃土中	72	0.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	76	10.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	77	1.6	
				H-27 HFC-1	廃土中	78	1.9	
				H-27 HFC-1	廃土中	86	2.9	
				H-27 HFC-1	廃土中	87	0.6	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	83	1.8	
				H-27 HFC-1	廃土中	93	0.1	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	84	1.1	
				H-27 HFC-1	廃土中	85	0.5	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	88	0.9	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	89	0.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	90	1.2	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	91	0.4	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	92	0.4	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	94	0.4	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	95	0.6	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	96	2.3	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	97	3.7	
			剥片	H-27 HFC-1	廃土中	98	3.4	
VI-219	222	19	母群 No.1・集合 No.276(真砂)				286.6	7
VI-218	222	15	6棟	FC-6	II-3 RM	42	265.0	
			剥片	FC-6	II-3 RM	100	7.4	
			剥片	FC-6	II-3 RM	133	3.5	
			剥片	FC-6	II-3 RM	188	4.4	
			剥片	FC-6	II-3 RM	194	11.8	

碑図	図版	番号	部材等	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			剥片	FC-6	H-3 RM	195	1.9	
			剥片		P88 H-3 RM	116	4.6	
VI-219	222	20	母岩 No. 一・接合 No.279(真鍮)				346.2	9
VI-218	222	16	石核	FC-6	H-3 RM	19	21.6	
			剥片	FC-6	H-3 RM	39	250.0	
			剥片	FC-6	H-3 RM	71	9.2	
			剥片	FC-6	H-3 RM	72	26.9	
			剥片	FC-6	H-3 RM	73	3.2	
			剥片	FC-6	H-3 RM	101	27.0	
			剥片	FC-6	H-3 RM	102	6.1	
			剥片	FC-6	H-3 RM	103	1.7	
			剥片	FC-6	H-3 RM	172	0.5	
VI-219	223	21	母岩 No. 一・接合 No.277(真鍮)				191.6	10
VI-218	222	17	石核	FC-6	H-3 RM	9	53.8	
			剥片		P88 H-3 RM	90	98.8	
			剥片	FC-6	H-3 RM	92	11.0	
			剥片	FC-6	H-3 RM	180	6.5	
			剥片	FC-6	H-3 RM	181	4.9	
			剥片	FC-6	H-3 RM	221	1.7	
			剥片	FC-6	H-3 RM	222	2.7	
			剥片	FC-6	H-3 RM	223	1.7	
			剥片	FC-6	H-3 RM	228	3.8	
			剥片		P88 H-3 RM	124	6.7	
VI-219	223	22	母岩 No. 一・接合 No.287(真鍮)				234.5	2
VI-218	222	18	石核	FC-6	H-3 RM	41	225.0	
			剥片	FC-6	H-3 RM	80	9.5	
—	223	32	母岩 No. 一・接合 No.281(真鍮)				256.9	4
			石核	FC-6	H-3 RM	20	177.1	
			剥片	FC-6	H-3 RM	96	2.6	
			剥片	FC-6	H-3 RM	97	72.3	
			剥片	FC-6	H-3 RM	125	4.9	
—	223	33	母岩 No. 一・接合 No.275(真鍮)				376.9	8
			剥片	FC-6	H-3 RM	76	8.3	
			剥片	FC-6	H-3 RM	77	6.5	
			剥片	FC-6	H-3 RM	78	10.6	
			剥片	FC-6	H-3 RM	83	41.7	
			剥片	FC-6	H-3 RM	126	2.1	
			石核	FC-6	H-3 RM	134	25.4	
			剥片		P88 H-3 RM	97	277.5	
			剥片		P88 H-3 RM	121	4.8	
—	223	34	母岩 No. 一・接合 No.274(真鍮)				419.5	12
			剥片	FC-6	H-3 RM	7	182.6	
			石核	FC-6	H-3 RM	27	142.4	
			剥片	FC-6	H-3 RM	106	5.1	
			剥片	FC-6	H-3 RM	107	8.2	
			剥片	FC-6	H-3 RM	116	4.3	
			剥片	FC-6	H-3 RM	108	0.5	
			剥片	FC-6	H-3 RM	112	2.6	
			剥片	FC-6	H-3 RM	113	52.3	
			剥片	FC-6	H-3 RM	117	9.1	
			剥片	FC-6	H-3 RM	170	2.9	
			剥片	FC-6	H-3 RM	175	2.0	
			剥片	FC-6	H-3 RM	187	7.5	
—	223	35	母岩 No. 一・接合 No.283(真鍮)				202.9	4
			石核	FC-6	H-3 RM	13	174.2	
			剥片	FC-6	H-3 RM	44	5.1	
			剥片	FC-6	H-3 RM	99	1.9	
			剥片		P88 H-3 RM	119	21.7	
—	224	36	母岩 No. 一・接合 No.278(真鍮)				209.1	9
			剥片	FC-6	H-3 RM	45	9.1	
			剥片	FC-6	H-3 RM	67	21.7	
			剥片	FC-6	H-3 RM	68	33.1	
			剥片	FC-6	H-3 RM	81	56.4	
			剥片	FC-6	H-3 RM	217	8.2	
			剥片	FC-6	H-3 RM	226	3.7	
			剥片	FC-6	H-3 RM	227	4.7	
			剥片		P88 H-3 RM	122	28.9	
			石核		P88 H-3 RM	95	44.2	
—	224	37	母岩 No. 一・接合 No.280(真鍮)				408.0	9
			石核	FC-6	H-3 RM	17	97.2	
			剥片	FC-6	H-3 RM	111	39.3	
			石核	FC-6	H-3 RM	24	97.9	

碑図	図版	番号	部材等	遺構・ 発掘区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			剥片	FC-6	H-3 RM	70	13.2	
			剥片	FC-6	H-3 RM	82	142.7	
			剥片		P88 H-3 RM	120	7.2	
			剥片	FC-6	H-3 RM	109	4.7	
			剥片	FC-6	H-3 RM	110	2.3	
			剥片	FC-6	H-3 RM	189	3.5	
—	224	38	母岩 No. 一・接合 No.284(真鍮)				271.3	6
			石核	FC-6	H-3 RM	12	163.3	
			剥片	FC-6	H-3 RM	38	94.5	
			剥片	FC-6	H-3 RM	63	1.3	
			剥片	FC-6	H-3 RM	201	1.7	
			剥片	FC-6	H-3 RM	202	4.1	
			剥片		P88 H-3 RM	118	4.4	
—	224	39	母岩 No. 一・接合 No.282(真鍮)				235.9	5
			剥片	FC-6	H-3 RM	21	143.4	
			剥片	FC-6	H-3 RM	52	67.7	
			剥片	FC-6	H-3 RM	64	20.6	
			剥片	FC-6	H-3 RM	53	3.6	
			剥片	FC-6	H-3 RM	171	0.6	
VI-220	224	25	母岩 No.29・接合 No.330(真鍮)				799.7	39
			剥片	H-9	層土 1	380	4.7	
			剥片	FC-8	RM	67	2.7	
			剥片	FC-8	RM	82	0.8	
			剥片		M85 H-1 RM	67	8.7	
			剥片	FC-8	RM	83	1.6	
			剥片	FC-9	RM	138	4.6	
			剥片	FC-8	RM	89	1.0	
VI-220	224	23	剥片	FC-9	RM	2	663.2	
			剥片	FC-9	RM	15	8.2	
			剥片	FC-9	RM	16	5.7	
			剥片	FC-9	RM	76	0.3	
			剥片	FC-9	RM	17	6.8	
			剥片	FC-9	RM	18	15.7	
			剥片	FC-9	RM	42	2.3	
			剥片	FC-9	RM	30	1.1	
			剥片	FC-9	RM	75	0.5	
			剥片	FC-9	RM	58	2.7	
			剥片	FC-9	RM	59	2.6	
			剥片	FC-9	RM	60	11.6	
			剥片	FC-9	RM	61	10.7	
			剥片	FC-9	RM	135	0.2	
			剥片	FC-9	RM	62	2.2	
			剥片	FC-9	RM	63	5.2	
			剥片	FC-9	RM	64	1.1	
			剥片	FC-9	RM	142	4.0	
			剥片	FC-9	RM	79	0.1	
			剥片	FC-9	RM	80	0.6	
			剥片	FC-9	RM	81	0.8	
			剥片	FC-9	RM	82	0.4	
			剥片	FC-9	RM	129	2.8	
			剥片	FC-9	RM	131	0.6	
			剥片	FC-9	RM	132	2.9	
			剥片	FC-9	RM	133	0.4	
			剥片	FC-9	RM	134	1.9	
			剥片	FC-9	RM	140	1.8	
			剥片		M85 H-1 RM	70	0.6	
			剥片	FC-9	RM	141	7.5	
			剥片		M85 RM	71	8.8	
			剥片		M85 RM	72	2.3	
VI-221	225	26	母岩 No.31・接合 No.338 + 339 + 340(真鍮)				808.4	145
			接合 No.338				654.2	119
			剥片	FC-8	RM	18	24.1	
			剥片	FC-8	RM	19	1.9	
			剥片	FC-9	RM	10	15.9	
			剥片	FC-8	RM	60	53.5	
			剥片	FC-8	RM	61	19.9	
			剥片	FC-9	RM	187	0.7	
			剥片	FC-8	RM	64	1.9	
			剥片	FC-8	RM	65	2.9	
			剥片	FC-8	RM	121	0.3	
			剥片	FC-9	RM	46	2.1	
			剥片	FC-9	RM	173	2.4	

種別	図版	番号	図層等	遺構・ 基礎区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			剥片	FC-8	RM	72	1.2	
				FC-9	RM	34	40.8	
				FC-9	RM	95	0.8	
				FC-9	RM	219	1.2	
				FC-9	RM	229	0.3	
				FC-9	RM	232	0.5	
			剥片	FC-8	RM	74	1.2	
			剥片	FC-8	RM	75	0.9	
			剥片	FC-8	RM	84	2.1	
				FC-9	RM	29	14.3	
				FC-9	RM	57	21.5	
				FC-9	RM	122	3.0	
				M85 H-1 RM	RM	68	2.8	
			剥片	FC-8	RM	85	1.5	
				FC-9	RM	123	4.2	
			剥片	FC-8	RM	90	3.3	
				FC-9	RM	101	9.4	
				FC-9	RM	102	4.2	
			剥片	FC-8	RM	95	0.3	
				FC-9	RM	33	1.2	
				FC-9	RM	86	13.8	
				FC-9	RM	87	2.2	
				FC-9	RM	145	1.9	
				FC-9	RM	221	0.4	
				M85	RM	61	3.6	
			剥片	FC-8	RM	96	0.7	
			剥片	FC-8	RM	97	9.4	
				M85 H-1 RM	RM	95	6.1	
			剥片	FC-8	RM	98	0.8	
			剥片	FC-8	RM	100	1.5	
			剥片	FC-8	RM	101	2.0	
				FC-9	RM	144	0.3	
			剥片	FC-8	RM	102	6.9	
			剥片	FC-8	RM	103	3.5	
				M85 H-1 RM	RM	101	0.7	
			剥片	FC-8	RM	104	1.0	
			剥片	FC-8	RM	105	4.9	
			剥片	FC-8	RM	107	0.3	
			剥片	FC-8	RM	110	0.3	
				FC-9	RM	233	0.6	
			剥片	FC-8	RM	120	0.7	
				FC-9	RM	26	1.7	
VI-220	224	24	両面調整6面	FC-9	RM	1	26.3	
			剥片	FC-9	RM	11	3.6	
				FC-9	RM	84	5.6	
			剥片	FC-9	RM	12	102.5	
				FC-9	RM	106	2.5	
			剥片	FC-9	RM	13	10.0	
				FC-9	RM	55	12.0	
				FC-9	RM	89	1.8	
			剥片	FC-9	RM	14	10.4	
				FC-9	RM	94	2.2	
			剥片	FC-9	RM	21	1.0	
				FC-9	RM	105	0.8	
				M85	RM	48	14.6	
				M86	RM	30	24.9	
			剥片	FC-9	RM	27	1.2	
			剥片	FC-9	RM	28	1.5	
			剥片	FC-9	RM	38	0.9	
			剥片	FC-9	RM	45	4.7	
				M85	RM	99	5.0	
			剥片	FC-9	RM	48	3.6	
			剥片	FC-9	RM	56	0.9	
			剥片	FC-9	RM	72	6.2	
				FC-9	RM	91	0.8	
				FC-9	RM	154	2.3	
			剥片	FC-9	RM	85	3.6	
				FC-9	RM	93	0.9	

種別	図版	番号	図層等	遺構・ 基礎区	層位	遺物 番号	重量 (g)	接合 点数
			剥片	FC-9	RM	88	8.0	
				FC-9	RM	162	1.7	
			剥片	FC-9	RM	90	41.0	
			剥片	FC-9	RM	92	2.1	
			剥片	FC-9	RM	97	1.5	
			剥片	FC-9	RM	107	1.2	
				M85	RM	54	3.9	
			剥片	FC-9	RM	124	1.9	
			剥片	FC-9	RM	128	5.1	
			剥片	FC-9	RM	143	0.3	
			剥片	FC-9	RM	147	0.6	
			剥片	FC-9	RM	148	0.4	
			剥片	FC-9	RM	149	0.4	
				FC-9	RM	216	0.2	
			剥片	FC-9	RM	152	2.3	
			剥片	FC-9	RM	153	3.9	
			剥片	FC-9	RM	155	0.9	
			剥片	FC-9	RM	159	0.7	
			剥片	FC-9	RM	161	0.8	
			剥片	FC-9	RM	166	0.9	
			剥片	FC-9	RM	169	0.6	
			剥片	FC-9	RM	170	3.4	
			剥片	FC-9	RM	174	0.3	
			剥片	FC-9	RM	175	0.3	
			剥片	FC-9	RM	176	1.4	
			剥片	FC-9	RM	177	3.0	
				FC-9	RM	178	1.7	
			剥片	FC-9	RM	179	0.2	
			剥片	FC-9	RM	183	0.4	
				FC-9	RM	184	0.4	
			剥片	FC-9	RM	194	0.2	
			剥片	FC-9	RM	195	1.9	
			剥片	FC-9	RM	223	0.5	
			剥片	FC-9	RM	224	0.1	
			剥片	FC-9	RM	225	1.1	
			剥片	FC-9	RM	226	0.7	
			剥片	FC-9	RM	227	0.2	
			剥片	M85 H-1 RM	RM	52	4.8	
				M85	RM	104	1.0	
			剥片	M85	RM	98	0.8	
接合 No.339							87.9	8
			剥片	FC-8	RM	62	10.5	
				FC-9	RM	52	27.1	
			剥片	FC-8	RM	114	0.3	
			剥片	FC-9	RM	53	26.9	
				FC-9	RM	54	2.9	
			剥片	FC-9	RM	150	14.5	
			剥片	FC-9	RM	160	5.2	
			剥片	FC-9	RM	202	0.5	
接合 No.340							66.3	18
			剥片	FC-9	RM	19	6.6	
			剥片	FC-9	RM	20	15.7	
				FC-9	RM	171	1.4	
				M85 H-1 RM	RM	64	2.1	
			剥片	FC-9	RM	36	1.1	
			剥片	FC-9	RM	37	2.4	
			剥片	FC-9	RM	47	3.8	
				M85	RM	63	15.1	
			剥片	FC-9	RM	109	5.9	
				FC-9	RM	110	1.6	
			剥片	FC-9	RM	111	1.7	
			剥片	FC-9	RM	116	0.9	
			剥片	FC-9	RM	117	0.8	
			剥片	FC-9	RM	118	0.7	
			剥片	FC-9	RM	119	1.4	
			剥片	FC-9	RM	196	0.2	
			剥片	FC-9	RM	197	0.8	
			剥片	FC-9	RM	198	4.1	

3 包含層出土遺物

(1) 概要 (図VI-1・223～227、表VI-6・9・13)

包含層は地形によって斜面部から低位部にかけてのC1地区、高位部のC2地区(C3地区のⅢ上層以上を含む)、高位部の廃棄域に関連するRM層とその下位のⅢ下層から出土したC3地区に分けた(図VI-1左上)。高位部をC2・C3地区に分割したのは、C3地区がH-1など円筒下層d1式期住居の周堤の下位にあたり、時期を限定することが可能であり、特に石器群の把握に好適であると判断したためである。

土器の分布によりC1地区は縄文時代前期後半～後期前葉の幅広い時間幅の遺物が混在し、C2地区は前期後半を主体として一部他の時期が混じる。C3地区は円筒下層b1～d1式期に限定され、共存土器より円筒下層b～c式期にほぼ相当する。

遺物分布図はC地区を一括して掲載した(図VI-223～227)。土器のⅡ群b類(前期後半)は全体的に分布するが、高位部に多く、特に88ラインの廃棄域に濃密に分布する。細分類の集計を行っていないが、高位部のほとんどは円筒下層b1～c式で、斜面部中央には円筒下層b1～c式、d1・d2式が混在し、Kライン南側や沢に面した南東部の斜面部縁辺には円筒下層d1・d2式が分布する。Ⅲ群a類(中期前半)は円筒上層a2式がH-20周辺のN81区に、サイベ沢Ⅶ式は斜面部北側に多く、調査区外への広がりが推定される。Ⅲ群b類(中期後半)は榎林式相当が斜面部中央(74～82ライン)に多く、北東部にも分布をみせる。Ⅳ群a類(後期前葉)は天祐寺式で、調査区中央(76～82ライン)の南側低位部を中心に分布する。Ⅳ群b類(後期中葉)は蛸淵式で調査区北東部にわずかに分布する。

石器は石鏃・石斧・石鋸・砥石が高位部の廃棄域を中心に、80ライン前後の中央部にも分布し、低位部や東側にはほとんど見られない。筥状石器・石のみは高位部に散漫に、つまみ付きナイフは高位部中心に、それぞれ80ライン前後のMライン北側にも分布する。石錐・台石は高位部・中央部に散漫に分布、擦切残片は高位部周辺、北海道式石冠は80ライン前後のJライン南側に分布の中心がある。石槍・両面調整石器・スクレイパー・Rフレイク・Uフレイク・剥片・石核・扁平打製石器・すり石・たたき石・原石・加工痕のある礫・礫は高位部を主体として全域に分布する。そのほかは数が少なく点在する程度である。

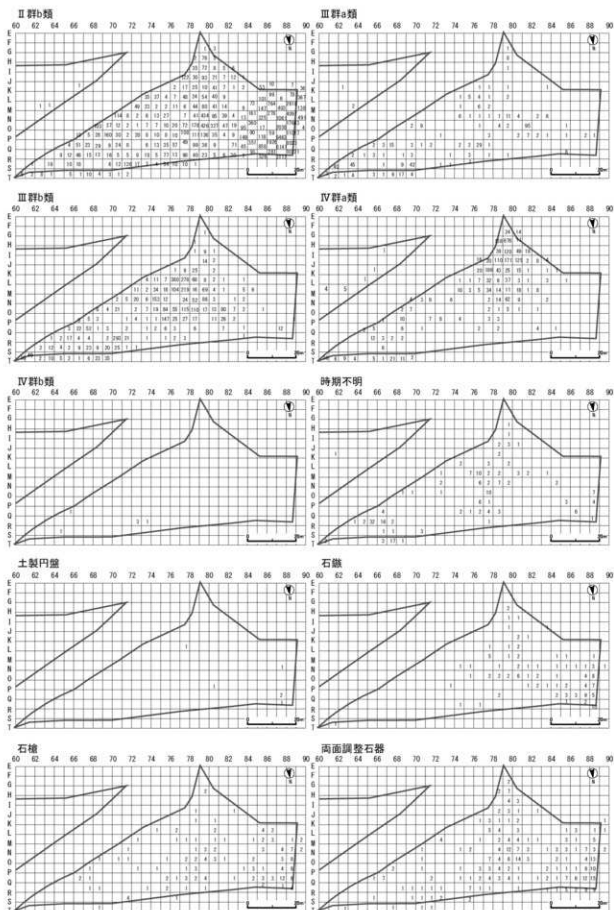
(2) C1地区(斜面部・低位部)の遺物

土器 (図VI-228～238、表VI-6、図版226～233)

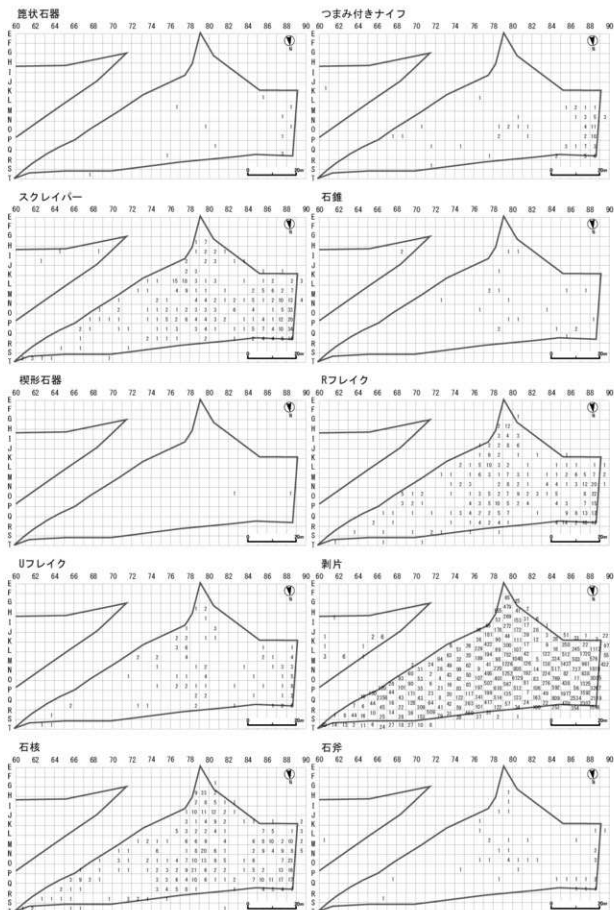
Ⅱ群b類5,247点、Ⅲ群a類450点、Ⅲ群b類3,247点、Ⅳ群a類2,363点、Ⅳ群b類6点、Ⅴ群a類15点、時期不明184点、焼成粘土塊11点、土製円盤2点、合計11,525点が出土した。

Ⅱ群b類 (図VI-228-1～図VI-229-22、図版226)

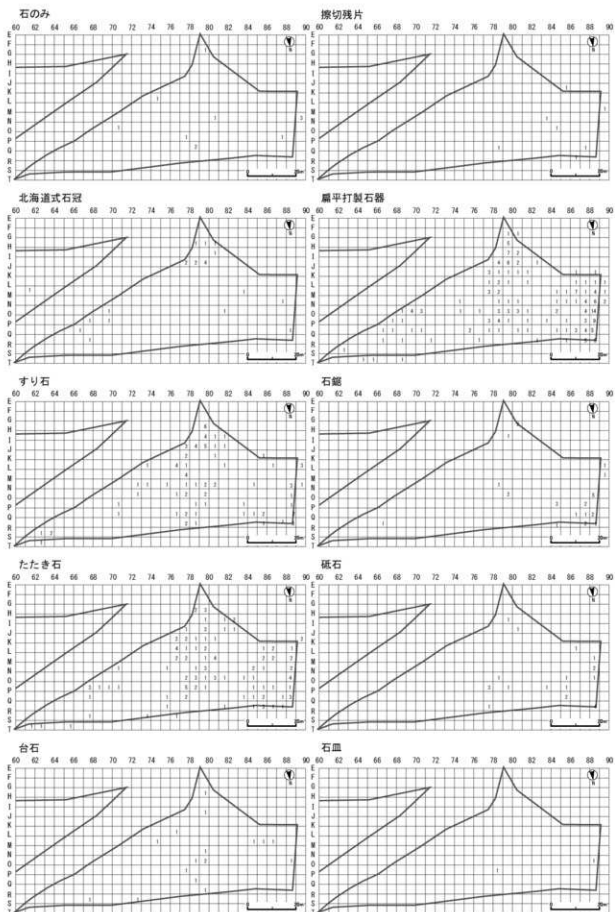
1の時期は判然としない。胴部は丸く膨らみ胴上部は直線的に立ち上がる。外面上部は結束第1種羽状縄文が、胴下部と内面にはLRL縄文がそれぞれ横・縦方向に回転施文される。砂が多く、重量感がある。2は円筒下層b1式。厚手で大型の深鉢で、刻みのある隆帯の上下に不整綾格文が施文される。胴部には大ぶりのRL縄文が縦走する。3～5は円筒下層b2式。3は細い隆帯の上下に2本1組の縄線が施文され、口縁部には縄線で、鋸歯状の模様が描かれる。胴部には直前段反転とみられる縄文が施される。内面はよく磨かれる。4は、沈線で区画された口縁部に貝殻痕が横位に施文される。胴部は異段合燃(LR・RのR燃り)縄文が縦走する。5は口縁部に絡条体圧痕文、口唇部に棒状工具による刻みが付けられる。6は円筒下層d1式。4か所の低い山形突起があり、口縁部は若干反する。結束第1種羽状縄文と縦位の自縄自巻縄文が多段に施文され、口縁部には2本1組の縄線が押捺され



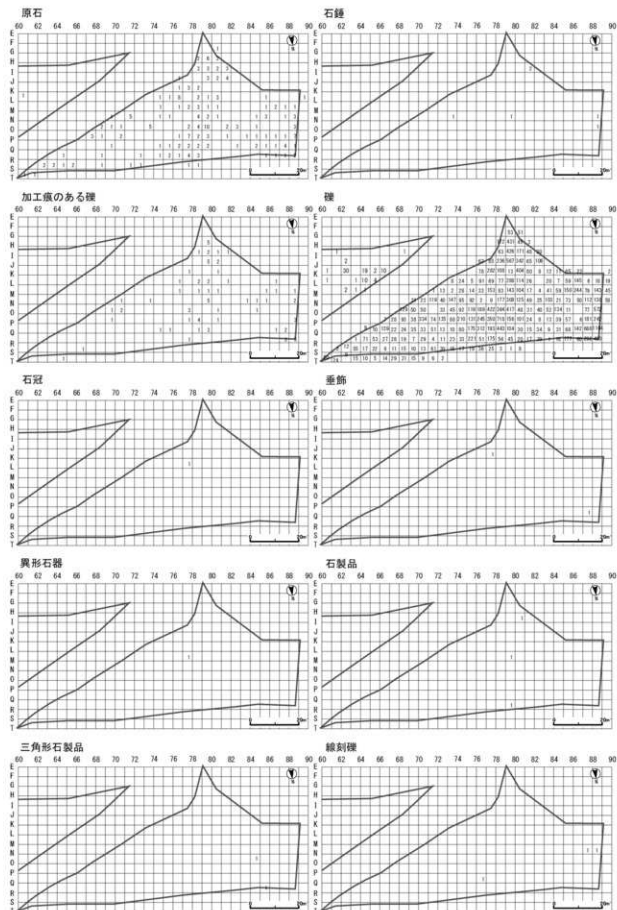
図VI -223 C 地区包含層出土物分布 (1)



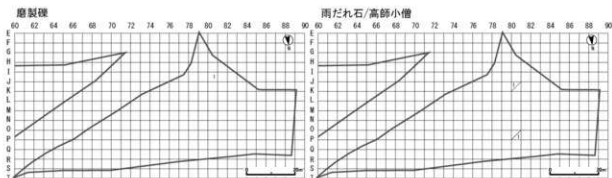
図VI-224 C地区包含層出土遺物分布(2)



図VI-225 C地区包含層出土遺物分布(3)



図VI-226 C地区包含層出土遺物分布 (4)



図VI-227 C地区包含層出土遺物分布(5)

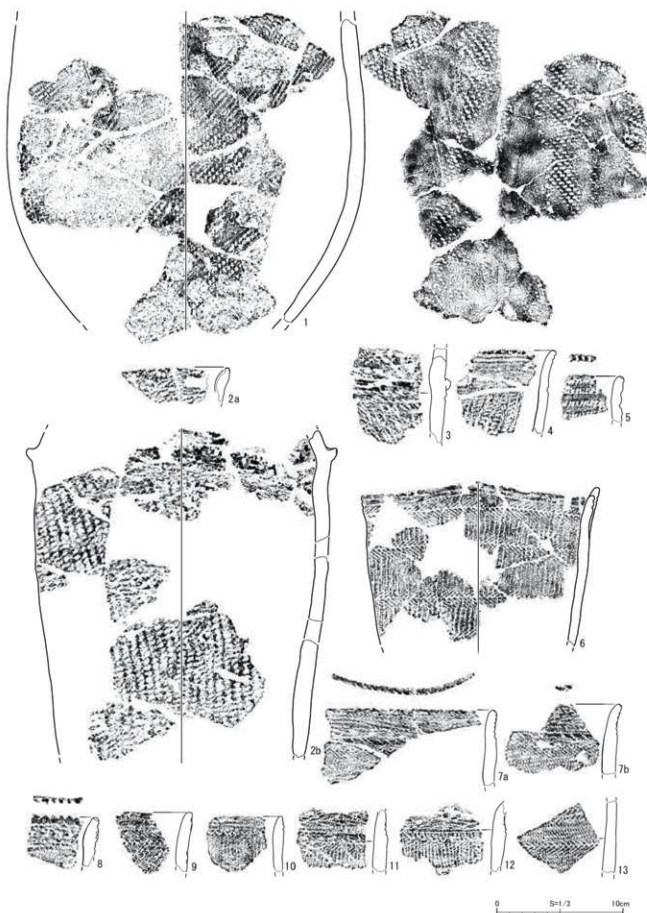
る。7は円筒下層 d1 ~ d2 式。口縁部外面は軽くくびれ、縄線が鋸歯状に施文される。口唇部外面と肩部には斜めに縄側面圧痕が刻まれる。胴部には結束第2種羽状縄文と多軸絡条体回転文が施文される。8は2本1組の縄線と押し引き状の刺突が施される。9は円筒下層 c 式。波状口縁で、複数の2本1組の組紐状縄線と結束第1種羽状縄文が施文される。10は円筒下層 d1 式。結束第2種羽状縄文で区画された口縁部に3条の縄線文が施され、胴部には単軸絡条体が回転施文される。11・12は円筒下層 d1 ~ d2 式。軽くくびれた口縁部には方向の異なる斜めの縄線が押捺される。肩部は結束第2種羽状縄文、胴部には単軸絡条体1類が回転施文される。12の内面は丁寧なミガキにより光沢がある。13は胴部片で、結束第1種羽状縄文と多軸絡条体回転文が多段に施文される。14~19は円筒下層 d2 式。14は上面観が楕円形の浅鉢で、端部に2個1単位の低い山形の突起がある。多軸絡条体回転文のみ施文される。15~17は平行縄線が施文された口縁部で、くびれて外反する。18は受け口状の口縁下部で、段状の外面には押し引きによる刺突が施される。19は底部片で、平坦な底面と丁寧なミガキの施された内面が特徴的である。多軸絡条体回転文が見られる。20は円筒下層 c ~ d1 式。2本1組の組紐状縄線が縦に密に施文される。21・22は胴部片素材の土製円盤。21は大ぶりの縄文が見られ、打ち欠きにより整形される。22は単軸絡条体1類が施文され、縁辺は研磨により整形され、断面臼状の穿孔がある。内面はよく磨かれ、光沢がある。

Ⅲ群 a 類 (図VI-229-23 ~ 図VI-230-41、図版 226・227)

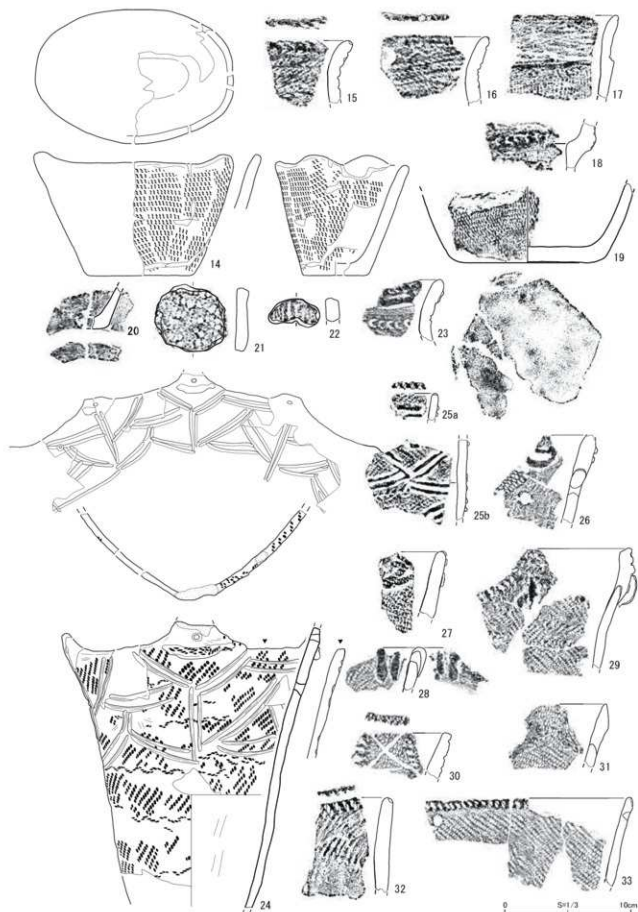
23は円筒上層 a2 式。口唇部が肥厚する波状口縁部で、3本1組の縄線と縄の馬蹄形圧痕が見られる。24・25はサイベ沢Ⅶ式。24は口縁部が広がる深鉢で、4単位の突起が付く。突起下部には横の貼付と縦の区画文として沈線が垂下し、その間に弧線状の沈線が連携する。地文はLR斜行縄文で、結節回転文が複数段見られる。25~28は粘土紐の貼付のあるもの。25は2本1組の細い粘土紐で装飾され、口唇部には縄の側面圧痕が施される。26・27・29は尖った突起部外面に、28は低い波状口縁部の内面から外面にかけて貼付が施される。30・31は台形状の突起部で、30は沈線文がある。32・33は切り出し状の口縁部で、その外面には縄の刻みがある。34はサイベ沢Ⅶ式の大型深鉢の破片。4単位の突起のある波状口縁で、突起下の縦の区画とその対向する弧線文が見られる。35は羽状縄文と結節回転文、36は結節回転文と細い粘土紐の貼付が施される。36の右下部は削り取られたすり鉢状の窪みがある。37~41は底部または底部付近の破片。37・38の外面には横方向の光沢のあるミガキ痕があり、サイベ沢Ⅶ式とみられる。37の底面は平坦で、底角が張り出す。外面に比べ内面は調整が粗雑である。40・41は底部からほぼ垂直に筒状に立ち上がり、出土地点と土器の特徴からH-20の円筒上層 a2 式に関連すると思われる。

Ⅲ群 b 類 (図VI-231-42 ~ 図VI-234-108、図版 227 ~ 230)

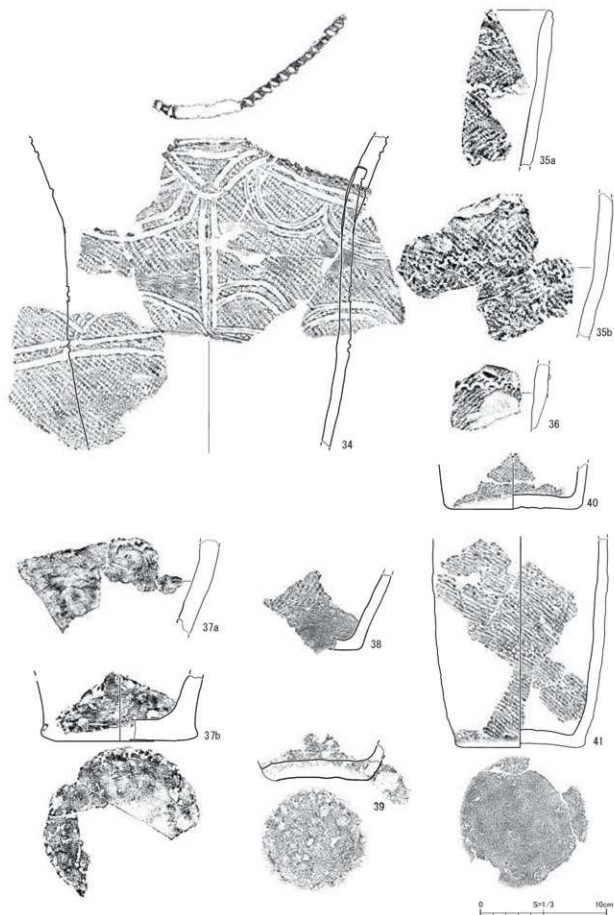
42は2単位の波状口縁のある頸部のくびれた深鉢。LR原体を斜めに回転させ、条が横向きになる。



図VI-228 C1地区包含層出土土器 (1)



図VI-229 C1地区包含層出土土器(2)



図VI-230 C1地区包含層出土土器(3)

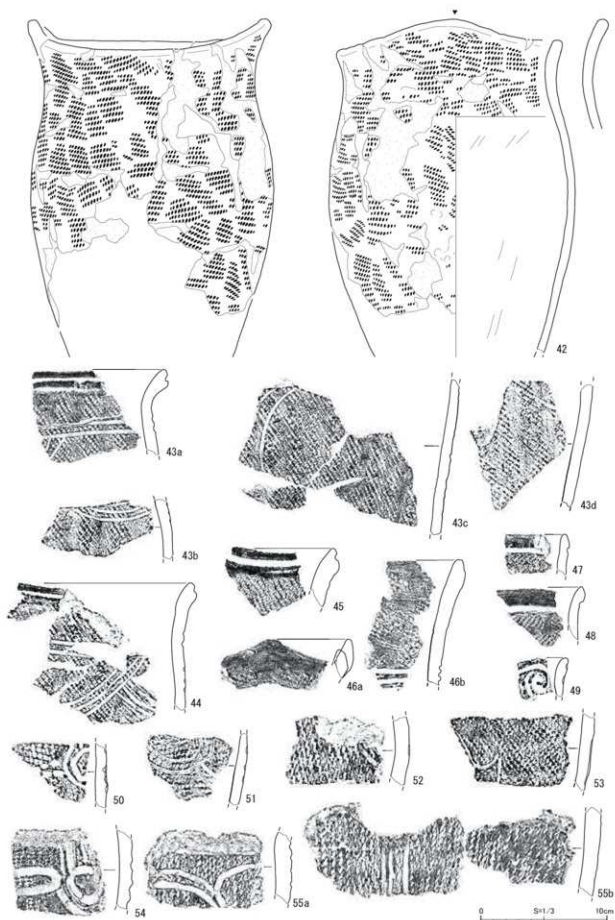
口唇部は角形だが、丁寧な調整により丸みを帯びる。43～61は沈線文のあるもの。43～49は口縁部破片で、43～45は頸部がくびれて口縁部が外反する。口唇部は肥厚し、外面中央に1条の沈線が施される。43はくびれ部には2本の沈線、その下には連弧文と「Y」字状の懸垂文が施文される。LR縄文が縦回転で施文され、単位縄文間には隙間があり、縦の空白域が装飾的效果を高めている。内面と口唇部はよく磨かれ、口縁部は横方向、胴部は縦方向である。原体の縦回転と空白域の縞状縄文は青森県の榎林式に見られる特徴で、木古内町や江差町（茂尻C遺跡）、上ノ国町など松前半島で確認されるが、大船C遺跡の旧南茅部町のある亀田半島ではごく限られた搬入土器にしか見られず、津軽海峡を挟んだ北東北との結びつきの強弱を示すものと思われる。44は43に類似する。46は肥厚する山形の口縁部で無文の口唇部外面には沈線が施文されない。地文はRLR斜行縄文である。47・48は口唇部下に1条の沈線が引かれる。49は低い波状口縁下に渦巻き状の沈線がある。50～55は胴部片。50は円形の沈線文と刺突文があり、地文はRLR斜行縄文である。外傾接合。51・53は先端がささくれだった工具で円形や直線が描かれる。52・55は単軸絡条体1類LR回転文で同一個体の可能性がある。54の沈線は非常に太い。56は口唇部に沈線、57は口縁部に縄線が施される。58は低い突起のある口縁部破片で、格子目状の沈線が描かれる。59はくびれ部に平行沈線、60・61は平行沈線と長楕円形が描かれる。

62～68は縄線文のあるもの。62～68は口縁部に沿って縄線が施文され、64には刺突が加わる。62・65・66は山形突起部。65・66の地文は単軸絡条体1類回転文で、同一個体の可能性がある。

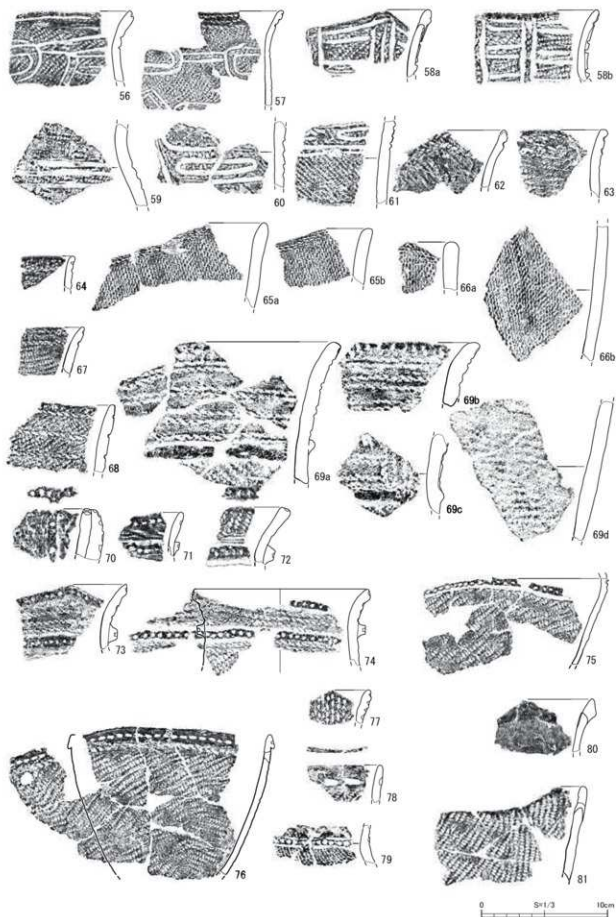
69～74は隆帯または貼付のあるもの。縦の貼付のある70を除いて、くびれた口縁部下の区画帯として隆帯があり、71～74は刺突を伴う。69・73・74は口縁部に複数の縄線が施文される。69は周辺の遺物からⅢ群b類としたが、円筒下層b2式の可能性もある。71・73・74は口縁部に沿って、72は口唇部に刺突が施される。75～79は刺突列があるもので、75・79は上下に沈線を伴う。76は小型の鉢で、切り出し状の折り返し口縁部に刺突があり、その下部には縄線が押捺される。77は山形口縁部に縦の複数の刺突列、78は口縁部に沿って押し引き状の刺突が加えられる。

80は無文の突起部で、貼付により立体的である。81～93は地文のみのもの。81～86は山形突起を持ち、82はLR斜回転、83はLR横回転、84はLR縦回転、85は自縄自巻？縦・横回転、86は反燃りRR斜回転で施文される。82は口縁部が外反する。83は調整が粗雑で、表面に凹凸がある。87～93の突起の有無は不明。87は口縁部と胴・底部を図上で復元した。垂直に立ち上がる底部から斜めにほぼ直線的に口縁部まで立ち上がる。LR原体の斜回転によって条が横走する。底部付近に接合痕が観察でき、円形の底部の外側に粘土を貼り付けて積み上げている。底面には木葉痕と沈線が見られる。88は直前段反燃LLR？が口唇部にも施文される。89は単軸絡条体1類、90は自縄自巻風なLR斜行縄文である。92は口縁部が外反する小型の深鉢で、LR縄文が隙間を置いて縦回転施文され、外傾した口唇部にも縄文がある。91はLR原体を斜回転し、条が横走する。93は櫛歯状工具によって縦に条痕が付けられる。94は2単位の波状口縁をもち、無文の頸部がある壺で、口縁部にはLR斜行縄文が施文される。95は屈曲した壺の頸部で、下部は貼付で段状になり、刺突が加えられる。96は無文のミニチュア土器。97～108は底部片。97～100は底部内面が丸く碗状で、97～99は底部が張り出す。97は底面にも縄文が施文される。101・102は底角が丸い。103・104は軽い上げ底で、底角はやや張り出す。103はミニチュア土器で、104の外面下部7cm程には縦の沈線が並列する。105～108は底面から斜めに立ち上がる。105には接合面が残り、底面の上に粘土を積み上げている。

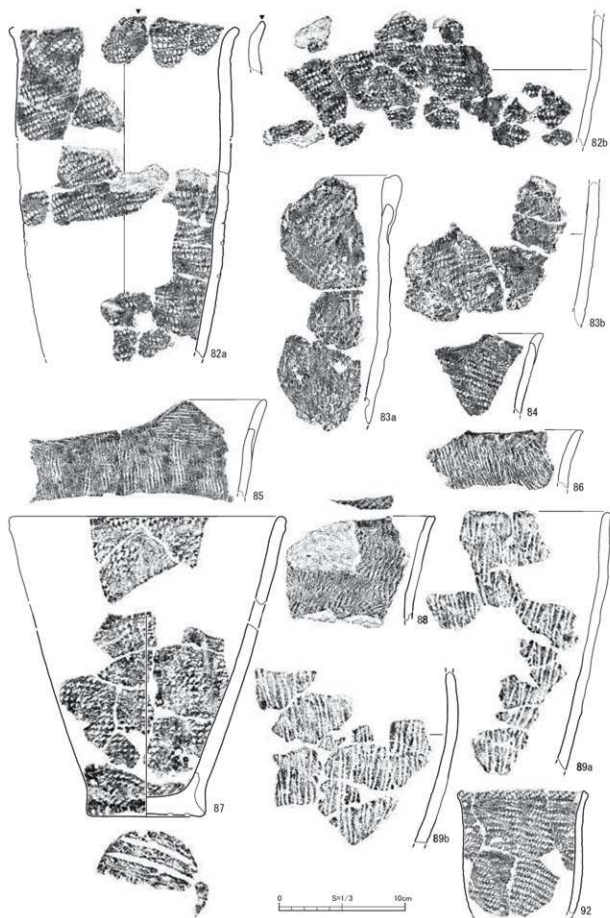
43～55は榎林式相当。



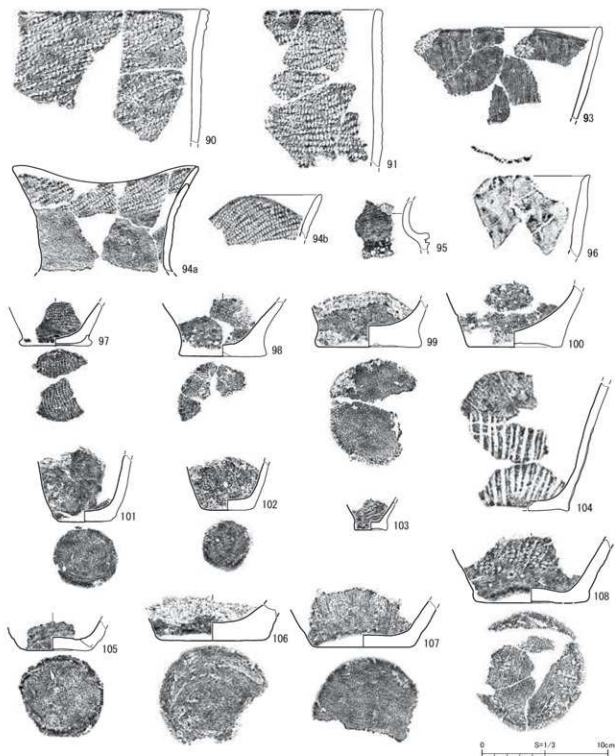
図VI-231 C1地区包含層出土土器(4)



図VI-232 C1地区包含層出土土器(5)



図VI-233 C1地区包含層出土土器(6)



図VI-234 C1地区包含層出土土器(7)

IV群 a 類 (図VI-235-109 ~ 図VI-238-184、図版 230 ~ 233)

109 ~ 126 は口縁部が折り返し口縁などで肥厚するもの。109・110 は円形刺突、111・112 は斜めからの刺突が加えられる。110 は前々段多条。113 は、RL 縄文が口縁部には横回転、胴部には縦回転で施文され、口縁部には 3 条の平行縄線と上の縄線間に鋸歯状文が表現される。114 の肥厚帯には 1 条の縄線が押捺される。116・119・120 は胴部に口縁部と同一方向の縄文が、118 は同一原体の回転方向を変えて羽状の縄文が施文される。119 は折り返し口縁で、縄文の施文により段差がなくなる。

121～126は口縁部下に撥状貼付があり、その間は無文である。縄文は胴部が縦回転、貼付部が横回転により羽状に表現され、126は前々段多条で、胴部にも回転方向を変えながら多段になる。125・126は貼付上に縄線文が付けられる。

127～130は口縁部無文帯のあるもの。127～129は山形突起から沈線や貼付・刺突列が「ハ」の字状に施文され、突起下には円形の貼付や短沈線・刺突文が付けられる。130は3つの小突起があり、LR原体の回転方向を変えて羽状に表現される。127～129の地文は原体の縦回転により施文される。

131～133は口縁部に縄線が巡るもので、131は口縁部に無文帯がある。131は原体を斜回転、132・133は口縁部と胴部の回転方向を変えている。

134～146は縄文のみの主に口縁部で、134～143は原体の回転方向を変えて羽状に表現される。横回転で施文される口縁部の幅は134・135・137・139が5cm、136が3cm、142・143が2cmである。134は前々段多条。139は小型土器、140・141は胴部片。142は胴部縄文間の無文帯と切り出し状の口縁部からⅢ群b類の可能性がある。144～150は同一原体同一回転方向のみのもの。144は無節LR縄文、145・146はLR縄文が縦回転で施文される。147・148は小突起のある口縁部で、147はLR斜行縄文に縄線文、148はLRL斜行縄文が施文される。149はLR縄文が縦回転、150はRL縄文が斜回転で押捺される。151は単軸絡条体5類。

152～161は縄文のみの胴部片。152は大型深鉢で、LR縄文の縦回転施文。外傾接合。153・154・157・158はLR縄文の縦回転、155はRRL縦回転施文。156は単軸絡条体1類L、159は単軸絡条体1類R、161は結束第1種羽状縄文の縦回転施文。

162～165は沈線文のあるもの。LR縦回転による地文に、細い工具による曲線が描かれ、沈線間の一部は擦り消される。162は口縁部で、口唇直下に1cm程の無文帯があり、ほぼ垂直に立ち上がる。これらは青森県の大木10式併行土器に相当する。166・167は無文で、166は丁寧な磨かれる。168～170は壺の肩部で、168・169は無文地に細い沈線が描かれ、170は一部縄文が施文される。

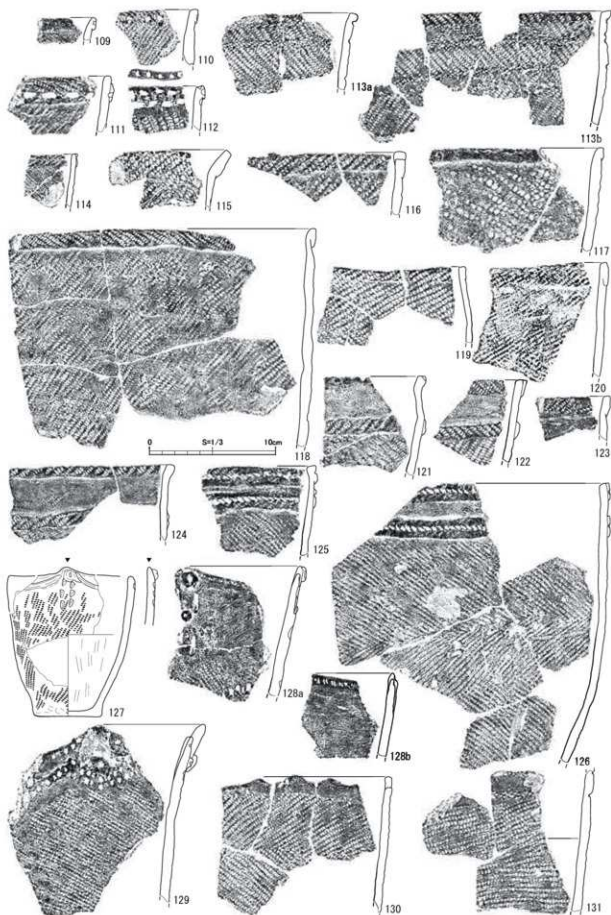
171～184は底部片。平坦な底面から斜めに立ち上がるものがほとんどである。171～173は接合痕があり、171は円形の底部に粘土を載せるように、172・173は底部の外側に粘土を貼り付けるように接着していたとみられる。174・175は単軸絡条体5類が回転施文される。176・177・181はRL縦回転、178は胴部にはRL縦回転、底部付近にはRL横回転、179・182はLR縦回転、183はLRL縦回転施文である。180は底部の上に載る最初の粘土紐で底部円盤の上にのせて下面と外面で接着している。182の底面には笹の葉状の木葉痕が残る。183の上部には接合面が残る、やや丸い外傾接合である。184は高台のある底部で、器壁は薄く、皿または浅鉢状の器形とみられる。

IV群b類 (図VI-238-185～187、図版233)

185は鯔潤式の波状口縁の深鉢。口縁部には擦り消し縄文が施文され、刻み列が肥厚した口唇外側に2段、段状の下部に1段巡っている。186は注口土器の肩部とみられるもの。木葉形の内部に羽状縄文が充填される。187は壺または注口土器の肩部。

V群a類 (図VI-238-188、図版233)

188は深鉢の口縁部破片。口唇は上から押しつけた小波状で、口縁部には指でつまんだ爪形文が2段横環する。地文はLR斜行縄文である。



図VI-235 C1地区包含層出土土器(8)